

# 岩手県教育年報

平成 28 年度版

岩手県教育委員会



## 序

県教育委員会では、教育委員会制度が導入されて以来、毎年、教育年報を発刊し、本県教育の動向を明らかにして参りました。

平成23年3月11日の東日本大震災津波の発災から間もなく7年を迎えようとしていますが、学校の再建など復興に向けた取組が着実に進んできている一方で、依然として仮設住宅での生活を余儀なくされているなど、様々な困難や制約を受けている子どもたちもおり、また、災害の記憶の風化への懸念の声もあります。

このため、当教育委員会は、「いわての復興教育」の推進、幼児児童生徒の心のサポートや児童生徒の安全で安心な教育環境の確保など、学びの場の復興に向け、引き続き全力で取り組むとともに、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、「いわて県民計画」のもとに中長期的展望に立ち、時代のニーズに的確に対応しながら、学校教育、社会教育、生涯教育、文化芸術、スポーツの振興を図って参りました。

この教育年報は、平成28年度における教育施策の概要や実績等を幅広く収録しております。

震災以来、本県の子どもたちに国内外の皆様方からいただきました多くの御支援や励ましに対し、心から感謝申し上げますとともに、この年報が、教育に携わる方々はもとより、関係各位に広く活用していただければ幸いです。

平成30年2月

岩手県教育委員会

教育長 高橋 嘉行

## 平成28年度版 岩手県教育年報について

岩手県教育委員会では、「いわて県民計画」（平成21年12月策定：計画期間 平成21年度～平成30年度）に掲げる教育政策のうち、教育委員会が所管する分野の今後10年間の基本方向について、より理解を深めるためのガイドラインとして、平成22年3月に「岩手の教育振興」を策定しました。

平成28年度版岩手県教育年報は、この「岩手の教育振興」の施策の体系を基礎として作成しています。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波からの復興に向けた取組については、冒頭に第1章として取りまとめました。

※ 被害状況及び平成27年度までの取組については、平成22～27年度版「岩手県教育年報」を御覧ください。

# 目 次

## 第 1 章 東日本大震災津波からの復興に向けた取組

第 1 県教育委員会の取組	1
---------------	---

## 第 2 章 教育行財政

### 第 1 節 教育行政

第 1 平成27年度 岩手県教育委員会経営計画	5
第 2 岩手県教育委員会	19
第 3 表彰及び栄典	20

### 第 2 節 教育財政

[参考] 管理部門	27
[参考] 市町村教育委員会	29

## 第 3 章 教育施策の推進状況

### 第 1 節 社会の変化に対応する教育の推進

第 1 目標達成型の学校教育の推進	32
第 2 社会人として自立できる能力の育成	34
第 3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進	41
第 4 教員の適正配置	42
第 5 教員研修の充実	43
第 6 教員研究等の充実	46

### 第 2 節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

第 1 学習指導要領を踏まえた教育課程の編成	48
第 2 学習面における基礎・基本の定着	48
第 3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進	51

### 第 3 節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第 1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	52
第 2 生活面における基礎・基本の定着	54
第 3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための指導の充実	55

### 第 4 節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第 1 体力向上や運動に親しむ態度の育成	60
第 2 健康教育の充実	61
第 3 指導者の資質・授業力向上	65

### 第 5 節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

第 1 「就学指導」から「就学支援」へ	67
第 2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実	67
第 3 特別支援教育の理解促進	68
第 4 特別支援学校生徒の就労支援の充実	68

### 第 6 節 学校教育を支える教育環境の充実

第 1 県立高校の望ましい教育環境の整備	70
第 2 学校施設の耐震化の推進	78
第 3 修学資金の支援等	79

第4	教育環境の整備	84
<b>第7節</b>	<b>教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進</b>	
第1	学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり	96
第2	多様な体験学習の充実（学習機会の確保）	101
第3	地域の教育課題の解決・家庭教育の充実	104
<b>第8節</b>	<b>広がりと深まりのある生涯学習の振興</b>	
第1	多様な学習活動を支援する環境の整備充実	107
第2	生涯にわたる学習機会の充実	109
	（1 県立生涯学習推進センター）	116
	（2 県立図書館）	119
	（3 県立青少年の家）	123
	（4 県立博物館）	128
	[参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）	134
<b>第9節</b>	<b>地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興</b>	
第1	文化振興基金を活用した支援等	136
第2	児童生徒に対する文化活動支援	145
第3	文化芸術による地域振興体制づくりへの支援	149
<b>第10節</b>	<b>郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興</b>	
第1	世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用	150
第2	伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携	152
<b>第11節</b>	<b>生涯スポーツの振興</b>	
第1	運動・スポーツに親しむ人々の広がり	158
第2	運動・スポーツに親しめる場の広がり	158
第3	ネットワークの広がり	164
<b>第12節</b>	<b>競技スポーツの強化</b>	
第1	中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成	165
第2	競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援	166
第3	スポーツ医・科学サポート体制の充実	167
	[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等	168

## 第4章 厚生福利

### 第1節 公立学校共済組合

第1	短期給付事業	169
第2	長期給付事業	169
第3	厚生福利事業	170
第4	貸付事業	171
第5	宿泊施設	171

### 第2節 教職員互助会

第1	短期給付事業	172
第2	長期給付事業	172
第3	厚生福利事業	172
第4	特別弔慰積立事業	174
第5	貸付事業	174

[参考資料]

1	県教育委員会機構図	175
2	県教育委員会が所管する附属機関の委員	176
3	県教育委員会会議	178
4	県教育委員会関係主要行事	180
5	私立学校	181
6	県教育委員会が所管する公益法人・公益信託等	182
7	県教育関係諸団体	183



# 第1章 東日本大震災津波からの復興に向けた取組

## 第1 県教育委員会の取組

### 1 きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

#### (1) 大震災津波体験を踏まえた「いわての復興教育」の推進

- ・ 「いわての復興教育」プログラムに基づく教育活動を推進するために、平成 28 年度の「いわての復興教育スクール」（小学校 3 校、中学校 3 校、高等学校 6 校、特別支援学校 1 校）と「いわての防災スクール」（小学校 4 校、中学校 4 校、高等学校 10 校、特別支援学校 1 校）を指定し、児童生徒の実態や地域の実情に基づいた特色ある復興教育や実践的な防災教育の取組を支援するとともに、その事例を県教育研究発表会で普及した。
- ・ 地域の実情等を踏まえた実践的な防災教育の推進に向けて、学校安全計画や危機管理マニュアル等の見直しや改善に向けた支援として「防災教育に係る学校訪問事業」を実施した。
- ・ 地域と連携した学校防災体制の充実・強化を図るため、小・中・公立学校の管理職を対象とした防災教育研修会を県総務部総合防災室と共催で開催した。

#### (2) 臨床心理士の被災校への派遣による幼児児童生徒の心のサポート

##### ア 教員研修の実施

- ・ 15 種類の研修パッケージを作成し、教育事務所、各市町村の研修会及び校内研修を実施した。

##### イ 巡回型カウンセラーの配置

- ・ 平成 27 年度に引き続き、広域を巡回するカウンセラーとして、被災地である沿岸南部教育事務所に 6 人、宮古教育事務所に 4 人、県北教育事務所に 3 人の計 13 人の臨床心理士を常駐させ、サポート体制を強化した。

##### ウ 心とからだの健康観察

- ・ 平成 28 年 9 月に、「心とからだの健康観察」を実施し、平成 29 年 3 月に県の集計結果を公表した。
- ・ 平成 29 年 3 月には地域別、市町村別のデータを取りまとめ、市町村教育委員会、各学校へフィードバックを行った。

#### (3) 学校施設の復旧整備

- ・ 県立高田高校の仮設グラウンドを拡張整備した。

#### (4) 被災児童生徒の学習支援等のための加配教員の配置

- ・ 平成 27 年度に引き続き、文部科学省に加配を申請し、要望どおり加配が認められ、加配教員（小・中学校教員 201 人、県立学校 46 人）を配置した。

#### (5) 「いわての学び希望基金」を活用した給付型奨学金の給付

- ・ 東日本大震災津波により著しい被害を受けた幼児、児童、生徒、学生等の就学の支援、教育の充実等のために設置した「いわての学び希望基金」を財源として、返還不要の奨学金を給付した。

平成 28 年度 奨学金受給者数 431 人

#### (6) 「いわての学び希望基金」を活用した教科書購入費等の給付

- ・ 被災した高校生の就学の支援のため、「いわての学び希望基金」を活用して、教科用図書購入費、制服購入費及び修学旅行費の全部又は一部を給付した。

平成 28 年度 教科書購入費等給付受給者数 944 人

- (7) 「いわての学び希望基金」を活用した産業教育設備及び部活動設備の整備
- ・ 沿岸地区の高等学校の教育環境を改善するため、「いわての学び希望基金」を活用して、産業教育実習用設備及び部活動設備を整備した。
- (8) 被災高校生を対象とした奨学金の貸与
- ・ (公財)岩手育英奨学会を通じ、東日本大震災津波により被災し、経済的理由により修学が困難となった高校生に対し、奨学金（東日本大震災津波等特例採用）を貸与した。  
【無利子であるほか、奨学生本人の卒業後1年間の収入見込額が一定額に満たない場合、願出により返還義務を一括免除】
    - 貸与月額 18,000円～35,000円
    - 奨学金貸与生徒数 214人（平成29年3月末現在）
- (8) 教職員の心と体のケア
- ・ 保健師2人、看護師1人による教職員に対する健康相談や面談を継続して実施した。

## 2 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承

### (1) 被災市町村における文化施設の復旧支援

- ・ 公立社会教育施設災害復旧費補助金（国庫補助事業）を活用して復旧工事を実施する10施設のうち、8施設の工事が終了した。（平成29年3月末現在）

### (2) 被災市町村における埋蔵文化財発掘調査支援

- ・ 平成24年度から、復興事業の進捗に伴う埋蔵文化財調査の増加に対応するため、埋蔵文化財担当職員を増員し、平成28年度は、文化庁等の調整により、県教育委員会には他道府県からの専門職員3人、（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターには他財団からの専門職員3人のほか、市町村教育委員会には県外市町から1人の専門職員の派遣を受け入れた。
- ・ 沿岸市町村支援として、田野畑村におけるブロードバンド基盤整備事業に関連する遺跡について、当該市町村教育委員会の支援を実施した。

### (3) 「いわての学び希望基金」を活用した被災地児童生徒文化活動の支援

- ・ 小学校、中学校及び高等学校の文化芸術活動の振興を図るとともに、被災した児童生徒を支援するため、「いわての学び希望基金」を活用し、各種大会等の旅費を補助した。

### (4) 被災した博物館資料の修理、整理及び保管場所の確保

- ・ 被災ミュージアム再興事業（国庫補助事業）を活用し、平成28年度は被災した2市町（陸前高田市及び山田町）が実施する資料の洗浄等の処理及び安定的保管のための経費を補助した。

### (5) 県立図書館による震災関連資料の収集及び公開

- ・ 被災地支援団体や市町村立図書館等から関連資料収集に関する取組への協力を得ながら、県立図書館が収集した震災関連資料を公開する「震災関連資料コーナー」の資料の更なる充実を努めた。また、収集した資料を広く一般に公開するため、資料展示「復興～これまでをこれからへ～」（3月1日～3月24日）を開催した。

## 3 社会教育・生涯学習環境の整備

### (1) 被災市町村における社会教育施設の復旧支援

- ・ 公立社会教育施設災害復旧費補助金（国庫補助事業）を活用して復旧工事を実施する57施設のうち、48施設の工事が完了した。（平成29年3月末現在）

### (2) 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の推進

- ・ 東日本大震災津波により急務となった沿岸被災地の「地域コミュニティの再生」や、これまでの潜在的な地域課題に対して、4つの事業【①家庭教育支援事業②放課後子供教室推進事業③学校支援地域本部事業④中高生の学習支援事業】を国庫委託事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」として実施した。

- ・ 家庭教育支援事業としては 12 市町村 202 講座を実施し、地域課題の解決を図った。
- ・ 放課後子ども教室推進事業では、17 市町村が 93 教室を開設し、放課後の子供の居場所づくりを推進した。
- ・ 学校支援地域本部事業では、15 市町村で 47 本部を設置し、地域コーディネーター等が学校支援ボランティアの活動を推進した。
- ・ 中高生の学習支援は、大船渡市、陸前高田市、住田町、釜石市、宮古市、田野畑村、普代村の 15 箇所において、教育委員会や N P O 等の団体が児童生徒の学習の場づくりを行い、308 人の生徒が登録・参加し、大学生や地元塾講師、教員経験者等が講師として学習をサポートした。

#### 4 スポーツ・レクリエーション環境の整備

##### (1) 被災者の健康づくりサポート

- ・ 平成 24 年度から、被災者の健康づくりサポートのため、アスレティックトレーナーを被災地に派遣し、健康相談、トレーニングやコンディショニングの指導を行うアスレティックトレーナー派遣事業を実施し、平成 28 年度は、延べ 26 回開催した。

##### (2) 「いわての学び希望基金」を活用した被災地生徒運動部活動の支援

- ・ 中学生及び高校生の体育・スポーツの振興と競技力の向上を図るとともに、被災した生徒を支援するため、「いわての学び希望基金」を活用し、県大会、東北大会等の旅費等を補助した。
- ・ 仮設住宅の設置等の理由により、自校の体育施設で十分な運動部活動を行えない中学校及び高等学校に対して、内陸部等の体育施設に移動して活動できるよう、移動用バスの借上費用を支援した。

#### 5 学校における放射線量の調査と低減措置等

##### (1) 放射線量低減に向けた取組

- ・ 引き続き放射線の影響等を把握し生徒の安全を確保する必要があることから、教育事務所等に配置したサーベイメーター（7 台）により、定期的に（月 1 回程度）各学校において教職員等が空間線量率の測定を行い、測定結果をホームページで公表した。
- ・ 市町村立学校については、設置者である市町村において学校等における放射線量の測定及び除染を行い、事業に要する経費については、県（環境生活部）が市町村等への助成制度により支援を行った。

##### (2) 学校給食に対する取組

- ・ 学校給食のより一層の安全・安心を確保する観点から、学校給食を自校調理で実施している県立学校（特別支援学校 8、夜間定時制高等学校 3）において、放射性物質濃度の測定を行い、測定結果をホームページで公表した。

## 6 国への要望等

年月日	内 容
平成 28 年 6 月 7 日	知事から政府等に対し、「東日本大震災津波からの復興と地方創生の推進に当たっての提言・要望」、「平成 29 年度政府予算提言・要望（県政課題全般事項）」を実施

## 第2章 教育行財政

### 第1節 教育行政

#### 第1 平成28年度 岩手県教育委員会経営計画

人口減少が進行する地域社会において、ふるさと振興を果たしていくためには、岩手を牽引する人材の育成が特に重要です。また、本県の復興・発展の担い手である子どもたちが、岩手の未来を切り拓き、変容する社会の中を生き抜く力を身に付けるうえで、教育の果たす役割は極めて大きく、県民の教育に対する関心、期待はますます多様化、高度化しています。

県では、復興計画における本格復興期間の最終年となる本年を「本格復興完遂年」と位置付け、本格復興を成し遂げ、次の計画につなげていくとともに、昨年度策定した「岩手県ふるさと振興総合戦略」に基づく取組を着実に進めていきます。教育委員会においても、これと軌を一にして、学びの場の復興と教育の充実に向けた取組を全力で推進していきます。

また、本県教育の振興に当たっては、本県の教育振興基本計画に位置付けている「いわて県民計画」第3期アクションプランに基づき、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現などを図るため、中長期的展望に立ち、時代のニーズに的確に対応しながら、学校教育、社会教育、生涯学習、文化芸術、スポーツの振興に取り組んでいきます。

本年度は特に、児童生徒一人ひとりに向き合い寄り添う学校教育の充実と切れ目のない学びの保障を実現するため、学力向上対策やいじめの防止、早期発見・早期対応に向けた取組の徹底など、児童生徒の学習面、生活面などへのきめ細かなサポートを行うとともに、新たな県立高等学校再編計画を踏まえた教育環境整備の推進に重点的に取り組みます。また、希望郷いわて国体における目標達成に向け、関係機関等と一体となった取組を推進します。

#### ◆東日本大震災津波からの教育の復興

##### I きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

〔重点事項〕 「いわての復興教育」の推進

幼児児童生徒の心のサポートの充実

児童生徒の安全で安心な教育環境の確保

東日本大震災津波を乗り越え、未来を創造していくために、10年後、20年後の岩手の復興・発展を担い得る子どもたちを育成することが、本県の教育に課せられた使命であり、「いわての復興教育」の取組を県下全体で進めることは、本県教育の推進において大きな意義を持つものと考えます。

また、被災した幼児児童生徒一人ひとりの心のサポートや、きめ細かな対応をするための体制の充実に継続的に取り組むとともに、被災した学校施設の復旧整備を進めるなど、安全で安心な教育環境の充実に取り組みます。

さらに、被災によって親や生活基盤を失った児童等が安心して学業に専念できるよう、就学支援に引き続き取り組みます。

##### 1 「いわての復興教育」の推進

###### (1) 「いわての復興教育」プログラムに基づく教育活動の推進

- ・ 「いわての復興教育」プログラムに示す3つの教育的価値【いきる】【かかわる】【そなえる】を育てる各学校の取組を支援します。
- ・ 特色のある実践事例を県教育研究発表会などの場を通じ、各学校への普及に取り組めます。
- ・ 各学校の復興教育担当者を対象とした研修を通じ、教員の指導力向上に取り組めます。
- ・ 復興教育副読本を効果的に活用した教育活動を推進します。

## (2) 実践的な防災教育の推進

- ・ 家庭・地域との連携による、発達段階に応じた防災教育を推進し、児童生徒が自然災害時において、自らの命を守り抜くために必要な「主体的に行動する態度」の育成に取り組みます。
- ・ 高校生に、災害発生時においても主体的に行動できる態度や防災・減災に関する知識や技能を身に付けさせるため、避難所の運営体験等の防災学習の取組を実施します。
- ・ 各学校の防災体制の確立と児童生徒の防災意識の向上を図るため、学校訪問により、防災管理及び防災教育等の支援・相談を行います。
- ・ 教職員や行政担当者による連携型の研修や防災訓練の実施、学校への防災アドバイザーの派遣など、関係部局と連携した取組を推進します。

## 2 幼児児童生徒の心のサポートの充実

- ・ スクールカウンセラーの配置とともに、支援ニーズの多様化に対応するため、スクールソーシャルワーカーを増員するなど、心のサポート体制の充実に取り組みます。
- ・ 東日本大震災津波による被害が大きかった地域への臨床心理士等の派遣による支援を継続します。
- ・ 「心とからだの健康観察」の結果を詳細に分析し、経年による変化を踏まえた「こころのファイル」の作成・活用等を行うことで、中長期にわたる支援に取り組みます。

## 3 児童生徒の安全で安心な教育環境の確保

### (1) 被災した学校施設の復旧整備

- ・ 県立高田高等学校の艇庫、講義棟及びグラウンド等の整備を進め、教育環境の復旧に取り組みます。
- ・ 「いわての学び希望基金」を活用し、沿岸地域の高等学校の産業教育設備や部活動設備を整備します。
- ・ 各市町村の復興計画等を踏まえ、市町村立学校施設の早期復旧整備が図られるよう支援します。

### (2) 学校における放射線対策

- ・ 県立学校に通学する児童生徒の被ばくに対する不安を軽減するため、放射線の空間線量率を定期的に測定し、低減措置が必要な箇所があった場合は、速やかに土壌等の除染作業を実施します。
- ・ 学校給食を実施する県立学校で食材及び提供後給食等の放射性物質濃度測定を実施するとともに、測定機器を持たない市町村等からの依頼に応じて測定を行うなど、学校給食食材に対する安全安心の確保に取り組みます。

### (3) 被災により親や生活基盤を失った児童生徒への支援

- ・ 「いわての学び希望基金」を活用し、被災により親を失った児童生徒に対する奨学金の給付や生活基盤を失った高校生等に対する教科書・制服・修学旅行経費の支援を行います。

### (4) 被災児童生徒の心のサポート及び学習支援等のための加配教員の配置

- ・ 児童生徒の心のサポート及び学習支援等に対応するため、教職員の加配が必要な小・中学校及び県立学校に対し、加配教職員の配置を継続します。

### (5) 教職員の健康管理

- ・ 教職員の心と体のケアの支援に取り組みます。

### (6) 特別支援学校における就職支援

- ・ 東日本大震災津波による被害が大きかった沿岸部の特別支援学校における現場実習や就職支援を強化するため、職業指導支援員を配置します。

## (7) 児童生徒の学習支援等を行う居場所づくりの推進

- ・ 被災地における児童生徒等の学習環境を確保するため、放課後及び週末等における学習支援等を行う安全・安心な居場所づくりに取り組みます。

## II 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承

- 〔重点事項〕 被災地における文化芸術活動の再興  
復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援  
被災文化財の保存・管理支援  
被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援

東日本大震災津波からの早期の復興を図るための開発事業に係る埋蔵文化財調査を推進するとともに、文化芸術活動の再興を図るため、文化芸術施設等の復旧・再開を支援します。  
また、被災地の貴重な文化財の修復や民俗芸能などの復興を支援します。

### (1) 被災地における文化芸術活動の再興

- ・ 被災した文化芸術施設の復旧・再開を支援します。
- ・ 被災地において、優れた文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、文化芸術活動の早期再興を支援します。

### (2) 復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援

- ・ 被災地の国・県復興関連開発事業に伴う埋蔵文化財調査に取り組みます。
- ・ 市町村の復興関連埋蔵文化財調査を支援します。

### (3) 被災文化財の保存・管理支援

- ・ 被災地から救出した文化財や美術品等が修復され、適切な保存・管理がなされるよう支援します。

### (4) 被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援

- ・ 「いわての学び希望基金」を活用し、被災した児童生徒の文化活動の大会への参加支援に取り組みます。

## III 社会教育・生涯学習環境の整備

- 〔重点事項〕 社会教育施設の復旧支援  
地域コミュニティの復興支援  
復興に向けた学びの機会の充実

東日本大震災津波により被災した、社会教育及び生涯学習の推進拠点である社会教育施設の復旧・再開を支援するとともに、地域人材の活用等により、子どもを中心とした地域活動及び地域住民の学習・交流機会を設け、地域コミュニティの復興を支援します。

### (1) 社会教育施設の復旧支援

- ・ 被災した市町村の社会教育施設の復旧・再開を支援します。

### (2) 地域コミュニティの復興支援

- ・ 地域住民による学習支援等を実施し、子どもの学習環境の充実を図ることを通して、地域コミュニティの復興に取り組みます。

### (3) 復興に向けた学びの機会の充実

- ・ 教育振興運動推進方針に「復興教育」を位置付け、学校教育との連携により運動の充実に取り組みます。
- ・ 復興に向けた人材の育成のため、地域住民を対象とした学びの機会の充実に取り組みます。

#### IV スポーツ・レクリエーション環境の整備

##### 〔重点事項〕 スポーツ・レクリエーション環境の整備 被災生徒の運動部活動への支援

スポーツ・レクリエーション活動の早期の復興を図るため、拠点となる施設の復旧・再開や各地域のスポーツ活動、健康づくりの取組を支援します。

また、各種競技大会等への参加機会を確保するための支援に取り組みます。

##### (1) スポーツ・レクリエーション環境の整備

- ・ 被災市町村や団体等の実情とニーズに応じ、スポーツ・レクリエーション活動の推進体制の整備等を支援します。
- ・ 地域との合意形成を図りながら、全壊した県立高田松原野外活動センターの代替施設の整備を進めます。

##### (2) 被災生徒の運動部活動への支援

- ・ 「いわての学び希望基金」を活用し、被災した生徒の運動部活動の県大会及び東北大会等への参加支援に取り組みます。
- ・ 自校のグラウンド等で運動部の活動が十分に行えない学校に対し、練習場所への移動に係る経費支援に取り組みます。

#### ◆ 「いわて県民計画」第3期アクションプランの着実な推進

##### I 学校教育の充実

##### 〔重点事項〕 児童生徒の学力向上 キャリア教育の充実 豊かな心を育む教育の推進 健やかな体を育む教育の推進 特別支援教育の充実 家庭・地域との協働による学校経営の推進 学校施設の整備

子どもたちが、グローバル化の進展や高度情報化の進行など、変化の激しい社会を生き抜いていくことができるよう、「生きる力」を一人ひとりに確実に身に付けさせ、社会的自立の基礎を培うとともに、一人ひとりの適性、進路等に応じて、その能力を最大限に伸ばし、社会の形成者として必要な資質を養うことが求められています。

そのため、子ども一人ひとりの個性や特性等にきめ細かに対応し、小学校、中学校、高等学校の各段階を通じ、その能力の伸長に取り組みます。

また、昨年度策定した「新たな県立高等学校再編計画」に基づき、生徒の希望する進路の実現、自己実現ができる適切な教育環境の整備を進めます。

##### 1 教育推進に関する諸計画の一体的な推進

「いわて県民計画」に明記しているとおり、「岩手の未来を担う子どもたちを育てるひとつづくりは、長期的な視点で取り組んでいくことが必要」であることを踏まえ、次に掲げる教育施策に関する諸計画を中心に、義務教育、高等学校教育、特別支援教育等の各プランとの連携、整合をとりながら、一体的な教育の振興に取り組みます。

\* 教育推進に関する諸計画体系

- いわて県民計画 (H21. 12策定 H21～H30)
- いわて県民計画第3期アクションプラン (H28. 2策定 H27～H30)
- 岩手県東日本大震災津波復興計画 (H23. 8策定 H23～H30)
- 岩手県東日本大震災津波復興計画復興実施計画(第2期) (H26. 3策定 H26～H28)
- 岩手県ふるさと振興総合戦略 (H27. 10策定 H27～H31)
- これからの岩手の義務教育 (H21. 3策定 概ね10年間)
- 今後の高等学校教育の基本的方向 (H27. 4改訂)
  - ・ 新たな県立高等学校再編計画 (H28. 3策定 H28～H37)
- いわてキャリア教育指針 (H22. 3策定)
- いわて特別支援教育推進プラン (H25. 11策定 H25～H30)
- 岩手県子どもの読書活動推進計画(第3次) (H26. 6策定 H26～H30)
- 「いわての復興教育」プログラム (H24. 2策定 H23～H30)

## 2 児童生徒の学力向上

### (1) 国語・数学(算数)・英語の学力向上

- ・ 国や県で実施する学習状況調査の結果分析に基づき、各学校における教科毎の授業改善を進めるとともに、学校組織全体の取組に向けた指導・助言を行います。
- ・ 国語・数学(算数)・英語を核とした学力向上に取り組み、児童生徒一人ひとりの学力保障に向けた取組を行います。

### (2) 「わかる授業」の推進

- ・ 「明確な学習課題の提示」、「適切な学習活動の展開」、「効果的な学習の振り返り」による「わかる授業」の徹底に取り組みます。
- ・ 児童生徒一人ひとりの学力保障のために、教員相互の授業参観や校内研修などが学校組織全体での取組となるように、各学校の授業改善に向けた取組を支援します。

### (3) 家庭学習の充実

- ・ 授業で学習した内容の理解・定着を徹底するため、授業と連動した家庭学習の推進や教育振興運動との連携等に取り組みます。

### (4) 特色ある教育課程の編成

- ・ 学習指導要領を踏まえ、全ての学校がそれぞれの実態と特色等を十分考慮した教育課程を編成し、充実した教育活動が展開できるよう支援します。
- ・ 本県の歴史、文化等を学ぶ教育や情報教育、環境教育、放射線教育、国際理解教育等の特色ある教育課程を通じて、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、変化の激しい社会を生きる人間として必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学ぶ態度の育成に取り組みます。
- ・ 公職選挙法改正による選挙権年齢の満18歳以上への引き下げに対応し、政治参加の重要性や選挙の意義等への理解を深め、政治への参画意識を高める主権者教育を推進します。

### (5) グローバル人材の育成

- ・ イングリッシュ・キャンプ及び海外派遣研修、スーパーグローバルハイスクール(SGH)などの取組を推進することにより、グローバル化社会に適応できる知識や能力を持つ本県の次代を担う人材の育成に取り組みます。

### (6) 少人数学級の推進

- ・ これまで小学校1年生から4年生までと中学校1年生で実施してきた35人以下学級を中学校2年生に拡充し、思春期を迎え不安定要素を抱える中学生へのきめ細かな対応により、基礎学力の定着や生徒指導上の課題解決に取り組みます。

### (7) 中学校における学校生活サポートの充実

- ・ 中学校において、生徒の学習定着上の課題や生徒指導上の諸課題に対応するため、引き続き、

必要な学校に教員の日常の活動を支援する経験豊かな非常勤講師等を配置します。

### 3 キャリア教育の充実

#### (1) 発達段階に応じたキャリア教育の充実

- 各学校において、「いわてキャリア教育指針」及び「いわてキャリア教育の手引き」に基づき「キャリア教育全体計画」及び「指導計画」を作成し、学校教育活動全体で小・中・高等学校の各発達段階に応じた計画的・組織的なキャリア教育に継続的に取り組むことにより、児童生徒が将来、社会人、職業人として自立して生きるための「総合生活力」<sup>※1</sup>と「人生設計力」<sup>※2</sup>の育成に取り組みます。

#### (2) 社会への接続支援

- 生徒一人ひとりの多様な進路希望の達成と、将来の本県を支える人材育成に向けた各高等学校の取組を推進します。
- 教員を対象とした、地域の企業の見学や企業人の講話等を中心とした実践的な研修会を実施するなど、産業界と協働して岩手の求める人材を育成に取り組みます。  
※1 総合生活力：児童生徒が将来の社会人、職業人として自立して生きるために必要な能力  
※2 人生設計力：児童生徒が主体的に人生計画を立て、進路選択をし、決定できる能力

### 4 豊かな心を育む教育の推進

#### (1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

- 各学校の道徳教育推進教師を中心とした組織や役割を明確にした推進体制により、道徳教育全体計画、年間指導計画の工夫・改善を図りながら、道徳教育の充実に取り組みます。
- 学習指導要領に新たに「特別の教科」として位置付けられた道徳の趣旨の徹底を図り、道徳教育の要となる道徳の時間の授業改善に取り組みます。
- 小・中・高等学校それぞれの校種に応じて作成した道徳資料集を活用した道徳教育の推進に取り組みます。
- 学校教育の中にボランティア活動などの体験活動や自然体験活動、文化芸術体験活動、読書活動などを位置付けながら豊かな心を育む教育の充実に取り組みます。
- 教員の学級経営・ホームルーム経営の充実を図り、児童生徒の理解を進め、好ましい人間関係づくりや規範意識の醸成に取り組みます。

#### (2) いじめなどに対応した教育相談機能の充実

- いじめや学校不適應の未然防止、早期発見・早期対応のためにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や保護者が相談しやすい環境づくりを推進するとともに、学校心理士の資格を有する教員を養成し、児童生徒の教育相談体制の充実に取り組みます。

#### (3) 関係機関等との連携によるいじめ防止等への取組の推進

- 児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるよう、法令に基づき、「岩手県いじめ問題対策連絡協議会」等を通じた関係団体及び関係機関との連携強化を図るとともに、いじめの重大事態等に迅速かつ機動的に対応します。

#### (4) 情報モラル教育の推進

- 県立総合教育センターに整備したスマートフォン等高機能情報端末を活用するなどして、情報モラル指導の工夫改善や教員研修、啓発活動等に取り組みます。

### 5 健やかな体を育む教育の推進

#### (1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり

- 調査分析に係る情報提供や課題対策会議を実施し、本県の体力向上の取組の方向性について共通理解を図り、各学校の体力向上の取組を推進します。

- ・ 学校・家庭・地域において、児童生徒が運動・スポーツに親しむことができるよう、「希望郷 いわて 元気・体力アップ 60 運動」を推進します。

## (2) 健康教育の充実

- ・ 健康教育・食育に係る研修会を開催し、学校・家庭・関係機関の連携による教育環境の整備について共通理解を図り、各学校の望ましい生活習慣の確立や肥満防止の取組を推進します。

## (3) 指導者の資質向上・授業力向上

- ・ 研修会の開催や高い専門性を有する地域スポーツ指導者を学校へ派遣し、効果的な指導の在り方について共通理解を図り、教員の授業力や運動部活動に係る指導力の向上に取り組みます。

## 6 特別支援教育の充実

### (1) 就学前及び小・中・高等学校における特別支援教育の充実

- ・ 早期からの支援を充実させるため、地域の幼稚園や保育所を継続的に訪問し、指導方法に関する相談や支援に取り組みます。
- ・ 地域の実情に即した指導・支援の充実を図るため、特別支援教育コーディネーター連絡会を地域毎に開催するなど、支援体制の強化に取り組みます。
- ・ 研修会や相談等を通じて、通常の学級及び特別支援学級における「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づく指導の充実に取り組みます。
- ・ 市町村教育委員会への支援体制の充実や高等学校での特別支援教育の体制づくりに取り組みます。

### (2) 特別支援学校における教育の充実

- ・ 障がいのある子どもの自立と社会参加の促進のため、タブレット端末を活用した実践的・効果的な授業を全ての特別支援学校で実施し、児童生徒の実態に応じた多様な教育環境の充実により特別支援教育の質の向上に取り組みます。
- ・ 交流籍を活用した特別支援学校と小・中学校の児童生徒との交流及び共同学習を推進するほか、学校間交流の機会を積極的に設け、インクルーシブ教育を推進します。

### (3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり

- ・ 県民を対象とした特別支援教育講演会を開催し、特別支援教育の理解啓発に取り組みます。
- ・ 特別支援教育ボランティアの養成や活用などにより、学校と地域社会が一体となった特別支援教育の推進に取り組みます。

### (4) 特別支援学校における就職支援

- ・ 企業訪問などで生徒の能力をPRできる特別支援学校技能認定制度の研究開発に新たに取り組むほか、公的機関における現場実習の受入れの促進や特別支援学校に対する理解浸透を図るため、各地域に設置している企業との連携協議会を通じ、現場実習や就職支援を強化します。
- ・ 現場実習の受入れや就労支援に関する企業との連携強化を図るため、就労サポーター制度の利用促進に取り組みます。

## 7 家庭・地域との協働による学校経営の推進

### (1) 目標達成型の学校経営の推進

- ・ 各学校において、校長のリーダーシップのもと全教職員の参画によりそれぞれの学校経営計画を策定するとともに、設定した目標や具体的な取組等の達成状況や進め方などに関する学校評価（自己評価及び学校関係者評価）を行い、その結果と今後の改善方策等を保護者や地域等に対して広く公表、報告する取組を推進します。また、学校評価の結果を活用して学校運営上の課題を分析し、経営計画の見直しや取組内容の工夫など、学校経営の改善に具体的に取り組めるよう、学校を支援します。

## (2) 学校と家庭・地域の協働の推進

- ・ 各小・中学校は、地域の実情を踏まえながら、今日的な教育課題解決に向けた取組に関し、「まなびフェスト」と教育振興運動との目標の共有化を図るなど、教育振興運動と連携した取組を一層推進します。
- ・ 学校支援地域本部の推進により、地域人材の参画による学校の教育活動等を支援します。

## (3) 学校経営における組織力の向上

- ・ 主幹教諭の配置校を拡大し、主幹教諭を活用した学校の諸課題の解決に向けた体制整備に取り組みます。

## 8 学校施設の整備

### (1) 県立学校施設の整備

- ・ 教育環境の充実・向上を図るため、千厩高等学校グラウンド整備をはじめ、老朽化した施設設備の改修等を進めます。
- ・ 特別支援学校における教育環境の充実・向上を図るため、盛岡となん支援学校の移転新築整備や花巻清風支援学校分教室の北上市への整備等を進め、教室不足解消等に向けた整備に取り組みます。
- ・ 盛岡となん支援学校移転後の空き校舎の活用や釜石地域における教育環境の具体的な整備に関し、関係機関との調整に取り組みます。

### (2) 学校施設の耐震化

- ・ 県立学校施設の耐震化を図るため、盛岡農業高等学校第三校舎や久慈高等学校の改築を進めます。
- ・ 市町村立学校の耐震化（非構造部材の耐震対策を含む）及び防災機能強化が図られるよう市町村支援に取り組みます。

## II 社会教育の充実と生涯を通じた学びの環境づくり

- 〔重点事項〕 教育振興運動の充実  
家庭教育支援の充実  
子どもの読書活動の推進  
放課後子ども総合プランの推進  
学習活動を支援する環境の充実  
社会教育施設におけるサービスの向上

学校、家庭、地域住民等の連携協力による社会教育の充実に取り組みます。

また、県民の学習意欲の向上を図るとともに、学びの成果が地域で生かされる生涯学習の環境づくりに取り組みます。

### (1) 教育振興運動の充実

- ・ 半世紀にわたり、学校・家庭・地域の連携により実践してきた本県独自の教育振興運動の原点に立ち返り、研修会の充実や学校教育及び各市町村との連携強化を図りながら、地域の教育課題解決に向けた自主的・実践的運動を推進します。
- ・ 全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」の実践の充実に向けて、先進的事例の紹介や情報共有を図るとともに、地域の教育課題の解決に向けた取り組みとの連動を推進し、運動の一層の活性化を図ります。

### (2) 家庭教育支援の充実

- ・ 家庭教育や子育てに悩みを抱え、孤立しがちな保護者と地域とを結びつけ、地域全体で子育てを支援する体制づくりに取り組みます。
- ・ 保護者等に対する学習情報の提供や相談体制の充実に取り組みます。

### (3) 子どもの読書活動の推進

- ・ 「岩手県子どもの読書活動推進計画（第3次）」に基づき、学校、家庭、地域住民等との協働のもと、子どもたちが読書活動に魅力を感じながら自主的に取り組むことができる環境づくりに取り組みます。
- ・ 学校教育との連携により、ブックリストを活用した子どもの読書活動を推進します。また中学校、高等学校の図書館担当者等を対象とした研修会を実施し、中高生の読書活動の推進を図ります。

### (4) 放課後子ども総合プランの推進

- ・ 地域の教育力の活用や保健福祉部との連携を図りつつ、子どもたちの放課後や週末における安全・安心な居場所づくりの拡充に取り組みます。

### (5) 学習活動を支援する環境の充実

- ・ 市町村等と連携し、放課後の学習支援に係る環境づくりを推進します。
- ・ 生涯学習情報の収集・提供、地域人材の研修機会の充実を図り、生涯を通じた学びの環境づくりや学び直しに向けた取組を推進します。
- ・ 地域の教育課題解決のための学びの場を拡充し、生涯学習を通じた地域づくり・社会づくりに取り組みます。
- ・ 高等学校等の生徒の教育の機会を確保するため、就学支援金、奨学給付金等の就学支援により保護者の経済的負担の軽減に取り組みます。

### (6) 社会教育施設におけるサービス向上

- ・ 県立社会教育施設（図書館、博物館、美術館及び青少年の家）における県民サービスの向上に取り組みます。
- ・ 市町村社会教育施設における社会教育事業の推進支援により、県民の多様なニーズに適切に対応した生涯学習の振興に取り組みます。

### Ⅲ 文化芸術の振興

〔重点事項〕 文化芸術活動の推進  
世界遺産登録の推進  
文化財の保存と継承

県民が郷土に誇りや愛着を持ち、地域に伝わる歴史、文化等の理解を深めるとともに、地域の特色ある文化芸術が暮らしに根付くよう取組を進め、その継承と振興に取り組みます。

#### (1) 文化芸術活動の推進

- ・ 文化振興基金を活用した芸術家派遣等への支援の実施など、文化芸術情報の効果的な発信、文化芸術活動の継承及び振興に取り組みます。

#### (2) 世界遺産登録の推進

- ・ 「平泉の文化遺産」の適切な保存管理と普及啓発を推進しつつ、柳之御所遺跡の発掘調査や史跡公園の整備を進めるなど、拡張登録に向けた取組を推進します。
- ・ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向け、関係自治体と連携した取組を推進します。
- ・ 「明治日本の産業革命遺産」に関する橋野鉄鉱山の整備・活用計画の策定を支援するなど、国や関係自治体と連携し、世界遺産委員会決議に適切に対応します。

#### (3) 文化財の保存と継承

- ・ 文化財の指定に取り組み、文化財の保存・管理を推進します。

### Ⅳ 豊かなスポーツライフの振興

〔重点事項〕 生涯スポーツの振興  
競技力向上のための取組強化  
スポーツ医・科学サポートの推進

幼児から高齢者まで、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境を整備し、誰もが心豊かで活力ある健康的な生活を送るための取組を支援します。

また、希望郷いわて国体において天皇杯順位8位以内の入賞を目指すとともに、各種の全国大会で本県選手が活躍できるよう、選手強化やスポーツ医・科学サポートなど、競技力向上に向けた取組を推進します。

#### (1) 生涯スポーツの振興

- ・ 県民のライフステージに応じたスポーツ参加等を更に促進するため、市町村や関係機関との連携を図りながら、親子や家族がともに参加できるスポーツ教室やイベントの開催等の充実に取り組みます。
- ・ 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備するため、総合型地域スポーツクラブの創設・育成や地域スポーツ指導者の養成・活用に取り組みます。
- ・ 震災からの復興状況や市町村との連携協働、役割分担等を考慮しつつ、老朽化が進行している県営体育施設の総合的なあり方の検討を進めます。

#### (2) 競技力向上のための取組強化

- ・ 希望郷いわて国体の目標達成に向け、関係競技団体・機関との連携を更に深め、国内で高い指導力を有する指導者の招聘や他県の強豪チームとの練習試合を増やすなど、強化事業の質の向上と拡大を図るとともに、入賞の可能性の高い競技・種別に重点をおいた選手強化に取り組みます。
- ・ いわてスーパーキッズ発掘・育成事業のより効果的な取組を推進するなど、中・長期的な視点

に立ったジュニア育成環境の整備を進め、世界で活躍するトップアスリートを目指す人材の育成に取り組めます。

**(3) スポーツ医・科学サポートの推進**

- ・ 講習会等の実施により指導者の資質向上を図るとともに、各競技団体にアスレティックトレーナーを派遣するなど、スポーツ医・科学に基づいた取組を推進します。
- ・ 被災市町村を含めた県全体の競技スポーツの強化や県民の健康づくり及び体力向上の推進に取り組めます。

**(4) 希望郷いわて国体等と連動した文化・スポーツの発信**

- ・ 希望郷いわて国体及び希望郷いわて大会の開催をPRするとともに、開催に合わせてスポーツ博覧会や芸術作品等の展示展を開催することにより、本県の文化・スポーツを全国に向けて発信します。

## V 業務推進の基本姿勢

### (1) 教育行政の推進機能の充実

- ・ 総合教育会議等を通じて、様々な教育課題に関する知事との協議・調整を行うほか、緊急の場合には速やかに機動的な対応を協議するなど、教育行政の推進に関し、知事との連携を深めます。
- ・ 教育委員会がその機能を十分に果たせるよう、迅速かつ適切な情報提供を行うなど審議の充実に取り組みます。

### (2) 市町村教育委員会との連携

- ・ 各種施策の推進において教育現場と一体となった取組が進められるよう、市町村教育委員会との一層の連携を図ります。

### (3) 行動規範の確保

- ・ 岩手県職員憲章及び岩手県教職員コンプライアンス・マニュアルに則り、教育に携わる職員としての自信と誇りを持ち、質の高い教育活動を推進します。
- ・ 教職員による不祥事の未然防止のため、日常のチェックや個人の意識高揚はもちろんのこと、予兆を見逃さない、自浄作用が発揮できる組織風土づくりを強化します。
- ・ 児童生徒との信頼関係を構築し、体罰を絶対に起こさない組織風土づくり等を進めることにより、体罰の根絶に取り組みます。

### (4) 学校現場でのOJTの推進

- ・ 教職員の指導力向上を図るため、これまで学校現場で蓄積されてきた知識、経験を共有しながら学校内での日常業務を通じた人材育成を推進するOJT (On the Job Training) による指導、啓発のための取組を推進します。

### (5) 現場支援としての事務局体制の強化

- ・ 教育は学校現場、子どもが主役であることを基底として、事務局の価値は現場支援にあることを再認識し、現場の実態に即した解決が図られるよう、現場主義を一層徹底します。

### (6) 組織横断的な業務推進

- ・ 教育に関わる分野は、自組織のみでは解決困難な業務課題や他部門からの協力要請も多く、関係機関との緊密な連携が必要となることから、福祉・商工労働・地域振興部門やPTA等各種団体、市町村等との連携と役割分担の明確化により課題解決に向けた取組を推進します。

### (7) 業務の効率化及び質の向上

- ・ 業務の改善・効率化に主体的、継続的に取り組み、それぞれの顧客に対する満足度の向上に取り組めます。
- ・ 教職員の負担軽減に向けた協議の場において、各学校や教員が、子どもと向き合う時間を確保するとともに創意工夫ある教育活動を行うことができる環境づくりに取り組みます。

### (8) PDCAサイクルを踏まえた経営計画の推進

- ・ 各所属における経営計画の推進に当たっては、常にPDCAサイクルを意識し、的確な現状分析を踏まえた目標を掲げ、その達成状況を確認しながら必要な改善策を講じ、施策への反映に向けた業務遂行に取り組みます。
- ・ 各教育施策の立案に当たっては、事務事業の点検・評価、サマーレビュー、政策評価等を通じて一体的、計画的に行います。

### (9) 「いわて県民計画」アクションプランの着実な推進

- ・ 「いわて県民計画」第3期アクションプランに掲げる別記の各目標の実現に向け、政策評価を的確に実施するとともに構成する各事業の着実な推進に取り組みます。

### (10) 事務局の組織体制の整備

- ・ 希望郷いわて国体の開催等によるスポーツや文化の機運の盛り上がりを復興やふるさと振興等につなげていくとともに、第3期アクションプランに掲げる施策を推進し、岩手を担う人材を育成していくための望ましい事務局の組織体制のあり方を検討します。

(別記) いわて県民計画第3期アクションプラン【政策編】に掲げる目標値(目指す姿指標)

#### 24 児童生徒の学力向上

- ① 学習定着度状況調査(小学校5年生・中学校2年生)及び基礎力確認調査(高校2年生)において、「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合  
(基準値: H26) 69% → (目標: H30) 73%
- ② 学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)
  - ・ 2時間以上(基準値: H26) 18% → (目標: H30) 21%
  - ・ 1時間未満(基準値: H26) 39% → (目標: H30) 36%

#### 25 豊かな心を育む教育の推進

- ① 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合  
(基準値: H26) 75% → (目標: H30) 79%
- ② 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合  
(基準値: H26) 65% → (目標: H30) 67%

#### 26 健やかな体を育む教育の推進

- ① 体力・運動能力調査の総合評価(5段階: A~E)のA・B・C段階の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)  
(基準値: H26) 79.7% → (目標: H30) 80.0%
- ② 「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)  
(基準値: H26) 85.9% → (目標: H30) 86.5%

#### 27 特別支援教育の充実

- ① 特別な支援を必要とする児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合  
(基準値: H26) 81% → (目標: H30) 100%
- ② 特別支援学校における交流学习等により地域の学校との交流を行っている児童生徒数(延べ人数)  
(基準値: H26) 491人 → (目標: H30) 1,500人

#### 28 家庭・地域との協働による学校経営の推進

- ① 学校評価結果等を踏まえて学校運営方針や重点項目等を見直し、組織的に学校経営の改善に取り組んでいる学校の割合  
(基準値: H26) — → (目標: H30) 100%
- ② 教育計画の中に様々な自然災害等に「そなえる」教育活動(防災教育)を具体的に取り入れて再構築した学校の割合  
(基準値: H26) — → (目標: H30) 100%

#### 29 生涯を通じた学びの環境づくり

- ① 生涯学習リーダー登録者数(累計)  
(基準値: H26) 730人 → (目標: H30) 810人
- ② 生涯学習に関する研修会等への参加者数  
(基準値: H26) 6,194人 → (目標: H30) 7,000人

#### 31 文化芸術の振興

- ① 県内の公立文化施設における催事数  
(基準値: H26) 1,182件 → (目標: H30) 1,300件

② 民俗芸能ネットワーク加盟団体数

(基準値：H26) 400 団体 → (目標：H30) 408 団体

33 豊かなスポーツライフの振興

① スポーツ実施率(週1回以上のスポーツ実施率)

(基準値：H26) 52.8% → (目標：H30) 56.0%

② 国民体育大会天皇杯得点順位

(基準値：H26) 37 位 → (目標：H30) 20 位台

## 第2 岩手県教育委員会

### 1 教育委員会教育長及び委員（平成29年3月31日現在）

職	氏名	委員としての任期
教育長	高橋 嘉行	平成26年4月1日～平成28年3月31日 (新制度教育長 平成28年4月1日～平成31年3月31日)
委員 (教育長職務代理者[第1順位] 平成28年4月1日～)	八重樫 勝	平成27年10月11日～平成31年10月10日 (平成19年10月11日～平成27年10月10日) (旧制度委員長 平成21年10月11日～平成28年3月31日)
委員 (教育長職務代理者[第2順位] 平成28年4月1日～)	小平 忠孝	平成25年10月11日～平成29年10月10日 (平成21年10月11日～平成25年10月10日)
委員	芳沢 莖子	平成28年10月1日～平成32年9月30日 (成24年10月1日～平成28年9月30日)
委員	藤井 克己	平成26年10月1日～平成30年9月30日
委員	畠山 将樹	平成28年10月1日～平成32年9月30日

### 2 事務局及び学校以外の教育機関の職員の異動状況（平成28年度定期人事異動、単位：人）

異動区分		退職	転出	昇任	配置換等	転入	採用	計
職の区分	指導主事、社会教育主事等の専門職員	2	33	35	62	26	0	158
教育長・事務職員	教育長	0	0	0	0	0	0	0
	次長級	0	2	2	0	1	0	5
	総括課長級	6	6	0	9	9	0	30
	担当課長級	0	2	2	6	0	0	10
	主任主査級	0	5	12	1	3	0	21
	主査級	1	6	3	33	7	0	50
	主事級	1	1	0	10	1	4	17
	小計	8	22	19	59	21	4	133
	技能労務職員	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	55	54	121	47	4	291

### 3 教育委員会会議開催状況（平成28年度）

区分	開催回数(回)
定例会	12
臨時会	1
協議会	7

### 第3 表彰及び栄典

#### 1 平成28年度文部科学大臣表彰（本県関係）

##### (1) 教育者表彰

平 賀 信 二 （岩手県立盛岡第一高等学校長）  
菅 原 正 弘 （盛岡市立河南中学校長）  
柳 村 栄 （盛岡市立山岸小学校長）

##### (2) 優秀教員表彰

中 村 重 高 （盛岡市立渋民中学校）  
酒 井 めぐみ （矢巾町立矢巾中学校）  
橋 本 大 助 （遠野市立遠野中学校）  
矢 鳴 慶 之 （岩手県立盛岡第一高等学校）  
佐 藤 幸 久 （岩手県立盛岡第一高等学校）  
小 野 幸 一 （岩手県立不来方高等学校）  
長 沼 晃 一 （岩手県立高田高等学校）

盛岡市立下橋中学校 教職員一同

岩手県立宮古工業高等学校 教職員一同

##### (3) 地方教育行政功労者表彰

鈴 木 功 （一関市教育委員会委員長）  
新 田 章 （金ケ崎町教育委員会教育長）  
佐 藤 浩 一 （前大船渡市教育委員会委員長）

##### (4) 社会教育功労者表彰

主 濱 恵 悦 （滝沢市子ども会育成会連絡協議会会長）

##### (5) 優良PTA表彰

盛岡市立大宮中学校PTA （盛岡市）  
住田町立有住中学校PTA （住田町）  
一関市立真滝幼稚園PTA （一関市）

##### (6) 優良公民館表彰

金ケ崎町三ヶ尻地区公民館  
久慈市立大川目公民館  
宮古市新里生涯学習センター

##### (7) 地域文化功労者表彰

煤孫ひな子剣舞保存会  
道地ひな子剣舞保存会

##### (8) 生涯スポーツ功労者表彰

高 瀬 一 行 （岩手県水泳連盟副会長）  
小笠原 義 文 （岩手県バレーボール協会会長）

##### (9) 生涯スポーツ優良団体表彰

唐丹地区スポーツ、文化コミュニティークラブ

##### (10) 学校保健及び学校安全表彰

###### ア 学校保健関係

佐 藤 誠 之 （学校医）  
三 澤 芳 光 （学校歯科医）  
菅 野 悦 哉 （学校歯科医）

##### (11) 視聴覚教育功労者表彰

石 塚 公美子 （滝沢市）

##### (12) スポーツ推進委員功労者

實 吉 義 正 （陸前高田市）

##### (13) 子どもの読書活動優秀実践表彰

###### ア 団体（者）表彰

花巻図書館読み聞かせボランティアグループもじもじクラブ（花巻市）

イ 図書館表彰

一関市立花泉図書館

ウ 学校表彰

一関市立南小学校

宮古市立宮古西中学校

(14) 優れた「地域による学校支援活動」推進表彰

山口小学校支援地域本部（宮古市）

長島わくわくフィールド（平泉町）

鵜住居子どもひろば（釜石市）

2 平成 28 年度岩手県教育表彰

(1) 事績顕著者

本県教育文化の発展向上に尽力した功労者 59 人、11 団体を表彰した。

ア 学校教育

住田町立世田米中学校

岩手県立遠野緑峰高等学校

イ 学校保健

米 沢 俊 一（学校医）

森 茂 雄（学校医）

嶋 信（学校医）

川守田 安 彦（学校医）

木 村 宗 孝（学校医）

小 原 進（学校医）

石 橋 春 美（学校医）

南 吉 文（学校医）

伊 藤 知 夫（学校医）

富 田 ナナ子（学校医）

中 野 淳 平（学校医）

薄 田 徹（学校医）

外 川 正（学校歯科医）

岡 田 俊 夫（学校歯科医）

佐々木 保（学校歯科医）

三 田 透（学校歯科医）

松 嶋 正 造（学校歯科医）

牛 袋 徳 道（学校歯科医）

菊 月 圭 吾（学校歯科医）

前 田 光 義（学校歯科医）

山 口 一 成（学校歯科医）

畠 山 良 彦（学校歯科医）

及 川 忠 男（学校歯科医）

細 川 貴 孝（学校歯科医）

道 又 元（学校歯科医）

大 橋 由 香（学校歯科医）

田 口 淳（学校歯科医）

吉 田 阿 子（学校歯科医）

岩 本 一 夫（学校歯科医）

八重樫 育 男（学校歯科医）

関 合 正 行（学校歯科医）

山 田 裕 司 (学校薬剤師)  
阿 部 淳 子 (学校薬剤師)  
新 淵 宏 (学校薬剤師)  
日 向 利 明 (学校薬剤師)  
新 淵 光 子 (学校薬剤師)  
佐 藤 和可子 (学校薬剤師)

#### ウ 社会教育

瀬 川 愛 子 (八幡平市婦人会連絡協議会会長)  
洋野町立種市幼稚園父母の会  
平泉町立平泉小学校 P T A  
釜石市立栗林小学校 P T A  
岩手県立久慈高等学校 P T A  
岩手県立釜石祥雲支援学校 P T A

#### エ スポーツ

小 林 陵 侑 (スキー・土屋ホーム)  
村 竹 啓 恒 (スケート・岩手県体育協会)  
春 本 実 (岩手県パワーリフティング協会会長)  
佐 藤 力 男 (岩手県ウエイトリフティング協会会長)  
鈴 木 俊 祐 (盛岡市ソフトボール協会会長)  
高 橋 篤 (金ケ崎町ソフトボール協会会長)  
佐々木 正 人 (ホッケー・沼宮内高等学校)  
佐 藤 幸 久 (登山・盛岡第一高等学校)  
鬼 柳 忠 彦 (ボクシング・江南義塾盛岡高等学校)  
藤 井 雅 史 (陸上・盛岡第一高等学校)  
早 坂 富 夫 (岩手町体育協会会長)  
佐々木 豊 秋 (住田町スポーツ推進委員協議会会長)  
コムスポクラブ東厨川 (盛岡市)  
一般財団法人金ケ崎町生涯スポーツ事業団 (金ケ崎町)

#### オ 学術、文化

澤 藤 範次郎 (民芸品作家、文筆家)  
一関カメラクラブ (一関市)  
滴石史談会 (雫石町)

#### カ 教育行政

藤 波 洋 香 (元岩手県教育委員会委員)  
佐 藤 秀 道 (前紫波町教育委員会委員)  
藤 澤 俊 明 (前遠野市教育委員会教育長)  
鈴 木 功 (一関市教育委員会委員長)  
伊 藤 正 治 (大槌町教育委員会教育長)  
青 澤 侑 子 (前洋野町教育委員会委員長)  
清 川 泰 (二戸市教育委員会委員長)  
鳩 岡 矩 雄 (二戸市教育委員会教育長)

(2) 永年勤続者 583 人

3 平成 28 年度叙勲（本県関係）

春秋の別	経 歴	氏 名	年齢	勲 等
春	元岩手県立紫波高等学校長	佐々木 努	79	瑞宝小綬章
春	元岩手県立花巻南高等学校長	細 川 勝 郎	72	瑞宝小綬章
春	元岩手県立花巻養護学校長	成 田 甲子夫	71	瑞宝小綬章
春	元盛岡市立北松園小学校長	須 崎 金之丞	79	瑞宝双光章
春	現学校医	高砂子 祐 平	77	瑞宝双光章
春	元千厩町立千厩中学校長	阿 部 彌 八	77	瑞宝双光章
春	元水沢市立真城小学校長	及 川 紀美子	75	瑞宝双光章
春	元水沢市立水沢小学校長	今 野 隆 夫	74	瑞宝双光章
秋	元岩手県立藤沢高等学校長	小野寺 誠四郎	73	瑞宝小綬章
秋	元岩手県立平舘高等学校長	萩 原 邦 夫	73	瑞宝小綬章
秋	元滝沢村立一本木小学校長	市 川 杜 夫	79	瑞宝双光章
秋	元紫波町立赤沢小学校長	星 川 正 夫	78	瑞宝双光章
秋	現学校医	菅 野 恒 治	77	瑞宝双光章
秋	元盛岡市立本宮小学校長	馬 場 英 彦	77	瑞宝双光章
秋	元水沢市立水沢中学校長	山 内 孝 義	74	瑞宝双光章
秋	元北上市立北上中学校長	照 井 健	72	瑞宝双光章
秋	元岩手県ソフトボール協会副会長	岩 舘 健三郎	70	旭日単光章

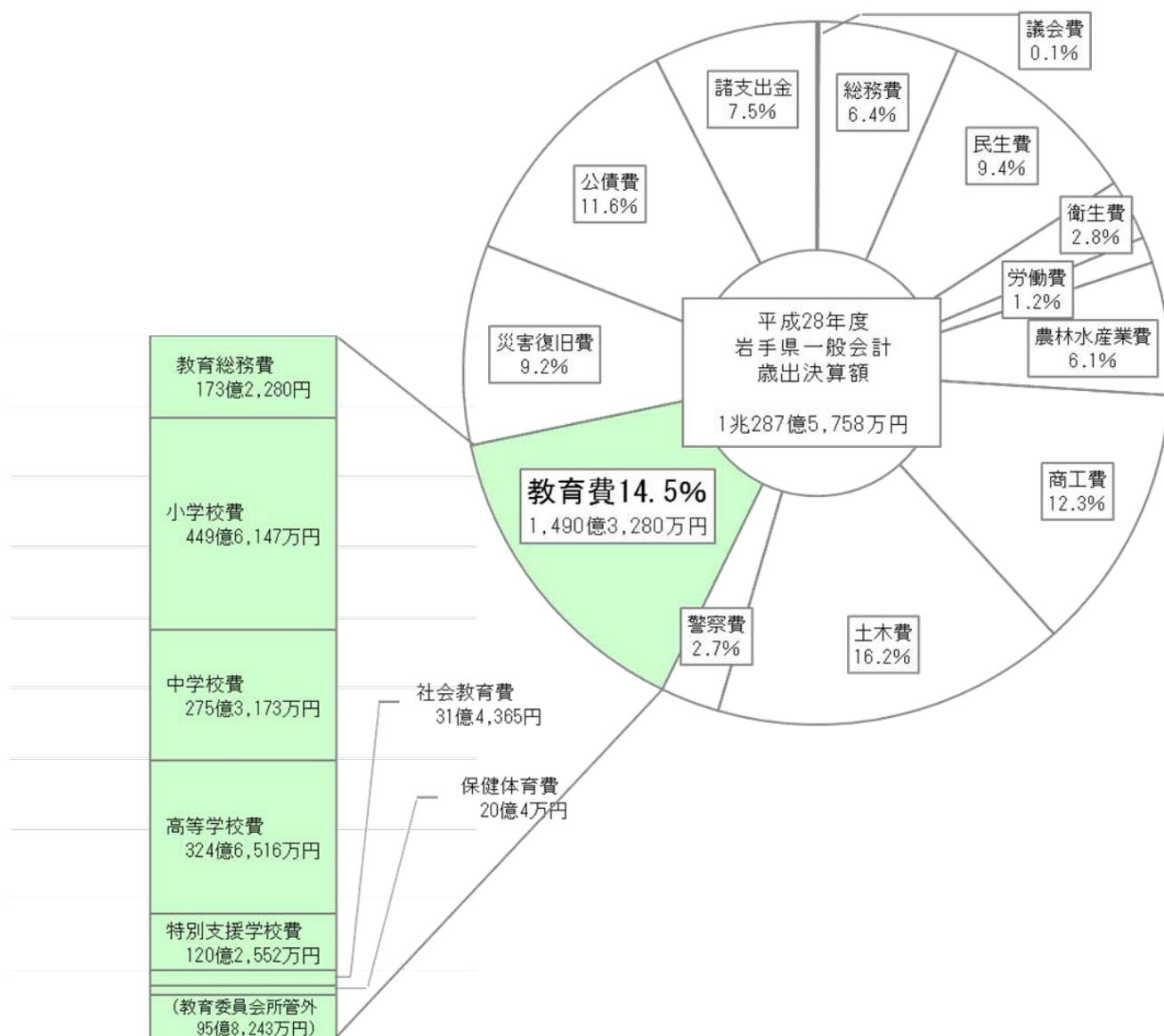
## 第2節 教育財政

### ○ 平成28年度岩手県一般会計決算と教育費決算の概要

平成28年度の岩手県一般会計歳入歳出決算額は、歳入1兆1,452億2,906万円、歳出1兆287億5,757万円であり、これを前年度決算額に比べると、歳入△0.2%、歳出△0.7%とそれぞれ減少した。

一般会計歳出決算額のうち教育委員会所管分は、教育費1,490億3,280万円のうち1,394億5,037万円及び災害復旧費947億1,209万円のうち2億1,934万円の計1,396億6,971万円であり、一般会計歳出決算額に占める割合は、13.6%となっている。

### 【平成28年度岩手県一般会計歳出決算額 目的別構成比】



【平成 28 年度 教育費 歳出予算・決算額】

区 分	最終予算額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不 用 額 (A-B-C)
一般会計総額	1,349,097,796,983	1,028,757,571,453	282,417,824,971	37,922,400,559
教育費(教委所管分)	141,029,270,000	139,450,368,684	244,296,200	1,334,605,116
教育総務費	17,617,048,000	17,322,801,895	1,879,200	292,366,905
教育委員会費	30,442,000	29,889,810	0	552,190
事務局費	2,742,464,000	2,684,933,028	1,879,200	55,651,772
教職員人事費	13,265,955,000	13,064,011,618	0	201,943,382
教育指導費	1,033,519,000	1,004,687,285	0	28,831,715
教育センター費	448,424,000	443,335,598	0	5,088,402
恩給及び退職年金費	96,244,000	95,944,556	0	299,444
小学校費	45,030,170,000	44,961,467,094	0	68,702,906
教職員費	45,030,170,000	44,961,467,094	0	68,702,906
中学校費	27,568,958,000	27,531,731,291	0	37,226,709
教職員費	27,563,060,000	27,526,036,321	0	37,023,679
学校管理費	5,898,000	5,694,970	0	203,030
高等学校費	32,807,567,000	32,465,159,056	204,073,000	138,334,944
高等学校総務費	25,946,522,000	25,904,309,809	0	42,212,191
全日制高等学校管理費	1,557,388,000	1,529,856,225	12,000,000	15,531,775
定時制高等学校管理費	61,485,000	60,414,863	0	1,070,137
教育振興費	3,981,691,000	3,966,493,199	0	15,197,801
学校建設費	1,254,904,000	998,508,785	192,073,000	64,322,215
通信教育費	5,577,000	5,576,175	0	825
特別支援学校費	12,100,911,000	12,025,519,220	21,064,000	54,327,780
特別支援学校費	12,100,911,000	12,025,519,220	21,064,000	54,327,780
社会教育費	3,709,335,000	3,143,648,611	17,280,000	548,406,389
社会教育総務費	1,222,258,000	1,207,983,953	0	14,274,047
文化財保護費	642,674,000	629,824,890	0	12,849,110
芸術文化振興費	743,731,000	226,985,080	0	516,745,920
図書館費	294,745,000	293,544,667	0	1,200,333
博物館費	380,713,000	362,442,251	17,280,000	990,749
美術館費	425,214,000	422,867,770	0	2,346,230
保健体育費	2,195,281,000	2,000,041,517	0	195,239,483
保健体育総務費	779,201,000	730,879,778	0	48,321,222
体育振興費	770,266,000	734,419,115	0	35,846,885
体育施設費	645,814,000	534,742,624	0	111,071,376
災害復旧費(教委所管分)	233,116,000	219,336,746	5,812,000	7,967,254
教育施設災害復旧費	233,116,000	219,336,746	5,812,000	7,967,254
学校施設災害復旧費	208,654,000	195,457,946	5,812,000	7,384,054
体育施設災害復旧費	24,462,000	23,878,800	0	583,200
(教育委員会所管分計)	141,262,386,000	139,669,705,430	250,108,200	1,342,572,370

[単位：円、%]

区 分	前年度最終予算額 (D)	対前年比(金額) E (A-D)	対前年比(増減率) E/D
一般会計総額	1,291,146,480,257	57,951,316,726	4.5
教育費（教委所管分）	140,580,836,000	448,434,000	0.3
教育総務費	15,582,672,000	2,034,376,000	13.1
教育委員会費	15,803,000	14,619,000	92.5
事務局費	2,856,562,000	△ 114,098,000	△ 4.0
教職員人事費	11,101,641,000	2,164,314,000	19.5
教育指導費	1,056,266,000	△ 22,747,000	△ 2.2
教育センター費	446,172,000	2,252,000	0.5
恩給及び退職年金費	106,228,000	△ 9,984,000	△ 9.4
小学校費	45,535,865,000	△ 505,695,000	△ 1.1
教職員費	45,535,865,000	△ 505,695,000	△ 1.1
中学校費	27,981,940,000	△ 412,982,000	△ 1.5
教職員費	27,976,014,000	△ 412,954,000	△ 1.5
学校管理費	5,926,000	△ 28,000	△ 0.5
高等学校費	34,806,801,000	△ 1,999,234,000	△ 5.7
高等学校総務費	25,942,118,000	4,404,000	0.0
全日制高等学校管理費	1,547,363,000	10,025,000	0.6
定時制高等学校管理費	56,561,000	4,924,000	8.7
教育振興費	6,388,923,000	△ 2,407,232,000	△ 37.7
学校建設費	866,259,000	388,645,000	44.9
通信教育費	5,577,000	0	0.0
特別支援学校費	10,787,640,000	1,313,271,000	12.2
特別支援学校費	10,787,640,000	1,313,271,000	12.2
社会教育費	3,354,601,000	354,734,000	10.6
社会教育総務費	1,310,969,000	△ 88,711,000	△ 6.8
文化財保護費	630,295,000	12,379,000	2.0
芸術文化振興費	268,389,000	475,342,000	177.1
図書館費	374,359,000	△ 79,614,000	△ 21.3
博物館費	320,697,000	60,016,000	18.7
美術館費	449,892,000	△ 24,678,000	△ 5.5
保健体育費	2,531,317,000	△ 336,036,000	△ 13.3
保健体育総務費	826,077,000	△ 46,876,000	△ 5.7
体育振興費	832,027,000	△ 61,761,000	△ 7.4
体育施設費	873,213,000	△ 227,399,000	△ 26.0
災害復旧費（教委所管分）	25,850,000	207,266,000	801.8
教育施設災害復旧費	25,850,000	207,266,000	801.8
学校施設災害復旧費	21,908,000	186,746,000	852.4
体育施設災害復旧費	3,942,000	20,520,000	520.5
（教育委員会所管分計）	140,606,686,000	655,700,000	0.5

## [参考] 管理部門

### 1 市町村立学校

#### (1) 教職員の人事異動

平成 28 年度公立小中学校教職員定期人事異動は、全県の視野に立った教職員の適正配置及び人事の刷新を図り、本県教育の一層の活性化と充実向上を期するため、公立小中学校教職員定期人事異動方針及び人事異動要領に基づき、以下のとおり、全県の視野に立った交流を進めるとともに、教職員の構成等にも配慮する適正な配置を行った。

ア 県内をA(盛岡・岩手)、B(花巻・遠野・北上・西和賀)、C(奥州・一関)、D(久慈・二戸)、E(宮古・宮古北)、F(釜石・大船渡)の6ブロック 14 地区とし、在任中に2ブロック 3 地区以上勤務することを原則とした。

イ ABCブロックとDEFブロック間の異動を積極的に行い、交流を活発にした。

ウ へき地学校とその他の学校との交流を行い、3級以上のへき地学校に3年以上勤務した者の配置換えを行った。

エ 小中学校併設校 8 校全校に副校長を置き(小中学校兼務を含む)、地域における学校運営体制の充実を図った。

オ 管理職については、広く有為な人材の発掘に努め、若手、女性を積極的に登用した。新たに 75 人の校長と 103 人の副校長を登用した。

カ 新採用教員については、6 教育事務所に配置した。

教諭の新規採用は 142 人であった。

キ 退職者は 371 人であり、校長は 90 人、副校長は 41 人であった。

【平成 28 年度公立小中学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	小学校			中学校			計		
	同一市町村	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計
校長	35	101	136	18	64	82	53	165	218
副校長	32	114	146	10	56	66	42	170	212
主幹教諭	6	15	21	7	7	14	13	22	35
教諭(指導教諭)	278	319	597	176	246	422	454	565	1,019
養護教諭(指導養護教諭含む)	37	39	76	9	20	29	46	59	105
栄養教諭	4	8	12	1	2	3	5	10	15
学校栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務職員	33	38	71	10	21	31	43	59	102
小計	425	634	1,059	231	416	647	656	1,050	1,706
市町村教委等転出	13			8			21		
合計	1,072			655			1,727		

注：事務局及び県立学校への転出者(小学校 14 人、中学校 0 人、計 14 人)を含まない。

校種間異動者(中学校から小学校へ 18 人、小学校から中学校へ 23 人)を含んでいる。

小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程を含む。

【校長登用者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	3	1	4
同一教育事務所管外	47	24	71
計	50	25	75

【副校長登用者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	4	0	4
同一教育事務所管外	65	34	99
計	69	34	103

【新採用職員】[単位：人]

	小学校	中学校	計
教諭	98	44	142
養護教諭	16	6	22
栄養教諭	1	0	1
事務職員	14	1	15
計	129	51	180

【退職者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
校長	68	22	90
副校長	27	14	41
教諭	124	44	168
養護教諭	32	10	42
学校栄養職員	1	0	1
事務職員	18	11	29
計	270	101	371

## (2) 教育相談員

教育相談員は、公立小・中学校の教育に関する事項について教職員の相談に応じ助言を与え、教育効果の向上を図るため、各教育事務所に配置している。

各相談員とも、年度当初訪問の計画を立て、積極的に学校訪問をし、一人当たりの平均訪問学校は63.4校であった。

相談内容は多岐にわたるが、特に新任校長、新任副校長や、へき地学校の教職員に対しては貴重な相談機会となっている。

## 2 県立学校

【平成28年度県立学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	退職	昇任、配置換、転出	転入、採用	計
高等学校教員	58	325	68	451
特別支援学校教員	30	104	46	180
実習助手	4	10	10	24
寄宿舍指導員	2	17	5	24
事務職員	21	92	40	153
栄養教諭・栄養士	0	1	0	1
技能労務・海事職員	10	6	4	20
計	125	555	173	853

このうち、校長は、退職が16人であり、任命換、配置換、昇任、転入及び採用が36人であった。

### (1) 校長・副校長

学校・学科の別にとらわれることなく、適材を適所に配置する観点から、14人を校長に登用した。また、広く全県的視野に立って、17人の中堅教員を副校長に登用した。

### (2) 一般職員

次の観点から交流を行い、組織の活性化を図った。

ア 東北新幹線沿線地域に勤務する教員と、それ以外の地域に勤務する教員との交流、特に沿岸被災地の学校に勤務する教員、人事上のへき地及び県北地域に勤務する教員との交流に重点を置いた。

イ 全日制と定時制・通信制、また、普通高校と専門高校の間の教員の交流を図った。

なお、平成28年度の人事異動は例年よりやや少ない程度の規模となった。

[参考] 市町村教育委員会

1 市町村教育委員会委員長（平成29年3月31日現在）

市町村名	氏名		委員長の任期
盛岡市	—	—	—
八幡平市	伊藤政行	(再)	平成28年11月15日～平成29年11月14日
雫石町	上野宏	(再)	平成28年10月1日～平成29年9月30日
葛巻町	竹川高行	(新)	平成28年10月3日～平成29年9月30日
岩手町	—	—	—
滝沢市	佐藤恭孝	(再)	平成28年12月23日～平成29年4月1日
紫波町	—	—	—
矢巾町	—	—	—
花巻市	照井善耕	(再)	平成29年3月25日～平成30年3月24日
遠野市	—	—	—
北上市	—	—	—
西和賀町	深澤武志	(再)	平成29年1月1日～平成29年3月31日
奥州市	吉田政	(再)	平成29年3月31日～平成30年3月30日
金ヶ崎町	—	—	—
一関市	鈴木功	(再)	平成28年10月29日～平成29年10月28日
平泉町	佐熊睦子	(再)	平成28年10月1日～平成29年9月30日
大船渡市	千葉雅夫	(再)	平成28年10月1日～平成29年9月30日
陸前高田市	—	—	—
住田町	多田茂	(再)	平成28年4月1日～平成29年3月31日
釜石市	—	—	—
大槌町	—	—	—
宮古市	佐々木敏美	(再)	平成28年8月30日～平成29年8月29日
山田町	山崎喜六	(再)	平成28年7月19日～平成29年4月1日
岩泉町	伊東勝幸	(再)	平成28年12月21日～平成29年3月31日
田野畑村	熊谷勤己	(再)	平成28年10月1日～平成29年9月30日
久慈市	成田不美	(再)	平成28年4月1日～平成29年3月31日
洋野町	—	—	—
野田村	—	—	—
普代村	佐々木康雄	(再)	平成28年10月1日～平成29年9月30日
二戸市	—	—	—
軽米町	—	—	—
九戸村	—	—	—
一戸町	春日川寛治	(再)	平成28年12月25日～平成29年12月24日

注：(新)、(再)はそれぞれ平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

## 2 市町村教育委員会教育長（平成29年3月31日現在）

市町村名	氏名		教育長の任期
盛岡市	千葉仁一	(再)	平成28年10月1日～平成31年9月30日
八幡平市	遠藤健悦		平成25年11月15日～平成29年11月14日
雫石町	吉川健次		平成25年12月26日～平成29年12月25日
葛巻町	中田直雅		平成25年12月25日～平成29年12月24日
岩手町	平澤勝郎	(再)	平成28年11月1日～平成31年10月31日
滝沢市	熊谷雅英		平成25年4月2日～平成29年4月1日
紫波町	侘美淳	(再)	平成28年10月1日～平成31年9月30日
矢巾町	越秀敏		平成27年10月1日～平成31年9月30日
花巻市	佐藤勝		平成26年4月1日～平成30年3月31日
遠野市	中浜艶子	(新)	平成28年4月1日～平成31年3月31日
北上市	小原善則		平成27年6月1日～平成30年5月31日
西和賀町	船田浩		平成26年4月1日～平成30年3月31日
奥州市	田面木茂樹		平成27年3月30日～平成30年3月31日
金ヶ崎町	千葉祐悦	(新)	平成28年10月1日～平成31年9月30日
一関市	小菅正晴		平成26年4月1日～平成29年10月28日
平泉町	岩渕実		平成27年1月1日～平成30年12月31日
大船渡市	今野洋二		平成25年10月1日～平成29年9月30日
陸前高田市	山田市雄	(再)	平成28年10月1日～平成31年9月30日
住田町	菊池宏		平成26年10月1日～平成30年9月30日
釜石市	佐藤功	(再)	平成28年10月1日～平成31年9月30日
大槌町	伊藤正治		平成28年3月31日～平成31年3月30日
宮古市	伊藤晃二		平成25年8月30日～平成29年8月29日
山田町	佐々木毅		平成25年4月2日～平成29年4月1日
岩泉町	三上潤		平成25年4月1日～平成29年3月31日
田野畑村	袈岩敏雄		平成26年1月6日～平成29年12月31日
久慈市	加藤春男		平成26年4月28日～平成30年4月27日
洋野町	向折戸博昭	(新)	平成29年3月1日～平成32年2月29日
野田村	—		—
普代村	三船雄三		平成26年4月2日～平成30年3月31日
二戸市	鳩岡矩雄	(再)	平成29年2月22日～平成32年2月21日
軽米町	菅波俊美	(再)	平成28年10月24日～平成31年10月23日
九戸村	漆原一三	(再)	平成28年7月9日～平成31年7月8日
一戸町	古舘英彦		平成26年4月1日～平成30年3月31日

注：(新)、(再)はそれぞれ平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

### 3 市町村教育委員等研修

- 平成 28 年度市町村教育委員会研究協議会（第 1 ブロック）

【会場：石川県金沢市・石川県文教会館ホール、金沢ニューグランドホテル】

1 日目（平成 28 年 11 月 21 日）

- ・行政説明

文部科学省

- ・基調講演

「次期学習指導要領の目指す姿について」

講師 文部科学省初等中等教育局国際教育課外国語教育推進室長 圓入 由美 氏

- ・パネルディスカッション

「次期学習指導要領の実施を見据えた、小中学校における英語教育の充実」

2 日目（平成 28 年 11 月 22 日）

- ・分科会

「校種間の連携を生かした取組について（小中高で取り組む英語教育について）」

「インターネット等適正利用促進について」

「家庭・地域と連携した食育の推進」

# 第3章 教育施策の推進状況

## 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

### 第1 目標達成型の学校経営の推進

各学校がそれぞれの学校の現状と地域の状況、東日本大震災津波からの復旧・復興状況などを踏まえながら、中長期的な目標の下、毎年度の達成目標とその実現方策を明らかにした学校経営計画を定め、実行し、その成果と課題を検証していくというPDCAサイクルに基づく学校経営の取組を推進した。

#### 1 目標達成型の学校経営の推進

校長のリーダーシップの下、家庭・地域との協働体制の強化を図り、学校経営計画の方針策定や実行プロセスへの校内教職員の参画、学校内外の評価なども取り入れたPDCAサイクルに基づく学校経営を推進した。

重視する教育活動について、目指すべき成果やそれに向けた取組の具体的な目標を定めた「まなびフェスト」の公立小・中学校における作成状況は100%である。

#### 2 家庭・地域社会との協働の促進

学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちの生きる力を育むため、学校では、家庭や地域と協働する「いわて型コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、家庭や地域との相互交流を積極的に促進するとともに、学校運営についても、家庭や地域の願い・意見等を把握しながら絶えず見直し、改善の努力をしていく「開かれた学校づくり」を推進した。

#### 3 「開かれた学校づくり」の推進

##### (1) 地域連携の窓口となる教員の配置

地域や学校の実態に応じて、地域連携の窓口となる教員を配置し、積極的に地域社会と連携した開かれた学校づくりを推進した。

配置の状況は、小・中学校、高校、特別支援学校ともに100%である（平成26年度）。

##### (2) 学校評議員の設置

児童生徒や保護者、地域住民の学校教育に対する意向を把握するとともに、学校運営などについて説明責任を果たすため、学校評議員の設置を推進した。全ての県立学校で設置され、小・中学校においても82.5%で設置されている（平成26年度）。

#### 【目標】

児童生徒や保護者、地域住民の意向を把握するとともに、学校運営などの説明責任を果たすため、全ての県立学校において学校評議員を設置する。

なお、小・中学校に対しては、各学校の実情に応じた積極的な取組について指導する。

<b>【進捗状況】</b>			<b>【今後の取組】</b> 学校評議員の積極的な活用を図るため、各校に学校評議員の活用状況等に係る情報を提供するとともに、各市町村教育委員会に対して設置の働きかけを行う。
平成26年度	岩手県	全国平均	
公立小学校	280校(82.8%)	75.4%	
公立中学校	135校(81.8%)		
公立高等学校	65校(100%)		
公立特別支援学校	13校(100%)		

### (3) 学校評価の実施

学校運営の改善や活性化を進め、教育活動に係る家庭や地域等への説明責任を果たすため、学校自己評価及び評価結果の公表を推進するとともに、自己評価結果に対する学校関係者評価を推奨している。ほとんどの学校が自己評価を行ったが、学校関係者評価については小・中学校で全国平均を下回っているものの、8割を超える学校が実施している。

### (4) ホームページの開設

<b>【目標】</b>						
平成19年に改正された学校教育法及び施行規則等の規定に沿った学校評価の実施を推進する。						
(1) 学校は自ら評価を行い、その結果を公表する（義務規定）。						
(2) 学校は、学校関係者評価を行い、その結果を公表するよう務める（努力規定）。						
(3) 学校は、自己評価及び学校関係者評価を行った場合は、その結果を設置者に報告する。						
<b>【実施状況】</b>	自己評価の実施		自己評価結果の公表		学校関係者評価の実施	
平成26年度	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国
公立小学校	338校(100%)	99.9%	331校(97.9%)	99.9%	304校(89.9%)	96.0%
公立中学校	165校(100%)		163校(98.8%)		146校(88.5%)	
公立高等学校	65校(100%)		65校(100%)		63校(96.9%)	
公立特別支援学校	13校(100%)		13校(100%)		13校(100%)	

学校からの情報発信力を強化するため、全ての県立学校においてホームページを開設しているが、小・中学校における開設状況は8割を下回っている。

<b>【目標】</b>		
全学校でのホームページの開設及び学校情報の発信に取り組む。		
<b>【進捗状況】</b>	平成28年度岩手県	<b>【今後の取組】</b> 学校運営等の積極的な情報発信の趣旨からもその充実を図るため、運用に際しての掲載すべき内容や先進事例を紹介する。
公立小学校	78.1%	
公立中学校	70.5%	
県立学校	100%	

## 4 地域との交流の促進

地域におけるボランティア活動、伝統芸能等の継承、行事や祭事への積極的な参加、社会福祉施設との連携等、地域に開かれた学校づくりを実践的に推進した。

## 5 地域の人材の活用

地域の伝統文化・芸能の継承活動等において、保護者や地域の方々を指導者として招き、児童生徒が地域を理解する学習の推進を図った。

また、日常の各教科や総合的な学習の時間等においても、保護者や地域の専門的な知識・技能を有する方々をゲストティーチャーとして積極的に招聘するなど、地域の人材の活用を積極的に推進した。

## 6 学校の開放

地域住民の交流や学習の拠点としての役割を担う観点から、学校の体育施設等や学校図書館、空き教室等の積極的な開放を行った。

## 第2 社会人として自立できる能力の育成

社会の仕組みや経済社会の構造、高度情報化社会の特性、持続可能な社会をつくる取組等について、国際理解教育、情報教育、環境教育等を推進することにより、高校卒業までに、社会を生きる人間として必要な知識・技能を習得させ、自ら学ぶ態度を養うよう努めた。

さらに、児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立する能力を育成するため、「いわてキャリア教育指針」に基づき、「いわてキャリア教育の手引き」を活用して、学校の取組の促進に努めた。

### 1 児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実

各学校が児童生徒の実態等に応じて、わかる授業を基盤とした、習熟の程度に応じた指導などの少人数指導や繰り返し学習などきめ細かな指導ができるように、児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実に努めた。

### 2 社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造等

各学校が総合的な学習の時間などを中心に体験的な学習を積極的に取り入れ、児童生徒の関心・意欲や思考力、判断力、表現力を育成し、社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造に取り組むことができるよう、支援・指導の充実に努めた。

### 3 学校裁量を生かした創意工夫

#### (1) 平成28年度文部科学省・岩手県教育委員会研究指定校（高等学校を除く）

##### 文部科学省指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名	指定年度
道徳教育の抜本的改善・充実	県 北	久慈市立長内中学校	H28
人権教育研究指定校事業	沿岸南部	大船渡市立末崎中学校	H27・28
英語教育強化地域拠点事業	盛 岡	紫波町立日詰小学校・古館小学校・赤石小学校・紫波第一中学校・紫波総合高等学校	H26・27・28
防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業	盛 岡	八幡平市教育委員会	H28
	中 部	花巻市教育委員会	
	県 南	奥州市教育委員会 一関市教育委員会	
	県 北	二戸市教育委員会	
教育課程研究指定校事業	盛 岡	盛岡市立河北小学校（道徳） 矢巾町立矢巾東小学校（理科） 葛巻町立小屋瀬小学校（へき地教育）	H27・28 H27・28 H28

##### 岩手県教育委員会指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名	指定年度
県研究指定校事業	盛 岡	盛岡市立下橋中学校（思考力等） 盛岡市立繫小・中学校（小中連携教育） 滝沢市立滝沢第二小学校（小学校理科）	H28
	宮 古	宮古市立磯鶏小学校（小学校理科）	
	県 南	一関市立磐井中学校（主権者教育）	
防災教育・復興教育推進事業	沿岸南部	大船渡市教育委員会 陸前高田市教育委員会 釜石市教育委員会	H28
	宮 古	宮古市教育委員会 山田町教育委員会 岩泉町教育委員会 田野畑村教育委員会	H28
	県 北	久慈市教育委員会 野田村教育委員会 普代村教育委員会	H28

#### (2) 教科書関係

##### ア 採択の概要

平成26年度に小学校用教科書の採択替えを行い、平成27年度に中学校用教科書の採択替えを行った。

##### イ 教科用図書選定審議会

県教育委員会は、市町村教育委員会及び国立、私立学校の校長の行う教科書採択が円滑適正になされるよう指導、助言、又は援助をするために、平成27年度使用教科用図書選定審議会委員を委嘱した。

教科用図書選定審議会に対し、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条第1項の規定により、次の事項について諮問し、その答申を受けて各採択権者に対し、

指導、助言、援助を行った。

(ア) 平成28年度において使用する義務教育諸学校の教科用図書を各採択権者が採択する場合における採択基準について

(イ) 教科用図書選定のための資料について

#### ウ 教科書展示会

教科書の発行に関する臨時措置法第5条第1項の規定により、平成28年度使用教科書展示会を、平成28年6月17日から14日間、次の18箇所の教科書センターにおいて開催した。

【教科書センター】 岩手中央／盛岡／八幡平／葛巻／花巻／北上／奥州／金ケ崎／県南／川崎／大船渡／住田／遠野／釜石／宮古／岩泉／久慈／二戸

### (3) 高等学校教育全般

平成22年3月に策定した「今後の高等学校教育の基本的方向」では、高校教育の目標について、「「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成」、言い換えれば「自立した社会人としての資質を有する人財（生徒）の育成」としている。

また、平成28年度の高等学校教育指導指針では、学校教育全般にわたる指導の要点を次の23項目とし、教育の本質に根ざした学力の向上と健全育成を目指す学校教育の充実推進に努めた。

#### 【各校共通して取り組む内容の指導の要点】

目標達成型の学校経営の推進／学力・授業力向上／キャリア教育／豊かな心を育む教育／特別支援教育／健やかな体を育む教育／いわての復興教育

#### 【各学校の経営計画により取り組む内容の指導の要点】

特別活動／総合的な学習の時間／国際理解教育／環境教育／消費者教育／人権教育／主権者教育／ボランティア教育／情報教育／読書指導／交流及び共同学習／定時制・通信制教育／研修・研究

#### 【スポーツや伝統・文化に関わって各学校が取り組む内容の指導の要点】

「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」に関する各校の取組みの推進／競技スポーツの強化／伝統文化の教育

また、下表のとおり研究指定校を指定（いずれも文部科学省指定）するとともに、学習指導・授業研修等による訪問や生徒指導等による訪問を行い、指導した。

#### 【平成28年度 岩手県公立高等学校等教育研究指定校】

研究主題	研究校	指定年度
スーパーサイエンスハイスクール（SSH）（理数系教育）	水沢	H24～28
	釜石	H24～28
英語教育強化地域拠点校事業	紫波総合	H26～29
スーパーグローバルハイスクール（SGH）	盛岡第一	H27～31

### (4) 定時制・通信教育

平成28年度における定時制課程の学校数は、9校（独立校1校、併置校6校、分校2校）であり、通信制課程は、杜陵高等学校本校（宮古分室含む。）、奥州校の2校である。

昭和56年度から定時制高等学校と県立高等職業訓練校（1年課程）7校との間に技能連携教育が始まり、さらに昭和57年度には雇用促進事業団立総合高等職業訓練校（2年課程）2

校が加わった。この制度により高校を卒業した生徒は541人のぼっており、平成28年度における技能連携教育は、杜陵高等学校通信制と岩手看護高等専修学校で行われている。

昭和63年4月には杜陵高等学校定時制に全国初の単位制を導入し、平成5年度からは3部制にして、働きながら学ぶ生徒を支援する教育に加え、多様な生徒の学習ニーズに対応している。

#### ア 定時制、通信制学科別入学及び在籍生徒数

(ア) 入学生徒数（平成28年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	衛生 看護科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	560	110	—	—	—	4	—	—	114	20.4
通信制	330	80	—	—	0	—	—	—	80	24.2
合計	890	190	—	—	0	4	—	—	194	21.8

[平成27年5月1日現在の入学生徒数は、定時制114人、通信制96人、合計210人であり、それぞれ、変化なし、16人減、計16人減]

(イ) 在籍生徒数（平成28年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	衛生 看護科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	2,240	377	—	—	—	13	—	—	390	17.4
通信制	—	955	—	—	1	—	—	—	956	—
合計	2,240	1,332	—	—	1	13	—	—	1,346	—

[平成27年5月1日現在の生徒数計は、定時制385人、通信制1,098人、合計1,483人であり、それぞれ、5人増、142人減、計137人減]

#### イ 就学奨励事業

就学促進と教育の機会均等の確保のため「高等学校定時制課程及び通信制課程等修学資金貸付」「高等学校定時制課程教科書及び通信制課程教科書給与事業」「夜間定時制高等学校給食費補助」を実施している。

#### ウ 主な事業（主催及び共催）

(ア) 岩手県高等学校定時制通信制教育振興会理事会・総会

期日……………平成28年5月13日

会場……………杜陵高等学校

参加者……………42人

(イ) 第66回岩手県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会

期日……………平成28年9月25日

会場……………二戸市民文化会館

参加者等……………約70人（発表12人）

#### 4 情報教育の充実

社会の情報化に対応した教育を行うため、「教育の情報化」を推進することとし、情報機器の整備促進及びその活用充実等のための研修や、ICT活用能力及び指導力の向上のための各種研修を積極的に実施した。

##### (1) 情報関連機器の整備状況（平成28年3月現在）

[単位：人、%]

学校種別	コンピュータ1台あたりの児童生徒数		普通教室における校内LAN整備率		超高速インターネット接続率	
	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均
小学校	5.6	7.0	60.6	86.1	77.6	84.4
中学校	5.0	6.2	67.3	85.4	82.6	85.0
高等学校	4.6	5.0	98.8	94.9	100.0	96.0
特別支援学校	5.6	3.0	94.7	93.6	100.0	94.6
合計	5.2	6.2	70.5	87.7	82.1	86.1

##### (参考) 第2期教育振興基本計画による基準（文部科学省）

[単位：人、%]

コンピュータ1台あたりの児童生徒数	電子黒板・実物投影機の整備	無線LAN整備率	超高速インターネット接続率
3.6	1学級当たり1台	100	100

(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校共通)

##### (2) 教員の指導力の向上

###### ア 教員のICT活用指導力の状況（平成28年3月現在）

[単位：%]

「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合	岩手県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	83.6	83.2
授業中にICTを活用して指導する能力	73.5	73.5
児童・生徒のICT活用を指導する能力	70.1	66.2
情報モラルなどを指導する能力	78.4	78.9
校務にICTを活用する能力	81.4	79.4

###### イ 教員情報活用能力向上のための研修

小・中・高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、総合教育センターで各種研修を行った。

###### ウ 初任者研修

初任者研修において、情報モラル指導や教育の情報化のための研修を行った。

#### 5 国際理解教育の充実

国際化の進展に対応し、語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）により外国青年を招聘し、県立学校等における外国語教育や国際理解教育の充実を図った。

##### (1) 外国青年招致事業

ア 招致人員 12人（平成29年3月末現在）

###### イ 国籍

米国、英国、カナダ、フィリピン、シンガポール、ジャマイカ

###### ウ 配置先

学校教育室 1人  
 総合教育センター 1人  
 県立高等学校 10人

### 【配置・訪問学校名】

盛岡第一、盛岡第三、盛岡北、不来方、花巻北、花巻南、花北青雲、黒沢尻北、水沢、一関第一、釜石、杜陵、紫波総合、大迫、盛岡青松支援

## (2) 外国語教育推進事業

これまで活用してきた語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）における外国語指導助手に関する事業について、外国語指導の向上を目的として、より効率的かつ効果的な運用を図ることとし、平成20年度から一部の業務を民間業者に委託して、県内すべての高等学校に外国語指導助手を配置している。

（平成28年度 民間業者による外国語指導助手26人）

## 6 キャリア教育の推進

近年の社会構造や就業形態の複雑化を背景として、高校や大学を卒業した若者の早期離職傾向や勤労観・職業観の未熟さ、社会人・職業人としての資質や能力の不足等が社会的に大きな課題となっており、小・中・高の発達段階に応じたキャリア教育が重要であることから、平成21年度に策定した「いわてキャリア教育指針」及び「いわてキャリア教育の手引き」並びに平成24年3月に作成した「いわてが目指すキャリア教育」リーフレットを活用し、各学校におけるキャリア教育推進の支援に努めた。

### (1) 実践的キャリア教育研修会（北上川流域ものづくりネットワーク共催）の開催

企業見学や人材育成担当者等からの講話を通して、実社会や産業とのつながりについて認識するとともに、キャリア教育に対する視野を広げる機会とする。

地区名	期 日	見学先	担当教育事務所
雫石町、岩手町、紫波町	平成28年8月24日(水)	盛岡セイコー工業(株)	盛岡教育事務所
北上市、西和賀町	平成28年9月14日(水)	日立オートモティブシステムズ <sup>※</sup> ハイキャスト(株)	中部教育事務所
奥州市、金ヶ崎町	平成28年8月26日(金)	アイシン東北(株)	県南教育事務所
大船渡市、陸前高田市、住田町、	平成28年12月5日(月)	ゆわて吉田工業(株)	沿岸南部教育事務所
宮古市、山田町	平成28年8月1日(月)	共和水産(株)、(株)ヒロセ電機	宮古教育事務所
該当地区を平成25、26年度で全校実施済み			県北教育事務所

### (2) キャリア教育指導者養成研修への派遣

県教育委員会及び市町村教育委員会のキャリア教育を担当する指導主事や小・中・高等学校のキャリア教育担当者・進路指導主事等に対し、発達段階に応じたキャリア教育、キャリア・カウンセリング等について必要な知識を習得させることをねらいとした文部科学省主催の講座であり、小学校2人、中学校2人、高等学校1人が受講した。

### (3) キャリアアップサポート事業の実施

岩手県産業教育振興会が行うキャリアアップサポート推進事業（各学校における外部講師による講演会、生徒の企業見学等）に対し補助した。

### (4) いわてのキャリア教育実践研修講座の実施

総合教育センターにおいて、教員研修を年2回実施した。

この研修は、キャリア教育の計画立案や実践に当たって直面する諸課題の解決方法をより具体的に学ぶとともに、各校の実践内容について研究協議を行い、キャリア教育の実践

に役立てることを目的としたものである。

## 7 職業教育の充実

### (1) 職業教育の現状

本県における職業教育は、専門高校を中心に行われており、有為な職業人を育成するために、望ましい勤労観や職業観を培い、創造性を身に付けた総合的な人間育成の場としても大きな役割を果たしている。

また、近年、社会や産業構造、就労環境等も変化してきており、専門高校の教育内容等の一層の充実発展が求められているところである。

今後は、普通高校におけるキャリア教育の推進とともに、職業教育を一層充実する必要がある。

### (2) 職業教育の活性化に向けて

#### ア 新しい教育課程の実施

高等学校における職業教育のスタート段階では、専門分野の基礎的・基本的な知識・技能を定着させることが重要であり、平成21年3月に告示された新学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、各教科・科目の基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図るとともに、「課題研究」等の実践をとおした問題解決能力や自発的・創造的な学習態度の育成を進め、職業教育の活性化に努めた。

また、地域の産業や社会を担う人材を育成するためには、産業界と連携しながら、体験的な学習を更に推進していく必要がある。

#### イ 学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業の実施

平成19年度から平成22年度まで実施した文部科学省と経済産業省、農林水産省、水産庁との連携による「地域産業の担い手育成プロジェクト」の成果を踏まえ、平成22年度から県単独事業として実施している「学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業」において、専門高校（学科）と地域が協働して行う教育活動を支援し、専門高校（学科）におけるキャリア教育を推進することにより、今後の本県の産業を担う人材育成に努めた。

分野	平成28年度「学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業」実施校
農業分野	盛岡農業、花巻農業、水沢農業、遠野緑峰、千厩、大船渡東
工業分野	盛岡工業、花北青雲、黒沢尻工業、水沢工業、一関工業、千厩、大船渡東、釜石商工、宮古工業、久慈工業、種市、福岡工業
商業分野	盛岡商業、花北青雲、水沢商業、一関第二、大東、大船渡東、釜石商工、遠野緑峰、宮古商業、久慈東
水産分野	高田、宮古水産
家庭分野	平舘、花北青雲、大船渡東、宮古水産

### 第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

社会の変化の中で、児童生徒の健やかな成長を支援するため、教員の資質と能力の向上を図るとともに、少人数教育の充実に努めた。

#### 1 特色ある学校づくり

各学校は、児童生徒一人一人が在り方・生き方を自覚し、将来の目標の設定や自己実現を図ることができるような、魅力ある学校づくりを進める必要がある。

そこで、平成21年度から、家庭、地域と協働して岩手の特色ある産業、文化を支える人材を育成するなど、生徒一人一人の多様な進路実現に向けた学校の取組を支援する「いわて未来創造人サポート事業」を実施している。

#### 2 小規模校の振興

本県のへき地指定校は、平成28年5月1日現在小学校78校、中学校33校となっており、全学校に占める割合は、小学校23.5%、中学校20.1%で、小中学校全体では22.3%となっている。

また、複式学級を有する学校は、小学校96校（28.9%）、中学校4校（2.4%）である。

##### (1) 複式指導資料の作成

へき地・小規模複式指導資料を活用し、複式学級における学習指導の充実に図った。

##### (2) 複式指導等改善講座の実施

複式学級の特性を生かした学習指導の充実に図るため、複式学級の実態に即した研修を実施し、指導力の向上を図った。

教育事務所	学校名	期 日	研修内容
宮 古	宮古市立亀岳小学校	平成28年6月14日	提案授業、講義、協議
盛 岡	葛巻町立五日市小学校	平成28年6月29日	授業研究会、講演

## 第4 教員の適正配置

### 1 教員採用試験の改善等

教員としての資質・能力のみならず、多角的な視点から判断できるような面接試験、論文試験を行っている。

また、実践的、専門的な技術、技芸等を教えることができる人材を確保し、学校を活性化することを目指して、スポーツ・社会人・特定教科特別選考を実施するとともに、臨時的任用教員経験者特別選考、現職教員特別選考を実施し、即戦力となる人材の確保に努めた。さらに、専門的な知識を持った人材の確保のために、英語資格所有者への加点措置や大学院進学者等への名簿登録期間の延長を行った。

### 2 人事管理の改善

義務教育諸学校においては第7次定数改善計画、高等学校においては第6次定数改善計画により、きめ細やかな指導と基礎学力の向上を図るため、少人数指導を可能にする加配措置がなされた。

また、学級編制については、平成18年度から平成19年度にかけて小学校1、2年生に35人学級編制を導入し、平成24年度には中学校1年生、平成25年度から平成26年度にかけて小学校3、4年生まで、平成28年度には中学校2年生まで拡大した。

### 3 司書教諭の養成

平成15年4月1日から12学級以上の学校には司書教諭を配置することになったため、計画的な司書教諭の養成に努めた。

【平成28年度図書館司書教諭有資格者数】

小学校	439人
中学校	169人
義務教育学校	3人
高等学校	143人
特別支援学校	111人

### 4 教職員の養成・免許・検定

領域別免許状の保有状況等を勘案し、平成21年度から特別支援学校教諭免許状の取得を促すため、特別支援教育に関する科目のみの認定講習を開催するなど、県として保有状況の改善に努めた。

#### (1) 免許法認定講習

会場	盛岡市内3会場
期日	平成28年8月2日～8月9日
受講者	179人
単位授与者	177人
開設講座	3講座

#### (2) 教育職員の免許状授与状況

(右表のとおり)

【教育職員の免許状授与状況（単位：件）】

免許状の種類	平成28年度	平成27年度
授与・再交付・書換え		
普通免許状		
小学校教諭	271	246
中学校教諭	340	353
高等学校教諭	383	391
養護教諭	17	12
特別支援学校教諭	88	94
自立教科教諭(理療)	0	1
特別支援自立活動	0	0
幼稚園教諭	442	423
栄養教諭	22	27
計	1,563	1,547
臨時免許状		
小学校助教諭	16	14
中学校助教諭	12	7
高等学校助教諭	59	52
養護助教諭	2	1
特別支援学校助教諭	16	11
自立教科助教諭(理療)	2	0
幼稚園助教諭	3	6
計	110	91
特別免許状	0	0
再交付・書換え		
再交付	225	257
書換え	315	401
計	540	658
合計	2,213	2,296
免許状授与証明書	555	500

## 第5 教員研修の充実

本県における教育振興上の重要課題の解決のため、「授業力向上研修」を中心とする教員のキャリア・ライフステージに沿った新しい研修体系を平成21年度に策定し、研修を実施した。

特に、新学習指導要領の趣旨や内容の徹底を図るとともに、児童生徒の学力向上・健全育成を中心課題として、教員の指導力の向上を図った。

### 1 平成28年度研修実績

#### (1) 管理職研修

[単位：人]

講座名	受講対象	講座内容	日数等	研修者数
校長研修講座	小中学校長	人事・サービス上の諸問題、指導行政上の諸問題、復興教育・生徒指導関係、保健体育関係、教育センター関係、講話（岩手の教育の目指すもの/校長に望むこと）、意見交換会、コンプライアンス、グループ協議（教育課題協議）	2	489
副校長研修講座	小中学校副校長	副校長に期待すること、人事管理上の諸問題、復興教育、リスクマネジメント、講話、講演、研究協議等	1	495
新任校長研修講座	小中学校新任校長	人事・サービス上の諸問題、生徒指導上の重大事案への対応、教職員のメンタルヘルス、指導行政上の諸問題、新任校長に望むこと、学校経営に望むこと、アンガーマネジメント、学校経営とリスクマネジメント、校内における教職員の人材育成	2	76
新任副校長研修講座	小中学校新任副校長	副校長としての役割、先輩副校長から学ぶ、学校経営上の諸問題、コンプライアンス、教職員のメンタルヘルス、指導行政と学校教育、岩手の教育の目指すもの、人事管理上の諸課題、労働基準及び労働安全衛生について、学校教育課題に対する回答、サービス・法規課題に対する回答	3	104
新任校長研修講座	県立学校新任校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、学校の危機管理、インクルーシブ教育、コンプライアンス、新任校長に期待する	3	16
新任副校長研修講座	県立学校新任副校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、生徒指導、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、労働安全衛生、特別な支援を要する生徒への対応、新任副校長に期待する	2	22

#### (2) 初任者・2年目・3年目研修（小学校・中学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等	研修者数
初任者研修講座	総合教育センター研修	学習指導要領、年間指導計画の作成、教育相談、学級経営、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の意義と進め方、情報モラル、自己研修等	(Ⅰ) 4	118
			(Ⅱ) 3	118
			(Ⅲ) 3	118
	教育事務所研修	身分とサービス、教育課程の編成、授業実習と授業研究、自己研修の進め方、社会奉仕体験の心構え等	5	118
	市町村教育委員会研修	各市町村の教育課題、教科・領域授業研究、各実践課題への取組等	2	118
	校内研修	各種教育指導、学級経営、教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の指導、生徒指導の実際等	180時間程度	118
2年目研修講座	総合教育センター研修	宿泊研修、学校安全、防災教育、自己研修等	3	79
	教育事務所研修	社会教育、コンプライアンス、メンタルヘルス等	2	79
	校内研修	校内授業研修（2回、20時間）、自己研修等	20時間程度	79
3年目研修講座	総合教育センター研修	自己研修の発表と協議等	2	77
	校内研修	校内授業研修（1回、10時間）、自己研修等	10時間程度	77

## (3) 初任者・2年目研修・3年目（高等学校・特別支援学校、新採用教員対象） [単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等	研修者数
初任者 研修講座	本庁研修	学習指導要領解説、教科・教育の現状と課題、授業参観、授業研究、他校種授業参観、社会奉仕体験活動	高校6 特支4	82 (高校51、 特支31)
			(高校Ⅰ)4	51
	総合教育センター研修	サービスとその責任、復興教育、指導計画・指導案、教材研究、教科指導法、生徒理解、接遇、道徳教育、特別支援教育、総合的な学習の時間、特別活動、ホームルーム活動、ボランティア活動、キャリア教育、情報モラル、教育相談、自己研修 等	(高校Ⅱ)4	51
			(高校Ⅲ)3	51
			(特支Ⅰ)3	31
			(特支Ⅱ)4	31
			(特支Ⅲ)3	31
(特支Ⅳ)3	31			
所属校研修	基礎的素養、ホームルーム経営、教科指導、特別活動、生徒指導 等	180時間程度	82	
2年目 研修講座	総合教育センター研修	宿泊研修、学校安全、防災教育、自己研修 等	3	82
	フォローアップ研修	教科指導 等	(高校)1	53
	本庁・センター研修	キャリア教育、自立活動の進め方 等	(特支)2	29
	所属校研修	校内授業研修（2回、20時間）、自己研修 等	20時間程度	82
3年目 研修講座	総合教育センター研修	自己研修の発表と協議 等	(高校)3 (特支)2	67
	校内研修	校内授業研修（1回、10時間）、自己研修 等	10時間程度	67

## (4) 新任教務主任研修（小学校・中学校、新任教務主任対象） [単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修 (中央研修)	岩手の義務教育の充実を目指して、学校経営と教務主任、教務に役立つ情報活用、教務主任と教育法規、学校運営計画書と教育課程の編成について、教務主任への期待、教務主任の校務上の課題	2	78 (小54、中24)

## (5) 新任教務主任研修（高等学校・特別支援学校、新任教務主任対象） [単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修	岩手の教育課題について、教務主任の役割、いわて特別支援教育推進プランの実行について、文書事務、教育活動と教育法規、教務課運営の実際、カリキュラムマネジメント、学力向上の推進、総合的な学習の時間・自立活動の指導の取組、学校における人材育成の進め方	3	28(高校24、 特支4)

2 平成28年度研修事業受講者一覧（総合教育センター実施分）

(1) 所属種別研修講座数、研修者数（要請研修、随時研修は除く） [単位：人]

講座\所属	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務職等	計
研修講座数	9	65	65	65	72		276(延)
研修者数	149	1263	713	821	438		4,482

(2) 所属種別研修講座別研修者数 [単位：人]

研修名	講座名	研修者数											計	
		単 独					合 併							
		幼・保	小学校	中学校	高校	特支	幼・保	小学校	中学校	高校	特支	事務職		
基本研修	初任者研修	135	240	111	171	127								784
	2年目研修		39	40	52	29								160
	3年目研修		36	38	39	26								139
	教職経験5年研修		29	31	44	28								132
	教職経験10年研修	13												13
	授業力向上研修		670	413	390	112		416	261	199	68			2,529
	小計	148	1,014	633	696	322		416	261	199	68			3,757
特別研修	新任				31			447	192	86	21			777
	教職専門			26	137	53		98	66	35	13			428
	事務職専門													
	小計			26	168	53		545	258	121	34			1,205
希望研修	教科研修							1	64	64	5			134
	領域等研修							81	36	21	15			153
	情報教育研修							11	13	23	4			51
	教育相談研修							91	50	52	24			217
	特別支援教育研修							48	11	10	43			112
	公開研修						1	142	24	21	22			210
	小計						1	374	198	191	113			877
要請研修	1,019	2,418	1,955	1,883	2,152								9,427	
随時研修	24	193	135	110	19								481	
派遣研修							10	1	3	2			16	
総計	1,191	3,625	2,749	2,857	2,546		11,345	718	514	217			15,763	

## 第6 教員研究等の充実

総合教育センターを中心に、本県教育における重要性・緊急性が高い諸課題について、以下の調査・研究を行った。

### 1 育成すべき資質・能力の「三つの柱」を総合的に育む授業の進め方に関する研究 ～アクティブ・ラーニングを取り入れた授業づくりを通して～

中央教育審議会教育課程企画特別部会の「論点整理」に示された次期学習指導要領で育成すべき資質・能力の三つの柱を総合的に育むことを目指し、「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業の進め方について、平成28年度から29年度までの2年間研究を行う。授業づくりの視点及び生徒の学習成果を捉える学習評価、学習・指導方法の不断の見直しにつなげていくためのカリキュラム・マネジメントの考え方についてガイドブックにまとめ、授業実践により、その有効性を明らかにする。

### 2 高等学校理科「物理基礎」における学習指導要領に対応したサポート資料の作成

「物理基礎」における教員用の観察、実験サポート資料を作成し、その成果物を県内の高等学校などで幅広く活用できるように、物理学特有の考え方や物理学的に探求する方法を視点とした観察、実験の詳細を記載し、学習内容の関連性や中学校との系統性に留意した実用的なサポート資料を作成した。

### 3 小規模な高等学校における教育の質を確保するための遠隔授業の実証的調査研究

県内の小規模な高等学校では、配置される教員数が限定されることから各教科・科目等の専門知識を有する教員が十分に確保されず、生徒の多様な進路希望等に応えた選択科目を開設できない課題がある。そのため、そのような課題の解決策として期待されている遠隔教育システムを活用した授業の効果的な進め方の検討、その実践を通じた小規模な高等学校における教育の質の確保につなげる研究を行った。

### 4 特別支援教育におけるタブレットPCを活用した効果的な教育実践に関する研究

個の特性に応じたタブレットPCの活用を可能とする手立ての構築と、指導計画から実践までの意図的なタブレットPCの活用を取り入れた指導への取組を通して、効果的な活用を明らかにし、タブレットPCを具体的に活用できるツールの提案を行った。

### 5 小学校における「考え、議論する」道徳科授業の在り方に関する研究

道徳教育の充実を目指した小学校における「特別な教科 道徳」が、平成30年度から全面実施される。問題解決型の学習や体験的な学習を通して道徳的価値について多面的・多角的に学び、実践につなげていくための効果的な指導方法について明らかにすることができた。

### 6 中学校における「考え、議論する」道徳科授業の在り方に関する研究

道徳教育の充実を目指した中学校における「特別な教科 道徳」が、平成31年度から全面実施される。学んだ道徳的価値に照らして、自分の生活を振り返り、自らの良さや課題を把握できるような効果的な学習の在り方について明らかにすることができた。

### 7 高等学校家庭科におけるICT機器を活用した学習指導に関する研究

高等学校を対象に、教育活動で活用されているタブレットPC等のICT機器を活用した効果的・効率的な学習指導の在り方について検討を進め、授業実践を通して学習活動におけるICT機器活用の効果を検証し、これからの学習指導のひとつの在り方について提言できた。

## 8 重度・重複障がいのある児童生徒の教育内容・指導方法の充実に関する研究

### －「人とのつながり」に視点を当てたA T・ICT機器の活用による授業実践を通して－

教育の情報化が推進される中、特別支援学校においても、障がいの特性に応じた ICT 機器の有効活用が期待されている。本研究では、「人とのつながり」に視点を当てた ICT 機器活用による授業実践を通して、重度・重複障がいのある児童生徒へ教育内容、指導方法の充実について提言できた。

## 第2節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

### 第1 学習指導要領を踏まえた教育課程の編成

学習指導要領の趣旨の確実な周知と理解を図り、効果的な教育課程の編成と実践に向けた指導の在り方を支援し、地域や児童生徒の実態に即した柔軟で特色ある教育を推進するよう努めた。

また、学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした柔軟で適切な教育課程を編成するために、9年間の義務教育を効果的なものにしていく一つの方策として、小中連携・一貫教育に関する取組への支援を進める環境を整備した。

具体的には、次のとおりである。

- 1 児童生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することができたこと
- 2 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めることができたこと
- 3 教育課程を計画的・組織的に評価し、教育課程の見直しと改善を図ることができたこと

### 第2 学習面における基礎・基本の定着

基礎的・基本的な知識や技能に加え、習得した知識や技能を活用し、自らの人生を切り拓いていくために必要な能力である思考力、判断力、表現力を身に付けさせるよう努めた。

このため、きめ細かな指導を通じて、児童生徒に自信と意欲をもたせるとともに、家庭と連携して学習習慣の確立を図った。

また、少人数教育による児童生徒の実態や状況に応じた柔軟な指導を推進するよう努めた。

#### 1 児童生徒一人一人の学習面における基礎・基本の確実な定着

##### (1) 学習面における基礎・基本の確実な定着

各種調査により明らかになった課題を解決するための取組を推進した。

- ・ 授業力の向上、分析力の向上（学習定着度状況調査 集計・分析シートの活用）
- ・ 分析結果を活用した授業改善の推進（授業力向上ブラッシュアッププラン）
- ・ 基礎力の定着状況の把握（基礎力確認調査）

##### (2) 市町村教育委員会や関係機関などと連携した少人数教育の推進

#### 2 学力・授業力向上の取組

##### (1) 学校訪問の趣旨

学習定着度状況調査の分析及び学力向上のための学校訪問指導の結果等から、数学・英語の学力向上について取り組むべき課題が明らかになっている。この対策に取り組むため、学校教育室に学力・授業力向上を担当する指導主事を配置し、算数・数学、英語に携わる教員に対して授業力の向上につながる支援を行うとともに、教員一人一人が更なる授業改善に取り組み、授業力の向上を図ることによって、各教科の課題解決を目指すものである。

## ア 取組内容

<b>【小・中学校】授業力向上ブラッシュアップ事業 授業改善研修会</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 学習指導要領の趣旨及び学習定着度状況調査の分析結果、授業の実態等を踏まえ、授業における言語活動の充実や県の教育課題の解決に視点を置いた学習活動や学習評価の在り方等を改善するため、プロジェクトチームによるモデル授業の提案を中心とした授業改善研修会を通して、参加教員をはじめとする小・中学校教員の授業改善の推進に資する。 ⇒プロジェクトチームによる授業説明＋モデル授業＋研究協議＋講義 ⇒小・中・高の教員が同一の授業を見て気付き合うことや情報交換できるような場を提供</li></ul>
<b>【県立高校】授業実践セミナー（数学）及び域内研修会（英語）</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 県内各地区の優れた授業実践（数学・英語）や、岩手の教育課題の解決に基づいた授業を紹介するほか、児童、生徒の学力向上に向けた授業力向上のための講義や演習の実施 ⇒モデル授業＋研究協議若しくは付箋紙ワークショップ＋講義による参加型の半日の研修会が基本 ⇒中・高の教員が同一の授業を見て気付き合うことや情報交換できるような場を提供</li></ul>
<b>個 別 訪 問</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>【目的】</b> 諸調査から見える県全体の課題解決と、各校の課題に応じた授業改善に向けた個別支援</li><li>● <b>【訪問対象校】</b> ⇒訪問を希望する学校（※）</li><li>● <b>【訪問内容】</b> ⇒授業参観（1単位時間）の後、指導助言及び授業者と個別相談、教科部会についての協議 ⇒校長・副校長との生徒の学力向上に向けた情報交換</li></ul>
<p>※ 個人、学校、市町村教育委員会として希望することも可能</p>

## イ モデル授業から学ぶ研修会の実施（小・中・高）・個別訪問実績（中・高）

平成28年度実績

	モデル授業から学び研修会 <小中学校> 授業改善研修会 <県立高校> 授業実践セミナー（数学） 域内研修会（英語）							個別訪問		
	校種	年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)	参加者(人)			年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)
					小中学校	県立学校	合計			
算数・数学	中学校	5	5	5	145	0	145	33	35	46
	高等学校	4	4	4	4	197	201	67	67	73
	小学校	3	3	3	74	0	74			
	計	12	12	12	223	197	420	100	102	119
英語	中学校	6	6	6	125	7	132			
	高等学校	6	2	12	17	104	121	66	66	74
	計	12	8	18	142	111	253	66	66	74

### 3 中高連携学力向上協議会

#### (1) 趣旨

本県で実施している学習状況に係る諸調査の結果を活用し、各中学校、高等学校が授業改善の取組について教科の枠を超えた学校全体の横断的な取組や校種を超えた縦断的な取組へと発展させ、中高の接続の観点を強化することにより生徒の確かな学力の育成に資する。

#### (2) 実施内容

- ア 学習状況に係る諸調査結果等の説明及び授業改善の取組についての講義
- イ 中・高での諸調査結果を活用した授業改善の取組に向けた協議
- ウ 教科の枠を超えた学校全体での授業改善の工夫についての協議

#### (3) 参加対象

地区内の各校において、授業改善を中心となって推進する教員1人（副校長、主幹教諭、教務主任等）

#### (4) 実施日及び実施地区

- 8月31日（水） 県南地区 （中学校32校、高校13校）
- 9月2日（金） 中部地区 （中学校25校、高校11校）
- 9月5日（月） 盛岡地区 （中学校46校、高校16校）
- 9月6日（火） 県北地区 （中学校22校、高校10校）
- 9月7日（水） 宮古地区 （中学校20校、高校7校）
- 9月8日（木） 沿岸南部地区 （中学校19校、高校7校）

### 第3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進

すべての教科等を通じて児童生徒の言語活動を充実させ、論理的な思考や表現する力、人間関係を豊かにする力などをはぐくむよう努めた。

また、児童生徒が自ら将来を考え、希望する進路を実現するために、それぞれの学校において学力向上に取り組むとともに、自立した社会人となるための意識の醸成や、学習に主体的に取り組むための動機付けなどを積極的に推進した。

#### 1 進路指導の充実

進路指導は生徒の「人間としての在り方・生き方」についての指導、援助であるとともに、個々の生徒の職業的発達を促進し、主体的な進路の選択能力を育て、自己実現に最善の努力ができる人間の育成を図ることにある。このため、次のような点に留意して実施した。

- ① 校内進路指導体制の確立
- ② 年間指導計画の整備
- ③ 生徒理解の強化と生徒の自己理解の深化
- ④ 個人資料及び進路情報資料の収集と整備
- ⑤ 進路指導研修の充実と中高連携の強化
- ⑥ 中高の望ましい接続の在り方についての研修

#### 2 魅力ある学校づくりの推進

学校の活性化と個性化を推進するため、各学校が自らの裁量で創意工夫を凝らした様々な活動を通じて、大学講習など進学指導に関する取組を実施した。

#### 【いわて進学支援ネットワーク事業（28校）】

生徒一人一人の進路希望の実現とともに、医師、弁護士、高度先端技術分野の研究者や技術者等の、将来の本県を支える人材を育成するために、生徒の医学部等のいわゆる難関大学・学部等への進学希望も実現できるよう、学校の取組を支援した。

[主な取組]

- 難関大学・超難関大学対策講座 県内各地域の難関大学志望の生徒を対象に広く呼びかけ、指導実績のある講師による対策講座を1年に3～4回合同で実施。
- ウィンター・セッション 県内高校の進学希望者に大学で学ぶ内容や意義を知る機会を提供するため、県内5大学等で組織される「いわて高等教育コンソーシアム」と合同で実施。

## 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

### 第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

人間としての在り方、生き方について考える力の育成と心の教育の充実を図り、他人を思いやり、良好な人間関係を築くことのできる力、自然や命あるものを大切に作る心など、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図った。

また、ボランティア活動など様々な体験活動や多様な読書活動に取り組み、物事に主体的にかかわり素直に感動できる豊かな情操を育てるよう努めた。

#### 1 道徳教育の推進

学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成を図った。

教員の指導力向上のため、道徳教育の中核となる指導者養成研修に教員等を派遣し、指導力の向上を図るとともに、総合教育センターにおいて特別研修を実施し、道徳教育推進教師の資質向上を図った。

##### (1) 研修事業

- 平成28年度道徳教育指導者養成研修（中央指導者研修）（(独)教員研修センター）  
平成28年5月16日～20日（5日間）指導主事（高等学校を含む）6人
- 平成28年度道徳教育指導者養成研修（東日本ブロック別指導者研修）（福島県福島市）  
平成28年10月24日～26日（3日間）教諭（高等学校・特別支援学校を含む）15人
- 総合教育センターでの特別研修「道徳の時間を『要』として進める道徳教育研修講座」  
平成28年11月8日～9日（2日間）教諭等

##### (2) 研究推進事業

- 児童生徒の心を耕す教育推進事業  
中央指導者研修、ブロック別指導者研修への派遣研修者を活用し、授業研究会、理論研究会、教材研究の場等への講師を派遣することにより、道徳教育の質の向上を図った。

#### 2 体験活動・読書活動の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした豊かな体験活動や読書活動を推進した。

##### (1) 体験活動の状況

体験活動の「いわての復興教育」などの教育活動への位置付けと多様な推進方策についての情報提供を図るとともに、各学校においては、地域や学校の特色を生かした体験活動への取組を進めた。

##### (2) ボランティア教育・環境教育の状況

福祉活動や環境保護などボランティア教育・環境教育に対する理解と関心を高め、社会貢

献の精神を育てるとともに、児童生徒の豊かな人間性を育み、自らの生き方を主体的に考える態度の育成を図る教育を推進した。

#### ア ボランティア教育

ほぼ全ての小・中学校でボランティア活動が実施されており、特に、地域における清掃活動や募金活動を実施する学校が増えている。社会福祉協議会等関係機関と連携しながら、老人施設・福祉施設・特別支援学校等での交流活動や介護体験、キャップハンディ体験等を、総合的な学習の時間をはじめ、各教科、道徳、特別活動に積極的に取り入れ、体験的な学習としてボランティア活動に取り組むことが広がっている。

#### イ 環境教育

かつてない広がりと複雑さをもって環境問題が顕在化している現状を踏まえ、将来を生きる児童生徒が、この問題に関する正しい理解を深め、環境保全に参加する態度及び問題解決能力などを身に付け、責任をもって環境を守るための行動ができるよう指導を行った。

- ・ 環境副読本「北東北三県共通環境ワークブック」（バインダー式教材、教師用資料、児童配布用リーフレット）を6月に各小学校へ配布した。

### (3) 読書活動の状況

読書活動については、学校図書館担当者も対象とした読書活動推進会議・研修会を実施し、児童生徒の読書活動を支援し、より豊かなものとしていくための環境整備に努めた。

- ・ 子どもたちが主体的に読書活動に取り組むことのできる環境作りを進めるための「第3次いわて子どもの読書活動推進計画」に基づく読書活動を推進している。
- ・ 「いわて中高生のためのおすすめ図書100選」（中高生版ブックリスト）に続き、「いわての小学生のためのおすすめ図書100選（いわ100きっず）」（小学生版ブックリスト）の配布と活用事例の収集及び紹介を行った。

## 3 幼児教育の推進

幼稚園教育要領に基づく教育の充実のために、幼稚園教育の内容、幼稚園の運営・管理、保育技術等に関する説明や研究協議、演習を行った。また、教員の資質の向上を図るため、幼稚園等初任者研修及び教職経験者10年研修を実施した。

#### (1) 園長等運営管理協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)					
		国公立	私立	保育所	認定こども園	その他	合計
サンセール盛岡	平成28年5月31日	44	14	41	32	0	131

#### (2) 保育技術協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)					
		国公立	私立	保育所	認定こども園	その他	合計
生涯学習推進センター	平成28年7月7日	20	7	89	30	0	146

(3) 幼稚園教育研究協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)					
		国公立	私立	保育所	認定こども園	その他	合計
生涯学習推進センター	平成 28 年 8 月 12 日	54	28	10	20	5	117

(4) 幼児期における子育て支援協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)					
		国公立	私立	保育所	認定こども園	その他	合計
生涯学習推進センター	平成 28 年 11 月 11 日	9	4	11	24	2	50

(5) 幼稚園等初任者研修（主催：岩手県教育委員会）

区 分	会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)			
			公立	私立	認定こども園	合計
センター研修Ⅰ	総合教育センター	平成 28 年 6 月 1 日～2 日	7	30	7	44
センター研修Ⅱ	総合教育センター	平成 28 年 8 月 8 日～10 日	7	37	7	51
センター研修Ⅲ	総合教育センター	平成 28 年 10 月 19 日～21 日	7	28	6	41

(6) 幼稚園教職経験者 10 年研修（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)			
		国公立	私立	認定こども園	合計
センター研修	平成 28 年 7 月 26 日～28 日	6	8	0	14
教育事務所研修	平成 29 年 1 月 27 日（県南） 平成 29 年 2 月 1 日（中部）	5	0	0	5
選択研修	選択研修講座の日程による	5	0	0	5

## 第 2 生活面における基礎・基本の充実

家庭や地域社会における教育力を生かし、学校、家庭、地域と連携・協働した教育を充実させ、児童生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせる取組を推進した。

### ○ 生活面における基礎・基本の充実

学習定着度状況調査等における児童生徒質問紙調査の生活習慣や家庭での生活に関する内容の結果を分析・検証し、各学校に情報提供するとともに、県 PTA 連合会との連携を図り、家庭や地域との一体となった取組に努めた。

### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための指導の充実

家庭教育、体験や経験を通して身につける社会生活を営むためのルールや規範意識、コミュニケーション能力等の低下により、暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校、中途退学などの学校不適応が大きな教育問題となっている。

平成 27 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の調査（文部科学省）によると、暴力行為の発生件数は 238 件で前年度から 134 件増加した。いじめの認知件数は 3,274 件であり、前年度に比べ 1,500 件増加した。不登校児童生徒の状況については、小学校 189 人、中学校 829 人、高等学校 339 人であり、小学校、中学校では不登校の比率が上昇し、高等学校では低下の傾向を示している。また、中途退学者は、平成 19 年度から減少傾向にあり、平成 25 年度から調査対象となった通信制課程における中途退学者を除くと平成 27 年度は 172 人と前年度から 29 人減少した。

本県の児童生徒は、全国と比較すると概ね落ち着いた状況にあるが、これらの問題の解決のためには、学級経営、学級集団づくりを充実させ、一人一人の児童生徒にしっかりと向き合い自己実現を支援することが必要である。また、不適応傾向をもつ児童生徒に対しては学校全体で情報を共有し、チームによる指導、援助を行っていくとともに、関係機関との日常的な連携の強化、就学後の福祉サイドからのサポートなどの親への支援、家庭を孤立させない地域コミュニティの確立を通して、学校不適応を解消する組織的、広域的な取組が必要である。

#### 1 高等学校生徒指導連絡協議会（主催：岩手県教育委員会）

【期 日】平成 28 年 5 月 11 日～5 月 20 日

【会 場】地区別 8 会場

【参加者】校長、教員、在学青少年指導員 162 人（延べ）

#### 2 児童生徒の表彰

県内各学校の児童生徒を対象に、他の模範となる行為や活動を表彰することにより、児童生徒の社会的行動や道徳的態度、実践力の向上など学校教育の一層の充実に資するため、昭和 60 年度から児童生徒の表彰を実施している。

平成 28 年度の表彰は次のとおりであり、計 40 個人・団体を表彰している。内訳は、善行表彰が 3、奨励表彰が 36、努力表彰が 1 であり、小学校が 8（個人 7、団体 1）、中学校が 4（個人 2、団体 2）、高校が 28（個人 20、団体 8）である。

平成 28 年度第 1 回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	校種	所属・氏名	内容
1	善行 (人命救助)	高団	一関第一高等学校 2年 赤坂 日和 2年 小野寺 矩仁	橋の欄干を乗り越えようとしている女性を発見し、安全な場所に移動させるなど人命救助に貢献し、一関警察署長から感謝状を授与された。
2	奨励 (文化活動)	小個	岩手町立一方井小学校 6年 尾形 駿介	第 61 回青少年読書感想文全国コンクール小学校高学年の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
3	奨励 (文化活動)	小個	金ヶ崎町立永岡小学校 2年 高橋 楓	第 61 回青少年読書感想文全国コンクール小学校低学年の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
4	奨励 (文化活動)	中団	住田町立世田米中学校 特設木工部	日本木材青壮年団体連合会主催第 40 回児童・生徒木工工作コンクールにおいて、農林水産大臣賞を受賞した。
5	奨励 (文化活動)	高個	盛岡第一高等学校 3年 照井 渚彩	第 63 回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門において、準優勝した。
6	奨励 (文化活動)	高団	盛岡第一高等学校 女子将棋部	第 40 回全国高等学校総合文化祭将棋部門女子団体戦において、準優勝した。
7	奨励 (スポーツ)	中個	盛岡市立河南中学校 3年 佐々木 塁	第 43 回全日本中学校陸上競技選手権大会 3000mにおいて、第 2 位に入賞した。
8	奨励 (スポーツ)	高個	水沢高等学校 3年 佐藤 陽南乃	第 31 回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会女子 63 kg級において、第 2 位に入賞した。
9	奨励 (スポーツ)	高個	一関工業高等学校 3年 池田 和貴	平成 28 年度全国高等学校総合体育大会弓道競技男子個人において、第 2 位に入賞した。
10	奨励 (スポーツ)	高団	不来方高等学校 女子カヌー部 カヤックフォアチーム	平成 28 年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技女子 500mカヤックフォア、女子 200mカヤックフォアにおいて、第 2 位に入賞した。

平成 28 年度第 2 回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	校種	所属・氏名	内 容
1	善 行 (人命救助)	中 団	紫波町立紫波第一中学校 3年 佐々木 智貴 3年 平野 達也 3年 八島 紘輔 3年 山田 新	車両火災を発見し、運転手を避難させたり引火物を安全な場所に移動させたりするなど人命救助に貢献し、紫波町長から感謝状を授与された。
2	善 行 (奉仕活動)	小 団	岩手町立水堀小学校 リバーキッズクラブ	16 年間にわたる北上川の清掃活動や環境学習等の活動が評価され、「水資源功績者」として、国土交通大臣表彰を受賞した。
3	奨 励 (文化活動)	小 個	北上市立江釣子小学校 6年 吉川 光希	第 35 回全日本珠算技能競技大会読上算競技第 1 部において、優勝した。
4	奨 励 (文化活動)	小 個	大船渡市立盛小学校 6年 畠山 公	第 41 回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール作文二部において、農林水産大臣賞を受賞した。
5	奨 励 (文化活動)	小 個	宮古市立崎山小学校 5年 佐々木 朝飛	第 35 回「海とさかな」自由研究・作品コンクール創作部門において、農林水産大臣賞を受賞した。
6	奨 励 (文化活動)	中 個	遠野市立遠野中学校 3年 佐々木 英鈴	第 50 回中学生の「税についての作文」において、財務大臣賞を受賞した。
7	奨 励 (文化活動)	高 個	盛岡第三高等学校 3年 佐藤 薫乃	第 31 回全国高等学校文芸コンクール小説部門において最優秀賞、散文の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
8	奨 励 (文化活動)	高 個	花巻北高等学校 3年 長畑 七海	平成 31 回全国高等学校文芸コンクール短歌部門において、最優秀賞を受賞した。
9	奨 励 (文化活動)	高 団	盛岡第四高等学校 文芸部	第 31 回全国高等学校文芸コンクール文芸部誌部門において最優秀賞、部誌の部において文部科学大臣賞を受賞した。
10	奨 励 (文化活動)	高 団	不来方高等学校 音楽部	第 69 回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門 A グループにおいて、金賞及び文部科学大臣賞を受賞した。
11	奨 励 (スポーツ)	小 個	一関市立萩荘小学校 6年 千葉 春花	第 32 回全国小学生陸上競技交流大会女子ジャベリックボール投において、第 1 位に入賞した。
12	奨 励 (スポーツ)	小 個	一関市立萩荘小学校 6年 千葉 穂波	第 2 回全国小学生フェンシング選手権大会小学 5・6 年生女子フルーレ個人戦において、第 2 位に入賞した。
13	奨 励 (スポーツ)	高 個	杜陵高等学校 3年 佐藤 牧	平成 28 年度全国高等学校定時制通信制体育大会第 51 回陸上競技大会女子 400m において、第 2 位に入賞した。
14	奨 励 (スポーツ)	高 個	岩谷堂高等学校 2年 朝倉 陽	第 16 回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子ジャベリックスローにおいて、第 1 位に入賞した。
15	奨 励 (スポーツ)	高 個	大船渡高等学校 3年 富澤 拳真	第 71 回国民体育大会空手道競技少年男子形において、第 2 位に入賞した。

番号	項目	校種	所属・氏名	内 容
16	奨励 (スポーツ)	高個	宮古商業高等学校 2年 佐々木 烈弥	第16回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子ソフトボール投において、第2位に入賞した。
17	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡視覚支援学校 高等部3年 清水 弘大	第16回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子200mにおいて、第1位に入賞した。
18	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡聴覚支援学校 高等部専攻科2年 高橋 明日香	第16回全国障害者スポーツ大会陸上競技女子200mにおいて第1位、女子100mにおいて第2位に入賞した。
19	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡となん支援学校 高等部3年 鎌田 翔	第16回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子50mにおいて、第2位に入賞した。
20	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡峰南高等支援学校 3年 比嘉 龍武	第16回全国障害者スポーツ大会卓球競技少年男子一般卓球において、第1位に入賞した。
21	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡峰南高等支援学校 2年 佐藤 智哉	第16回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子400mにおいて、第2位に入賞した。
22	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡峰南高等支援学校 2年 奥山 陽太	第16回全国障害者スポーツ大会陸上競技少年男子800mにおいて、第1位に入賞した。
23	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡峰南高等支援学校 3年 北村 大吾	第16回全国障害者スポーツ大会陸上競技少年男子1500mにおいて第1位、800mにおいて第2位に入賞した。
24	奨励 (スポーツ)	高個	盛岡みたけ支援学校 高等部2年 小野寺 勇人	第16回全国障害者スポーツ大会ボウリング競技少年男子において、第2位に入賞した。
25	奨励 (スポーツ)	高個	花巻清風支援学校 高等部3年 國谷 朋哲	第16回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技ディスクタンス・メンズ・スタンディングにおいて、第1位に入賞した。
26	奨励 (スポーツ)	高個	気仙光陵支援学校 高等部2年 菅野 一馬	第16回全国障害者スポーツ大会ボウリング競技少年男子において、第1位に入賞した。
27	奨励 (スポーツ)	高団	岩手県 少年女子ホッケーチーム	第71回国民体育大会ホッケー競技少年女子において、第2位に入賞した。
28	奨励 (スポーツ)	高団	岩手県 混合リレーチーム(陸上)	第16回全国障害者スポーツ大会陸上競技男女混合4×100mリレーにおいて、第2位に入賞した。
29	奨励 (スポーツ)	高団	岩手県 混合リレーチーム(水泳)	第16回全国障害者スポーツ大会水泳競技男女混合200mリレーにおいて、第1位に入賞した。
30	努力 (学校活動)	高個	盛岡となん支援学校 高等部1年 板倉 ミサオ	障がいにならず、いつまでも学びたいという強い思いをもち続けることや、家族の絆の大切さを綴った作文がコンクールで評価されるなど、周囲の生徒に大きな夢と希望を与えた。

### 3 教育相談

平成 28 年度の相談受理件数は 369 件、延べ相談件数は 1,975 件であった。うち電話相談が 1,493 件、面接による相談が 492 件（来所相談 455 件、訪問相談 37 件）である。

相談受理件数を内容別に見ると、小・中・高いずれの校種も「性格・行動に関すること」が最も多く、全体で 206 件と 55.8%を占めた。次いで、「知能・学業に関すること」が 69 件（18.7%）となっている。主訴別の相談件数では「学業」が 69 件と最も多く、児童生徒が日々の学校生活において学習面での多くの困り感を抱えているということがわかる。

不登校の校種別の相談件数は、高校が 20 件、次いで中学校が 13 件、小学校が 5 件となっており、相談件数としては前年度より増加している。さらに学年別に見ると、小学校は 3 年生、中学校は 2 年生、高校は 2 年生に多くなっている。また、不登校の性別の相談件数は、全ての校種で男子の割合が高くなっている。

平成 28 年度の「いじめ相談電話・メール」での相談受理件数は、電話は 244 件、メールは 43 件である。いじめの被害を訴える相談件数は、電話相談では 139 件（57.0%）、メール相談では 20 件（46.5%）である。

#### <平成 28 年度総合教育センターの相談受理件数について>

##### (1) 内容別・校種別相談件数

[単位：件、( )内は%]

内容	校種	就学前	小学校	中学校	高等学校	その他	計(割合)
知能・学業に関すること		0	29	28	12	0	69(18.7)
性格・行動に関すること		1	74	58	61	12	206(55.8)
性に関すること		0	1	7	2	0	10(2.7)
進路・適性に関すること		1	2	2	16	0	21(5.7)
精神衛生に関すること		0	0	0	5	0	5(1.4)
家庭教育一般に関すること		1	3	11	7	0	22(6.0)
その他		3	9	6	12	6	36(9.7)
計(割合)		6(1.6)	118(32.0)	112(30.4)	115(31.2)	18(4.8)	369(100.0)

##### (2) 主訴別相談件数

[単位：件、( )内は%]

主 訴	件数(割合)
不登校	42(11.4)
集団不適応	53(14.4)
精神衛生(情緒障がい 神経症・同疑い)	5(1.4)
進路相談	21(5.7)
学業	69(18.7)
いじめ	18(4.9)
家庭教育(家庭内暴力等)	22(6.0)
生活指導	33(8.9)
対人関係(交友関係等)	54(14.6)
非行	5(1.3)
性	10(2.7)
その他	37(10.0)
計	369(100.0)

##### (3) 校種別・性別不登校相談件数

[単位：件]

性別 校種	[単位：件]		
	男	女	計
就学前	0	0	0
小学校	3	2	5
中学校	8	5	13
高校	12	8	20
その他	2	2	4
計	25	17	42

##### (4) 学年別不登校相談件数

[単位：件]

学年	件 数	
小 1	0	5
小 2	1	
小 3	3	
小 4	0	
小 5	0	
小 6	1	
中 1	3	13
中 2	6	
中 3	4	
高 1	7	20
高 2	12	
高 3	1	
その他	4	4
計	42	42

## 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

### 第1 体力向上や運動に親しむ態度の育成

各校が体力・運動能力調査の適切な実施により、現状を把握し、課題に応じた取組が効果的に実施できるよう担当者会議を開催する等情報共有や研修の機会を設定するとともに、被災地における運動部活動の活動場所の確保を支援することにより、運動に親しむ態度を育成し、運動の習慣化が図られるように努めた。

#### 1 学校設定目標達成のための支援

##### 事業名「希望郷いわて 元気・体力アップ60運動」

「希望郷いわて 元気・体力アップ60（ロクマル）運動」とは、希望郷いわて国体、希望郷いわて大会の開催を契機として、児童生徒が1日に合わせて60分以上運動（遊び）やスポーツに親しみ、運動習慣を身に付けることができるように、学校・家庭・地域が連携した環境づくりに取り組むことを目指した運動の総称である。

各校では調査結果を活用し、次の3点の視点から取組を選択して実施した。

- ・体育科・保健体育科の授業改善
- ・教科以外の取組の実施
- ・家庭・地域と連携した取組

#### 2 体力向上担当者等のリーダー研修会の実施

##### 事業名「地区別体力向上課題対策会議」

ア 期 日 平成29年1月～2月

イ 会 場 各教育事務所が設定する会場

ウ 参加者 県内全小・中学校から各1人

エ 内 容 平成28年度調査結果の報告と平成29年度取組に係る協議

#### 3 運動部活動の支援

##### 事業名「中・高等学校運動部活動支援事業（バス支援）」

ア 実施期間 平成28年4月～平成29年3月

イ 実施校数 15校（中学校12校高等学校3校）

ウ 実施回数 169回

## 第2 健康教育の充実

生涯を通じて健康、安全で活力ある生活を送るための基礎を培うため、学校保健・学校安全活動や食育などを充実させるとともに、家庭や地域と連携し望ましい生活習慣の確立に努めた。

### 1 学校保健

#### (1) 保健教育の充実及び保健管理の徹底

ア 学校保健計画並びに保健室経営計画の立案、周知の徹底

学校保健においては、保健教育と保健管理並びに健康相談の活動を適切に行うことによって、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育目標の達成に寄与することとし、児童生徒自らの意思決定により健康な生活が実践できるよう健康教育を推進した。

また、学校保健を組織的に推進するために、教職員の協力体制を確立するとともに、家庭や地域の関係機関との連携を図った。

イ 関係機関団体等との連携及び学校保健組織活動の充実

(ア) 学校内の組織の設置促進と活動の充実

- ・学校保健委員会の活動
- ・児童生徒保健委員会の活動促進

(イ) 関係機関団体との連携

- ・(一社)岩手県医師会学校医部会
- ・(一社)岩手県歯科医師会
- ・(一社)岩手県薬剤師会岩手県学校薬剤師会
- ・岩手県学校保健会
- ・岩手県学校保健会養護教諭部会
- ・岩手県学校保健会高等学校部会
- ・岩手県高等学校教育研究会学校保健部会

#### (2) 岩手県学校保健功労者表彰

	氏 名	職	現 所 属 等
1	菊 地 一 博	学校医	奥州市立大田代小学校ほか
2	橋 浦 礼二郎	元学校歯科医	盛岡市立松園小学校
3	本 田 昭 二	学校薬剤師	盛岡市立津志田小学校ほか
4	河 嶋 寛	学校医	盛岡市立松園小学校ほか
5	沼 田 興志晴	学校歯科医	雫石町立上長山小学校ほか
6	小 原 進	学校医	矢巾町立矢巾中学校ほか
7	櫻 井 保 典	学校歯科医	花巻市立石鳥谷中学校ほか
8	鈴 木 密 雄	学校医	奥州市立胆沢第一小学校ほか
9	近 江 健 司	学校歯科医	一関市立萩荘小学校ほか
10	飯 塚 和 彦	学校医	大船渡市立盛小学校ほか
11	鈴 木 勝	学校歯科医	釜石市立釜石東中学校ほか
12	川原田 隆 司	学校医	宮古市立花輪小学校ほか
13	小 川 雅 之	学校歯科医	岩泉町立岩泉小学校ほか
14	青 木 美佳子	学校歯科医	洋野町立種市中学校ほか
15	菅 原 光 宏	学校医	二戸市立福岡小学校ほか
16	入 駒 一 美	副校長	県立一関清明支援学校
17	児 玉 亜津子	養護教諭	盛岡市立仙北中学校

## 2 学校安全

学校管理下における児童生徒の災害は、毎年約1万件も発生し、これらの学校災害の防止と後を絶たない交通事故の防止に加え、学校への不審者侵入や通学路での連れ去り、声かけといった犯罪に対する安全確保を図るため、安全指導、安全管理の推進、充実が重要な課題となっている。

独立行政法人日本スポーツ振興センター仙台支所が調査した平成28年度の学校管理下における児童生徒の災害発生件数は下表のとおりとなっており、以下の事業を通して児童生徒の事故、災害の防止を図り、学校における安全教育の充実に取り組んだ。

### (1) 災害発生件数（岩手県） [単位：件、%]

区 分	発生件数	発生率
幼稚園・保育所等	489	1.34
小 学 校	2,940	4.77
中 学 校	3,742	10.82
高 等 学 校	2,788	7.62
高等専門学校	37	4.34
計	9,996	5.87

### (2) 学校安全関係職員研修

[単位：人]

研修の名称	期 日	場 所	参加者数[内訳]
学校安全指導者養成研修	平成28年9月12日～16日	茨城県つくば市	3 [特1、指導主事2]
交通安全教育指導者講習会	平成28年7月6日	盛岡市	78 [高73、特5]
防犯教室講習会	平成28年6月22日	盛岡市	65 [幼2、小14、中10、高26、特12、他1]

### 3 食育・学校給食

小・中学校においては、食育担当者を中心とした食育推進のための校内体制が整備され、「食に関する指導の全体計画」及び「年間指導計画」により、計画的な推進が図られている。また、小中学校、義務教育学校、及び高等学校の食育担当者を対象とした食育推進研修会において、学校における食育の推進が図られるよう、小学校、中学校、高等学校における実践例発表の機会を設けた。

学校給食施設のドライシステムの導入（ドライシステムを導入していない場合はドライ運用）及び「学校給食施設の区分」に従い汚染作業区域・非汚染作業区域等に区分するよう整備促進に努めるなど、学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底を図った。

さらに、関係職員の資質向上を図るため、各種研修会を開催し、食に関する指導、給食管理及び衛生管理の充実に努めた。

#### (1) 学校給食の実施状況（平成28年5月1日現在） [単位：校、人、( )内は実施率で%]

区 分	完全給食		その他の方式		補食給食		ミルク給食		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	313 (94.6)	58,812 (97.3)	— (—)	— (—)	10 (3.0)	1,027 (1.7)	8 (2.4)	609 (1.0)	331 (100)	60,448 (100)
中学校	142 (87.1)	26,592 (79.4)	— (—)	— (—)	4 (2.5)	622 (1.9)	17 (10.4)	6,278 (18.7)	163 (100)	33,492 (100)
義務教育学校	1 (100)	634 (100)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (100)	634 (100)
夜間定時制高等学校	3 (100)	36 (100)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	3 (100)	36 (100)
特別支援学校	13 (93.0)	1,355 (95.6)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (7.0)	62 (4.4)	14 (100)	1,417 (100)

注：小学校及び義務教育学校は市町村立学校分、中学校は市町村立学校と県立学校分、夜間定時制高等学校及び特別支援学校は県立学校分

#### (2) 調理方法別の完全給食の実施状況（平成28年5月1日現在） [単位：校、人、( )内は実施率で%]

区 分	単独調理方式		共同調理方式 (65か所)		その他の調理方式		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	48 (15.3)	13,739 (23.4)	265 (84.7)	45,073 (76.6)	— (—)	— (—)	313 (100)	58,812 (100)
中学校	5 (3.5)	778 (2.9)	137 (96.5)	25,814 (97.1)	— (—)	— (—)	142 (100)	26,592 (100)
義務教育学校	— (—)	— (—)	1 (100)	634 (100)	— (—)	— (—)	1 (100)	634 (100)

注：小学校、中学校及び義務教育学校は市町村立学校

(3) 米飯給食の実施状況（平成28年5月1日現在） [単位：校、人、( )内は実施率で%]

区分	自校（共同調理場）炊飯		委託炊飯		自校・委託併用		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	152 (48.6)	26,144 (44.4)	160 (51.1)	32,577 (55.4)	1 (0.3)	91 (0.2)	313 (100)	58,812 (100)
中学校	68 (47.9)	10,780 (40.5)	74 (52.1)	15,812 (59.5)	— (—)	— (—)	142 (100)	26,592 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

(4) 栄養教諭、学校栄養職員及び学校給食調理員配置状況（平成28年5月1日現在） [単位：人]

区分	(給与負担)	職員数			
		単独調理方式	共同調理方式	教育委員会	計
栄養教諭	(県費)	31	65	—	96
学校栄養職員	(県費)	4	17	—	21
	(市町村費)	15	5	4	24
(計)		(50)	(87)	(4)	(141)
調理員	(市町村費)	122	137	—	259

注：調理員は常勤職員のみ

(5) 学校給食費の状況（保護者負担額、平成28年5月1日現在） [単位：円、回]

区分	1食あたり平均単価	平均月額	年間実施予定回数
小学校	259	4,174	177
中学校	299	4,751	175

注：小学校は中学年（3・4年）分

(6) 学校給食優良学校等表彰

一関市真滝学校給食センター

(7) 学校給食功労者表彰

盛岡市立高松小学校 吉田しづえ

(8) 文部科学大臣表彰

県立盛岡となん支援学校 徳田恵子

### 第3 指導者の資質・授業力向上

学校の教育活動全体を通じて「生きる力」の基礎となる健やかな体をはぐくむため、中核となる体育、食育、健康教育などを担当する指導者の資質や授業力向上に努めた。

#### 1 学校体育関係職員の研修及び地域スポーツ人材の活用

##### (1) 学校体育関係研修会の開催

[単位：人]

No.	事業名	期 日	会 場	参加者数
1	高校保健体育指導者研修会（兼 小・中学校体育・保健体育科実技研修会） 〔講義・演習（体づくり運動、ゲーム・ボール運動、柔道、保健）〕 ※小・中は希望研修	平成28年7月6日・7日	盛岡市	小学校教員 43 中学校教員 42 高校教員 62 (悉皆)
2	地区別授業改善研修会	平成28年9月～11月	各教育事務所管内	小中学校教員 各校1名悉皆
3	運動部活動指導者研修会 〔講義・演習（「子供たちのやる気を引き出す魔法の言葉がけ」「子供の力を最大限に引き出すコンディショニングの在り方」）〕	平成28年5月30日（県北） 平成28年11月25日（盛岡）	久慈市 盛岡市	中・高等学校教員 77

##### (2) 地域スポーツ人材活用の促進

[単位：校、人]

No.	事業名	期 間	実施校数	派遣者数
1	地域スポーツ指導者派遣事業	平成28年7月～12月	陸上 15 武道 12	25
2	中・高等学校アスレティックトレーナー等派遣事業	平成28年7月～平成29年1月	12校21部	15

#### 2 学校保健関係職員の研修

##### (1) 県内

[単位：人]

No.	研修名	期 日	場 所	参加者数〔内訳〕
1	養護教諭研修会	平成28年7月27日～28日	盛岡市	50〔小27、中16、高7〕
2	第52回岩手県学校健康教育研究大会	平成28年12月27日	盛岡市	264
3	学校保健研修会	平成28年11月2日	盛岡市	115〔小73、中31、高10、特1〕
4	県立学校新任保健主事研修会	平成28年6月10日	花巻市	22

## (2) 県外

[単位：人]

No.	研修名	期 日	場 所	参加者数[内訳]
1	全国養護教諭研究大会	平成 28 年 8 月 4 日～5 日	滋賀県大津市	2[小1、高1]
2	全国学校保健・安全研究大会	平成 28 年 10 月 27 日～28 日	北海道札幌市	4[中1、高1、特1、指導主事1]
3	健康教育指導者養成研修第1回	平成 28 年 7 月 12 日～15 日	茨城県つくば市	5[小3、中2]
4	健康教育指導者養成研修第2回	平成 28 年 12 月 19 日～22 日	茨城県つくば市	2[小1、高1]
5	全国学校歯科保健研究大会	平成 28 年 11 月 16 日～17 日	東京都	2[中1、高1]

## 3 食育・学校給食関係職員研修

## (1) 県内

No.	研修名	期 日	場 所	参加者数
1	衛生管理推進等研修会	平成28年6月3日	盛岡市	75
2	食育推進研修会	平成28年8月10日	盛岡市	67

## (2) 県外

No.	研修名	期 日	場 所	参加者数[内訳]
1	全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成28年8月3日～8月4日	大阪府大阪市	—
2	全国学校給食研究協議大会	平成28年11月10日～11月11日	秋田県秋田市	2[特2]
3	食育指導者養成研修食育（第1回）	平成28年9月6日～9日	茨城県つくば市	3[小2、中1]
4	食育指導者養成研修食育（第2回）	平成28年10月11日～14日	茨城県つくば市	3[小3]
5	学校給食の衛生管理に関する指導者講習会	平成28年7月14日～15日	東京都	2[小2]

## (3) その他

No.	主催	研修会名	期 日	場 所	参加者数
1	(公社)全国学校栄養士協議会岩手県支部・岩手県[共催]	岩手県栄養教諭・学校栄養職員研修会	平成28年6月24日	盛岡市	127
2		岩手県栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成28年12月16日	盛岡市	122
3	(公財)岩手県学校給食会・岩手県[共催]	学校給食調理講習会	平成28年7月28日～29日	盛岡市	67
4		学校給食調理員研修会	平成28年8月1日	盛岡市	225
5		学校給食調理コンクール	平成29年1月6日	盛岡市	32

## 第5節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

### 第1 「就学指導」から「教育支援」へ

国においては、障がい者制度改革推進会議において、インクルーシブ教育の推進を基本的な理念とした制度改革にかかわる検討が行われ、その結果を受け、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」から、現在の就学指導の在り方を改善する方向性を含んだ「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成24年7月）が公表された。また、平成25年9月には学校教育法施行令の一部を改正する政令が公布され、障がいのある児童生徒等の就学先決定の仕組みに関する改正が行われた。こうした動向に合わせ、現在の県就学指導委員会の在り方の検討を進めた。

#### 1 市町村教育委員会を対象とした就学指導にかかわる支援体制の整備

就学指導に関する各市町村就学指導委員会の抱える課題やニーズ、困難なケース等の相談、支援への助言を行うために、特別支援教育エリアコーディネーターを県就学指導委員会調査員（就学支援アドバイザー）に任命し、市町村における就学指導委員会を支援する体制を整えた。

就学支援アドバイザーの活動状況（平成28年4月～平成29年1月）は、計129回であった。

#### 2 県就学指導委員会規則の一部改正

教育上特別な支援を必要とする児童生徒等の就学先決定時のみならず、就学先決定後の学校生活における支援の内容等に係る調査審議、助言をさらに充実させるため、名称を「岩手県教育支援委員会」と改めるなど、県就学指導委員会規則の一部改正を行った。

### 第2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実

#### 1 特別支援教育エリアコーディネーターの指名及び配置

特別支援教育に関する研修や相談などの業務を効果的に推進するため、各教育事務所に特別支援教育エリアコーディネーター（教諭兼指導主事）を1人配置した。特別支援教育エリアコーディネーターは、学校教育課及び教育事務所と連携しながら管内の特別支援教育に関する課題に対応するとともに、全県的な課題にも同一歩調で対応するなど効果的な業務の推進を図った。

#### 2 特別支援学校による相談、研修等の支援

各特別支援学校の特別支援教育センター的機能を活用し、地域の幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校等での相談や研修等への支援を行った。また、幼稚園、小・中学校等80校を対象に、継続的に訪問し、当該校を支援する継続型訪問支援を実施した。

#### 3 特別支援教育研修資料の活用

平成25年度に作成した『交流及び共同学習ガイドブック』を活用し、県内の公立小・中学校と特別支援学校の交流及び共同学習の推進を図った。

#### 4 いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業の継続実施

平成 28 年 5 月 1 日現在、県単独事業により県立高等学校（県立中学校を含む）33 校へ特別支援教育支援員 34 人を配置し、障がい等によって個別の指導及び支援が必要な生徒への支援の充実を図った。

（特別支援教育支援員配置校）

- |            |            |                |            |
|------------|------------|----------------|------------|
| ・杜陵高等学校定時制 | ・盛岡農業高等学校  | ・葛巻高等学校        | ・平館高等学校    |
| ・雫石高等学校    | ・紫波総合高等学校  | ・花巻北高等学校       | ・花巻農業高等学校  |
| ・大迫高等学校    | ・西和賀高等学校   | ・水沢農業高等学校      | ・前沢高等学校    |
| ・岩谷堂高等学校   | ・一関第一高等学校  | ・一関第一高等学校附属中学校 |            |
| ・一関第二高等学校  | ・花泉高等学校    | ・千厩高等学校        | ・住田高等学校    |
| ・大船渡東高等学校  | ・釜石高等学校定時制 | ・釜石商工高等学校      | ・遠野高等学校    |
| ・遠野緑峰高等学校  | ・大槌高等学校    | ・山田高等学校        | ・宮古高等学校    |
| ・宮古北高等学校   | ・宮古水産高等学校  | ・岩泉高等学校        | ・久慈高等学校長内校 |
| ・伊保内高等学校   | ・福岡高等学校定時制 |                |            |

### 第 3 特別支援教育の理解促進

#### 1 いわて特別支援教育講演会の実施

インクルーシブ教育の理念と地域の中で障がいのある子どもを育むための環境について、広く県民の皆様に対して情報提供するため、平成 28 年度に県民向け特別支援教育講演会を盛岡市、北上市、宮古市の 3 箇所で開催した。盛岡会場では 87 人、北上会場では 83 人、宮古会場では 34 人の参加を得た。

#### 2 幼稚園及び保育所を対象とした研修会の実施

幼稚園、保育所、療育関係者等を対象に幼児期における障がいの基本的理解や対応と園内での特別支援教育の推進を図るための研修会を久慈市と盛岡市の 2 箇所で開催した。久慈会場では 33 人が参加し、盛岡会場では 87 人の参加を得た。

#### 3 特別支援教育ボランティアの育成と活用

平成 28 年度は、盛岡となん支援学校、一関清明支援学校、久慈拓陽支援学校において、特別支援教育ボランティア養成講座を開催した。さらに修了者が登録するボランティアバンクについて周知と活用を図り、小・中学校等及び特別支援学校における活用を図った。

平成 28 年度のボランティア活動実績は、幼稚園・保育園、小学校、特別支援学校において延べ 114 件、264 人が活用された。

### 第 4 特別支援学校生徒の就労支援の充実

#### 1 県の機関における職場実習の受け入れ

教育委員会事務局、商工労働観光部、保健福祉部、盛岡広域振興局、労働委員会事務局等が連携し、特別支援学校高等部生徒 4 人の現場実習を受け入れた。各機関において、2 日から 2 週間にわたって実習を実施した。

## 2 関係機関との連携

岩手労働局、岩手障害者職業センターと共催で「就労支援セミナー」を盛岡峰南高等支援学校で開催するなど、関係機関との連携を図った。

## 3 啓発リーフレットの活用

平成 25 年度に作成した企業事業所向けの啓発リーフレットを活用し、特別支援学校卒業生の雇用及び職場実習先の開拓や、学校の進路指導の充実を図った。

## 4 企業との連携協議会の開催

平成 28 年度は、盛岡地区、花巻地区、北上地区、胆江地区、一関地区、大船渡・陸前高田地区、釜石地区、宮古地区、久慈地区において 67 企業・事業所の参加を得て企業との連携協議会を各地区で 1 ～ 3 回開催し、特別支援学校の職業指導や高等部生徒の学習の様子について企業の理解を深め、また、参加企業から指導内容等についての助言を受けることができた。

## 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

### 第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

#### 1 県立高等学校新整備計画

##### (1) 概要

国際化、情報化、少子高齢化等著しい社会の変化に主体的に対応できる人材の育成が求められていることから、県立高等学校長期構想検討委員会（船越昭治委員長）の報告をもとに、生徒が活力ある環境の中で、一人一人の個性・能力を最大限に伸ばせるような学習環境を構築する観点から、平成12年度以降10年間を見通した学校・学科の適正な配置等について慎重に検討を進め、平成12年1月に「県立高等学校新整備計画」として、平成12年度から16年度（前期）の学校別の計画並びに平成17年度から21年度（後期）の計画の大まかな見通しを示した。

平成17年度から21年度の後期計画の策定では、平成16年1月に「県立高等学校新整備計画後期マスタープラン」として基本的な方針を示した後、8月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）案」、平成17年1月に調整案、6月に再調整案を公表し、各段階において、パブリック・コメントを実施したほか、各地で意見を聴く会や出前説明会などを重ね、7月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）」を策定・公表した。

後期計画では、学科改編を含む学級数の取扱いは、中学校卒業予定者数の状況、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案して毎年度調整するものとし、小規模校等の統合は、一定の基準を設けて実施することとした。

平成20年度においては、

- ・ 花巻北高等学校と東和高等学校を統合して花巻北高等学校とし（東和高等学校は平成21年度末まで存続）、
- ・ 水沢高等学校と胆沢高等学校を統合して水沢高等学校とし（胆沢高等学校は平成21年度末まで存続）、
- ・ 高田高等学校と広田水産高等学校を統合して高田高等学校とし、
- ・ 大船渡農業高等学校と大船渡工業高等学校を統合して大船渡東高等学校とし、
- ・ 釜石南高等学校と釜石北高等学校を統合して釜石高等学校とするとともに、
- ・ 遠野高等学校情報ビジネス校、宮古高等学校川井校、久慈高等学校山形校の3分校を本校に統合し（3分校とも平成21年度末まで存続）、
- ・ 久慈高等学校長内校を昼間部と夜間部の多部制高等学校とし、
- ・ 浄法寺高等学校を福岡高等学校の分校とした。

平成21年度においては、黒沢尻工業高等学校定時制課程と水沢商業高等学校定時制課程を募集停止するとともに、杜陵高等学校奥州校を多部制単位制高等学校として設置した（両課程とも平成23年度末まで存続）。

なお、後期計画終了後において、教育環境を整える観点から、平成22年度に岩泉高等学校田野畑校を本校に統合した（岩泉高等学校田野畑校は平成23年度末まで存続）。

##### (2) 全体計画（平成12年1月24日公表、平成17年7月19日後期計画により変更）

年度	中学校卒業 予定者数（人）	高等学校設置学級数 （学級）			高等学校数 （校）	
		うち普通科	専門学科	総合学科		
11	18,440	368	229	134	5	83
17	14,857	301	177	91	33	77
21	13,797	266	159	75	32	61～68

(3) 後期計画の総括表（平成 17 年 7 月 19 日公表）

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
総合的な専門高等学校				<input type="checkbox"/> 高田(商業科)・広田水産(家政科)・大船渡農・大船渡工[統合]	<input type="checkbox"/> 釜石工・釜石商[統合]
普通科と専門学科併設高等学校		<input type="checkbox"/> 大東・大原商 [統合]	<input type="checkbox"/> 藤沢・千厩 [統合]	<input type="checkbox"/> 高田(普通科)・広田水産(水産科)・住田(※) [統合]	
総合学科高等学校	<input type="checkbox"/> 一戸 [改編]				<input type="checkbox"/> 岩谷堂・岩谷堂農林 [統合]
普通高等学校				<input type="checkbox"/> 釜石南・釜石北[統合] <input type="checkbox"/> 花巻北・東和[統合] <input type="checkbox"/> 水沢・胆沢[統合] <input type="checkbox"/> 遠野・情報ビズネ[統合] <input type="checkbox"/> 宮古・川井[統合] <input type="checkbox"/> 岩泉・田野畑[統合] <input type="checkbox"/> 久慈・山形[統合]	<input type="checkbox"/> 伊保内・福岡・浄法寺[統合]
定時制（多部制・単位制）	<input type="checkbox"/> 胆江ブロックにおいてもできるだけ後期計画中に整備に努める。				
中高一貫教育校コミュニティ・スクール	<input type="checkbox"/> 新しいタイプの学校である、中等教育学校・併設型中高一貫教育校やコミュニティ・スクールについては、継続して検討する。				

※ 住田高等学校については、県の中高一貫教育に関する検討委員会の検討結果等を踏まえ、別途検討する。

【学級数の取扱いについて】

学級数（学科改編を含む）の取扱いは、中学校卒業予定者数、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案しながら毎年度調整する。

【1 学年 2 学級校の取扱い】

- (1) 1 学年 2 学級の募集定員に対し、1 学級定員の半数を超える欠員が 2 年続いた場合には、原則として翌年度に学級減を行う。なお、通学困難な地域は、高校教育を受ける機会を確保するという観点から学級減を行わないことも検討する。
- (2) 募集定員に対して 1 学級相当程度の欠員が生じている場合には、原則として翌年度に学級減を行う。ただし、中学校卒業予定者数に回復の見通しがあれば、学級減を行わないことも検討する。
- (3) 各学年とも 2 学級を維持できない場合には統合を基本とするが、広大な県土を有する本県の通学事情等に鑑み、地域の実情に応じて分校（1 学級規模）の設置も検討する。

【分校の取扱い】

入学者が募集定員の半数を下回る状況又は当該分校に進学した者のうち分校所在地の中学校からの進学者の割合が半数以下となる状況が、2 年続いた場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。

## 2 新たな県立高等学校再編計画

### (1) 次期県立高等学校再編計画策定に向けた取組及び東日本大震災津波による策定作業の中断

今後の少子化によるさらなる生徒減少や社会情勢の変化に対応するため、教育の原点に立ち返り、高校教育として子供たちの確かな成長を支える仕組みや取組を強固にすることが重要であることから、平成 20 年 4 月から「第二次県立高等学校長期構想検討委員会」を設置し、委員会において教育環境の整備や将来の岩手県を担う人財育成について検討の上、平成 21 年 5 月に「今後の県立高等学校の在り方」〔中間まとめ〕を取りまとめ、県内 9 ブロックにおいて地域懇談会を開催し、県民からの意見、提言等を踏まえ、9 月 17 日に県教育委員会に成案を報告した。

これを基に、県教育委員会において平成 21 年 12 月 24 日に、概ね 10 年先を展望し、今後の人口減少と超高齢社会の到来や厳しい国際競争などに対応し、明日の日本や岩手の未来を担う人財の育成に向けた今後の県立高校における教育の基本的考え方と方向性を示した「今後の高等学校教育の基本的方向」（案）を作成、公表し、パブリック・コメント、地域説明会、意見を聴く会を通じた意見等を踏まえ、平成 22 年 3 月 17 日に成案を策定した。

これを指針として、平成 23 年上半期の策定を目的に「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」を策定することとし、その検討のため、平成 22 年度において、市町村長、市町村教育委員会教育長、PTA 関係者、産業関係者、中学校長代表者で構成される「今後の県立高校に関する地域検討会議」を県内 9 ブロックにおいて 3 回ずつ、また、一般県民を対象とした「今後の県立高校に関する地域別懇談会」を県内 9 ブロックにおいて 2 回ずつ、併せて、地域等の要望に応じて出前懇談会を実施し（計 11 回）、「今後の高等学校教育の基本的方向」への理解を図るとともに、各ブロックにおける高校のあるべき姿や地域実情に応じた高校配置等について意見交換を行った。

しかし、東日本大震災津波の発生に伴い、甚大な被害及びその影響を踏まえ計画の策定は見送ることとし、策定の時期については、県内各ブロックにおける、震災後の児童・生徒数の動向・推移等を見据えつつ、被災地における公共交通機関の復旧による通学事情の改善など、教育に関わる環境整備の状況も考慮しながら、改めて調整・検討することとした。

また、学級数調整については、東日本大震災津波による被害等を考慮し、平成 24 年度は実施しなかったが、中学校卒業生数の減少は続いていることから、平成 25 年度から再開した。

### (2) 次期再編計画策定作業の再開及び今後の高等学校教育の基本的方向の改訂に向けた取組

東日本大震災津波の発生から 3 年が経過し、少子化が一層進行した状況において、生徒にとってより望ましい教育環境の早急な整備を進めるため、平成 26 年度から次期県立高等学校再編計画の策定作業を再開した。

再開にあたっては、東日本大震災津波の被害等、教育を取り巻く環境が大きく変化したことを受け、平成 22 年 3 月に策定した「今後の高等学校教育の基本的方向」の改訂を行うこととした。

具体的には、平成 26 年 5 月に外部有識者を委員とした「県立高等学校教育の在り方検討委員会」を設置し、県内 9 ブロックにおいて地域懇談会を開催し、県民からの意見、提言等を踏まえた上で、震災等の影響も踏まえた教育環境の整備や岩手の復興等を担う人財育成について検討を進め、12 月 26 日に同委員会から県教育委員会に「今後の県立高等学校の在り方について」の報告をした。

これを基に、県教育委員会では、東日本大震災津波からの復興、人口減少社会への対応等を踏まえ、岩手の復興・発展、ふるさとを守る人財を本県高校教育において育成することを

改訂の柱とした「今後の高等学校教育の基本的方向」の改訂案を平成 27 年 1 月 29 日に公表し、県内で地域説明会を開催する等パブリック・コメントを実施、寄せられた意見を踏まえ平成 27 年 4 月 20 日に改訂を行った。

### (3) 新たな県立高等学校再編計画の策定

#### ア 概要

平成 27 年 4 月に改訂した「今後の高等学校教育の基本的方向」を基に、県内 9 ブロックで市町村長、市町村教育委員会教育長、PTA 関係者、産業関係者、中学校長会代表等、地域代表による地域検討会議を各 3 回、県民を対象とする意見交換会を各 2 回、要請による説明会を 5 回開催し、ブロックにおける高校、学科の配置、高校の魅力づくりに向けた地域との連携の在り方等について検討等を行い、平成 27 年 12 月 25 日に、望ましい学校規模の確保による教育の質の保証と、本県の地理的条件を踏まえた教育の機会の保障を大きな柱にした「新たな県立高等学校再編計画案」を公表した。

計画案の公表後、県内 9 ブロックで地域検討会議、県民向け説明会、要請による説明会（10 回）を通じて、延べ 900 人の出席をいただき意見交換を行うとともに、パブリック・コメントにおける意見や統合予定校が所在する市町村長等とも個別に協議を重ねつつ、意見をできる限り反映させた修正を行った上で、平成 28 年 3 月 29 日に「新たな県立高等学校再編計画」を策定した。

なお、再編計画の策定に当たっては、統合予定校では地方創生に向けたそれぞれの地域の取組の推移や、平成 30 年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期等について検討する旨を追記した。また、学科改編・学級減は原則として再編計画に基づき実施するが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には実施時期等の変更も検討する旨を追記するとともに、久慈東高校と久慈高校の統合は市村をまたがるものであり、調整に時間を要するため、統合時期を平成 31 年度から平成 32 年度に 1 年延長した。

#### イ 全体計画

年度	中学校卒業 予定者数(人)	高等学校設置学級数(全日制課程)			高等学校数 (校)	
		(学級)	うち普通科	専門学科		総合学科
28	12,084	255	148	77	30	63
32	10,775	216	126	64	26	60
37(見通し)	9,806	189~191	108~110	57~59	22~24	49~51

(4) 前期プログラム総括表

計画期間(H28～H32 5年間)					
タイプ 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
総合的な専門高等学校					宮古商業 宮古工業
普通科・専門学科併置高等学校					遠野 遠野緑峰
総合学科・専門学併置高等学校					久慈東 久慈工業
普通高等学校		※ 表外(2)のとおり			
学科改編 コース等見直し(学級減)			西和賀 水沢農業 一関第二 釜石商工	平館 花巻南 水沢工業 大船渡東 宮古水産	不来方 盛岡工業 紫波総合 花北青雲 北上翔南 一関工業 一戸
学級減		大槌 伊保内	葛巻 大船渡 種市	盛岡第四 前沢 大東 山田	盛岡第三 盛岡北 一関第一 高田
全日制学校数	63	63	63	63	60
全日制学級数	255	253	245	233	216
(定時制)			宮古ブロック	盛岡ブロック	

- (1) 統合予定校では、地方創生に向けたそれぞれの地域の取組の推移や、平成 30 年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期等について検討する。
- (2) 1 学年 1 学級の普通高校では、直近の入学者数が 2 年連続して 20 人以下となった場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。
- (3) 学科改編、学級減等は、原則として再編計画に基づき実施するが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討する。

(4) 再編計画の推進

[平成 28 年度]

- ・ 平成 29 年度の学級編制について、再編計画どおり、全県で 2 学級の減とした。  
 大槌高校普通科      3 学級 → 2 学級      1 学級減  
 伊保内高校普通科    2 学級 → 1 学級      1 学級減

### 3 中高一貫教育の導入について

中高一貫教育の在り方については、文部省からの研究の委嘱を受け、平成10年9月に「岩手県中高一貫教育研究会議」（船越昭治委員長）を設置して検討を重ねるとともに、実践研究を行う研究推進校（高校2校、中学校6校）を指定し、「岩手県中高一貫教育実践研究委員会」においても検討を進め、平成12年3月に中高一貫教育研究会議より報告書が提出された。

この報告を受け、軽米・葛巻地域は、連携型中高一貫教育の研究を行い、平成13年度には軽米地域が、平成14年度には葛巻地域が連携型中高一貫教育を導入した。

平成15年7月に「岩手県中高一貫教育検討委員会」を設置し、中等教育学校及び併設型中高一貫教育校の導入や連携型中高一貫教育校の推進について検討を進めた。平成17年9月には、この検討委員会を継承・発展した「岩手県新しいタイプの学校に関する検討委員会」を設置し、中高一貫教育を中心としたコミュニティ・スクールを含めた新しいタイプの学校の在り方について検討を行い、平成18年3月に報告書が提出された。

この報告を受け、併設型中高一貫教育校の導入について検討し、平成19年2月に、平成21年度から一関第一高等学校に導入する方針を決定した。

平成19年5月に「岩手県立一関第一高等学校中高一貫教育検討委員会」を設置し、併設型中高一貫教育校の教育内容や県立中学校の入学選抜方針などについて検討を行い、同年11月に報告書が提出された。この報告を受け、一関第一高等学校に設置する併設型中高一貫教育校の目指す教育などについて検討し、平成20年1月には一関第一高等学校に併設する県立中学校の方針を決定した。平成20年4月から、県教育委員会事務局学校教育室の高校改革担当内に併設型の県立中学校準備担当（3人）を配置し、具体的な準備を開始した。7月には「岩手県立学校設置条例の一部を改正する条例」が6月県議会定例会で議決され、平成21年4月に「岩手県立一関第一高等学校附属中学校」を設置した。

平成23年度末には、第1回入学生が卒業し、全員一関第一高等学校に入学することとなった。平成26年度末には、附属中学校第1回入学生が一関第一高等学校を卒業した。

### 4 公立高等学校入学選抜について

- (1) 県教育委員会は、平成13年8月29日に「岩手県立高等学校入学選抜方策検討委員会」（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学教授）から「報告」が提出されたことを受け、平成13年11月12日の教育委員会議において県立高等学校入学選抜の方針を決定した。

県教育委員会は、この方針をもとに、受験生の意欲や個性をより適切に評価できるよう、平成16年度入学選抜から選抜方法や通学区域等を改善した。

#### ア 選抜方法の変更

校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）による合否判定をする。

#### イ 通学区域（学区）の変更

普通科の通学区域（学区）について、平成6年度から県内19学区としてきたが、地域の意見を勘案して、8学区に改めた。

#### ウ 学区外許容率の変更

学区（通学区域）の拡大に伴って、学区外許容率を15%から10%に引き下げた。

今回の変更は、昭和53年に20%から15%に引き下げて以来の変更となる。

#### エ 再募集の要件の変更

平成15年度まで「再募集人員が定員の30%より少ない場合は、再募集を行わないことができる」とした、ただし書きを平成16年度入学選抜から撤廃した。

- (2) 平成16～18年度入学選抜まで3年間実施後、入試制度の問題点・改善点を検討することを目的に、平成17年9月20日に「県立高等学校入試改善検討委員会」を設置し（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学副学長）、平成18年6月1日に提言を受けた。

それをもとに平成 18 年 7 月 18 日の教育委員会議において、県立高等学校入学者選抜の方針を決定した。

ア 全日制課程及び定時制課程

一般入学者選抜及び推薦入学者選抜を行う。

一般入学者選抜においては、調査書、学力検査、面接の結果（学校によっては小論文・作文または適性検査）を資料とし、校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）により選抜する。

推薦入学者選抜においては、校長が推薦基準を決定し、志願理由書、調査書及び面接（学校によっては、小論文・作文または適性検査）の結果により選抜する。

イ 通信制課程

調査書その他必要な書類、面接の結果及び作文の評価に基づいて選抜する。

(3) 県教育委員会では、この方針に基づき平成 19 年度入学者選抜から、次のように改善した。

ア 推薦入学者選抜の実施

高等学校全学科を対象とし、各高等学校は推薦基準を公表する。

応募資格は、スポーツ、文化・芸術等において顕著な成績を収めた者とする。

イ 一般入学者選抜日程の変更

2 日間の日程を改め、1 日とした。

ウ 一般入学者選抜学力検査内容の変更

英語応答試験を廃止した。

エ 募集の要件の改善

平成 18 年度までの「合格者が募集定員に達しなかった学校は、その課程及び学科別に再募集を行う」を改め、「欠員が、募集定員の概ね 10%より多い高等学校は、その学科別に再募集を行うことができる」とした。

オ 普通科と理数科の一括募集

すべての理数科を対象として、普通科と理数科を一括募集することとした。

(4) 平成 20 年度入学者選抜では、推薦入学者選抜において「志願先高等学校に二つ以上の学科（学系、コース）がある場合には、第 2、第 3 志望まで出願できる」と変更した。

(5) 平成 21 年度入学者選抜では、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系、芸術学系の推薦入学者選抜の募集定員を、定員の 20%以内から 50%以内に変更した。

(6) 入試制度の問題点及び改善点を検討することを目的に、平成 22 年 6 月 25 日に「県立高校入試改善検討委員会」（委員長：望月善次盛岡大学学長）を設置し、計 6 回の会議を経て、平成 23 年 12 月に「平成 27 年度以降の県立高校入試の改善について（提言）」が提出された。県教育委員会では、提言をもとに素案を作成し、パブリック・コメント等で寄せられた意見等も踏まえながら、「平成 28 年度以降の岩手県立高等学校入学者選抜の実施方法」をまとめた（平成 24 年 3 月 23 日）。

主な改善点は以下のとおり

ア 推薦入試合格（内定）者に対して、学力検査問題を活用した学力調査を実施する。

イ 現行では、2、3 年生が対象となっている調査書の評定換算点に 1 年生も加える。

ウ ABC選考で学校裁量を広げる。（A選考のみ、AB選考のみ、AC選考のみも設定可能とした。）

エ 「再募集」を「二次募集」と名称変更し、「定員の概ね 10%より多い欠員」としていた実施基準を「定員の 10%以上の欠員」と明確にした。

(7) 平成 27 年度入学者選抜からは、学区外許容率（10%）は変更しないものの、学区内志願者が募集定員を満たさず、かつ、その不足数が学区外許容数を超過している場合、これを超過して入学を許可することができるとした。

## 第2 学校施設の耐震化の推進

(文部科学省公立学校施設の耐震改修状況調査、平成28年4月1日現在)

### 1 県立学校施設の耐震化状況

#### (1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		比較	
	H27.4.1現在	H28.4.1現在	H27.4.1現在	H28.4.1現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	100.0%	100.0%	95.6%	98.1%	±0.0%	+2.5%
高等学校	86.2%	88.5%	93.7%	96.4%	+2.3%	+2.7%
特別支援学校	100.0%	100.0%	98.1%	99.1%	±0.0%	+1.0%
幼稚園	—	—	86.7%	91.0%	—	+4.3%
計(平均)	88.6%	89.8%	95.1%	97.6%	+1.2%	+2.5%

※1 (小)中学校の岩手県欄については、一関第一高等学校附属中学校に係る数値。(以下同じ)

※2 「耐震化率」とは、全建物のうち、耐震性がある建物(昭和57年以降建築の棟数及び昭和56年以前建築で耐震性がある棟と耐震補強済みの棟)の割合のこと。(以下同じ)

#### (2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		比較	
	H27.4.1現在	H28.4.1現在	H27.4.1現在	H28.4.1現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	—	—	89.7%	92.7%	—	+3.0%
高等学校	95.7%	95.8%	80.6%	87.7%	+0.1%	+7.1%
特別支援学校	—	—	98.6%	100.0%	—	+1.4%
幼稚園	—	—	92.1%	94.3%	—	+2.2%
計(平均)	95.7%	95.8%	89.7%	92.7%	+0.1%	+3.0%

### 2 市町村立学校施設の耐震化状況

#### (1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H27.4.1現在	H28.4.1現在	H27.4.1現在	H28.4.1現在	岩手県	全国平均
小中学校	92.6%	95.9%	95.6%	98.1%	+3.3%	+2.5%
高等学校	46.2%	69.2%	93.7%	96.4%	+23.0%	+2.7%
特別支援学校	—	—	98.1%	99.1%	—	+1.0%
幼稚園	82.8%	80.8%	86.7%	91.0%	-2.0%	+4.3%
計(平均)	92.1%	95.4%	95.1%	97.6%	+3.3%	+2.5%

#### (2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H27.4.1現在	H28.4.1現在	H27.4.1現在	H28.4.1現在	岩手県	全国平均
小中学校	91.5%	95.3%	89.7%	92.7%	+3.8%	+3.0%
高等学校	—	—	80.6%	87.7%	—	+7.1%
特別支援学校	—	—	98.6%	100.0%	—	+1.4%
幼稚園	100.0%	100.0%	92.1%	94.3%	±0.0%	+2.2%
計(平均)	92.7%	96.1%	89.7%	92.7%	+3.4%	+3.0%

### 第3 修学資金の支援等

#### 1 特別支援教育就学奨励費補助金

##### (1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額			
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	
学校給食費	772	354	1,126	17,633,331	8,173,433	25,806,764	
交通費（通学費）	90	19	109	1,692,559	2,723,425	4,415,984	
職場実習交通費	0	0	0	0	0	0	
交流学习交通費	38	1	39	17,877	2,100	19,977	
修学旅行費	110	114	224	1,143,211	3,229,440	4,372,651	
校外活動費	宿泊を伴わないもの	572	180	752	327,995	151,082	479,077
	宿泊を伴うもの	106	84	190	114,624	175,992	290,616
学用品等購入費	766	341	1,107	3,961,306	2,973,600	6,934,906	
新入学児童・生徒用学用品費等	120	120	240	1,162,396	1,360,220	2,522,616	
体育実技用具費	柔道	0	3	3	0	6,275	6,275
	剣道	0	0	0	0	0	0
	スキー	25	12	37	259,374	102,494	361,868
	スケート	0	0	0	0	0	0
拡大教材費	0	0	0	0	0	0	
合計	(888)	(363)	(1,251)	26,312,673	18,898,061	45,210,734	

※ 給与人員の合計の欄は、実給与人員であること。

##### (2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	国庫補助金額
盛岡市	6,539
八幡平市	302
雫石町	104
葛巻町	38
岩手町	294
滝沢市	1,164
紫波町	541
矢巾町	585
花巻市	2,042
遠野市	382
北上市	2,188
西和賀町	43

市町村名	国庫補助金額
奥州市	1,426
金ケ崎町	591
一関市	2,528
平泉町	225
大船渡市	392
陸前高田市	240
住田町	30
釜石市	192
大槌町	45
宮古市	456
山田町	58
岩泉町	150

市町村名	国庫補助金額
田野畑村	0
久慈市	469
洋野町	426
野田村	0
普代村	45
二戸市	352
軽米町	253
九戸村	67
一戸町	275
合計	22,442

## 2 要保護児童生徒援助費補助金

### (1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費	0	0	0	0	0	0
新入学児童・生徒用学用品費等	0	0	0	0	0	0
通学用品費	0	0	0	0	0	0
校外活動費（宿泊を伴わないもの）	0	0	0	0	0	0
校外活動費（宿泊を伴うもの）	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	99	81	180	2,087,965	5,516,768	7,604,733
通学費	0	0	0	0	0	0
体育 実技 用具 費	柔道	0	0	0	0	0
	剣道	0	0	0	0	0
	スキー	0	0	0	0	0
	スケート	0	0	0	0	0
医療費	116	51	167	2,414,478	1,240,740	3,655,218
学校給食費	0	0	0	0	0	0
合 計	—	—	—	4,502,443	6,757,508	11,259,951

※平成17年度から準要保護児童生徒援助費補助金が廃止され、市町村へ財政措置されていること。

### (2) 市町村別補助金交付額

[単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	学校給食費	計
盛岡市	1,909,000	879,000	0	2,788,000
八幡平市	17,000	38,400	0	55,400
雫石町	12,000	0	0	12,000
葛巻町	16,000	17,460	0	33,460
岩手町	48,000	22,295	0	70,295
滝沢市	175,000	67,310	0	242,310
紫波町	27,000	63,715	0	90,715
矢巾町	0	40,000	0	40,000
花巻市	209,000	54,920	0	263,920
遠野市	48,000	0	0	48,000
北上市	348,000	128,105	0	476,105
西和賀町	0	0	0	0
奥州市	252,000	15,810	0	267,810
金ヶ崎町	10,000	5,000	0	15,000
一関市	313,000	51,905	0	364,905
平泉町	0	0	0	0
大船渡市	0	0	0	0
陸前高田市	0	0	0	0
住田町	0	0	0	0
釜石市	69,000	84,800	0	153,800
大槌町	0	0	0	0
宮古市	120,000	0	0	120,000
山田町	80,000	4,265	0	84,265
岩泉町	0	49,685	0	49,685
田野畑村	0	0	0	0
久慈市	35,000	0	0	35,000
洋野町	10,000	129,965	0	139,965
野田村	0	0	0	0
普代村	0	0	0	0
二戸市	27,000	3,170	0	30,170
軽米町	0	48,000	0	48,000
九戸村	14,000	15,000	0	29,000
一戸町	36,000	16,220	0	52,220
合 計	3,775,000	1,735,025	0	5,510,025

### 3 被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金（被災児童生徒就学援助事業）

#### (1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費	1,601	1,066	2,667	19,849,252	26,115,252	45,964,504
体育実技用具費	3	6	9	77,948	21,630	99,578
新入学用品費	209	348	557	4,265,540	8,166,300	12,431,840
通学用品費	1,142	600	1,742	2,489,585	1,302,089	3,791,674
通学費	332	246	578	71,220,534	98,337,011	169,557,545
修学旅行費	307	377	684	6,641,229	24,300,527	30,941,756
校外活動費（宿泊無し）	496	105	601	423,475	192,215	615,690
校外活動費（宿泊有り）	87	132	219	121,365	421,889	543,254
クラブ活動費	5	646	651	1,148	12,215,800	12,216,948
生徒会費	399	683	1,082	472,643	1,312,559	1,785,202
P T A会費	833	660	1,493	1,524,760	1,580,110	3,104,870
医療費	218	80	298	1,251,690	611,978	1,863,668
学校給食費	1,602	1,064	2,666	71,450,088	53,419,558	124,869,646
合計	—	—	—	179,789,257	227,996,918	407,786,175

#### (2) 市町村別補助金交付額

[単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	学校給食費	計
盛岡市	1,553,588	0	1,999,904	3,553,492
八幡平市	0	0	0	0
雫石町	0	0	0	0
葛巻町	43,894	0	53,100	96,994
岩手町	0	0	0	0
滝沢市	792,550	1,240	829,600	1,623,390
紫波町	743,315	0	802,150	1,545,465
矢巾町	202,430	0	247,400	449,830
花巻市	682,877	0	616,700	1,299,577
遠野市	592,732	9,790	543,320	1,145,842
北上市	18,718	0	43,500	62,218
西和賀町	0	0	0	0
奥州市	317,540	0	422,132	739,672
金ヶ崎町	86,540	0	46,600	133,140
一関市	1,521,619	5,800	1,269,052	2,796,471
平泉町	0	0	0	0
大船渡市	46,624,081	339,555	24,216,005	71,179,641
陸前高田市	106,065,895	259,441	23,718,674	130,044,010
住田町	154,980	0	262,000	416,980
釜石市	71,366,345	399,873	23,726,199	95,492,417
大槌町	13,326,970	607,726	18,986,925	32,921,621
宮古市	26,498,398	133,223	19,198,817	45,830,438
山田町	4,014,740	51,210	912,568	4,978,518
岩泉町	657,598	36,200	818,470	1,512,268
田野畑村	660,028	7,460	844,490	1,511,978
久慈市	1,091,904	12,150	1,001,186	2,105,240
洋野町	53,142	0	89,950	143,092
野田村	2,876,050	0	3,252,014	6,128,064
普代村	1,006,102	0	921,630	1,927,732
二戸市	100,825	0	47,260	148,085
軽米町	0	0	0	0
九戸村	0	0	0	0
一戸町	0	0	0	0
合計	281,052,861	1,863,668	124,869,646	407,786,175

#### 4 へき地児童生徒援助費等補助金

##### (1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：台、人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
スクールバス購入費 (台)	(5) 6	4	(5) 10	(14,400,000) 18,170,000	13,470,000	(14,400,000) 31,640,000
寄宿舎居住費 (人)						
高度へき地修学旅行費(人)	3	2	5	26,852	73,148	100,000
遠距離通学費 (人)	32	36	68	4,135,34	10,017,653	14,153,000

(注) スクールバスについて、小学校・中学校で共用している場合は、小学校に計上している。( )内が共用している台数・金額(内数)。

##### (2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	スクールバス購入費	寄宿舎居住費	高度へき地修学旅行費	遠距離通学費	保健管理費	計
盛岡市						
八幡平市					53	53
雫石町						
葛巻町					324	324
岩手町	3,770					3,770
滝沢市						
紫波町						
矢巾町						
花巻市						
遠野市	3,770					3,770
北上市						
西和賀町					174	174
奥州市	10,460				26	10,486
金ケ崎町						
一関市	6,780					6,780
平泉町						
大船渡市						
陸前高田市				3,843		3,843
住田町					25	25
釜石市						
大槌町						
宮古市	2,780			10	66	2,856
山田町						
岩泉町	2,610		100	8,081	36	10,827
田野畑村					171	171
久慈市				2,219	198	2,417
洋野町						
野田村						
普代村						
二戸市						
軽米町						
九戸村						
一戸町	1,470					1,470
合計	31,640		100	14,153	1,073	46,966

## 5 育英・奨学（公益財団法人岩手育英奨学会）

県内に住所を有する者の子弟で、有能な素質を有しながら経済的理由により高等学校等への就学が困難なものに対し、学資の貸与その他育英奨学上必要な事業を行った。

また、東日本大震災津波に被災した世帯の高校生を対象とした奨学金の貸付事業（タイプC：震災特例）を継続して行った。

### (1) 奨学金の種類と額

ア タイプA（予約・在学・緊急採用共通）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000 円
	自宅外通学	23,000 円
私 立	自宅通学	30,000 円
	自宅外通学	35,000 円

イ タイプB（予約採用）

（ア）貸与月額（選択制）

15,000 円、20,000 円、25,000 円、30,000 円

（イ）入学一時金

公立 50,000 円、私立 100,000 円

ウ タイプC（震災特例）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000 円
	自宅外通学	23,000 円
私 立	自宅通学	30,000 円
	自宅外通学	35,000 円

### (2) 奨学生貸与人数

ア タイプA（平成 28 年度採用）

[単位：人]

貸与人数		内 訳			
		国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
予 約	45	27	4	7	7
在 学	182	64	6	89	23
緊 急	2	2	0	0	0
合 計	229	93	10	96	30

イ タイプB（平成 28 年度採用、予約採用のみ）

[単位：人]

貸与人数	貸与月額				区 分	
	15,000 円	20,000 円	25,000 円	30,000 円	母子・父子家庭	経済困難
11	2	1	1	7	6	0

ウ タイプC（平成 28 年度採用）

[単位：人]

貸与人数		内 訳			
		国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
49		36	1	6	6

(3) 奨学金の貸与状況

ア タイプA (平成 28 年度)

[単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	370	79,578
	自宅外通学	40	11,040
私 立	自宅通学	287	102,630
	自宅外通学	93	38,395
合 計		790	231,643

イ タイプB (平成 28 年度)

[単位：人、千円]

区 分		貸与人数	年 額
奨学金	15,000 円	7	1,260
	20,000 円	6	1,440
	25,000 円	2	600
	30,000 円	31	11,160
入学一時金	50,000 円	( 8)	400
	100,000 円	( 1)	100
合 計		46	14,960

ウ タイプC (平成 28 年度)

[単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	183	39,528
	自宅外通学	8	2,208
私 立	自宅通学	9	3,240
	自宅外通学	14	5,880
合 計		214	50,856

第 4 教育環境の整備

1 県立学校の教育環境整備

(1) 平成 28 年度高等学校及び特別支援学校校舎等施設整備状況

[単位：m<sup>2</sup>、千円]

補助・ 単独の別	事業内容	学校名	構造	事業実施面積		工事費	工期等
					うち国庫補助 対象面積		
国庫補助	第三校舎改築	盛岡農業高等学校	木造	983.65	983.65	402,865	H27～H28

(2) 産業教育施設整備の状況 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

基準面積(A)	現有面積(B)	現有率(B/A)
345,935 m <sup>2</sup>	106,773 m <sup>2</sup>	30.9%

(3) 平成 28 年度特別支援教育設備事業 [単位：千円]

区 分	金 額
特別支援教育設備	4,699
一般教育設備	2,075
情報処理教育設備	1,747
校舎等増改築設備	2,200
計	10,721

(4) 高等学校産業教育設備の整備状況 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

基準金額(A)	現有金額(B)	現有率(B/A)
25,506,635,000 円	5,559,277,727 円	21.8%

(5) 理科教育等設備

ア 平成 28 年度補助金受領状況

(ア) 高等学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額	学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額
盛岡工業	810	878	水沢商業	345	345
花巻農業	729	729	岩谷堂	383	383
黒沢尻北	281	281	一関工業	589	589
北上翔南	365	365	宮古工業	149	149
水沢	691	691	宮古北	656	656
計				4,998	5,066

(イ) 中学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額
—	—	—

(ウ) 特別支援学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額
—	—	—

イ 学校種別現有状況（平成28年度末）

[単位：校、千円、%]

区分	学校種別	学校数	基準総額[A]	現有の状況		平成28年度補助金 交付校数
				現有金額[B]	現有率[B/A]	
1項第1号に基づく補助 理科教育振興法(台9条第 算数数学特別 設備)	中学校	1	22,344	1,798	8.0	0
	高等学校	64	6,873,966	703,038	10.2	10
	特別支援学校	14	1,054,890	37,353	3.5	0
	計	79	7,951,200	742,189	9.3	10
	中学校	1	2,364	0	0	0
	高等学校	64	138,666	11,411	8.2	0
	特別支援学校	14	37,941	5,056	13.6	0
	計	79	178,971	16,467	9.2	0

(注) 県立学校分の記載である。

(6) 平成28年度情報処理教育設備

整備学校名	整備金額
<b>【高等学校】</b> 本校64校、分校3校の全校に情報処理教育設備を整備済 うち、平成28年度に更新整備した学校 20校 盛岡工業、花巻北、花巻南、花北青雲、北上翔南、 黒沢尻工業、水沢農業、水沢工業、水沢商業、金ヶ崎、 一関第一、一関第二、千厩、高田、釜石商工、宮古商業、 岩泉、久慈東、久慈工業、一戸 <b>【特別支援学校】</b> 本校13校、分校1校の全校に情報処理教育設備を整備済 うち、平成28年度に更新整備した学校 7校 盛岡青松支援、盛岡みたけ支援、花巻清風支援、 前沢明峰支援、気仙光陵支援、釜石祥雲支援、 久慈拓陽支援	116,640千円

(注) 「整備金額」は、全校分の平成28年度の整備金額である。

2 市町村立学校の教育環境整備への支援

(1) 市町村立小中学校の施設及び校地の保有状況

【公立学校施設の保有状況】

[単位：㎡]

区分	必要面積 [a]	保有面積				整備資格面積 (注2)[c]	c/a	危険面積 (注3)[d]	d/b	
		鉄筋コンクリート造	鉄骨その他造	木造	計 [b]					
小学校	校舎	1,071,810	(91.0%) 955,766	(1.8%) 18,571	(7.3%) 76,183	1,050,520	112,501	10.5%	2,390	0.2%
	屋体	333,320	(17.2%) 48,444	(78.0%) 219,812	(4.8%) 13,508	281,764	60,960	18.3%	386	0.1%
	計	1,405,130	(75.4%) 1,004,210	(17.9%) 238,383	(6.7%) 89,691	1,332,284	173,461	12.3%	2,776	0.2%
中学校	校舎	610,242	(94.4%) 598,453	(2.4%) 15,065	(3.3%) 20,676	634,194	43,902	7.2%	10,228	1.6%
	屋体	197,534	(17.3%) 31,268	(81.6%) 147,207	(1.1%) 1,966	180,441	29,003	14.7%	1,976	1.1%
	計	807,776	(77.3%) 629,721	(19.9%) 162,272	(2.8%) 22,642	814,635	72,905	9.0%	12,204	1.5%
合計	校舎	1,682,052	(92.3%) 1,554,219	(2.0%) 33,636	(5.7%) 96,859	1,684,714	156,403	9.3%	12,618	0.7%
	屋体	530,854	(17.2%) 79,712	(79.4%) 367,019	(3.3%) 15,474	462,205	89,963	16.9%	2,362	0.5%
	計	2,212,906	(76.1%) 1,633,931	(18.7%) 400,655	(5.2%) 112,333	2,146,919	246,366	11.1%	14,980	0.7%

注1：平成28年度の公立学校施設台帳を集計したもの。保有面積欄の上段の数値は、構成比。

※東日本大震災津波の影響により調査対象外の学校を除く。

2：整備資格面積とは、各学校ごとに必要面積から保有面積を差し引いた面積（負数となる場合は、ゼロとする）。

3：危険面積とは、耐力度点数が、鉄筋造及び鉄骨造にあつては4,500点以下、木造にあつては5,500点以下の建物の面積。ただし、平成19年度までに実施した耐力度調査の結果が5,000点以下のものも含む。

【公立学校校地の保有状況】

[単位：㎡]

区分	保有校地面積				借用校地面積
	建物敷地	運動場	実験実習地その他	小計	
小学校	2,304,110	2,937,555	1,140,813	6,382,478	72,817
中学校	1,515,139	2,502,484	799,444	4,817,067	109,473
計	3,819,249	5,440,039	1,940,257	11,199,545	182,290

注：数値は平成28年度のもの（東日本大震災津波の影響により調査対象外の学校を除く）

(2) 市町村立幼稚園及び市町村立小中学校の整備状況

【事業別の状況】

[単位：㎡、千円]

区分	負担金事業			交付金事業			計		
	事業数	補助面積	補助金額	事業数	補助面積	補助金額	事業数	補助面積	補助金額
小学校（校舎）	1	830	102,985				1	830	102,985
中学校（校舎）	3	1,169	50,649				3	1,169	50,649
小学校（屋体）									
中学校（屋体）	3	1,070	93,109				3	1,070	93,109
統合	3	13,617	762,957				3	13,617	762,957
危険建物の改築				3	2,214	224,522	3	2,214	224,522
不適格建物の改築				4	1,228	151,556	4	1,228	151,556
地震防災対策事業				1	1,101	8,597	1	1,101	8,597
長寿命化改良事業				2	2,812	106,832	2	2,812	106,832
大規模改造				12	6,998	155,983	12	6,998	155,983
屋外教育環境施設の整備				3	17,475	26,894	3	17,475	26,894
学校体育諸施設整備事業				13	3,005	191,833	13	3,005	191,833
スポーツ施設整備事業									
学校給食施設整備事業				1	388	55,113	1	388	55,113
防災機能強化事業				13		77,187	13		77,187
太陽光発電等導入事業				1	26	42,983	1	26	42,983
その他									
合計	10	16,686	1,009,700	53	35,247	1,041,500	63	51,933	2,051,200

注：「屋体」は屋内体育館、「その他」は社会体育施設耐震化の整備

【市町村別の状況（負担金事業）】

[単位：㎡、千円]

市町村名	学校名	建物区分	構造区分	事業名	補助面積	補助金額	備考
盛岡市	向中野小学校	校	R	小校	830	102,985	増築
盛岡市	城西中学校	屋	S	中屋	203	25,105	増築
盛岡市	巻堀中学校	屋	S	中屋	450	55,653	増築
盛岡市	仙北中学校	校	R	中校	936	28,190	増築
盛岡市	仙北中学校	校	S	中校	64	1,678	増築
花巻市	湯口中学校	屋	R S	中屋	417	12,351	増築
奥州市	胆沢中学校	校	R	統合（校）	6,303	573,237	統合
奥州市	胆沢中学校	屋	S	統合（屋）	1,510	166,001	統合
一関市	千厩小学校	校	R	統合（校）	5,804	23,719	統合
宮古市	崎山中学校	校	W	中校	169	20,781	増築
計					16,686	1,009,700	

【市町村別の状況（交付金事業：一般会計）】

「単位：㎡、千円」

年度	会計	区分	市町村名	学校名	建物区分	構造区分	事業名	補助面積	補助金額	備考
25	一般	補正	盛岡市	土淵小学校			太陽光発電等		513	
25	一般	補正	盛岡市	土淵中学校			太陽光発電等		513	
25	一般	補正	洋野町	種市学校給食C		S	共同調理場（新増築）	356	6,336	
25	一般	本繰	二戸市	福岡中学校			防災機能強化	22	3,335	
			計					378	10,697	

年度	会計	区分	市町村名	学校名	建物区分	構造区分	事業名	補助面積	補助金額	備考
26	一般	補正	盛岡市	土淵小学校			太陽光発電等		5,541	
26	一般	補正	盛岡市	土淵中学校			太陽光発電等		3,693	
26	一般	補正	花巻市	湯口中学校	校	R	危険改築	1,995	98,791	
26	一般	補正	花巻市	湯口中学校	校	R	不適格改築	120	0	繰越
26	一般	当初	奥州市	梁川小学校			学校水泳プール(屋外)	325	16,740	
26	一般	当初	一関市	一関小学校			学校水泳プール(屋外)	400	20,604	
26	一般	当初	一関市	西部第二学校給食センター		S	共同調理場(新増築)	465	63,567	
26	一般	当初	二戸市	福岡中学校	R		屋外教育環境	833	1,486	
26	一般	当初	二戸市	福岡中学校	R		学校屋外運動場照明施設	600	565	
26	一般	補正	二戸市	福岡中学校	R		屋外教育環境(Ⅱ期)	7,496	13,374	
26	一般	補正	二戸市	福岡中学校	R		学校屋外運動場照明施設(Ⅱ期)	5,400	5,090	
26	一般	補正	葛巻町	江刈小学校	校	W	危険改築	1,350	0	繰越
26	一般	補正	岩泉町	小本小学校			太陽光発電等		6,912	
26	一般	補正	岩泉町	岩泉中学校	校	R	大規模改造(老朽)	819	25,426	
26	一般	補正	岩泉町	小本中学校			太陽光発電等		9,326	
26	一般	補正	普代村	普代中学校給食共同調理場		S	共同調理場(新増築)	235	0	繰越
26	一般	補正	普代村	普代中学校給食共同調理場		S	共同調理場(改築)	164	0	繰越
26	一般	補正	洋野町	中野小学校	校	W	危険改築	362	41,142	
26	一般	当初	軽米町	軽米小学校			屋外教育環境	9,677	16,915	
26	一般	本繰	洋野町	中野小学校	校	W	危険改築	543	55,541	
			計					30,784	384,713	

年度	会計	区分	市町村名	学校名	建物区分	構造区分	事業名	補助面積	補助金額	備考
27	一般	当初	盛岡市	土淵小学校		R	学校水泳プール耐震補強	400	7,390	
27	一般	補正	盛岡市	仙北中学校	校	R	不適格改築	261	0	繰越
27	一般	補正	盛岡市	城西中学校	屋	S	不適格改築	1,002	0	繰越
27	一般	当初	奥州市	胆沢区統合中学校	屋	S	中学校武道場(新築)柔剣道場	90	1,225	繰越
27	一般	当初	遠野市	遠野中学校	屋	R	大規模改造(老朽)	1,738	39,259	繰越
27	一般	当初	遠野市	遠野西中学校		R	学校水泳プール(屋外)	400	0	繰越
27	一般	当初	一関市	山目小学校		その他	学校水泳プール(屋外)	400	0	繰越

27	一般	当初	一関市	磐井中学校	校	R	大規模改造(老朽)	2,431	54,099	
27	一般	当初	矢巾町	矢巾町民総合体育館		RS	社会体育施設耐震化	3,498	22,805	
27	一般	補正	花巻市	花巻小学校	屋		防災機能強化		0	繰越
27	一般	補正	花巻市	矢沢小学校	屋		防災機能強化		0	繰越
27	一般	補正	花巻市	矢沢中学校	屋		防災機能強化		0	繰越
27	一般	補正	花巻市	湯本中学校	屋		防災機能強化		0	繰越
27	一般	補正	北上市	南小学校	校	R	長寿命化改良	1,753	0	繰越
27	一般	補正	北上市	南小学校	屋	R	長寿命化改良	189	0	繰越
27	一般	補正	久慈市	宇部中学校			大規模改造(トイレ)	63	0	繰越
27	一般	補正	雫石町	雫石中学校	R		大規模改造(老:エコ)	5,759	0	繰越
27	一般	補正	雫石町	雫石中学校	R		大規模改造(教育内容)		0	繰越
27	一般	補正	雫石町	雫石中学校			大規模改造(トイレ)	225	0	繰越
27	一般	補正	雫石町	雫石中学校			太陽光発電等		0	繰越
27	一般	補正	紫波町	紫波第一中学校			大規模改造(トイレ)	187	0	繰越
27	一般	当初	洋野町	中野小学校	屋	S	長寿命化改良	663	23,369	
27	一般	当初	岩手県						9,170	
			計					19,509	157,317	

年度	会計	区分	市町村名	学校名	建物区分	構造区分	事業名	補助面積	補助金額	備考
28	一般	当初	奥州市	胆沢中学校		その他	学校水泳プール(屋外)	400	21,666	
28	一般	当初	奥州市	胆沢中学校		S	中学校武道場(新築)柔剣道場等	360	14,244	
28	一般	当初	花巻市	湯口中学校	校	R	危険改築	1,050	92,803	
28	一般	当初	花巻市	湯口中学校		その他	中学校武道場(増改築)柔剣道場等	238	9,416	
28	一般	当初	花巻市	大道学校給食センター		S	共同調理場(新增築)	388	55,113	
28	一般	当初	雫石町	雫石中学校		W	中学校武道場(新築)柔剣道場等	450	17,805	
28	一般	当初	紫波町	紫波第二中学校		その他	学校水泳プール(屋外)	400	24,356	
28	一般	当初	洋野町	中野小学校	校	W	危険改築	905	112,390	
28	一般	補正	盛岡市	桜城小学校	校		防災機能強化		2,833	
28	一般	補正	盛岡市	厨川小学校	校		防災機能強化		1,933	
28	一般	補正	盛岡市	緑が丘小学校		R	学校水泳プール耐震補強		8,006	
28	一般	補正	盛岡市	太田東小学校	校		防災機能強化		2,166	
28	一般	補正	盛岡市	仙北中学校	校	R	不適格改築	608	45,525	
28	一般	補正	盛岡市	大宮中学校		R	学校水泳プール耐震補強		8,006	
28	一般	補正	盛岡市	黒石野中学校		R	学校水泳プール耐震補強		8,006	
28	一般	補正	盛岡市	城西中学校	屋	S	不適格改築		8,100	
28	一般	補正	盛岡市	城西中学校			屋外教育環境	1,603	3,843	
28	一般	補正	盛岡市	乙部中学校	屋		防災機能強化		7,900	
28	一般	補正	盛岡市	見前南中学校	屋		防災機能強化		11,566	
28	一般	補正	奥州市	江刺東中学校	屋	S	地震補強	1,101	8,597	

28	一般	補正	花巻市	南城小学校	屋		防災機能強化		3,150	
28	一般	補正	花巻市	湯本小学校	屋		防災機能強化		3,150	
28	一般	補正	花巻市	太田小学校	校		大規模改造(空調)	567	5,250	
28	一般	補正	花巻市	太田小学校	屋		防災機能強化		3,150	
28	一般	補正	花巻市	笹間第一小学校	屋		防災機能強化		9,450	
28	一般	補正	花巻市	南城中学校	屋		防災機能強化		4,200	
28	一般	補正	花巻市	矢沢中学校	校		大規模改造(法令等)		7,350	
28	一般	補正	花巻市	宮野目中学校	屋		防災機能強化		4,200	
28	一般	補正	花巻市	湯口中学校	屋	S	危険改築	259	19,329	
28	一般	補正	花巻市	湯口中学校	屋	S	不適格改築	39	2,909	
28	一般	補正	花巻市	湯口中学校			屋外教育環境	14,792	20,000	
28	一般	補正	花巻市	湯口中学校		R S	中学校武道場(増改築)柔剣道場等	158	11,251	
28	一般	補正	花巻市	大迫中学校	屋	S	不適格改築	581	95,022	
28	一般	補正	北上市	南小学校	校	R	長寿命化改良	2,804	106,666	
28	一般	補正	北上市	南小学校	屋	R	長寿命化改良	8	166	
28	一般	補正	遠野市	宮守小学校		R	学校水泳プール(屋外)	400	26,316	
28	一般	補正	遠野市	遠野東中学校	屋	R	大規模改造(老朽)	954	23,740	
28	一般	補正	滝沢市	滝沢第二小学校	校		大規模改造(トイレ)	60	6,343	
28	一般	補正	滝沢市	滝沢中央小学校		R	学校水泳プール(屋外)	98	5,308	
28	一般	補正	雫石町	雫石中学校	校	R	大規模改造(老朽:エコ改修)	4,669	57,429	
28	一般	補正	雫石町	雫石中学校	校	R	大規模改造(教育内容)		11,480	
28	一般	補正	雫石町	雫石中学校	校		大規模改造(トイレ)	225	10,362	
28	一般	補正	雫石町	雫石中学校			太陽光発電等	26	42,983	
28	一般	補正	紫波町	日詰小学校	校		防災機能強化		9,244	
28	一般	補正	紫波町	上平沢小学校		その他	学校水泳プール(屋外)	400	24,274	
28	一般	補正	岩泉町	岩泉小学校	校		大規模改造(トイレ)	220	14,000	
28	一般	補正	岩泉町	岩泉小学校	屋		大規模改造(トイレ)	16	1,000	
28	一般	補正	一関市	興田小学校	屋		防災機能強化		14,245	
28	一般	補正	滝沢市	篠木小学校	校		大規模改造(トイレ)	109	6,343	
28	一般	補正	滝沢市	一本木小学校	校		大規模改造(トイレ)	98	6,343	
28	一般	補正	滝沢市	滝沢東小学校	校		大規模改造(トイレ)	78	6,343	
28	一般	補正	滝沢市	滝沢中央小学校			屋外教育環境	1,080	3,051	
28	一般	補正	滝沢市	滝沢中央小学校			学校水泳プール(屋外)	98	13,179	
			計					35,242	1,041,500	

## 【市町村別の状況（交付金事業：特別会計）】

「単位：㎡、千円」

年度	会計	区分	市町村名	学校名	建物区分	構造区分	事業名	補助面積	補助金額	備考
26	特会	当初	盛岡市	厨川小学校	校	R	地震補強	4,474	32,394	
26	特会	当初	盛岡市	本宮小学校	校	R	地震補強	2,053	2,660	
26	特会	当初	盛岡市	北厨川小学校	校	R	地震補強	898	13,077	
26	特会	当初	盛岡市	太田東小学校	校	W	(特)地震改築	628	12,949	
26	特会	当初	盛岡市	大新小学校	校	R	地震補強	4,645	25,705	
26	特会	当初	盛岡市	松園小学校	校	R	地震補強	3,655	22,144	
26	特会	当初	盛岡市	下小路中学校	屋	W	(特)地震改築	553	0	繰越
26	特会	当初	盛岡市	上田中学校	校	R	地震補強	4,579	0	繰越
26	特会	当初	盛岡市	上田中学校	校	S	地震補強	143	0	繰越
26	特会	当初	盛岡市	城西中学校	校	R	地震補強	2,684	0	繰越
26	特会	当初	盛岡市	松園中学校	校	R	地震補強	2,422	7,748	
26	特会	当初	一関市	東山中学校	校	R	地震補強	2,203	29,133	
26	特会	当初	一関市	東山中学校	校	R	大規模改造(老朽)	2,203	53,634	
26	特会	当初	葛巻町	小屋瀬小学校	校	R	地震補強	1,798	18,399	
26	特会	当初	葛巻町	江刈中学校	校	R	地震補強	2,878	25,686	
26	特会	当初	葛巻町	江刈中学校	屋	S	地震補強	833	6,205	
27	特会	当初	盛岡市	仁王小学校	校	R	地震補強	7,215	107,546	
27	特会	当初	盛岡市	桜城小学校	屋	S	地震補強	957	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	仙北小学校	屋	S	地震補強	1,017	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	米内小学校	屋	S	地震補強	760	3,944	
27	特会	当初	盛岡市	土淵小学校	校	R	地震補強	1,717	15,907	
27	特会	当初	盛岡市	中野小学校	校	R	地震補強	3,697	32,688	
27	特会	当初	盛岡市	青山小学校	校	R	地震補強	4,327	100,185	
27	特会	当初	盛岡市	緑が丘小学校	屋	S	(特)地震改築	800	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	松園小学校	屋	S	(特)地震改築	924	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	玉山小学校	校	R	地震補強	1,545	23,968	
27	特会	当初	盛岡市	生出小学校	校	R	地震補強	545	7,008	
27	特会	当初	盛岡市	見前小学校	屋	S	地震補強	867	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	月が丘小学校	校	R	地震補強	5,201	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	高松小学校	校	R	地震補強	4,432	54,949	
27	特会	当初	盛岡市	下小路中学校	校	R	地震補強	6,041	30,019	
27	特会	当初	盛岡市	下小路中学校	屋	S	(特)地震改築	1,218	5,322	
27	特会	当初	盛岡市	繫中学校	校	R	地震補強	1,205	11,268	
27	特会	当初	盛岡市	北陵中学校	校	R	地震補強	3,401	0	繰越

27	特会	当初	盛岡市	北陵中学校	校	S	地震補強	216	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	巻堀中学校	校	R	地震補強	1,705	476	
27	特会	当初	盛岡市	巻堀中学校	校	R	大規模改築(老朽)	1,952	67,332	
27	特会	当初	盛岡市	巻堀中学校	校		大規模改築(障害)	0	9,950	
27	特会	当初	大船渡市	盛小学校	屋	S	地震補強	982	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	末崎小学校	校	R	地震補強	2,810	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	猪川小学校	屋	S	地震補強	938	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	日頃市小学校	校	R	地震補強	2,398	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	日頃市小学校	屋	S	地震補強	684	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	大船渡北小学校	校	R	地震補強	3,269	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	大船渡北小学校	校	R	(特)地震改築	2,527	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	大船渡北小学校	屋	S	(特)地震改築	1,106	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	綾里小学校	屋	S	地震補強	750	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	第一中学校	屋	S	地震補強	1,033	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	綾里中学校	校	R	地震補強	2,513	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	越喜来中学校	校	R	地震補強	2,286	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	越喜来中学校	屋	R	地震補強	793	0	繰越
27	特会	当初	一関市	桜町中学校	校	R	不適格改築	725	110,000	
27	特会	当初	一関市	東山中学校	校	R	地震補強	436	5,772	
27	特会	当初	一関市	東山中学校	校	R	大規模改築(老朽)	436	10,628	
27	特会	当初	宮古市	川井中学校	屋		防災機能強化		3,255	
27	特会	当初	奥州市	水沢小学校	屋	R	地震補強	1,383	3,535	
27	特会	当初	奥州市	水沢南小学校	校	R	地震補強	516	1,776	
27	特会	当初	奥州市	水沢中学校	屋	R	(特)地震改築	367	2,962	
27	特会	当初	花巻市	東和小学校	屋		防災機能強化		5,849	
27	特会	当初	花巻市	亀ヶ森小学校	屋		防災機能強化		10,215	
27	特会	当初	花巻市	西南中学校	屋		防災機能強化		22,690	
27	特会	当初	花巻市	石鳥谷中学校	屋		防災機能強化		24,260	
27	特会	当初	花巻市	東和中学校	屋		防災機能強化		14,269	
27	特会	当初	北上市	北上中学校	屋		防災機能強化		7,363	
27	特会	当初	久慈市	小久慈小学校	校		防災機能強化		3,969	
27	特会	当初	久慈市	大川目小学校	校		防災機能強化		5,573	
27	特会	当初	久慈市	夏井小学校	校		防災機能強化		2,014	
27	特会	当初	久慈市	平山小学校	校		防災機能強化		4,117	
27	特会	当初	久慈市	侍浜小学校	校		防災機能強化		6,887	
27	特会	当初	久慈市	小袖小学校	校		防災機能強化		6,571	
27	特会	当初	久慈市	山形中学校	校		防災機能強化		2,583	
27	特会	当初	釜石市	平田小学校	屋		防災機能強化		2,486	

27	特会	当初	釜石市	小佐野小学校	校		防災機能強化		5,998	
27	特会	当初	釜石市	甲子中学校	校		防災機能強化		4,429	
27	特会	当初	釜石市	大平中学校	校		防災機能強化		7,556	
27	特会	当初	釜石市	双葉小学校	校		防災機能強化		6,551	
27	特会	当初	八幡平市	田頭小学校	屋		防災機能強化		13,632	
27	特会	当初	八幡平市	田山小学校	屋		防災機能強化		14,419	
27	特会	当初	八幡平市	松尾中学校	屋		防災機能強化		19,346	
27	特会	当初	八幡平市	安代小学校	屋		防災機能強化		14,674	
27	特会	当初	滝沢市	柳沢小学校	屋		防災機能強化		5,037	
27	特会	当初	滝沢市	滝沢南中学校	屋		防災機能強化		9,284	
27	特会	当初	滝沢市	一本木中学校	屋		防災機能強化		4,903	
27	特会	当初	西和賀町	沢内小学校	屋		防災機能強化		6,105	
27	特会	当初	山田町	山田中学校	屋		防災機能強化		478	
27	特会	当初	岩泉町	安家小学校	校		防災機能強化		4,972	
27	特会	当初	岩泉町	有芸小学校	校		防災機能強化		3,625	
27	特会	当初	岩泉町	釜津田中学校	校		防災機能強化		4,502	
27	特会	当初	岩泉町	小川中学校	校		防災機能強化		4,325	
			計					112,343	1,106,906	

## (3) 理科教育等設備

ア 平成28年補助金交付状況

[単位：千円]

市町村	理科設備	算数・数学設備	計
盛岡市	899	0	899
岩手町	741	0	741
葛巻町	393	27	420
八幡平市	867	38	905
滝沢市	499	0	499
紫波町	788	0	788
矢巾町	485	58	543
花巻市	1,029	0	1,029
北上市	1,033	70	1,103
奥州市	2,402	435	2,837
一関市	4,673	0	4,673
陸前高田市	1,335	107	1,442
釜石市	911	179	1,090
遠野市	930	49	979
宮古市	885	0	885
山田町	1,465	0	1,465
久慈市	2,106	0	2,106
洋野町	631	21	652
住田町	382	86	468
岩泉町	489	48	537
一戸町	390	112	502
軽米町	579	35	614
野田村	492	0	492
九戸村	128	82	210
計	24,532	1,347	25,879

## イ 学校種別現有状況（平成 27 年度末）

[単位：校、千円、%]

区 分	学校種別	学校数 (26.5.1現在)	基準総額[A]	現有の状況		平成 28 年度補 助金交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
1 理 項科 第教 1育 号振 に興 基法 つ第 9 補条 助第	理科 設備	小学校	337	3,469,287	1,405,870	40.5	145
		中学校	166	3,687,209	1,098,512	29.8	77
		高等学校	1	104,151	12,951	12.4	0
		計	504	7,260,647	2,517,333	34.7	222
	算数数学 特別設備	小学校	337	712,436	154,045	21.6	49
		中学校	166	390,597	70,502	18.0	20
		高等学校	1	2,101	0	0.0	0
		計	504	1,105,134	224,547	20.3	69

## 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

#### 1 「いわて教育の日」推進事業

##### (1) 趣 旨

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るため、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行うとともに、市町村や関係団体の取組も併せて実施状況を取りまとめた。

- いわて教育の日 11月1日
- 教育週間 11月1日～7日

##### (2) 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

平成28年度「いわて教育の日」のつどい

テーマ 『みんなで育む学びの場いわて』

期 日 平成28年9月21日(水)

会 場 岩手県民会館 中ホール

参加者 県内教育関係者、一般県民、児童生徒等 約530人

内容

第1部 開会行事

- 開会行事

第2部 児童生徒による発表

- 盛岡市立山王小学校

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会公式ダンス「わんこダンス」

- 学校法人盛岡誠桜学園 盛岡誠桜高等学校 バトントワリング部  
バトントワリング

第3部 パネルディスカッション

- テーマ 「国体開催を契機としたスポーツ振興について」

- コーディネーター

・報道制作局アナウンス部長 藤村 恵一 氏

- パネリスト

・希望郷いわて国体冬季大会スキー競技会

スペシャルジャンプ成年男子B 優勝 永井 健弘 氏

・希望郷いわて国体冬季大会スケート競技

71国体強化責任者兼スピード成年監督 平間 茂英 氏

・特定非営利活動法人イーはとーぶスポーツクラブ

ゼネラルマネージャー 村里 洋子 氏

司会 岩手県立盛岡第一高等学校 3年 照井 渚彩 さん

### (3) 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の 10 月と 11 月の 2 箇月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業（行事）を、「いわて教育の日」関連事業として県教育委員会のホームページで周知し、広く参加を求めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

登録事業数：828 事業

参加者数：延べ 367,590 人

## 2 子どもの読書活動の推進

平成 26 年 6 月に策定した「第 3 次岩手県子どもの読書活動推進計画」を踏まえ、子どもの読書活動推進事業として次の事業を実施した。

### (1) 読書ボランティアのための研修会

#### ア 読書ボランティア研修会(中央研修)

平成 28 年 7 月 6 日 生涯学習推進センター (参加:291 人)

#### イ 読書ボランティア研修会(各地区研修)

① 平成 28 年 9 月 14 日 盛岡教育事務所 (参加:59 人)

② 平成 28 年 11 月 4 日～平成 29 年 1 月 24 日 中部教育事務所 (参加:134 人)

③ 平成 28 年 11 月 26 日、12 月 3 日 県南教育事務所 (参加:75 人)

④ 平成 28 年 9 月 7 日 沿岸南部教育事務所 (参加:45 人) ※推進センターとの共同開催

⑤ 平成 28 年 7 月 26 日 宮古教育事務所 (参加:33 人)

⑥ 平成 28 年 11 月 25 日 県北教育事務所 (参加:60 人)

#### ウ 中・高等学校図書館担当者等研修会

① 平成 28 年 7 月 28 日 盛岡教育事務所 (参加:42 人)

② 平成 28 年 11 月 15 日 中部教育事務所 (参加:32 人)

③ 平成 28 年 6 月 10 日 県南教育事務所 (参加:67 人)

④ 平成 28 年 7 月 27 日 沿岸南部教育事務所 (参加:38 人)

⑤ 平成 28 年 8 月 5 日 宮古教育事務所 (参加:31 人)

⑥ 平成 28 年 7 月 28 日 県北教育事務所 (参加:29 人)

### (2) 読書活動の普及・啓発

#### ア 「第 3 次岩手県子どもの読書活動推進計画」の周知・啓発

各種研修会や推進体制整備事業、HP 等を通じて周知を行った。

#### イ 「いわての中高生のためのおすすめ図書 100 選」の増刷・再配布 (平成 29 年 3 月)

#### ウ 「いわての小学生のためのおすすめ図書 100 選」の増刷・再配布 (平成 29 年 3 月)

### (3) 読書活動の推進体制の整備

#### ア 岩手県子どもの読書活動推進委員会

① 第 1 回委員会 平成 28 年 6 月 8 日

② 第 2 回委員会 平成 29 年 1 月 25 日

#### イ 各地区推進体制の整備 (子どもの読書活動推進会議)

① 平成 29 年 2 月 1 日 盛岡教育事務所 (参加:16 人)

② 平成 28 年 7 月 12 日 中部教育事務所 (参加:16 人)

③ 平成 28 年 6 月 10 日 県南教育事務所 (参加:67 人)

④ 平成 28 年 5 月 18 日 沿岸南部教育事務所 (参加:19 人)

⑤ 平成 29 年 2 月 10 日 宮古教育事務所 (参加:15 人)

⑥ 平成 28 年 6 月 28 日 県北教育事務所 (参加:38 人)

### 3 教育振興運動

教育振興運動の原点である「地域ぐるみで、地域の教育課題を掘り起こし解決する主体的・自立的な運動の展開」を目指して、平成 27 年度からは、「みんなで教振！5か年プラン」への取組を開始した。

このプランは、新しい全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」と地域の教育課題の解決に向けた取組を有機的に連動させることにより、運動のより一層の活性化を図ろうとするもので、プラン2年目は、新しい全県共通課題を周知・啓発するための研修会の実施、「情報メディア」の使用実態把握やメディアの特性を理解するための研修会、ルール作りの取組等が各地で行われた。

#### (1) 県段階における推進活動

##### ア 幹事会

- ① 期 日 平成 28 年 7 月 7 日、平成 29 年 3 月 3 日
- ② 会 場 岩手県庁、盛岡地区合同庁舎
- ③ 内 容
  - ・教育振興運動の概要と「みんなで教振！5か年プラン」について
  - ・運動の推進方針、事業実施計画について
  - ・教育振興運動推進研修会について
  - ・事業評価、次年度事業の検討等について

##### イ 市町村担当者研修会

- ① 目 的
  - ・教育振興運動の基本理念及び「みんなで教振！5か年プラン」の概要について、市町村の担当者や県の関係者への理解を図る。
  - ・全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」について、1年目の成果や取組事例に学びながら、2年目以降の取組の方向性を探る機会とする。
- ② 期 日 平成 28 年 5 月 10 日
- ③ 場 所 生涯学習推進センター
- ④ 内 容
  - 説明：「『みんなで教振！5か年プラン』2年目の取組」について
  - 講演：「情報メディアの利便性と必要や約束  
～子ども・学校・家庭・地域・行政ができること～」
  - 取組紹介：「各市町村・実践区ですぐに活用できる！」各所の取組

##### ウ 教育振興運動推進研修会

- ① 目 的
  - ・教育事務所管内市町村における実践組織のリーダー（役員・窓口教員等）に対し、教育振興運動の理念や「みんなで教振！5か年プラン」の概要について理解を図る。
  - ・管内の現状（「情報メディア」に関わる児童生徒の実態、地域課題、優れた実践事例等）について情報収集の機会とする。
  - ・各実践区の現状について把握する機会とする。
- ② 概 要

教育事務所	期 日	会 場	参加者	内 容
盛岡地区	6月10日	姫神ホール	237人	・説明 ・講演 ・事例発表
中部地区	6月28日	県立生涯学習推進センター	143人	・説明 ・講演 ・実践事例紹介
県南地区	6月3日	前沢ふれあいセンター	172人	・説明 ・講演 ・シンポジウム
沿岸南部地区	6月6日	三陸公民館	112人	・説明 ・講演 ・実践発表
宮古地区	6月29日	宮古市民文化会館	124人	・説明 ・講演
県北地区	6月7日	久慈地区合同庁舎	72人	・説明 ・講座 ・実践発表

##### エ 地域活性化推進事業

- ① 目 的 県社教主事が連携し、当該市町村等が抱える課題の把握や実態に応じた支援を行う。
- ② 期 間 6～2月
- ③ 対 象 実践組織関係者（実践区・PTA・子ども会・地域住民等）
- ④ 会 場 各教育事務所における管内市町村
- ⑤ 内 容
  - ・教育振興運動の基本理念・推進方針の説明
  - ・講演、実践紹介、ワークショップ
  - ・市町村事業の企画・運営に関する支援 等

オ 公立小中学校及び県立学校の校内体制における「地域連携窓口教員（地域教育担当教員）」の位置づけ周知

- ① 教育基本法及び学校教育指導指針の趣旨を踏まえ、「学校、家庭及び地域住民の連携協力」を推進する「地域連携窓口教員」の位置づけを周知
- ② 「地域連携窓口教員」の設置状況調査の実施（平成 28 年 5 月調査）  
※公立小学校・公立中学校・県立高校・県立特別支援学校 全て 100%
- ③ 教育振興運動推進研修会への参加促進
- ④ 各教育事務所で実施する初任者研修（2 年次研修）及び教職 10 年研修等において、学社連携・融合、教育振興運動等の趣旨理解の時間を設定

## (2) 市町村段階における推進活動

※震災の影響により、陸前高田市は部分回答

ア 推進組織の状況（合計 47 市町村・地区）

教育振興運動単独組織で推進	37 市町村・地区
教育振興運動とは別の組織で推進	8 市町村・地区
推進組織はない	2 市町村・地区

イ 実践組織の状況

(ア) 実践組織の数

区 分	数(割合)
小学校区	209(40.9%)
中学校区	93(18.2%)
公民館区	55(10.8%)
町内会区	104(20.4%)
その他	50(9.8%)
計	511(100.0%)

(イ) 実践組織が取り組む主題の数（延べ数）

区 分	主題の数
学習活動	831
社会参加	741
自然体験	165
郷土芸能	218
文化・芸術	175
生活・健康	664
世代間交流	395
勤労体験	173
国際理解	67
スポーツ・レクリエーション	302
情報メディア	388
その他	69
計	4,188

#### 4 学校支援地域本部事業

学校と地域の連携体制を構築し、ボランティアによる多様な形態の教員支援を行い、地域全体で学校教育を支援するとともに、地域の教育力を向上させるため、学校支援地域本部事業を実施した。

(国庫委託事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」、国庫補助事業「学校・家庭・地域の連携協力推進事業補助金」として実施)

##### (1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

###### ア 委員会の開催

(平成 28 年 5 月 24 日、平成 29 年 2 月 16 日)

###### イ 学校支援地域コーディネーター等研修会の開催

(平成 28 年 6 月 15 日 59 人)

###### ウ 学校と地域の協働のための研修会の開催

(平成 28 年 8 月 8 日 64 人)

##### (2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	本部数
盛岡市	—
八幡平市	—
雫石町	—
葛巻町	—
岩手町	—
滝沢市	—
紫波町	1
矢巾町	—
花巻市	2
遠野市	—
北上市	—
西和賀町	1
奥州市	5
金ヶ崎町	—
一関市	3
平泉町	3
大船渡市	1
陸前高田市	9
住田町	—
釜石市	2
大槌町	1
宮古市	4
山田町	—
岩泉町	—
田野畑村	1
久慈市	9
普代村	1
洋野町	6
野田村	1
二戸市	—
軽米町	1
九戸村	1
一戸町	2
計	54 本部

## 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

放課後子供教室推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。  
また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に努めた。

### 1 放課後子供教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子供教室事業を実施した。子どもたちの放課後における安全・安心な居場所づくりを進めた。

（国庫委託事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」、  
国庫補助事業「学校・家庭・地域の連携協力推進事業補助金」として実施）

#### (1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

ア 促進委員会の開催

（平成28年5月24日、平成29年2月6日）

イ 指導者合同研修会の開催

（平成28年7月1日 104人、9月15日 128人、12月4日 41人）

ウ 実地調査

（「学びの部屋」陸前高田市、「あこおぎ子ども広場」子供教室「赤荻クラブ」児童クラブ一関市）

#### (2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	子供教室数
盛岡市	(5)国から補助
八幡平市	—
雫石町	—
葛巻町	4
岩手町	—
滝沢市	2
紫波町	3
矢巾町	—
花巻市	2
遠野市	11
北上市	(3)市独自
西和賀町	—
奥州市	15
金ケ崎町	1
一関市	23
平泉町	3
大船渡市	—
陸前高田市	1

住田町	2
釜石市	6
大槌町	2
宮古市	2
山田町	—
岩泉町	—
田野畑村	—
久慈市	11
普代村	1
洋野町	4
野田村	1
二戸市	6
軽米町	3
九戸村	4
一戸町	5
計	112(8)教室

※( )は委託・補助以外の教室数

### 2 少年団活動の支援

#### (1) 子ども会等少年団体の組織状況

団体名	団体数	会員人数	
ボーイスカウト	12	345	(平成28年5月1日現在)
ガールスカウト	11	224	(平成28年5月16日現在)
地域子ども会	13	33,692	(平成28年5月1日現在)

## (2) 少年団体の活動状況

団体名	主な事業
日本ボーイスカウト岩手連盟	指導者養成事業／プログラム事業
ガールスカウト岩手県連盟	指導者養成及び指導者研修／教育プログラム
岩手県子ども会育成連合会	ジュニアリーダー育成／各地域子ども会育成組織支援

## 3 青年団体活動の支援

### (1) 組織状況 [単位：団体、人]

団体名	構成団体数	会員数
岩手県青年団体協議会	11	413

(平成 28 年 5 月 16 日現在)

### (2) 事業内容

ア 第 63 次青年問題研究集会

期 日……平成 29 年 2 月 11 日～12 日

場 所……岩手県青少年会館

イ 第 65 回岩手県青年大会

(ア) 体育部門

期 日……平成 28 年 7 月 3 日

場 所……葛巻町社会体育館

種 目……バスケットボール、フットサル

(イ) 文化部門

期 日……平成 28 年 9 月 3 日

場 所……岩手県青少年会館

種 目……郷土芸能、生活文化展

ウ 第 65 回全国青年大会

期 日……平成 28 年 11 月 11 日～14 日

場 所……東京体育館 他

参加種目…バスケットボール、フットサル、生活文化展

## 4 青年教室・講座（平成 27 年度実績）

項 目	開設数	参加者数	内 容
30 人以上で 20 時間以上	1 教室(1 市町村)	25 人	1 人間関係に関すること 2 市民性、社会性に関すること 3 職業、家庭に関すること 4 郷土理解に関すること 等
30 人以上で 10～20 時間	16 教室(1 市町村)	91 人	
上記以外	25 教室(6 市町村)	2,084 人	
合 計	42 教室(8 市町村)	2,200 人	

## 5 青少年教育施設の利用状況

### (1) 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

(生活方針) 「規律」 「友情」 「協同」 「奉仕」

### (2) 青少年の家の利用者数

[単位：団体、人]

	利用団体数	実利用者数	延利用者数
県南青少年の家	529	30,482	41,008
陸中海岸青少年の家	537	19,711	29,790
県北青少年の家	516	29,515	36,134
計	1,582	79,708	106,932

### (3) 県北青少年の家スケート場利用者数

[単位：人]

	研修利用者数	普通利用者数	計
幼児	333	360	693
小学生・中学生	4,354	9,690	16,570
高校生・大学生・一般	2,526		
計	7,213	10,050	17,263

### (4) 類型別実利用者数

[単位：人]

		県南青少年の家	陸中海岸青少年の家	県北青少年の家
事業参加	施設主催事業	2,131	3,168	5,312
	県主催事業	0	864	592
学校利用	大学・短大	488	3,234	472
	各種学校	250	0	0
	高等学校	4,141	1,442	2,267
	中学校	4,110	4,773	2,321
	小学校	9,100	4,687	6,211
地域団体 利用	サークル(勤労青年)	149	51	0
	サークル(一般)	305	284	66
	子ども会	2,118	980	2,128
	スポ少団体	6,447	2,084	3,832
	児童館・公民館	628	567	787
	幼稚園・保育園	408	1,544	481
企業体		1,026	586	2,060
その他		9,707	5,526	9,605
合 計		41,008	29,790	36,134

### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援するとともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

#### 1 学習機会の提供

親等が集まる多様な機会を活用して、子育てや家庭教育に関する学習機会を提供した。

##### (1) 親子共同体験推進事業

ア 趣 旨……親子の共同体験を通して、親子の相互理解を深めるとともに、参加家族間の交流を通して、子育ての仲間づくりを促進する。

イ 期 日……平成28年5月～平成29年3月

ウ 内 容……野外炊事、自然体験活動等

##### (2) 効果的な学習機会の提供

(国庫委託・補助事業として実施)

ア 趣 旨……保護者を対象に、関係機関団体等との連携のもと、広域的な教育課題に即した学習内容及び先進事例やワークショップ等を通じた学習方法を提供する。

イ 期 日……平成28年4月～平成29年3月

ウ 内 容……滝沢市、遠野市、金ヶ崎町、一関市、大船渡市、大槌町、山田町、田野畑村、久慈市、普代村、洋野町、二戸市、平泉町、軽米町の14市町村において、家庭教育支援に関する講座等の学習機会を提供した。

#### 2 子育て支援体制の充実

地域において子育てに悩む親等の相談を受けたり、子育てグループを支援したりする子育てサポーターや地域人材の資質向上を図るとともに活用促進のための仕組みづくりを行った。

##### (1) 家庭教育支援体制整備

ア 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

(国庫委託事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」として実施)

(ア) 国庫委託事業の基本的方針等について 平成28年5月24日

(イ) 国庫委託事業の成果・課題等について 平成29年2月6日

イ 「広域家庭教育支援体制整備」(教育事務所ごと)

所管市町村、関係機関・団体、振興局及び教育事務所の事業間連携体制を整備した。

ウ 「家庭教育・子育て支援担当者研修会」

(ア) 主 管……生涯学習推進センター

(イ) 期 日……平成28年5月31日(火)

(ウ) 内 容……行政説明、講演、ワークショップ

(エ) 対 象……行政担当者(22名)

##### (2) 子育てサポーターのスキルアップと支援関係者のネットワーク強化

ア 「子育て支援スキルアップ研修会」

(ア) 主 管……生涯学習推進センター

(イ) 期 日……平成28年7月～11月

① 6/13 生涯学習推進センター(45人)

② 6/24 沿岸南部教育事務所(37人)

③ 7/18 宮古教育事務所(34人)

④ 8/12 盛岡教育事務所(25人)

⑤ 1/14 県北教育事務所 (18人)

⑥ 11/25 県南教育事務所 (36人)

(ウ) 内 容……講話、ワークショップ等

(エ) 対 象……子育てサポーター、行政担当者、支援実践者

#### イ 「子育て支援活動交流研修会」

(ア) 主 管……生涯学習推進センター

(イ) 期 日……平成28年9月2日(金)

(ウ) 内 容……講義、事例発表、情報交流会

(エ) 対 象……子育てサポーター、支援実践者等 (65人)

#### ウ 「子育て支援ネットワーク研修会」

(ア) 主 管……各教育事務所

(イ) 期 日……平成28年5月～平成29年2月

① 9/30 沿岸南部事務所 (13人)

② 10/7 県南教育事務所 (56人)

③ 10/12 中部教育事務所 (39人)

④ 10/14 県南教育事務所 (34人)

⑤ 10/26 宮古教育事務所 (31人)

⑥ 10/27 県北教育事務所 (26人)

⑦ 11/1 盛岡教育事務所 (48人)

(ウ) 内 容……講演、演習、情報交流等

(エ) 対 象……行政関係者、子育てサポーター養成講座修了者、子育て支援関係者等

### 3 学習情報の提供と相談体制の充実

子育てに不安や悩みを抱える親等に対する相談窓口の整備充実を図るとともに、家庭教育に関する親の学習活動を促進するため学習情報や学習資料を提供した。

#### (1) 家庭教育子育て電話・メール相談

##### ア 子育て電話相談「すこやかダイヤル」

(ア) 趣 旨……家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話(面接)による相談を行い、家庭教育の充実を図る。

(イ) 開設場所…生涯学習推進センター

(ウ) 開設期間…通年

(エ) 開設日時…月～金曜日(毎日 10:00～17:00)ただし、国民の祝日、年末・年始は除く。

(オ) 電話番号…0198-27-2134(夜間は留守電、FAX)

(カ) 相談件数…680件 [単位:件、%]

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	22	3.2
しつけ全般	35	5.2
遊び・友だち	26	3.8
家庭・環境	43	6.3
知能・ことば	7	1.0
いじめ・不登校	16	2.4
虐待・育児不安	24	3.5
心理・性格	207	30.4
集団生活・社会性	19	2.8
学習・進路	17	2.5
人間関係	40	5.9
その他	224	33.0
計	680	100.0

## イ 子育てメール相談「すこやかメール相談」

- (ア) 趣 旨……子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談を行う。
- (イ) 開設場所…生涯学習推進センター
- (ウ) 開設期間…通年
- (エ) 携帯サイトアドレス…kosodatem@pref.iwate.jp
- (オ) 相談件数…170件 [単位：件、%]

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	26	15.3
しつけ全般	14	8.2
遊び・友だち	11	6.5
家庭・環境	41	24.0
知能・ことば	3	1.8
いじめ・不登校	9	5.3
虐待・育児不安	29	17.1
心理・性格	10	5.9
集団生活・社会性	9	5.3
学習・進路	0	0
人間関係	3	1.8
その他	15	8.8
計	170	100.0

## ウ 子育てメールマガジン「すこやかメールマガジン」

- (ア) 趣 旨……子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した情報提供を行う。
- (イ) 開設場所…生涯学習推進センター
- (ウ) 開設期間…通年
- (エ) 配信日時…毎週木曜配信
- (オ) 配信先数…904 (平成29年3月末現在)

## (2) 家庭教育手帳周知

乳幼児から小・中学校の子どもをめぐる家庭教育の課題や家庭教育に関する学習機会、相談窓口等に関する情報を提供した。(電子データによる提供周知)

## 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

### 第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

学校教育ではぐくまれる「生きる力」を基盤とし、変化の激しい社会において、各個人が自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けることが求められていることから、学習情報提供や相談体制の充実、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりなど、生涯にわたって学習を継続できるようにするための支援や環境づくり等に取り組んだ。

#### 1 生涯学習社会の実現を目指した推進体制の充実

近年における社会経済の急激な変化に伴う社会構造の変化、高度情報化や国際化の進展等の一方で、高齢化社会の進行も一層顕著になってきている。

生涯学習の推進においては、このような社会の変化に適切に対応しながら、一人一人が生きがいを感じながら学びを継続するとともに、学んだ成果を適切に生かしていくことが求められている。

平成18年12月には、時代の変化に対応すべく、教育基本法に「生涯学習の理念」(第3条)が新しく規定されたことをはじめ、「教育の目標(第2条)」、「家庭教育(第10条)」、「社会教育(第12条)」、「学校、家庭及び地域住民等の連携協力(第13条)」等、学校教育のみならず、生涯学習・社会教育関係の規定の充実も図られた。

本県においても、一人一人が真に生きがいのある人生を創造するとともに、東日本大震災津波からの復興に向けた活力に満ちた地域社会を築くための施策の展開が求められている。

#### (1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、もって本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度以降、全員の委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

#### 【岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議】

ア 期日

第1回 平成28年7月20日

第2回 平成29年2月1日

イ 出席

第1回 委員15人中11人出席

第2回 委員15人中13人出席

ウ 内容

(ア) 平成28年度主要施策について

a 生涯学習文化課

b 学校教育室

c スポーツ健康課

d 県立生涯学習推進センター

e 県立図書館

f 県立博物館

g 県立美術館

h 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

(イ) 平成28・29年度協議テーマ「学校を核とした地域創生～学校と地域の連携・協働の在り方と推進方策について～」

- (ウ) 平成 28 年度社会教育功労者表彰に係る選考について
- (エ) 平成 28 年度優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰に係る選考について
- (オ) 平成 29 年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について

## 2 連携と協力による生涯学習の普及奨励

### (1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の提供や広報活動に努めた。

#### ア 生涯学習情報提供事業

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

- a 情報量…………… 2,674 件
- b データベース利用件数…………… 15,867 件
- c トップページカウント数…………… 48,584 件

#### イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

(ア) 発行部数…………… 890 部

※ (県内小・中・義務教育・高等学校、教育関係機関、市民センター等へメール配信 836 件)

(イ) 年間発行回数…………… 4 回

### (2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業を実施するとともに、岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」において、広域的な学習機会と学習情報の提供に努めた。

また、電話による学習相談を行い、生涯学習・社会教育事業の支援を行った。

ア 生涯学習ボランティア活動推進事業 (生涯学習推進センターボランティア登録数)  
771 人

#### イ 電話相談「マナビコール」の開設

(ア) 開催日……………毎週月～金曜日

(イ) 時間……………9 時～17 時

(ウ) 相談員……………生涯学習推進センター専門職員

(エ) 相談件数……………165 件

## 第2 生涯にわたる学習機会の充実

生涯学習の中核を担う社会教育の充実を図るとともに、家庭教育をはじめとした生涯にわたる学習機会の充実を図り、自立した個人の育成や地域コミュニティの形成を促した。

### 1 成人の学習活動の支援

#### (1) 一般成人教育

##### ア 学級講座（成人大学講座等）

	市町村数	学級数	受講者数
成人大学講座	9	92	3,661
成人学級・講座	25	1,812	66,457
その他	23	208	20,527

##### イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

###### (ア) ボランティア登録者

登録者数……771人（生涯学習推進センター）

###### (イ) ボランティアの研修

岩手県読書をすすめるつどい

平成29年2月4日 アイーナ 179人参加 講演及び活動発表等

##### ウ 成人団体活動の支援

###### (ア) PTAへの補助

補助団体	補助対象事業	事業内容	補助金額
(一社) 岩手県PTA連合会	家庭教育セミナー	○平成28年9月3日、久慈市、151人 ○平成28年11月6日、北上市、215人 ○講演、実践発表等	150千円
	広報コンクール 三行詩コンクール	○審査 平成28年5月17日 ○応募総数 66 ○審査 平成28年7月15日 ○応募総数 1,349 ※年次表彰式で表彰	
	岩手県PTA研究大会 和賀大会	○平成28年11月6日、北上市 ○記念講演、7分科会 ○参加者数1,116人	
	会報発行	○「PTAいわて」 ○会員及び関係機関等 ○3回発行(1回当たり15,000～17,000部) ○「PTAはみなさんの広場」○29年度新会員 ○24,000部発行	
岩手県高等学校PTA連合会	研究協議会	○平成28年6月8日 ○盛岡市 ○講演等 ○参加者数263人	120千円
	会報発行	○「ポローニア」 ○会員及び関係機関等 ○2回発行(1回当たり29,000部)	
	母親会員交流会	○平成28年10月26日 ○盛岡市 ○発表・講演 ○参加者数142人	
岩手県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	研究大会	○平成28年6月24日 ○花巻市 ○講演・研究協議等 ○参加者数251人	120千円
	ブロック研修会	○平成28年10月～29年1月 ○3ブロック ○講演、実践交流会等 ○参加者数1,256人	
	会報発行	○1回発行(1回当たり2,100部)	

## (イ) 岩手ユネスコ協会連盟への支援

補助金額：120 千円

事業名	実施期日	実施場所	参加人数等	内容
ユネスコ運動岩手県大会	5月13日 ～14日	釜石市	131人	講演、シンポジウム、エクスカーション
ユネスコ活動顕彰事業	9月18日 10月18日 10月19日 10月20日 11月1日 11月8日 11月15日 12月16日 12月22日 1月25日	盛岡市ほか	9件 1,453人	選定、表彰等
国際交流活動研修会	1月20日 ～21日	滝沢市	142人	講演、分科会、全体会、交流会等
ユネスコ運動広報事業	5月10日	県内	400部	会報発行
	9月10日		300部	
	1月5日		300部	

## (2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様で高度な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てる社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に努めた。

## ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村を主体として計画的な学習が行われた。

## 【学級・講座開設状況】

区分	市町村数	学級数	学級生数
女性学級・講座	20	412	11,153
その他	12	23	806

## イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言指導を行うなど、その活動の支援を行った。

## 【組織状況（平成28年5月13日現在）】

団体名	単位団体数	会員数
特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会	35	7,694

## ○ リーダー研修会

- a 期 日 平成28年7月13日～14日
- b 場 所 岩手県青少年会館・宮城県女川町
- c 参加人数 265人

## 2 高齢者の学習活動の支援

### ○ 高齢者学級・講座

高齢者の高度で多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが行われた。

区 分	市町村数	学級数	学級生数
高齢者学級・講座	28	627	40,338
その他	9	93	2,016

## 3 視聴覚教育

### ○ 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが求められていることから、指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

#### ア 視聴覚教育指導者研修（社会教育関係）

視聴覚教育総合全国大会（東京都）平成28年11月18日～19日 3人参加

#### イ 視聴覚ライブラリー専任職員研修会

視聴覚教育協議会専任職員等研修会（生涯学習推進センター）平成28年6月16日～17日 10人参加

#### ウ 16ミリ映写機操作技術講習会

[単位：回、人]

教育事務所	回数	修了者数
盛岡	3	27
中部	1	7
県南	2	17
沿岸南部	1	2
宮古	0	0
県北	0	0
計	7	53

#### エ 教材フィルム利用状況

[単位：本、人]

視聴覚ライブラリー名	利用本数	観覧者数
中央	988	17,176
花巻市	326	6,898
北上市	84	1,696
西和賀町	0	0
県南第一	973	20,575
沿岸第一	224	3,268
釜石市	25	496
遠野市	42	653
大槌町	0	0
久慈市	72	446
宮古市	4	176
山田町	0	0
岩泉町	0	0
二戸	116	2,087
県立図書館	10	325
計	2,864	53,796

#### 4 指導体制の充実

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村に社会教育主事が 21 人、社会教育指導員が 31 人配置されている。

近年、社会を取り巻く環境の変化や新たな課題への対応のため、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、関係職員への教育は重要となっている。

平成 28 年度は、以下の研修等を行った。

##### (1) 新任社会教育関係職員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成 28 年 5 月 12 日～13 日 | 生涯学習推進センター | 122 人

【内容】生涯学習の推進に関する基本的事項及び職務に関する研修

##### (2) 事業プログラム企画運営研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】 計 44 人

① 基礎編 平成 28 年 5 月 13 日 | 生涯学習推進センター | 25 人

② 活用編 平成 28 年 6 月 22 日 | 生涯学習推進センター | 19 人

【内容】事業プログラム企画運営に関する研修

##### (3) センター長、公民館長、主管課長等セミナー

【期日 | 会場 | 参加者数】平成 28 年 5 月 20 日 | 生涯学習推進センター | 58 人

【内容】生涯学習施設の経営診断の考え方等を学ぶ研修

##### (4) 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成 28 年 5 月 25 日 | 生涯学習推進センター | 53 人

【内容】社会教育指導員等としての職務、各分野における専門的事項に関する研修

##### (5) 事業担当者のための評価研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】 計 43 人

第 1 回 平成 28 年 6 月 7 日 | 生涯学習推進センター | 16 人

第 2 回 平成 28 年 12 月 20 日 | 生涯学習推進センター | 27 人

【内容】評価項目の設定や事業目標の見直し、事業評価の具体的な方法等について理解する研修会

##### (6) 岩手県社会教育委員研究大会兼岩手県公民館大会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成 28 年 7 月 14 日～15 日 | 矢巾町田園ホール | 213 人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項、職務及び今日的な在り方に関する研修公民館の在り方等に関する研修

##### (7) コミュニケーションスキルアップ研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成 28 年 7 月 29 日 | 生涯学習推進センター | 66 人

【内容】生涯学習関係職員等に不可欠な実践的コミュニケーションスキルの育成を図る研修

##### (8) 広報スキルアップ研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成 28 年 10 月 28 日 | 生涯学習推進センター | 56 人

【内容】魅力的かつ効果的な周知・広報活動に関する研修

##### (9) 社会教育主事・公民館職員・社会教育指導員等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成 28 年 11 月 17 日 | 盛岡市キャラホール | 86 人

【内容】社会教育職員等を対象に、諸課題に対応する社会教育活動の在り方等に関する研修

(10) 復興支援セミナー（沿岸会場）

【期日 | 研修会名 | 参加者数】

期 日	研修会名	参加者数
平成 28 年 6 月 10 日	宮古地区放課後子ども総合プラン研修会	21 人
平成 28 年 6 月 24 日	県北地区学校支援地域本部事業推進研修会	29 人
平成 28 年 8 月 1 日	県北地区放課後子ども総合プラン研修会	24 人

【内容】 沿岸被災地からの要請により、主に生涯学習・社会教育関係職員を対象とした復興支援に関する研修

(11) 図書館等職員研修

ア 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】 平成 28 年 4 月 22 日 | 県立図書館 | 17 人

【内容】

- (ア) 新任の図書館長等を対象にした基礎的研修
- (イ) 講話 図書館長の役割 新任図書館長にお願いしたいこと
- (ウ) 講義 県立図書館等概況説明
- (エ) 情報・意見交換

イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

岩手県読書をすすめるつどい（出典：岩手県立図書館統計資料）

平成 29 年 2 月 4 日 アイーナ 179 人参加 講演及び事例発表

(12) 図書館等職員研修（出典：『要覧 2017（平成 29 年度版）岩手県立図書館編集』）

ア 新任図書館長研修

【期日 | 会場 | 参加者数】 平成 28 年 8 月 30 日～9 月 2 日 | 県立図書館他 |

【内容】 文部科学省主催研修の動画受信による研修

イ 図書館等初任職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】 平成 28 年 5 月 19 日～20 日 | 県立図書館 | 40 人

【内容】

- (ア) 市町村立図書館及び公民館図書室の経験年数 3 年未満の職員を対象にした実務に関する研修
- (イ) 講話（図書館サービスについて）
- (ウ) 講義（図書館の連携、資料の受入～配架、図書館と著作権、レファレンスサービス等）
- (エ) グループワーク
- (オ) 館内見学

ウ 市町村図書館等職員専門研修

期 日	会 場	参加者数
平成 28 年 9 月 16 日	県立図書館	29 人
平成 28 年 12 月 9 日	大船渡市立図書館	14 人
平成 28 年 12 月 16 日	一戸町コミュニティセンター	16 人

エ 図書館等中堅職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】 平成 28 年 7 月 7 日～8 日 | 県立図書館 | 51 人

【内容】

- (ア) 市町村立図書館及び公民館図書室の経験年数おおむね 3 年以上の職員を対象にした実務に関する研修

- (イ) 講義・意見交換（障がい者と図書館）
- (ウ) 講義・児童サービスと選書について
- (エ) 講義・実技（こわれた本の修理-資料管理 保存・維持・更新・修理作業-）

#### オ 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成 28 年 10 月 21 日 | アイーナ | 53 人

##### 【内容】

- (ア) 県内公共図書館・公民館図書室及び関係機関の職員、図書館協議会委員を対象にした図書館運営の在り方や今日的課題等に関する研修
- (イ) 基調講演（図書館をめぐる動向）
- (ウ) 事例発表（健康・医療情報サービス：行政支援サービス：農業支援サービスについて）
- (エ) 全体会

### (13) 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

#### ア 公民館職員専門講座

公民館職員として必要な高度かつ専門的な知識・技術についての研修を行い、地域の指導的立場にある公民館職員としての力量を高める。

##### 【期日 | 会場】

平成 28 年 5 月 17 日～20 日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、演習、事例発表、研究協議等

【参加者数】 1 人（県立生涯学習推進センター）

#### イ 全国生涯学習センター等研究交流会

全国の生涯学習センター等の代表者・職員等を対象に、生涯学習センター等の運営上の課題等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成 28 年 6 月 2 日～3 日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、事例研究等

【参加者数】 1 人（県立生涯学習推進センター）

#### ウ 全国博物館長会議

地域に開かれた博物館、社会教育・文化施設としての博物館が一層発展するため、博物館をめぐる諸課題の把握及び対策を検討する。

【期日 | 会場】平成 28 年 6 月 8 日 | 文部科学省 講堂

【内容】行政説明、事例発表、パネルディスカッション等

【参加者数】 2 人（県立博物館、花巻市博物館）

#### エ 社会教育主事講習への派遣

(ア) 秋田大学社会教育主事講習

【期日 | 会場】平成 28 年 7 月 12 日～8 月 5 日 | 秋田大学等

【内容】講義、演習、グループ研究等

【参加者数】 2 人（教員 2 名）

(イ) 社会教育主事講習[B]

##### 【期日 | 会場】

平成 29 年 1 月 18 日～2 月 23 日 | 国立教育政策研究所教育実践研究センター等

【内容】講義、演習、グループ研究等

【参加者数】 2 人（市町村 1、県立美術館 1）

#### オ 博物館長研修

博物館の管理・運営、サービスに関する専門知識や博物館を取り巻く社会の動向などについて研修を行う。

【期日 | 会場】平成 28 年 7 月 13 日～15 日 | 文部科学省 講堂

【内容】講演、講義、シンポジウム等

【参加者数】 1 人（県立博物館）

#### カ 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の小・中・高等学校等の教員と美術館の学芸員等が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成 28 年 8 月 1 日～2 日 | 東京国立近代美術館等

【内容】講演、グループワーク、講演、事例発表、ワールドカフェ等

【参加者数】 2 人（岩手県立美術館、県立高等学校）

#### キ メディア教育指導者講座

学校教育及び社会教育におけるメディア教育に関する指導者の体系的・計画的な育成を図る。

【期日 | 会場】

平成 28 年 11 月 28 日～12 月 2 日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、演習、視察等

【参加者数】 1 人（県立生涯学習推進センター）

#### ク 社会教育主事専門講座

社会教育主事として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場にある社会教育主事としての力量を高める。

【期日 | 会場】

平成 28 年 12 月 13 日～16 日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】実践交流、パネルディスカッション、講義、演習等

【参加者数】 2 人（県立生涯学習推進センター、教育事務所）

#### ケ 地域教育力を高めるボランティアセミナー

地域と学校の連携・協働の推進に係る調査研究の成果等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成 29 年 3 月 9 日～10 日 | 放送大学東京文京学習センター

【内容】行政説明、事例研究、調査研究報告、記念講演等

【参加者数】 7 人（県立生涯学習推進センター、教育事務所、市町村担当者、教員、NPO等）

## 5 社会教育施設の整備充実（1 県立生涯学習推進センター）

### (1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援、促進するため、生涯学習に関する情報提供・学習相談、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的、効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

### (2) 運営の重点

#### ア 学習情報提供・学習相談

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実を努める。

(ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実

(イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実

(ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

#### イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。

(ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施

(イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進

(ウ) 生涯学習推進研究発表会の開催

#### ウ 指導者の養成・研修

生涯学習・社会教育関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

(ア) 主に生涯学習・社会教育関係職員を対象とした研修（職員研修）

(イ) 主に有志指導者（ボランティア）を対象とした研修（有志指導者研修）

(ウ) 市町村等のニーズに応じた研修（養成研修）

### (3) 事業等の実施状況

#### ア 学習情報の提供

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用

インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。

#### 【生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の利用状況】

分野	利用件数(前年比)	〈参考〉情報数(前年比)
講座・イベント	2,371 (△249)	451 (0)
施設	1,821 (△591)	569 (0)
団体・グループ	1,234 (△3,591)	219 (0)
指導者	9,766 (△1,185)	771 (21)
教材	675 (△174)	664 (0)
計	15,867 (△5,790)	2,674 (21)

(イ) 生涯学習情報紙の発行

【名称】岩手県立生涯学習推進センター情報

【内容】国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等

【発行部数・回数】890部・年4回

【配布先】県、市町村教育委員会、小中高等学校、関係機関及び施設等

(ウ) 学習相談事業「マナビィコール」

【内容】生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談  
電話番号：0198-27-4563（月曜日～金曜日の9時～17時）

【相談件数】平成28年度165件

(エ) 子育て相談「すこやかダイヤル」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての電話相談、面接相談  
電話番号：0198-27-2134

（月曜日～金曜日の10時～17時、これ以外の夜間、休日はFAX、留守番電話対応）

【相談件数】平成28年度680件

(オ) 子育て相談「すこやかメール相談・メールマガジン」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての携帯電話メール相談、子育て情報提供

【相談件数】平成28年度170件

【子育て情報提供】毎週木曜日メールマガジン配信

イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「2016 研究報告 Vol.19 いわたの生涯学習」の発行

【部数】1,500部

【内容】社会教育関係職員の研修の充実方策に関する実践的研究

(イ) 平成28年度岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】平成29年2月2日～3日

【会場】生涯学習推進センター

【参加者数】170人（実人数）

【内容】(1) 講演「地方創生における教育の役割」

(2) 研究発表・協議

① 「市町村における教育振興運動の効果的な推進方策に関する実践的研究」

② 「効率的・効果的な事業評価のあり方に関する実践的研究」

(3) 事例発表・協議「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」

ウ 指導者の養成・研修

【生涯学習推進センター利用状況】

利用区分	事業数・団体数(前年比)	利用人数(前年比)
主催事業	55 (5)	3,468 (412)
随時研修	2 (0)	46 (△44)
講師派遣	88 (39)	5,224 (2,386)
施設利用	65 (18)	4,638 (1,211)
その他	8 (4)	548 (55)
計	218 (66)	13,924 (4,020)

## 【各種研修事業実施状況】

[単位：人]

区 分	研修・講座名	期 日	受講者数
職員研修	新任社会教育関係職員研修講座	平成 28 年 5 月 12 日～13 日	112
	事業プログラム開発専門研修講座①基礎編②活用編	平成 28 年①5 月 13 日②6 月 22 日	25
	センター長・公民館長・主管課長等セミナー	平成 28 年 5 月 20 日	58
	社会教育指導員等研修講座	平成 28 年 5 月 25 日	53
	家庭教育子育て電話相談員研修会①②	平成 28 年 10 月 24 日 平成 29 年 2 月 23 日	120
	家庭教育・子育て支援担当者研修会	平成 28 年 5 月 31 日	22
	事業担当者のための評価研修会 I・II	I 平成 28 年 6 月 7 日 II 平成 28 年 12 月 20 日	43
	センター・公民館職員等研修講座（県内 3 会場）	平成 28 年 7 月 22 日～12 月 2 日	93
	コミュニケーションスキルアップ研修講座	平成 28 年 7 月 29 日	66
	学校と地域の協働のための研修会	平成 28 年 8 月 8 日	64
	広報スキルアップ研修講座	平成 28 年 10 月 28 日	56
	岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会	平成 28 年 6 月 16 日～17 日	10
有志指導者研修	子育て支援スキルアップ研修会（県内 6 会場）	平成 28 年 6 月 13 日～11 月 25 日	195
	学校支援コーディネーター等研修会	平成 28 年 6 月 15 日	59
	放課後子どもプラン指導者合同研修会（2 回）	平成 28 年 7 月 1 日・9 月 15 日	232
	読書ボランティア研修会(センター会場)	平成 28 年 7 月 6 日	291
	読書ボランティア研修会(大船渡会場)	平成 28 年 9 月 7 日	45
	子育て支援活動交流研修会	平成 28 年 9 月 2 日	65
	子どものまなびを支えるセミナー	平成 28 年 12 月 8 日	33
	放課後児童支援員認定資格研修（県内 4 会場）	平成 28 年 7 月 12 日～11 月 30 日	282
要請研修	復興支援セミナー（県内 3 会場）	平成 28 年 6 月 10 日・6 月 24 日 ・8 月 1 日	79
	随時研修（2 回）	通年	46
	出前研修（講師派遣）（86 回）	通年	5,203
岩手県生涯学習推進研究発表会（2 日間）		平成 29 年 2 月 2 日～3 日	170
計			7,422

## 6 社会教育施設の整備充実（2 県立図書館）

### (1) 運営の方針

#### ア 図書館機能充実と広報活動の充実

(ア) 県と指定管理者の役割と責任を明確にするとともに、図書館としての一体性が保持されるよう連携協力して利用しやすい施設を目指す。

図書館のサービス提供部門の運営を担う指定管理者は、図書館の運営方針等に基づき適切に業務を管理運営するとともに、県は指定管理者の管理運営が適切に行われているかを評価し、適切な図書館の運営や利用者サービスの向上に努める。

(イ) 図書館の運営上の課題を協議するため、図書館協議会を開催する。

(ウ) 利用者の便宜を図り利用促進につなげるため、印刷物の発行やホームページ等を活用し広報等情報の発信に努めるほか、アンケート等により利用者のニーズの把握に努める。

(エ) 利用者サービスなどの図書館機能の充実のため、図書館職員の資質の向上に向けた取組を進める。

#### イ 図書館資料の収集、整理、保存及び活用

(ア) 県民のニーズや県立図書館としての役割などを踏まえ、収集方針や選定基準を見直すとともに、図書館資料として相応しい資料や情報を収集、整理、保存し、県民の利用に供していく。

(イ) 県民の利用を促進するために所蔵資料に係る目録等の整備を進めるとともに、障がい者への郵送貸出などのサービスを提供する。

(ウ) 郷土資料の収集、整理等を重点的に実施し、ホームページにより情報提供を行うとともに、デジタル化による資料の保存を進める。

また、郷土資料講座を開催して郷土資料の活用に取り組む。

(エ) 東日本震災津波関係の記録の収集に関係機関と連携しながら重点事項として取り組む。収集した資料等の情報については、震災関係資料コーナーやホームページ等で発信する。

(オ) 古文書等の貴重資料について適切に保存し活用を図るとともに、デジタルライブラリーいわてにより公開し、いわての貴重な文化資源として情報発信に努める。

#### ウ 相談機能の維持充実

(ア) 図書館を利用して県民が様々な調べや研究活動ができるように、図書館資料を活用したレファレンスサービスを提供する。

(イ) 県民や企業等が抱えるニーズや課題（地域課題）の解決支援に向けて、課題解決支援コーナーの設置や企画展示などを行う。

(ウ) レファレンス事例や郷土資料に関するデータベースを充実させ、調べに役立つ情報を提供する。

#### エ 学習機会の提供と読書活動の奨励

(ア) 図書館資料を活用した企画展示や推薦図書の紹介などを行い、県民の学習意欲を高める。

(イ) 関係団体との連携により読書週間を設け各種関連事業を実施するほか、県内の読書サークルなどへの図書館資料の貸出や読み聞かせ会の実施等により、県民の読書活動が進むように取り組む。

#### オ 市町村支援及び連携

(ア) 市町村立図書館等のニーズを踏まえつつ、図書館運営について助言等を行うとともに、協力貸出や協力レファレンス等の支援に取り組む。

(イ) 市町村立図書館等と共同して図書館を取り巻く様々なテーマについての調査研究を実施する。

(ウ) 県内の図書館間の相互協力を推進する。

(エ) 東日本大震災津波により被害を受けた県内の市町村立図書館等の新館開館に向けた必要な支援を行う。

(オ) 市町村立図書館等職員を対象にした各種研修・講座を実施する。

#### カ 関係団体等との連携

(ア) 図書館協会、読書推進運動協議会を通じて読書活動奨励等が全県的な活動となるよう県内図書館や関係団体等との連携を進める。

(イ) 図書館以外の社会教育施設等との連携を強め、情報提供等のサービスの提供に努める。

(ウ) いわて県民情報交流センター内施設等と連携しながら県立図書館利用者の満足度向上に努める。

### (2) 実施状況

#### ア 県立図書館協議会開催状況

【期日】平成28年11月24日

- 【協議事項】
- ・ 県立図書館利用状況等について
  - ・ 県立図書館事業実施状況等について
  - ・ 県立図書館施策推進計画について

#### イ 広報活動

各種機関誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に努めた。

#### ウ 図書館資料の収集（出典：『要覧2017（平成29年度版）岩手県立図書館編集』等）

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。特に、東日本大震災津波に関する資料収集は各方面に呼びかけ、積極的に取り組んだ。資料収集等の実績は次のとおり。

##### (ア) 図書資料

[単位：冊]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総冊数
一般用	6,500	6,462	462	642,779
団体用	1,416	127	505	127,021
計	7,916	6,589	967	769,800

##### (イ) 視聴覚資料

[単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
16ミリ映画フィルム	0	0	0	1,540
ビデオテープ	0	0	0	2,852
DVD	48	34	7	2,615
CD	50	22	4	4,225
レコード	0	0	0	1,492
録音テープ	0	0	0	1,448
レリーフ・巧芸画	0	0	0	97
計	98	56	11	14,269

##### (ウ) 新聞・雑誌

[単位：タイトル]

区分	年度末総タイトル数
新聞	355
雑誌	5,405
計	5,760

## (エ) マイクロフィルム

[単位：点]

区 分	購 入	寄 贈	遡 及	除 籍	年度末総点数
マイクロフィルム	26	0	0	1	11,068

※遡及：未登録の資料を遡及登録したものの

## (オ) 電子資料

[単位：点]

区 分	年度末総点数
CD-ROM等	659
オンラインデータベース	8
計	667

## (カ) 震災関連資料

[単位：点]

区 分	年度末総点数
図書資料等	27,696
視聴覚資料	186
計	27,882

## (キ) デジタル化資料

[単位：点]

資料名	28年度デジタル化点数
—	0

※デジタル化は、隔年実施のため29年度に実施予定。

## エ 利用者サービス（出典：『要覧 2016（平成 28 年度版）岩手県立図書館編集』）

## (ア) 入館者数及び新規貸出登録者数

入館者数……………429,892 人

新規貸出登録者数…4,457 人

## (イ) 個人への館外貸出数

[単位：冊又は点]

区 分	冊数又は点数
図書資料	257,781
視聴覚資料	10,302
うちビデオテープ	252
DVD	4,937
CD	5,113

## (ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会

映画会は、一般向け 48 回、児童向け 24 回、計 72 回開催した。

また、児童向け読み聞かせ会を 55 回開催した。

## (エ) 参考調査（レファレンス・サービス）

調べものや読書相談等に延べ 22,121 件の利用があった。

## (オ) 課題解決支援サービス

[単位：人]

講 演 タ イ ト ル	開 催 日	参加者数
としょかん金融講座「ライフプランから考えるお金の貯め方・増やし方」	平成 28 年 6 月 25 日	17
としょかん金融講座「今から始める終活～エンディングノート利用法～」	平成 28 年 11 月 17 日	35
高校生のためのビジネスプラン作成講座	平成 28 年 8 月 3 日	4
創業支援セミナー「起業準備と成功に必要な 3 つの大事なこと」	平成 29 年 1 月 21 日	15
講演会「病と仕事 ーがん患者となつてー」	平成 29 年 3 月 19 日	35

- (カ) 二次資料の作成  
 利用者のレファレンスサービス利用の便宜を図るため、二次資料を整備して提供した。
- ・レファレンス事例データベース
  - ・国立国会図書館レファレンス協同データベース
  - ・郷土関係雑誌目次集
  - ・岩手日報記事索引

**オ 市町村への支援協力（出典：『要覧 2017（平成 29 年度版）岩手県立図書館編集』等）**

- (ア) 市町村立図書館等職員専門研修
- ・デジタル化資料送信サービス・デジタルコレクションの利活用
  - ・地域資料を中心としたレファレンスへの対応
- (イ) 市町村立図書館等への訪問 29 回  
 (ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員 17 人 2 回  
 (エ) 協力貸出  
 図書資料：1,036 件、2,147 冊  
 視聴覚資料：23 件、55 点  
 (オ) 団体貸出  
 図書資料：29 団体、35,534 冊  
 視聴覚資料：11 団体、27 点

**カ 展示事業（出典：『要覧 2017（平成 29 年度版）岩手県立図書館編集』等）**

- (ア) 4 階展示コーナー企画展示 [単位：点]

実施内容	開催期間	展示点数
岩手県の誕生	平成 28 年 4 月 22 日～5 月 27 日	143
岩手の新聞人たち	平成 28 年 6 月 3 日～7 月 24 日	195
岩手の山々	平成 28 年 7 月 30 日～9 月 19 日	240
第 32 回 啄木資料展（テーマ展：啄木と近代歌人たち）	平成 28 年 10 月 1 日～11 月 23 日	160
犬と生きる ～ともに歩んだ 1 万年～	平成 28 年 12 月 1 日 ～平成 29 年 1 月 22 日	188
第 37 回手づくり絵本展（ミニ企画展：子ども向け伝記の今むかし）	平成 29 年 2 月 3 日～2 月 12 日	235
岩手の歴史シリーズⅦいわてに生きる④街道を歩く	平成 29 年 2 月 24 日～5 月 7 日	168

- (イ) 各カウンターミニ展示 [単位：回]

場 所	開催回数
総合、児童、新聞・雑誌、音と映像、企画、郷土、パズファインダー、コンシェルジュ	49

## 7 社会教育施設の整備充実（3 県立青少年の家）

### (1) 県南青少年の家

#### ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
- (ウ) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

#### イ 研修活動

- (ア) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (イ) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に努めた。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用の促進に努めた。
- (イ) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
- (ウ) 親しみやすい施設運営と利用者層の拡大に努めた。

#### エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に努めた。

### (2) 陸中海岸青少年の家

#### ア 主催事業

- (ア) 安全確保を念頭に活動内容の充実を努め、一部の事業において海の活動を取り入れたプログラムを展開することができた。
- (イ) ボランティアの育成とその活用に努めた。
- (ウ) 近隣市町村を中心に関係者及び関係機関との情報交換を密にし、連携を図ることができた。

#### イ 研修活動

- (ア) 利用団体との事前打ち合わせに丁寧に対応し、利用者（団体）のねらいが達成されるよう支援に努めた。
- (イ) 施設利用について、利用者のニーズに応じ、柔軟な対応に努めた。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用の促進に努めた。
- (イ) 近隣市町村への広報や季刊誌等により、利用促進に努めた。
- (ウ) 利用者の立場に立ち、利用者の満足度を高める接遇を心掛け、対応することができた。

#### エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に努めた。

### (3) 県北青少年の家

#### ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域、施設の特性を生かし、研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成とその活用に努めた。
- (ウ) 近隣の社会教育施設や地域団体等との連携強化を図った。

#### イ 研修活動

- (ア) 団体の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (イ) 利用者のニーズに応じて、新しい研修活動プログラム（レク、創作活動等）を導入した。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

## ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用の促進に努めた。
- (イ) 施設開放事業を行い、広く地域住民に親しまれるよう施努めた。
- (ウ) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。
- (エ) 積極的な臨時開所や出前講座の実施、月2回の地元FMラジオ番組への電話出演、ホームページ・ポスター・チラシ等で広報活動を展開した。

## エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に努めた。

【県立県南青少年の家 平成 28 年度主催事業及び自主事業】

- (1) 集団宿泊指導研修会 ①②  
【期日 | 参加者数】 ① 5月10日 42人 ② 5月11日 34人
- (2) アドバイザー・スタッフ養成講座  
【期日 | 参加者数】 5月21日～22日 13人
- (3) 自然ワンダークラブ ①②③  
【期日 | 参加者数】  
①Wonder①～出会い～ 6月4日～5日 27人 ②Wonder②～深まり～9月17日～18日 25人  
③Wonder③～絆～ 1月14日～15日 24人
- (4) みんな de スクラム  
【期日 | 参加者数】 6月18日 10人
- (5) かるがも親子体験教室 ①②  
【期日 | 参加者数】  
①親子 de アウトドアクッキング 7月2日 63人 ②キャンプ de チャレンジ 8月20日～21日 35人
- (6) 水と緑のフレンドシップ  
【期日 | 参加者数】 7月23日～27日 26人
- (7) 県南はーとふる♡Day  
【期日 | 参加者数】 9月28日 8人
- (8) 宿泊通学合宿  
【期日 | 参加者数】 11月23日～26日 27人
- (9) 親子 de 手作りクリスマス！  
【期日 | 参加者数】 11月28日 57人、12月10日 43人
- (10) 冬のおもしろ体験ランド～雪はともだち～  
【期日】 1月28日～29日 18人
- (11) [自主事業] 春山・秋山トレッキング①②  
【期日 | 参加者数】 ①5月19日 22人 ②10月20日 18人
- (12) [自主事業] みどりのキャンパス ふれあいフェスティバル  
【期日 | 参加者数】 8月7日 439人
- (13) [自主事業] 栗駒山トレッキング  
【期日 | 参加者数】 9月23日 20人
- (14) [自主事業] 県南青少年の家所長杯 サッカーフェスティバル  
【期日 | 参加者数】 10月15日～16日 913人
- (15) [自主事業] 親子 de チャレンジ！  
【期日 | 参加者数】 11月19日～20日 19人
- (16) [自主事業] 冬のわくわく創作ランド  
【期日 | 参加者数】 1月7日 11人
- (17) [自主事業] 「レッツ！スケート みどりの郷」  
【期日 | 参加者数】 1月14日、1月29日 100人

【県立陸中海岸青少年の家 平成 28 年度主催事業及び自主事業】

- (1) 自然体験活動セミナー  
【期日 | 参加者数】 4月28日 36人
- (2) 海釣り道場  
【期日 | 参加者数】 5月7日～8日 17人
- (3) 家族とふれあうデイキャンプを楽しもう!! in 陸中  
【期日 | 参加者数】 5月14日 51人
- (4) マリンランド杯グラウンド・ゴルフ交流大会 ①②③  
【期日 | 参加者数】  
① 5月19日 102人 ② 8月25日 78人 ③ 10月13日 106人

- (5) アドバイザースタッフセミナー  
【期日|参加者数】7月2日～3日 3人
- (6) マリンランド自然体験塾 ①②  
【期日|参加者数】  
①海の子野外教室 8月3日～5日 27人 ②雪ん子野外教室 1月10日～12日 29人
- (7) 創作ひろば  
【期日|参加者数】2月4日 62人
- (8) ハートフルキャラバン  
【期日|参加者数】 通年 参加者なし
- (9) マリンランドやまびこキャラバン  
【期日|参加者数】 通年 5,048人
- (10) [自主事業] ワンダフルネクチャー①②  
【期日|参加者数】①4月23日 54人 ②7月18日 48人
- (11) [自主事業] 「マリンランドフェスタ 感謝まつり」  
【期日|参加者数】 9月25日 753人
- (12) [自主事業] 親子 de チャレンジ!  
【期日|参加者数】 11月19日～20日 33人
- (13) [自主事業] 第14回マリンランドフットサル交流会  
【期日|参加者数】11月26日～27日 606人
- (14) [自主事業] 創作ひろば  
【期日|参加者数】①12月17日 65人
- (15) [自主事業] 第38回陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓交流会  
【期日|参加者数】2月25日～26日 163人
- (16) [自主事業] 第10回マリンランド陸中ミニバスケットボール交流会  
【期日|参加者数】3月4日～5日 462人

【県立県北青少年の家 平成28年度主催事業及び自主事業】

- (1) 野外活動セミナー ①②  
【期日|参加者数】①4月28日、②5月27日 48人
- (2) ジュニアフォレスターズ大作戦 ①②③  
【期日|参加者数】①6月4日～5日 55人 ②9月24日～25日 51人 ③2月4日～5日 45人
- (3) わんぱく広場  
【期日|参加者数】6月19日 73人
- (4) プラネタリウム鑑賞デー ①②③  
【期日|参加者数】①7月3日 74人 ②9月22日 82人 ③12月18日 104人
- (5) サマーにこにこキャンプ ①②  
【期日|参加者数】①7月9日～10日 49人 ②7月16日～17日 48人
- (6) サマーわくわくキャンプ  
【期日|参加者数】7月26日～28日 31人
- (7) サマーチャレンジキャンプ  
【期日|参加者数】8月2日～5日 34人
- (8) 親子でアウトドアクッキング  
【期日|参加者数】9月22日 61人
- (9) スケート実技セミナー  
【期日|参加者数】10月28日 15人
- (10) スケート場感謝デー  
【期日|参加者数】11月3日 687人

- (11) 誰でもスケート教室 ①②③  
【期日 | 参加者数】①11月13日 79人 ②11月27日 61人 ③12月10日 51人
- (12) だれでもカーリング教室  
【期日 | 参加者数】1月21日 23人
- (13) ウィンタースクール  
【期日 | 参加者数】2月18日～19日 47人
- (14) [自主事業] ステラパル春まつり  
【期日 | 参加者数】5月15日 484人
- (15) [自主事業] いきいきグラウンド・ゴルフ大会 ①②  
【期日 | 参加者数】①5月19日 137人 ②9月12日 110人
- (16) [自主事業] ステラパル夏まつり  
【期日 | 参加者数】8月28日 1,646人
- (17) [自主事業] 親子 de チャレンジ  
【期日 | 参加者数】11月19日～20日 31人
- (18) [自主事業] ステラパル冬まつり  
【期日 | 参加者数】2月12日 369人
- (19) [自主事業] スケートキッズ感謝デー  
【期日 | 参加者数】3月20日 389人

8 社会教育施設の整備充実（4 県立博物館）

県立博物館は、本県における教育、学術及び文化の発展と、新しい郷土を築く県民意欲の高揚に寄与することを基本姿勢として運営に努めている。平成 28 年度は、テーマ展の開催、各種講演会、セミナーの開催など、館の内外にわたる積極的な活動を展開した。

(1) 博物館協議会開催状況

ア 平成 28 年度岩手県立博物館協議会

- ① 期日 平成 29 年 1 月 24 日
- ② 会場 岩手県立博物館会議室
- ③ 協議事項
  - a 平成 27 年度博物館協議会の意見等への対応状況について
  - b 平成 28 年度博物館事業実施状況について
  - c 平成 29 年度博物館事業計画(案)について
  - d 運営全般について

(2) 平成 28 年度利用状況

総利用者数：68,461 人

- 入館者数……………44,968 人
- 教育普及事業参加者数……22,836 人
- 移動展入館者数…………… 657 人

【平成 28 年度入館者数】

[単位：人、日]

区分 月	個人利用				団体利用				免除利用				総利用人員				開館 日数	1 日平均 利用人数
	一般	高大 学生	小中 学生	計	一般	高大 学生	小中 学生	計	一般	高大 学生	小中 学生	計	一般	高大 学生	小中 学生	計		
4	1,148	20	628	1,796	72	149	0	221	401	0	107	508	1,621	169	735	2,525	26	97
5	1,848	72	885	2,805	2	43	0	45	765	35	264	1,064	2,615	150	1,149	3,914	27	145
6	1,083	76	525	1,684	46	0	0	46	444	1	486	931	1,573	77	1,011	2,661	26	102
7	1,558	88	903	2,549	134	0	122	256	579	165	424	1,168	2,271	253	1,449	3,973	27	147
8	2,025	97	1,319	3,441	58	0	0	58	438	56	350	844	2,521	153	1,669	4,343	29	150
9	803	39	423	1,265	169	0	0	169	420	25	948	1,393	1,392	64	1,371	2,827	17	166
10	1,973	44	1,385	3,402	144	0	5	149	1,775	143	1,308	3,226	3,892	187	2,698	6,777	26	261
11	1,364	52	563	1,979	224	0	1	225	883	4	708	1,595	2,471	56	1,272	3,799	26	146
12	691	36	476	1,203	94	0	0	94	688	9	432	1,129	1,473	45	908	2,426	24	101
1	862	45	555	1,462	0	0	0	0	397	3	199	599	1,259	48	754	2,061	24	86
2	1,166	34	702	1,902	24	0	0	24	524	31	178	733	1,714	65	880	2,659	24	111
3	3,182	84	2,610	5,876	0	0	0	0	636	66	425	1,127	3,818	150	3,035	7,003	27	259
計	17,703	687	10,974	29,364	967	192	128	1,287	7,950	538	5,829	14,317	26,620	1,417	16,931	44,968	303	148

### (3) 博物館活動

#### ア 資料の収集保管活動

[単位:点]

##### (ア) 資料の収集整理

平成 28 年度は、右の 10,660 点の資料についての受け入れ、登録事務を行った。

【収集資料数】	地質	生物	考古	歴史	民俗	計
平成 27 年度末 累計	8,935	150,192	58,160	40,607	19,549	277,443
平成 28 年度登録点数	41	10,211	2	160	246	10,660
計	8,976	160,403	58,162	40,767	19,795	288,103

(イ) 資料の貸出状況 他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- a 地 質 オオバタグルミの堅果など 131 点
- b 生 物 名古屋種剥製等 10 点
- c 考 古 手代森遺跡出土の遮光器土偶 26 点
- d 歴 史 南部秀麻呂画「水仙図」ほか 32 点
- e 民 俗 相撲極伝之書（複製）ほか 100 点
- f 共 通 2011.3.11 平成の大津波被害と博物館など 2 点

##### (ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。  
また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

#### イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の各分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査とがある。

平成 28 年度は 24 テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

分 野	調査研究テーマ
地 質	「地域地質に関する研究」 ほか 2 テーマ
生 物	「地域生態系の研究」 ほか 5 テーマ
考 古	「考古学史の研究」 ほか 2 テーマ
歴 史	「近世史の研究」 ほか 4 テーマ
民 俗	「有形民俗資料に関する研究」 ほか 3 テーマ
文化財科学	「文化財の保存環境に関する研究」 ほか 2 テーマ

#### ウ 展示活動

##### (ア) 常設展示の充実

「総合展示室」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」「ミニプラザ」等の展示替え

##### (イ) 特別展示等の開催

種 別	名 称	会 期
企画展	「古生代の大量絶滅と回復－進化の影と光－」	平成 28 年 6 月 7 日(火)～8 月 21 日(日)
テーマ展	「大津波と三陸の生き物」	平成 28 年 12 月 17 日(土)～平成 29 年 2 月 26 日(日)
テーマ展	「絵画でたどる 19 世紀岩手の風景」	平成 29 年 3 月 18 日(土)～5 月 7 日(日)
特別展	「近代へのとびら－大島高任の挑戦－」	平成 28 年 3 月 26 日(土)～5 月 15 日(日)
特別展	「スポーツ博覧会いわて」	平成 28 年 9 月 22 日(木・祝)～11 月 27 日(日)
巡回展	「秩父宮記念スポーツ博物館」	平成 28 年 9 月 22 日(木・祝)～11 月 27 日(日)
共同展	「国立科学博物館コラボミュージアム県内巡回展 「古生代の大量絶滅と回復－進化の影と光－」	岩泉町公民館 平成 28 年 8 月 27 日(土)～9 月 11 日(日) 大船渡市立博物館 平成 28 年 9 月 16 日(金)～12 月 4 日(日) 久慈琥珀博物館 平成 28 年 12 月 9 日(金)～平成 29 年 2 月 26 日(日)
合同移動展	「文化・芸術が集うとき in 久慈市」	平成 29 年 1 月 20 日(金)～1 月 22 日(日)

(ウ) 解説会

以下のとおり、計 519 回催し、7,030 人の参加があった。

a 展示解説会（定時：19 回開催、334 人参加）

期 日	担当	テーマ
4月3日（日）	歴史	特別展「近代へのとびら」
4月23日（土）		
5月14日（土）		
6月11日（土）	地質	企画展・国立科学博物館コホミュージアム県内巡回展 「古生代の大量絶滅と回復」
7月31日（日）		
8月1日（月）		
8月7日（日）		
8月11日（木）		
9月24日（土）	外部講師	ギャラリートーク
10月23日（日）		ギャラリートーク
12月18日（日）	生物	展示解説会
1月9日（月・祝）		
1月15日（日）		
1月22日（日）	民俗	移動展展示解説会
2月5日（日）	生物	展示解説会
2月11日（土・祝）		
2月25日（土）		
3月20日（月・祝）	歴史・古美術	展示解説会

b 共催展「国立科学博物館・巡回ミュージアムin岩手（移動展覧会とイベント）  
3 回開催、4,337 人参加 ※移動展示とイベントを行った。

c 常設展示・展示解説会（496 回開催、延べ 2,324 人参加）

区 分	回 数	参加者数	場 所	担 当	内 容
定時解説	106 回（原則として毎日）	延べ 330 人	総合展示室 ほか	学芸第三課 （解説員）	総合展示室の展示資料に ついての展示解説会
通覧解説 （依頼解説）	390 回（随時）	延べ 1,994 人			

d 移動展展示解説会（1 回開催、延べ 35 人参加）

期 日	場 所	タイトル
平成 29 年 1 月 22 日（日）	久慈市文化会館 アンバーホール	「合同展～平成 28 年度岩手県立博物館移動 展・第 37 回埋蔵文化財展」

## エ 教育普及活動

### 【講演会、観察会等の開催事業一覧】

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
1	チャレンジ!はくぶつかん	57回	1,656人
2	民家の展示解説	2回	45人
3	ガマ・ワラ細工の実演	6回	93人
4	「ワールドパズル」	1回	633人
5	ナイトミュージアム ～くらやみの中から語りかける資料を探る～	2回	46人
6	展示資料解説「けんぱくものしりシート」	12回	※展示資料カードの配布
7	春の特別企画（トピック展）「ホネの動物園」 関連イベント		
	① 展示解説会	7回	162人
	② 骨格組み立て体験	5回	71人
	③ でっかい恐竜と写真撮影	11回	1,046人
	④ ホネの動物園スペシャルイベント	2回	174人
8	文化講演会	1回	125人
9	北上川水源地域セミナー	1回	26人
10	iPS細胞と再生医療市民講座	1回	50人
11	秩父宮記念スポーツ博物館岩手巡回展関連事業	1回	25人
12	岩手県立博物館友の会話のサロン	2回	41人
13	県博日曜講座	24回	1,051人
14	県博バックヤードツアー	1回	28人
15	深海ぼうけん絵本読み聞かせ&ギターライブ	1回	79人
16	古文書入門講座	8回	175人
17	イワテミュージアムコンサート	2回	185人
18	伝統芸能鑑賞会	1回	290人
19	スポーツ実演	2回	100人
20	ニュースポーツ体験	1回	
21	考古学セミナー	2回	22人
22	自然観察会	2回	47人
23	地質観察会	2回	52人
24	博物館館務実習	7回	42人
25	文化財取扱講習会	3回	89人
26	教員のための博物館の日	2回	28人
27	第7回岩手県立博物館まつり	1回	3,683人
28	たいけん教室～みんなでためそう～	52回	2,061人
29	冬休みワクワク!ワークショップ	2回	235人
30	冬の写生会	2回	1,631人
31	ミュージアムシアター	11回	273人
32	県博出前講座	21回	744人
	計		15,008人

- 1 **チャレンジ!はくぶつかん** (57回開催、延べ1,656人参加)  
【期日】第2・3土曜日・日曜日・祝日  
【内容】学芸員が作成するワークシートの配布
- 2 **民家の展示解説** (2回開催、延べ45人)  
【期日】3月20日(月・祝)  
【内容】展示解説
- 3 **ガマ・ワラ細工の実演** (6回開催、延べ93人)  
【期日】5～10月(各月1回、日曜日)  
【テーマ】ガマ・わら細工の実演と体験
- 4 **「ワールドパズル」** (1回開催、延べ633人)  
【期日】7月20日(水)  
【テーマ】当館学芸員作成のワールドパズルの配布
- 5 **ナイトミュージアム**  
～くらやみの中から語りかける資料を探る～  
(2回開催、延べ46人参加)  
【期日】8月10日(水)、8月11日(木・祝)  
【テーマ】①子ども向けの展示解説会  
②展示照明のない展示室にある考古等資料の解説及び  
暗やみの中で特徴ある資料等の観察
- 6 **展示資料解説「けんぱくものしりシート」**  
【期日】毎月1回  
【テーマ】当館解説員が展示資料解説カードを作成し配布。
- 7 **春の特別企画(トピック展)「ホネの動物園」関連イベント**  
① **展示解説会** (7回開催、162人参加)  
② **骨格組み立て体験** (5回開催、71人参加)  
③ **でっかい恐竜と写真撮影** (11回開催、1,046人参加)  
④ **ホネの動物園スペシャルイベント** (2回開催、174人参加)
- 8 **文化講演会** (125人参加)  
【期日】11月3日(木・祝)  
【演題】「挑戦する心」  
※特別展「スポーツ博覧会いわて」関連事業として実施
- 9 **北上川水源地域セミナー** (1回、延べ26人参加)  
【期日】12月10日(土)  
【演題】川べりの縄文人in岩手
- 10 **iPS細胞と再生医療市民講座** (50人参加)  
【期日】11月6日(日)  
【テーマ】新しい医療をのぞいてみよう～iPS細胞と再生医療～
- 11 **秩父宮記念スポーツ博物館岩手巡回展関連事業** (25人参加)  
【期日】11月19日(土)  
【テーマ】トップアスリートを支える  
～国立スポーツ科学センターのサポート事例から～
- 12 **岩手県立博物館友の会話のサロン** (2回開催、41人参加)  
【期日】5月14日(土)、2月19日(日)  
【演題】還元を担う生き物・キノコ～ひだのあるキノコ(ハラタケ類)の分類  
花巻人形の世界

13 **県博日曜講座** (全24回、延べ1,051人参加)

期日	テーマ
4月10日	エクスカージョン『釜石』～2コースで釜石をめぐる～
4月24日	世界遺産としての橋野高炉
5月8日	火山灰から社会をよむー堅穴住居のかたち編ー
5月22日	中世の南部氏に関する基礎的考察
6月12日	あの世のはなし
6月26日	生命史をひも解くーオールドビズ紀・シルル紀ー
7月10日	岩泉に眠る古生代ー中世代の境界地層ー
7月24日	砂金の母岩をさぐる2
8月14日	洞穴に生きる虫たち
8月28日	資料からさぐる戦時中のいわて
9月11日	俘囚の大寺院 国見山廃寺
9月25日	「スポーツ博覧会いわて」の舞台裏
10月9日	障害を乗り越えて ～車椅子バスケットボールの指導を通して～
10月23日	海を渡った鉄ー蕨手刀・鉄鍋・南部鉄ー
11月13日	審判から見た世界の舞台
11月27日	新たな展開を迎えつつある本州のクマガラ
12月11日	魂の行方
12月25日	繰り返し訪れる津波と三陸の自然
1月8日	大津波と三陸の海の河口の動物たち
1月22日	岩手県の砂浜の現状と海浜植物の保全対策
2月12日	考古学者がやっていること
2月26日	発掘調査から出土資料が展示されるまで
3月12日	絵馬の世界～東北地方の絵馬を訪ねて～
3月26日	川口月村の「奥羽寒図記」～日本鉄道沿線をゆく～

- 14 **県博バックヤードツアー** (全1回、28人参加)  
【期日】5月15日  
※5月18日の国際博物館の日記念事業
- 15 **深海ぼうけん絵本読み聞かせ&ギターライブ** (1回、79人参加)  
【期日】5月5日
- 16 **古文書入門講座** (全8回、175人参加)  
【期日】5月土日
- 17 **イワテミュージアムコンサート** (全2回、延べ185人参加)  
【期日】10月2日、12月24日  
【講師等】吉川よしひろ/トリオ・ヴィオレ
- 18 **伝統芸能鑑賞会** (290人参加)  
【期日】10月29日(土)  
【演題】遠野郷のしし踊り～駒木鹿子踊講演～
- 19 **スポーツ実演** (2回開催、延べ100人参加)  
【期日】9月22日(日)、11月19日(日)  
【内容】武術太極拳演武、なぎなた演技
- 20 **ニュースポーツ体験** (1回開催)  
【期日】10月16日(日)  
【内容】国体デモンストレーション  
「ペタンク」「クップ」「インディアカ」
- 21 **考古学セミナー** (2回開催、延べ22人参加)  
【期日】9月11日(日)、17日(土)  
【内容】講演会:「俘囚の大寺院 国見山廃寺」  
現地見学会:「国見山廃寺」

- 22 自然観察会（2回、延べ47人参加）  
【期日】5月22日（日）、7月24日（日）  
【内容】和賀仙人の森の巨人に会いに行こう  
夏山で生きもの探し
- 23 地質観察会（2回開催、延べ52人参加）  
【期日】7月3日（日）、10月23日（日）  
【内容】釜石鉱山跡をさぐる  
一関市東山町の古生層を訪ねて
- 24 博物館館務実習（全7回、延べ42人参加）  
【期日】8月18日（木）～25日（木）
- 25 文化財取扱講習会（全3回、延べ89人参加）  
【期日】2月1日（水）～3日（金）
- 26 教員のための博物館の日（2回開催、延べ28人参加）  
【期日】8月10日（水）、12月25日（日）  
【内容】展示解説、収蔵庫見学等  
※学校との連携をより一層すすめるため、今年度から開催
- 27 第7回博物館まつり（延べ3,683人参加）  
【期日】10月16日（日）  
【内容】屋内外で様々なプログラムを実施
- 28 たいけん教室～みんなのためそう～  
（全52回開催、延べ2,061人参加）  
【期日】毎週日曜日開催  
【内容】解説員と外部講師による小学生対象のワークショップ
- 29 冬休みワクワク！ワークショップ（2回開催、延べ235人参加）  
【期日】12月23日（金）  
【内容】解説員による幼児～小学生向けのワークショップ
- 30 冬の写生会（2回開催、延べ1,631人参加）  
【期日】12月17日～1月15日、1月21日～2月12日  
【内容】展示資料や岩手山を描いた作品を募集
- 31 ミュージアムシアター（全11回、延べ273人参加）  
【期日】毎月第1土曜日  
【内容】博物館資料や展示・季節等に関連する16ミリ映画上映

32 県博出前講座（21回、延べ744人参加）

期日	依頼者	演題・イベント名ほか
7月1日	千厩高等学校	私が出会った岩手のスポーツ人～スポーツ博覧会いわてから～
7月21日	盛岡第三高等学校	刀剣について・時代装束着用体験
7月22日	盛岡第三高等学校	古代銭貨について考える
7月26日	盛岡市教育研究会理科部会	帰化植物と虫などの講話と観察会
8月4日	奥州市江刺第一中学校	理科教育に係るフィールドワークと当館見学
8月24日	盛岡市立太田小学校	水生生物調査 水に棲む生き物～身近な環境を考えよう～
8月24日	平舘高等学校	女袴の製作講習会
9月2日	杜陵高等学校	文化財レスキューとその後
9月12日	平舘高等学校	近代女学生装束についての概要説明（女袴製作）
10月25日	高教研地歴・公民部会	高等学校「日本史」における地域学習の意義と活用方法
10月28日	平舘高等学校	近代女学生装束についての概要説明（女袴製作）
11月28日	平舘高等学校	同上（進捗状況確認）
12月23日	盛岡第三高等学校	中世南部氏をめぐる謎
12月24日	盛岡第三高等学校	中世南部氏をめぐる謎
1月6日	平舘高等学校	女袴の製作講習会
1月9日	花巻市明戸公民館	小正月の伝承行事「みずきだんご作り」
1月23日	平舘高等学校	女袴製作状況確認
1月27日	平舘高等学校	同上
2月14日	平舘高等学校	女袴 完成披露・引渡式
3月17日	盛岡第三高等学校	元号から考える日本史ー建武改元時の陸奥国を題材としてー
3月18日	盛岡第三高等学校	同上

[参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）

（※各項目の利用実績は、平成 27 年度実績）

1 図書館（平成 28 年 4 月 1 日現在）（出典：『平成 28 年度図書館・公民館図書室等実態調査岩手県立図書館編集』）

	合 計	図書館	公民館等
施設数	53	46	7
職員数	487	454	33
（うち専任）	102	99	3
蔵書総冊数	4,796,277	4,603,888	192,389
年間受入冊数	205,211	188,532	16,679
貸出冊数	5,248,486	5,178,434	70,052

2 公民館（平成 28 年 10 月 1 日現在）

	合 計	本館 計	本館		分館
			中央館	地区館	
施設数	229	150	21	129	79
職員数	583	513	129	384	70
（うち本務）	103	99	45	54	4
（〃 兼務）	136	117	34	83	19
（〃 非常勤）	344	297	50	247	47
利用団体数	42,526	41,365	14,608	26,757	1,161
利用者数	2,023,480	1,933,442	542,915	1,390,527	90,038
（うち団体）	1,846,017	1,763,493	502,182	1,261,311	82,524
（〃 個人）	177,463	169,949	40,733	129,216	7,514

3 博物館等（平成 28 年 10 月 1 日現在）

	合 計	教育委員会所管	他所所管
施設数	115	70	45
職員数	537	329	208
（うち本務）	218	126	92
（〃 兼務）	91	78	13
（〃 非常勤）	228	125	103
※学芸員数（内数）	(75)	(58)	(17)
来館者数	2,058,869	728,494	1,330,375

#### 4 青少年教育施設（平成 28 年 10 月 1 日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	9	4	5
職員数	40	16	24
（うち本務）	12	6	6
（〃 兼務）	12	5	7
（〃 非常勤）	16	5	11
利用団体数	3,203	336	2,867
利用者数	89,095	25,922	63,173
（うち団体）	65,144	16,349	48,795
（〃 個人）	23,951	9,573	14,378

#### 5 文化施設（平成 28 年 10 月 1 日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	31	15	16
職員数	229	95	134
（うち本務）	143	58	85
（〃 兼務）	30	23	7
（〃 非常勤）	56	14	42
利用団体数	21,636	7,394	14,242
利用者数	2,007,060	694,449	1,312,611
（うち団体）	1,493,210	665,319	827,891
（〃 個人）	513,850	29,130	484,720

#### 6 その他の社会教育施設（平成 28 年 10 月 1 日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	199	53	146
職員数	517	58	459
（うち本務）	211	30	181
（〃 兼務）	30	19	11
（〃 非常勤）	276	9	267
利用団体数	112,690	10,774	101,916
利用者数	2,412,296	305,770	2,106,526
（うち団体）	2,289,221	247,856	2,041,365
（〃 個人）	123,075	57,914	65,161

## 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

### 第1 文化振興基金を活用した支援等

#### 1 創作・発表・鑑賞機会の拡充

文化振興基金を活用した支援等により、各地域において優れた芸術芸能に触れ、鑑賞する機会の拡大を図ったほか、若い世代の活動や発表を行う機会の拡大を推進するとともに、各種の舞台芸術事業を開催した。

さらに、創作活動を奨励するため、県人作家の文芸作品、美術活動等の奨励を行い、芸術活動の振興と水準の向上を図った。

#### (1) 公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金助成事業

##### ア 既存事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
文化活動成果発表事業	5	1,260	第2回「いわてヤングフェスティバル」ほか
文化活動研修事業	5	940	郷土史学習会ほか
文化団体備品整備事業	16	3,400	仰山流丑石鹿踊保存会ほか
刊行物発行事業	2	530	北三陸郷土史「北三陸のいのち」刊行ほか
参加する文化活動推進事業	1	200	第6回紫波町民劇場
特認事業	1	460	岩手県芸術文化活動記録集刊行
計	30	6,790	

##### イ 特別事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
被災団体備品整備事業	4	3,581	砂子畑丹内神楽ほか
いわて芸術家派遣事業	1	1,983	(一社) 岩手芸術文化協会
アートマネージャー育成事業	1	29	(特非) 岩手未来機構
若手芸術家・郷土芸能後継者等育成事業	3	620	(一財) 北上市文化創造ほか
計	9	6,213	

#### (2) 第69回岩手芸術祭

##### ア 開幕式典・開幕フェスティバル

【期日】平成28年10月8日(土) 【会場】岩手県民会館大ホール 【鑑賞者数】1,100人

##### イ 美術展

[単位：点、人]

種目	期間	会場	応募点数	鑑賞者数
写真	平成28年10月1日～4日	岩手県民会館	131	4,144
デザイン			52	
現代美術			38	
洋画	平成28年10月7日～10日		176	
彫刻			19	
工芸	平成28年10月13日～16日		53	
書道			191	
日本画	平成28年10月20日～23日		34	
版画			37	
水墨画			109	

ウ 巡回美術展

[単位：点、人]

期 間	会 場	展示点数	鑑賞者数
平成 28 年 11 月 5 日～12 月 4 日	5 市町村 5 会場	82	1,207

エ 小・中学校美術展 (小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術)

[単位：点、人]

期 間	会 場	応募点数	鑑賞者数
平成 28 年 12 月 2 日～12 月 4 日	岩手県民会館展示室	6,873	2,050

オ 巡回小・中学校美術展 (小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術)

[単位：点、人]

期 間	会 場	展示点数	鑑賞者数
平成 28 年 12 月 17 日～平成 29 年 2 月 5 日	5 市町村 5 会場	328	789

カ 映像フェスティバル

【期日】平成 28 年 11 月 3 日 【会場】もりおか町屋物語館 【鑑賞者数】40 人

キ 演劇

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
「架空の劇団」公演	平成 28 年 10 月 7 日～10 日	盛岡劇場タウンホール	610
「北芸の会」公演	平成 28 年 12 月 4 日	日本現代詩歌文学館 (北上市)	120
「二戸演劇協会 The 雲人」公演	平成 28 年 12 月 25 日	二戸市民文化会館大ホール	250
「劇団もしよこむ」公演	平成 29 年 2 月 26 日	釜石地方森林組合 2 階	70

ク 伝統芸能

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
茶会	平成 28 年 10 月 2 日	盛岡市中央公民館	806
吟詠剣詩舞道祭	平成 28 年 10 月 9 日	岩手県民会館大ホール	915
謡と仕舞の会	平成 28 年 11 月 6 日	岩手県民会館中ホール	330
華道展	平成 28 年 11 月 28 日～31 日	岩手県民会館展示室	1,893
邦楽のつどい	平成 28 年 11 月 20 日	岩手県民会館中ホール	353

ケ 音楽

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
ソロと室内楽の調べ	平成 28 年 10 月 2 日	岩手県民会館中ホール	241
ピアノ演奏会	平成 28 年 10 月 15 日	岩手県民会館中ホール	300
三曲演奏会	平成 28 年 10 月 16 日	岩手県民会館大ホール	492
声楽部門演奏会	平成 28 年 11 月 5 日	岩手県民会館中ホール	324
ギター音楽の夕べ	平成 28 年 11 月 19 日	岩手県民会館中ホール	168
吹奏楽演奏会	平成 28 年 11 月 23 日	盛岡市民文化ホール大ホール	878
合唱祭	平成 28 年 12 月 4 日	岩手県民会館大ホール	850

コ 舞踊

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
洋舞発表会	平成 28 年 10 月 23 日	岩手県民会館大ホール	1,000
日本舞踊公演	平成 28 年 11 月 27 日	岩手県民会館大ホール	1,300

サ 演芸

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊発表会	平成 28 年 10 月 22 日	花巻市文化会館（花巻市）	1,050
岩手民謡まつり	平成 28 年 11 月 6 日	岩手県民会館大ホール	770

シ 文芸祭

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
小説大会	平成 28 年 10 月 22 日	岩手県民会館会議室（盛岡市）	9
戯曲大会	平成 28 年 1 月 16 日	盛岡劇場タウホール（盛岡市）	145
文芸評論大会	平成 28 年 10 月 9 日	岩手大学農学部一号会議室（盛岡市）	19
随筆大会	平成 28 年 11 月 6 日	岩手県民会館会議室（盛岡市）	16
児童文学大会	平成 28 年 11 月 13 日	オガールプラザ大スタジオ（紫波町）	61
詩の大会	平成 28 年 10 月 16 日	なはんプラザ（花巻市）	25
短歌大会	平成 28 年 10 月 8 日	盛岡市勤労福祉会館（盛岡市）	101
俳句大会	平成 28 年 10 月 15 日	岩手県公会堂（盛岡市）	88
川柳大会	平成 28 年 10 月 22 日	アイーナ 501 号室（盛岡市）	61

ス 県民文芸作品集第 47 集刊行

【発行日】平成 28 年 12 月 10 日 【掲載点数】171 点 【応募点数】485 点

セ 移動公演

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊	平成 28 年 11 月 27 日	サンホテル衣川荘（奥州市）	100
弦楽	平成 28 年 12 月 10 日	一戸町コミュニティセンター	100

(3) 創作活動奨励事業

ア 芸術選奨

受 賞 者	分 野	作 品 名
伊藤 幸子（八幡平市）	エッセイ集	口ずさむとき
大越 みよ（盛岡市）	歌集	松煙墨
村井 直衛（紫波町）	小説	牛飼いの夏

## イ 美術選奨

受賞者	分野	受賞対象活動
尾崎 森平（宮城県）	アクリル画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人展 ギャラリー彩園子 10月</li> <li>・ART2016VOCA 展 東京 上野の森美術館 3月</li> </ul>
上村 光一（花巻市）	絵画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやきラウンジ</li> </ul>
澤谷 由子（石川県）	窯芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石神の丘美術館 アートウォーク 10月</li> </ul>
鈴木 研作（滝沢市）	現代美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個展 北上 北州北上ショールーム 7月</li> <li>・第68回岩手芸術祭美術展現代美術部門 芸術祭賞 県民会館 9月</li> <li>・二人展 ギャラリー彩園子 10月</li> </ul>
本田 綾子（滝沢市）	銅版画 絵画 ペン画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個展 盛久ギャラリー 9月</li> <li>・第71回現展 東京国立新美術館</li> <li>・@WIND 展 盛久ギャラリー 12月</li> <li>・ブルガリア国際コンペ 2月</li> <li>・個展 ギャラリー志門 東京 3月</li> </ul>

## 2 拠点施設の機能の充実

文化活動の拠点施設として、県民会館、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。県民会館においては自主文化事業の充実、県立博物館においては展示内容等の充実（⇒P128～133）、県立美術館において地元作家の作品収集と企画展の充実（⇒P142～144）、及び県立埋蔵文化財センターにおいては発掘調査等を推進した。

### (1) 県民会館

#### ア 施設利用状況

芸術文化普及振興の拠点施設として、県民の活動発表や鑑賞等の芸術文化関係の催し物のほか、学会、大会等に利用されるとともに、演奏会、展示会、講演会等に数多く利用されている。

#### 【県民会館の利用状況】

[単位：日、％]

	大ホール		中ホール		第1展示室		第2展示室		会議室（5室）	
	利用件数	利用率	利用件数	利用率	利用件数	利用率	利用件数	利用率	利用件数	利用率
4月	15	48.3	21	69.0	2	6.9	1	3.4	18	56.5
5月	19	58.6	21	72.4	16	55.2	16	55.2	20	63.4
6月	22	70.4	21	74.1	19	70.4	21	77.8	22	74.1
7月	39	93.3	38	100.0	20	66.7	20	66.7	25	76.6
8月	40	100.0	29	90.0	23	76.7	10	33.3	23	68.0
9月	21	69.2	30	88.5	9	36.0	8	32.0	23	76.4
10月	21	65.5	29	86.2	26	89.7	25	86.2	27	84.1
11月	24	79.3	26	85.7	24	92.3	24	92.3	27	82.7
12月	21	90.9	28	100.0	25	100.0	25	100.0	18	72.2
1月	12	40.7	14	48.1	25	100.0	25	100.0	18	60.7
2月	11	44.0	14	54.2	27	100.0	27	100.0	22	72.6
3月	15	50.0	17	53.3	22	73.3	22	73.3	21	65.3
計	260	67.5	288	76.8	238	72.3	224	68.4	264	71.1

※会議室については5室の平均値である。

#### イ 避難訓練コンサート

[単位：人]

期 日	公 演 名	会 場	入場者数
6月30日	避難訓練コンサート	大ホール	383

## ウ 自主文化事業の実施状況

### (ア) 参加型・育成型事業

[単位：人]

期日(回数)	公 演 名	会 場	入場者数
9月10日	いわて JAZZ 2016 ACT/1	大・中ホール	1,100
9月11日	いわて JAZZ 2016 ACT/2	大・中ホール	1,124
1月15日	岩手の民謡をたずねて	大ホール	728
1月22日	“いわて吹奏楽祭”2017	大ホール	1,771
2月5日	いわてフィルハーモニー・オーケストラ第6回定期演奏会	大ホール	432
2月11日	岩手の大地に舞う	大ホール	1,100
2月26日	ざ・CLASSIC 2017	中ホール	321
1月21日	事業団プレゼンツ いわて吹奏楽祭 in 久慈	久慈市アンバーホール	517
5月～11月 (1回/月)	ロビーコンサート (計7回)	ロビー	570
6月8日他3回	バックステージツアー (計4回)	大・中ホール	132
4月11日他3回	あなたもピアニスト	中ホール	126
7月20日他4回	復興関連事業 前年度小山実稚恵コンサート寄付金によるトートバッグ贈呈公演/陸前高田市 矢作小学校、横田小学校、竹駒小学校他 (132名) ポール・グラボウスキー・カルテット (ジャズ) /陸前高田市立気仙小学校、釜石市立唐丹中学校 (125名) 小山実稚恵 (ピアノ) 岩泉町民会館 (400名)	県内小中学校	657

### (イ) コンサートサロン

[単位：人]

期 日	公 演 名	会 場	入場者数
6月25日	第196回 中丸三千繪 ソプラノ・リサイタル	中ホール	437
9月14日	第197回 前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル	中ホール	434
11月28日	第198回 パスカル・ロジェ ピアノ・リサイタル	中ホール	433

### (ウ) 鑑賞型事業

[単位：人]

期日(回数)	公 演 名	会 場	入場者数
7月14日 ～7月15日 (計3回)	ミュージカル 天使にラブ・ソングを ～シスター・アクト～	大ホール	2,866
8月4日	ミュージカル 南太平洋	久慈市アンバーホール	863
11月25日	ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団	大ホール	854
11月30日	舞台 遠野物語・奇ッ怪 其ノ参	大ホール	1,298
12月10日 ～12月11日 (計3回)	ミュージカル ミス・サイゴン	大ホール	3,776
12月13日 ～1月15日	チームラボアイランド 学ぶ!未来遊園地	展示室	14,010
1月28日 ～3月5日	ブータン しあわせに生きるためのヒント	展示室	10,155

## (2) 県立美術館

## ア 岩手県立美術館協議会の開催状況

区分	期 日	場 所	内 容
第1回	平成28年10月5日	県立美術館会議室	① 平成27年度における意見・要望対応 ② 平成28年度美術館事業実施状況 ③ 美術館運営

## イ 利用状況

[単位：人、日]

区分	常設展					企画展					観覧者数の計
	観覧者数				開催日数	観覧者数				開催日数	
	小・中・高生	大学生等	一 般	小 計		小中学生	高・大生等	一 般	小 計		
4月	125	13	303	441	23	54	211	1,280	1,545	13	1,986
5月	177	8	342	527	27	165	359	4,688	5,212	27	5,739
6月	385	33	483	901	28	103	124	2,725	2,952	15	3,853
7月	223	72	397	692	25	264	368	2,807	3,439	27	4,131
8月	158	55	546	759	27	187	158	2,502	2,847	19	3,606
9月	341	60	269	670	23	49	438	1,665	2,152	25	2,822
10月	230	9	596	835	28	87	95	1,582	1,764	15	2,599
11月	56	7	288	351	25	925	532	5,719	7,176	26	7,527
12月	42	45	269	356	27	101	204	2,541	2,846	16	3,202
1月	21	21	110	152	21	31	171	2,115	2,317	25	2,469
2月	13	14	224	251	24	28	61	2,479	2,568	17	2,819
3月	37	21	199	257	27	116	161	2,948	3,225	20	3,482
計	1,808	358	4,026	6,192	305	2,110	2,882	33,051	38,043	245	44,235

## ウ 展示事業

## (ア) 常設展の開催

[単位：人]

区 分	会 期	観覧者数
第4期展示	平成28年4月1日～17日	358 (4月1日以降)
第1期展示	平成28年4月22日～7月3日	1,628
第2期展示	平成28年7月8日～9月25日	2,004
第3期展示	平成28年10月1日～平成29年1月15日	1,640
第4期展示	平成29年1月21日～4月23日	562 (3月31日まで)

## (イ) 企画展の開催

[単位：人]

事業名	会 期	観覧者数
ジョルジョ・モランディ展	平成28年4月16日～6月5日	8,390
野口久光シネマ・グラフィック展	平成28年6月18日～8月21日	7,667
2016年のIMA展	平成29年9月3日～10月16日	3,552
ブラティスラヴァ世界絵本原画展	平成28年10月29日～12月11日	10,013
五味清吉展	平成28年12月23日～2月19日	4,974
アートフェスタいわて2016	平成29年3月4日～3月26日	3,525

## エ アウトリーチ事業

あーとキャラバン

【期日】平成28年8月19日～20日（遠野・大槌）	【参加者数】100人
平成28年9月17日～22日（陸前高田）	【参加者数】13人
平成28年12月9日～10日（宮古）	【参加者数】17人
平成29年1月21日（久慈）	【参加者数】66人

## オ 教育普及事業

(ア) 展示関連事業

a 復興支援展示事業プログラム

○ギャラリートーク……学芸員による展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催 【参加者数】1,067人

企画展関連講座等

[単位：人]

内 容	講 師 等	期 日	参加者数
講演会「モランディは何を描きたかったのか」	岡田温司氏	平成28年5月8日	117
ワークショップ「描いて考えるモランディの表現」	田村敏之氏	平成28年5月22日	11
シネマ&トーク「野口久光－映画をこよなく愛したその人柄と魅力」	大林宜彦氏 根本隆一郎氏	平成28年7月2日	115
JAZZ ライブ&トーク in ナイトミュージアム	菅原正二氏 野口久和氏	平成28年7月22日	600
アーティストトーク	千葉菜穂子氏	平成28年9月3日	35
アーティストトーク	尾崎森平氏	平成28年9月3日	48
アーティストトーク	本田恵美氏	平成28年9月10日	29
アーティストトーク	細川憲一氏	平成28年9月17日	17
ワークショップ「手のカタチでふうじこめろ」	山本英治氏	平成28年9月25日	6
アーティストトーク	泉田之也氏	平成28年10月1日	75
アーティストトーク	長谷川誠氏	平成28年10月1日	40
アーティストトーク	山本英治氏	平成28年10月8日	20
スペシャルギャラリートーク	広松由希子氏	平成28年10月29日	34
対談「絵本の50年 日本と世界の架け橋」	末盛千枝子氏 広松由希子氏	平成28年10月30日	75
ワークショップ「かがみのなかのはんがのわたし」	樋口佳絵氏	平成28年12月3日	10
講演会「日本近代洋画史と五味清吉」	山梨絵美子氏	平成29年1月14日	41
ワークショップ「油彩・板地を残して描く」	田村敏之氏	平成29年2月4日～5日	13

b 常設展教育プログラム

○コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説

【期日】毎月第2・第4土曜日に年間23回開催

【参加者数】200人

○常設展関連講座

【期日】平成28年8月27日 【講師等】佐々木繁美氏 【参加者数】52人

【期日】平成29年2月26日 【講師等】学芸員 【参加者数】13人

【期日】平成29年3月25日 【講師等】学芸員 【参加者数】8人

○子ども向け鑑賞ツールの運用

○音声ガイドの運用

(イ) 美術普及事業

a スタジオプログラム

○オープンスタジオ

【期日】平成28年7月29日～7月31日【参加者数】380人

【期日】平成28年12月23日～12月25日【参加者数】413人

○アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ。

【期日】毎月実施 【対象】3～6歳児と保護者 各10組 【参加者数】524人

b 美術プログラム

[単位：人]

内 容	期 日	参加者数
館長講座	平成28年6月4日、8月13日、10月15日、 11月3日、平成29年2月11日	208
学芸普及課長講座	平成28年8月6日、12月17日	43
学芸員講座	平成28年11月23日、平成29年1月29日	124
ミーツ・ザ・アーティスト	平成28年10月16日、12月4日	82

c 映像プログラム

○アートシネマ上映会…美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映 [単位：人]

期 日	内 容	鑑賞者数
平成28年4月24日	甘い生活	81
平成28年6月19日	第三の男	92
平成28年7月3日	野ばら	72
平成28年7月10日	別れの曲	78
平成28年8月7日	東への道	164
平成28年8月14日	禁じられた遊び	70
平成28年9月11日	未来をなぞる 写真家 畠山直哉	25
平成28年11月27日	銀河鉄道の夜	319
平成28年12月11日	やさしい本泥棒	72
平成29年1月15日	若手映像作家作品紹介イベント	52
平成29年3月12日	世界の名画 謎の画家 フェメール追跡	81
平成28年7月2日、7月3日、 7月10日、8月14日	野口久光展特別上映 思い出は映画とともに	143

(ウ) 来館者対応事業

- a 美術館探検「てくてくツアー」 【期日】年6回 【参加者数】 80人
- b 団体対応 【期日】随時 【利用者数】 3,074人
- c 美術相談 【期日】随時
- d ライブラリー企画 【期日】年6回

カ 広報事業

- (ア) 美術館ニュース「アプリーレ」……年2回
- (イ) 企画展チラシ、ポスター……企画展の開催の都度
- (ウ) 常設展展示目録、ポスター……常設展の展示替えの都度
- (エ) 美術館スケジュール等……年4回

キ 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

### 3 文化交流・連携の促進

本県文化の全国への発信及び出演団体の資質の向上を図るため、国民文化祭への派遣団体に対し、交通費の一部を補助した。

○国民文化祭参加推進事業

【期 日】平成28年11月5日～11月6日

【場 所】愛知県

【参 加】1団体、計6人

【補助額】103千円

## 第2 児童生徒に対する文化活動支援

児童生徒の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

### 1 青少年劇場

#### (1) 本公演

[単位：公演、人]

種 目	演 目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
器楽	みんなで楽しくハーモニー「レスパス弦楽四重奏コンサート」	平成28年5月30日～6月3日	久慈市ほか8市町村	10	3,440
演劇	演技集団 朗 「約束～大切なもの」	平成28年6月20日～7月1日	遠野市ほか5市町	7	2,106
ワールト	ALOHA!フラ!ハワイからの贈り物～いま、この瞬間を分かちあおう～	平成28年6月6日～10日	平泉町ほか8市町	10	3,874

#### (2) 小公演

[単位：公演、人]

種 目	演 目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
声楽	美しい日本の歌	平成28年9月28日～29日	陸前高田市ほか2市村	2	222

### 2 文化芸術による子どもの育成事業（巡回公演事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
オーケストラ、児童劇、演劇、現代舞踊、歌舞伎・能楽、邦楽、演芸	平成28年6月～11月	花巻市立八幡小学校ほか20校	20	4,409

### 文化芸術による子どもの育成事業（派遣事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期 日	会 場	事業数	鑑賞者数
音楽（パーカッション、ピアノ）美術、伝統芸能（琴、三味線）	平成28年6月～11月	北上市立上野中学校ほか15校	15	663

## 3 第39回岩手県高等学校総合文化祭

[単位：人]

部 門	期 日	会 場	参加校数等	入場者数
総合開会式	平成28年10月14日	遠野市民センター	74校 1,037人	—
書 道	平成28年11月1日～7日	岩手県民会館展示室	47校 1,139点	530
美術工芸	平成28年11月12日～15日	岩手県民会館展示室	60校 909点	1,742
合 唱	平成28年7月5日	岩手県民会館大ホール	34団体	600
	平成28年9月3日	岩手県民会館大ホール	33校 (22団体)	651
吹奏楽	平成28年8月6日	岩手県民会館	21校	約2,300
	平成28年7月30日	北上市文化交流センター さくらホール	12校	約1,600
演 劇	平成28年10月27日～29日	岩手県民会館中ホール	11校 260人	301
文 芸	平成28年10月7日	岩手県民会館中ホール	35校 9,122点	約180
囲 碁	平成28年10月7日～8日	岩手県高校教育会館	15校 75人	—
将 棋	平成28年10月28日～29日	岩手県高校教育会館	25校 172人	—
器 楽	平成28年10月25日	岩手県民会館中ホール	6校 96人	約160
写 真	平成28年9月23日～27日	岩手県民会館展示室	30校 534点	約700
放 送	平成28年6月6日～7日	岩手県民会館中ホール	23校 204エントリー	288
	平成28年11月2日	岩手県民会館中ホール	22校 170エントリー	189
郷土芸能	平成28年10月15日	矢巾町文化会館	16校 360人	1,300
新 聞	平成28年10月19日	岩手県公会堂	8校 12作品	38
自然科学	平成28年12月13日	岩手県立総合教育センター	13校 50件	184
英 語	平成28年9月15日～16日	岩手県民会館中ホール	21校 35人	約180
日本音楽	平成28年10月6日	岩手県民会館中ホール	6校 75人	50
国際理解	平成28年9月14日	盛岡市勤労福祉会館	7校 8人	30
	平成28年10月27日	岩手県赤十字病院 記念講堂	13校 74人	74
マーチングバンド・パトントワリング	平成28年9月25日	奥州市総合体育館	6校 221人	1,950
小倉百人一首かるた	平成28年10月15日	二戸市文化会館和室	4校 19人	—
軽音楽	平成28年9月2日	岩手県民会館中ホール	18校 32団体 140人	約400

#### 4 第40回全国高等学校総合文化祭

平成28年7月に広島県で開催された全国高等学校総合文化祭に計387人の高校生を派遣した。

部 門	期 日	会 場	派遣学校名（派遣生徒数）
パレード	平成28年7月30日		岩手女子高等学校(37)
合 唱	平成28年8月3日	はつかいち文化ホール	北上翔南高等学校(32)
吹奏楽	平成28年8月2日～3日	広島文化学園 HBG ホール	花巻北高等学校(63)
器楽・管弦楽	平成28年8月1日～2日	呉市文化ホール	北上湘南高等学校(23)
日本音楽	平成28年8月1日～2日	びわ湖ホール	盛岡第二高等学校(19) 千厩高等学校(18)
郷土芸能	平成28年7月30日～8月1日	三原市芸術文化センター ポポロ	北上翔南高等学校(48) 岩泉高等学校(34)
マーチングバンド・ パトントワリング	平成28年8月1日	廿日市市スポーツセンター	岩手女子高等学校(22) 岩手女子高等学校(15)
美術・工芸	平成28年7月30日～8月3日	広島県立美術館 広島県立総合体育館	盛岡第一高等学校(1) 不来方高等学校(2) 盛岡白百合学園高等学校(1) 一関第一高等学校(1) 黒沢尻工業高等学校(1) 大船渡高等学校(1)
書 道	平成28年7月30日～8月3日	広島県立広島産業会館 広島市南区民文化センター	盛岡第一高等学校(1) 盛岡第二高等学校(1) 盛岡第四高等学校(1) 盛岡北高等学校(1) 盛岡市立高等学校(1) 水沢高等学校(1) 福岡高等学校(1)
写 真	平成28年7月30日～8月3日	広島国際会議場	盛岡北高等学校(2) 盛岡商業高等学校(4) 遠野緑峰高等学校(2)
放 送	平成28年8月2日～3日	広島国際会議場	盛岡第一高等学校(5) 盛岡白百合学園高等学校(2) 宮古高等学校(4) 杜陵高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(3)
囲 碁	平成28年8月2日～3日	広島県立びんご運動公園	盛岡第一高等学校(2) 岩手高等学校(1) 一関工業高等専門学校(1) 盛岡第二高等学校(1)
将 棋	平成28年8月2日～3日	福山ニューキャッスルホテル 福寿会館	岩手高等学校(5) 盛岡第一高等学校(3) 盛岡農業高等学校(1) 花巻南高等学校(1)
弁 論	平成28年8月1日～2日	三次市民ホール(きりり)	不来方高等学校(1)
小倉百人一首 かるた	平成28年8月1日～3日	呉市総合体育館 (オークアリーナ)	一関第一高等学校(7) 花北青雲高等学校(1)
新 聞	平成28年7月30日～8月3日	広島女学院大学	黒沢尻工業高等学校(2) 高田高等学校(2)
文 芸	平成28年7月30日～8月3日	福山大学宮地茂記念館 まなびの館ローズコム 広島県民文化センターふくやま	盛岡第三高等学校(2) 盛岡第四高等学校(1) 盛岡工業高等学校(1) 水沢高等学校(1)
自然科学	平成28年7月30日～8月1日	広島大学	水沢農業高等学校(2) 盛岡第三高等学校(2) 盛岡第一高等学校(2)

## 5 平成 28 年度 セミナーサポート事業

以下の各部門の高校生を対象とした技術講習会を開催する経費を補助した。

部 門	期 日	会 場	参加者数等
書 道	平成 28 年 11 月 7 日	岩手県民会館中ホール	40 校 300 人
美術工芸	平成 28 年 8 月 9 日	岩手広域交流センター多目的ホール	10 校 88 人
合 唱	平成 28 年 5 月 25 日～27 日 平成 28 年 6 月 21 日～24 日	花巻なはんプラザ、盛岡市民文化ホール 一関文化センター、宮古市民文化会館	15 校
		岩手県民会館、二戸市民文化会館	15 校
演 劇	平成 28 年 5 月 27 日～28 日	岩手県民会館、岩手県公会堂 プラザおでって	27 校 401 人
文 芸	平成 28 年 10 月 7 日	岩手県民会館	35 校 180 人
囲 碁	平成 28 年 7 月 1 日	岩手県高校教育会館	14 校 88 人
将 棋	平成 28 年 7 月 8 日	岩手県高校教育会館	23 校 193 人
器 楽	平成 28 年 5 月 28 日	盛岡劇場・河南公民館	6 校 117 人
写 真	平成 28 年 9 月 23 日	岩手県民会館中ホール	32 校 350 人
放 送	平成 28 年 7 月 16 日	NHK 盛岡放送局	11 校 55 人
	平成 28 年 9 月 18 日	岩手県民会館	19 校 116 人
	平成 28 年 10 月 12 日	岩手県民会館・テレビ岩手	19 校 170 人
	平成 28 年 11 月 24 日	岩手県民会館	8 校 65 人
	平成 28 年 12 月 23 日	岩手県民会館	12 校 51 人
	平成 29 年 3 月 25 日	プラザおでって おでってホール	
郷土芸能	平成 28 年 10 月 15 日	矢巾町文化会館 田園ホール大ホール	16 校 358 人
新 聞	平成 28 年 10 月 19 日	岩手県公会堂	9 校 50 人
自然科学	平成 28 年 8 月 8 日～10 日	国立天文台水沢 V L B I 観測所 奥州宇宙遊学館	9 校 15 人
	平成 28 年 8 月 9 日	岩手生物工学研究センター	1 校 1 人
日本音楽	平成 28 年 6 月 29 日	一関文化センター	6 校 85 人
マーチングバンド・ バトントワリング	平成 28 年 12 月 1 日	花巻市総合体育館	6 校 154 人
百人一首・かるた	平成 28 年 6 月 25 日～26 日	盛岡市桜山神社	6 校 35 人
軽音楽	平成 28 年 9 月 2 日	岩手県民会館中ホール	18 校 32 団体 140 人

## 6 岩手県中学校文化連盟への補助

【補助事業】 第 15 回岩手中学校総合文化祭

[開催日] 平成 28 年 11 月 18 日……………開会式、舞台部門：参加者 836 人

平成 28 年 11 月 18 日～20 日……………展示部門：参加者 2,654 点

[会 場] 岩手県民会館

【補助額】 1,352 千円

### 第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

優れた文化芸術の鑑賞への橋渡しを行う窓口の設置により、県民が気軽に紹介、アドバイス等を受けることができる体制づくりと文化芸術活動を行う団体、企業、行政等のネットワーク構築を環境生活部と連携して推進した。

#### ○文化芸術ネットワークの設置

県では、県内4広域振興圏に文化芸術活動に係る諸課題についてのアドバイスやコーディネートを行う「岩手県文化芸術コーディネーター」を設置し、平成27年3月に改訂した「岩手県文化芸術振興指針」に基づき、各広域振興圏において上記コーディネーターを中心とした文化芸術振興に係るネットワークづくりのための連携会議「文化芸術支援ネットワーク会議」を開催し、関係機関・団体間での意見・情報交換を行った。

## 第 10 節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

### 第 1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくことの一つとして、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組を着実に推進した結果、中尊寺ほか4資産が「平泉一仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」として平成 23 年に登録された。また、柳之御所遺跡ほかの資産について、追加登録への取組を平成 25 年から継続実施している。併せて、柳之御所遺跡については、史跡公園としての整備活用を推進した。

釜石市の「橋野鉄鉱山」を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」については平成 27 年に世界遺産に登録され、登録の際の勧告に対する取組を内閣官房及び世界遺産登録推進協議会（事務局：鹿児島県）と連携を図りながら推進した。一戸町の「御所野遺跡」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」については関係道県や関係市町と連携を図りながら、世界遺産登録に向けた取組を推進した。

#### 1 世界遺産登録の推進等

##### (1) 世界遺産登録推進事業

「平泉の文化遺産」については、柳之御所遺跡、達谷窟、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、骨寺村荘園遺跡の5資産の拡張による追加登録に向け、これまでの課題を整理するとともに、新たな顕著な普遍的価値を証明するため、国内有識者による平泉の文化遺産世界遺産拡張登録検討委員会を2回開催したほか、海外専門家と国内有識者との意見交換会及び研究集会「奥州藤原氏が構想した仏の理想世界」を開催した。

また、登録された5資産に追加登録を目指す資産を加えた保存管理を適切に行うため、遺産影響評価の実施や来訪者管理戦略に基づく周遊マップの作成を行った。

そのほか、資産の保存管理に関する意識の向上を図るため、県内の小・中学校、高校等における「世界遺産出前授業」（16校）などの普及啓発事業を実施した。

【総事業費】29,645千円

○世界遺産出前授業 実施校数：小学校15校、中学校1校

○教員を対象とする世界遺産現地研修会

【期日】平成28年8月10日

【参加者】14人（小学校8人、中学校4人、高等学校1人、特別支援学校1人）

## (2) 縄文世界遺産登録推進事業

北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県に所在する縄文遺跡群は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として、平成21年1月5日にユネスコ世界遺産センターの世界遺産暫定一覧表に記載された（本県では一戸町の御所野遺跡が構成資産）。

この「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を推進するため、専門家委員会及び国際会議等を開催し、構成資産及び縄文時代・縄文文化についての定義づけ等を検討し、文化庁へ推薦書改定案を提出した。

また、国内フォーラムを岩手県で開催し、縄文遺跡群の価値についての普及活動を行った。

【総事業費】 5,631千円

○国内フォーラム（岩手県開催）

【期日】平成28年12月18日 【会場】ホテルルイズ 【入場者数】約350人

【内容】基調講演、遺跡報告

## (3) 明治日本の産業革命遺産世界遺産登録推進事業

「明治日本の産業革命遺産」は、産業遺産分野におけるシリアル・ノミネーションとして平成21年1月に世界遺産暫定一覧表に追加記載され、平成27年7月8日に世界遺産に登録された（本県では釜石市の橋野鉄鉱山が構成資産）。

県では内閣官房及び世界遺産登録推進協議会と連携し、世界遺産登録の際の決議事項への取組を推進した。

そのほか、資産の保存管理に関する意識の向上を図るため、県内の小・中学校、高校等における「世界遺産出前授業」（7校）などの普及啓発事業を実施した。

【総事業費】 2,848千円

○世界遺産出前授業 実施校数：小学校6校、中学校1校

○教員を対象とする世界遺産現地研修会

【期 日】平成28年8月9日

【参加者】17人（小学校7人、中学校7人、高等学校2人、特別支援学校1人）

## 2 柳之御所遺跡の整備活用

### (1) 柳之御所遺跡整備調査事業

奥州藤原氏の政庁「平泉館」と推定されている柳之御所遺跡の史跡整備及び内容確認のための発掘調査を行った。併せて調査整備指導委員会を開催した。

【総事業費】 77,149千円

### (2) 柳之御所遺跡土地公有化事業（休止）

史跡の恒久的な保全を図るため、柳之御所遺跡内の民有地の公有化を推進した。

### (3) 平泉文化研究機関整備推進事業

平泉文化について共同研究を推進し、その成果をまとめた。

【総事業費】 1,500千円

## 第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していけるよう様々な取組を支援した。

### 1 文化財の保存と管理

#### (1) 岩手県文化財保護審議会の開催状況

	期 日	会 場	審議事項
第1回岩手県文化財保護審議会	平成28年7月22日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定等について(1件)
第2回岩手県文化財保護審議会	平成29年2月10日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定等について(4件)

#### (2) 文化財の指定

平成28年4月15日 岩手県教育委員会告示第1号

指定番号	種 別	名 称	員 数	所有者
有第257号	工芸品	木造十一面観音菩薩坐像御正躰	1躰	陸前高田市広田町字前花貝36 沙田 カホ子

平成28年9月6日 岩手県教育委員会告示第4号

指定番号	名 称	所有者
有第258号	盛岡藩北家御次留書帳	花巻市花城町9番30号 花巻市

#### (3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

##### ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

事 業 名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
国指定文化財・修理・防災事業	法人1件	53,000	6,617
国指定文化財・指定史跡等保存整備(一般)事業	平泉町ほか2件	60,708	15,024
国指定文化財・指定史跡等購入事業	平泉町1件	64,692	5,025
県指定文化財・修理・防災事業	個人1件	2,105	1,052
県指定文化財・指定文化財保存活用整備事業	個人1件	2,293	1,146

##### イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

事 業 名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
食害対策	住田町ほか1町	1,695	800

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

種 別	名 称	実施期日
有形文化財	銀白檀塗合子形兜	平成 28 年 9 月 9 日
有形文化財	鞍迫観音堂算額	平成 28 年 10 月 22 日
有形文化財	木造阿弥陀如来立像 木造不動明王立像 木造薬師如来立像	平成 28 年 11 月 25～27 日
無形民俗文化財	大原水かけまつり	平成 28 年 12 月 8 日
無形民俗文化財	大宮神楽	平成 28 年 12 月 18 日

イ 文化財パトロール事業

【総事業費】 1,477 千円

ウ カモシカ特別調査事業

【総事業費】 325 千円

エ カモシカ通常調査事業

【総事業費】 939 千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【平成 28 年度登録件数】 105 件

【総登録件数】 33,763 件

## 2 埋蔵文化財の保護

### (1) 県内遺跡発掘調査事業

#### ア 発掘調査

事業名	調査地区
岩洞ダム貯水池護岸工事（岩洞湖Ⅰ遺跡）	盛岡市
国道45号種市登坂車線整備事業（八森遺跡）	洋野町
地域連携道路整備事業折壁地区室根バイパス（八幡沖遺跡）	一関市
市道猿石線道路改良事業（長谷堂貝塚）	大船渡市
復旧治山事業（下野尻Ⅱ遺跡）	一戸町
経営体育成基盤整備事業（望野Ⅱ遺跡）	北上市
農用地災害復旧関連区画整理事業（馬越沢遺跡）	山田町
東北自動車道滝沢南スマートインターチェンジ事業（大久保遺跡、高屋敷Ⅱ遺跡）	滝沢市
三陸沿岸道路（南川尻遺跡、サンニヤⅠ・Ⅲ遺跡、北鹿糠遺跡、宿戸遺跡、小田ノ沢遺跡）	洋野町
三陸沿岸道路（上代川遺跡）	野田村
三陸沿岸道路（高根遺跡、千徳城遺跡群、青猿Ⅰ遺跡、根井沢穴田Ⅳ遺跡、沼里遺跡ほか）	宮古市
三陸沿岸道路（芦ヶ沢Ⅰ遺跡、芦ヶ沢Ⅱ遺跡、桑畑Ⅶ遺跡）	久慈市
三陸沿岸道路（田屋遺跡、挾田館跡、迫田Ⅰ遺跡）	大槌町
三陸沿岸道路（小白浜遺跡）	釜石市
三陸沿岸道路（力持遺跡、長途遺跡）	普代村
宮古西道路（田鎖車堂前遺跡、田鎖館跡）	宮古市
地域連携道路整備事業一般国道340号世田米（世田米城跡）	住田町
主要地方道重茂半島線大沢～浜川目（浜川目沢田Ⅱ遺跡）	山田町
宮古盛岡横断道路建設事業（岩井沢遺跡、腹帯Ⅳ遺跡）	宮古市
一般国道283号釜石花巻道路事業（柝洞Ⅳ遺跡）	遠野市

#### イ 試掘調査

事業名	調査地区
三陸沿岸道路	釜石市～洋野町
一般国道関係事業	宮古市、奥州市
宮古盛岡横断道路	宮古市、盛岡市
一関遊水地事業	一関市
地域連携道路整備事業	住田町、宮古市
農地整備事業	北上市
畑地帯総合整備事業（担い手育成型）	二戸市
主要地方道	大船渡市

ほか合計73件

## ウ 分布調査

事業名	調査地区
地域連携道路整備事業 一般国道 340 号宮	住田町
農業水利施設保全合理化事業 束稲第 2 地区	平泉町
急傾斜地崩壊対策事業 盛岡市桜山地区	盛岡市
都市計画道路上野西法寺船高善寺地区	一戸町
県単交通安全施設整備事業	北上市
地域づくり緊急改善事業	北上市
中山間地域総合整備事業 萩荘地区	一関市
農業農村整備事業	花巻市
活力創出基盤整備事業 一般国道 283 号小岩橋	遠野市
国営かんがい排水事業 岩手山麓地区	盛岡市

ほか合計 112 件

### (2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

○発掘調査等 11 市 4 町で実施

### (3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、機関誌の発行や研修会を主催して文化財の普及活用に取り組み、管理運営や教育普及活動事業の充実を図った。

#### 【埋蔵文化財センター受託事業】

##### ア 発掘調査【計 35 遺跡】

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	宮古市	岩井沢遺跡、根井沢穴田Ⅳ遺跡、沼里遺跡、山口駒込Ⅰ遺跡、青猿Ⅰ遺跡、千徳城遺跡群、高根遺跡
	遠野市	栲洞Ⅳ遺跡
	普代村	長途遺跡、力持遺跡
	野田村	上代川遺跡
	久慈市	芦ヶ沢Ⅰ遺跡、芦ヶ沢Ⅱ遺跡
	洋野町	北ノ沢Ⅰ遺跡、北鹿糠遺跡、宿戸遺跡、小田ノ沢遺跡、サンニヤⅠ遺跡、サンニヤⅢ遺跡
	大槌町	田屋遺跡、迫田Ⅰ遺跡、挾田館跡
	釜石市	小白浜遺跡
岩手県	一関市	八幡沖遺跡
	住田町	世田米城跡
	宮古市	田鎖車堂前遺跡、田鎖館跡
	山田町	浜川目沢田Ⅱ遺跡
農林水産省	盛岡市	岩洞湖Ⅰ遺跡
大船渡市	大船渡市	長谷堂貝塚

## イ 報告書の発刊【計 19 遺跡】

14 冊、各 300 部発刊

委託元	所在地	遺 跡 名
国土交通省	盛岡市	盆花遺跡
	北上市	中村遺跡
	遠野市	九重沢Ⅲ遺跡、平野原Ⅲ遺跡、栃洞Ⅲ遺跡、新里愛宕裏遺跡
	洋野町	八森遺跡、西平内Ⅰ遺跡
	野田村	上泉沢遺跡
	宮古市	荷竹日影Ⅱ遺跡
岩手県	宮古市	褰帯遺跡、千鶏Ⅳ遺跡、重津部Ⅰ遺跡
農林水産省	盛岡市	岩洞湖Ⅰ遺跡
宮古市	宮古市	赤前Ⅲ遺跡、越田松長根Ⅰ遺跡
山田町	山田町	クク井遺跡、川半貝塚
陸前高田市	陸前高田市	西和野Ⅰ遺跡

## ウ 調査報告書

平成 28 年度発掘調査略報 300 部

## エ 普及事業

### (ア) 第 37 回埋蔵文化財展

【期間】平成 29 年 1 月 20 日～1 月 22 日

【場所】久慈市文化会館

【内容】旧石器時代から中世の久慈を埋蔵文化財で理解してもらえる内容をめざし、久慈市 内遺跡の出土遺物や写真パネル展示を行った。

### (イ) 第 38 回埋蔵文化財公開講座

【期日】平成 29 年 1 月 28 日

【場所】岩手県民会館中ホール

【内容】講演：「実験考古学でわかる新しい先史世界」  
講師 首都大学東京大学院教授 山田 昌久 氏

### (ウ) 第 37 回埋蔵文化財発掘調査技術講習会

【期日】平成 28 年 12 月 9 日

【場所】岩手県立博物館

【内容】埋蔵文化財調査に携わる県内市町村職員等の考古学上の特別研修として、職務に必要な知識・技能の習得を行った。

### (エ) 所報「わらびて」の発行

【内容】年 2 回発行（134 号～135 号）。

県教育委員会及び（公財）埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の埋蔵文化財関係事業等についての情報掲載を行った。

### 3 文化財の積極的な活用

#### (1) 遺跡周知事業

文化財保護法第 95 条第 1 項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当職員の研修で指導・助言を行った。

- ア 遺跡台帳の改訂（電算化）
- イ 遺跡基本図の改訂（電算化）
- ウ 台帳、基本図の複製配布
- エ 現地確認調査等の事前協議
- オ 市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言
- カ 文化財保護法関連諸書類処理

#### (2) 伝統芸能伝承活動促進事業

民俗芸能団体のネットワーク組織である県民俗芸能団体協議会において、団体相互の情報交換や共通課題の解決に取り組んでいる（平成 29 年 3 月 31 日現在 404 団体加入）。

また、公演機会を確保し後継者の育成を図るため、次の事業を実施した。

- ア 岩手県民俗芸能フェスティバル  
【期日】平成 29 年 2 月 11 日 【会場】県民会館（盛岡市）【鑑賞者数】1,000 人
- イ 第 58 回北海道・東北ブロック民俗芸能大会  
【期日】平成 28 年 10 月 30 日 【会場】県民会館（盛岡市）【鑑賞者数】600 人

## 第 11 節 生涯スポーツの振興

県民の誰もがそれぞれのライフステージにおいて、興味、関心、目的や適性等に応じて、「する、みる、支える」スポーツに親しみ、スポーツが生活の一部として日々の暮らしに定着していくことを目指し、各事業を展開した。

### 第 1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

「する・みる・支える」といった多様なスポーツ参加を推し進め、県民の誰もが、生涯にわたって、自主的にスポーツに親しむ生涯スポーツの振興を図った。

#### 1 「生涯スポーツ推進月間」の充実

「生涯スポーツ推進月間」を設定し広く県民に周知したことにより、各市町村において、それぞれの地域の特色ある各種スポーツ大会等が多数開催され、多くの県民が参加した。特に、平成 28 年度は、いわて国体・大会関連の人数を計上しているものであり、参加人数が大幅に増加した。

事業名	事業件数	参加人数
生涯スポーツ推進月間	227件	543,441人

### 第 2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

生涯スポーツ振興の拠点となる総合型等の地域スポーツクラブの創設・育成を図るとともに、県民の多様なニーズに対応できるよう、専門的知識と実践力を持った生涯スポーツ指導者の養成や資質の向上を図った。

#### 1 総合型地域スポーツクラブの創設・育成

県広域スポーツセンターが中心となり、関係機関と連携をとりながら巡回指導等を行い、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を図った。

【総合型地域スポーツクラブ創設状況（平成 28 年 7 月 1 日現在）】 [単位：クラブ、人]

市町村名	創設済クラブ		創設準備中クラブ数	クラブ数合計
	クラブ数	加入者数		
盛岡市	6	2,428	3	9
八幡平市	—	—	—	—
雫石町	2	3,178	—	2
葛巻町	1	315	—	1
岩手町	—	—	1	1
滝沢市	1	443	—	1
紫波町	1	93	—	1
矢巾町	1	383	—	1
花巻市	2	656	—	2
遠野市	11	3,862	1	11
北上市	4	3,893	1	5
西和賀町	—	—	1	1
奥州市	5	6,289	—	5
金ケ崎町	2	372	—	2
一関市	2	3,004	5	8
平泉町	—	—	1	1
大船渡市	1	78	—	1

市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計
	クラブ数	加入者数		
陸前高田市	1	243	—	2
住田町	1	非会員制	—	1
釜石市	2	258	—	2
大槌町	1	休止	—	1
宮古市	2	1,256	—	2
山田町	—	—	—	—
岩泉町	1	280	—	1
田野畑村	1	103	—	1
久慈市	1	112	4	6
洋野町	1	166	—	1
野田村	0	—	1	1
普代村	1	170	—	1
二戸市	2	410	—	2
軽米町	—	—	2	2
九戸村	—	—	—	—
一戸町	2	339	—	2
計	55	28,331	20	77

## 2 指導者の養成確保及び資質向上

各種講習会、研修会等を開催し、指導者の養成確保及び資質の向上を図った。

### 【生涯スポーツ関係事業等実施状況】

#### (1) 総合型地域スポーツクラブ運営研修会

- |                  |          |            |
|------------------|----------|------------|
| 【期日】 ①平成28年6月17日 | 【場所】 葛巻町 | 【参加者数】 20人 |
| ②平成28年10月28日     | 【場所】 盛岡市 | 【参加者数】 31人 |
| ③平成28年11月30日     | 【場所】 盛岡市 | 【参加者数】 29人 |

#### (2) 岩手県スポーツ推進委員研修会

- |                   |          |             |
|-------------------|----------|-------------|
| 【期日】 平成28年8月6日～7日 | 【場所】 久慈市 | 【参加者数】 204人 |
|-------------------|----------|-------------|

## 3 施設の整備充実

### (1) 県営体育施設の状況

県営体育施設は、本県の中心的スポーツ施設として、全国規模の大会をはじめ、全県的な各種競技会の開催を通じて、本県スポーツの振興に大きな役割を果たしている。

県教育委員会で所管する体育施設は、次の7施設であり、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図るため、指定管理者制度を導入している。

県営運動公園ほか5施設は公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団が、県営スキージャンプ場は八幡平市が指定管理者に指定されている。

ア 県営運動公園（陸上競技場、補助競技場、野球場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート、登はん競技場、交通公園）

イ 県営体育館

ウ 県営野球場（グラウンド、屋内練習場、トレーニング室）

エ 県営スケート場

オ 県営武道館（大道場、柔道場、剣道場、弓道場、相撲場、トレーニング室）

カ 県立御所湖広域公園艇庫

キ 県営スキージャンプ場

## (2) 県営体育施設設備の整備

利用者が安全に楽しく利用できるよう、平成 28 年度は、次の施設・設備の改修工事等を行った。

- ア 県営運動公園園内環境整備（樹木剪定）業務
- イ 県営運動公園陸上競技場非常用発電設備更新工事
- ウ 県営運動公園陸上競技場フィールド等改修工事
- エ 県営運動公園第 2 グランド擁壁改修工事
- オ 県営運動公園ボルダリング場改修工事
- カ 県営野球場監視カメラ更新
- キ 県営野球場スタンド防水改修工事
- ク 県営体育館天井等改修工事
- ケ 県立御所湖広域公園艇庫非常照明修繕

## (3) 県営体育施設の利用状況

[単位：日、件、人]

施設名	区分	開館日数	利用件数	利用人数
県営運動公園		365	10,258	544,345
県営体育館		182	546	47,967
県営野球場		328	1,761	152,262
県営スケート場		291	813	28,850
県営武道館		316	3,473	166,022
県立御所湖広域公園艇庫		169	1,292	17,878
県営スキージャンプ場		180	63	397
計		—	18,206	957,721

## 4 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団の事業

公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団は、県教育委員会等から指定管理者の指定及び業務委託を受け、施設管理及び各種事業を行っている。

県立青少年の家 3 施設における開催事業は、125～127 ページのとおり。

それ以外の県営体育施設等における開催事業は、以下 163 ページまでのとおり。

【公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事務局 平成 28 年度受託事業及び自主事業】

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 指導者派遣事業<br/>【期日】 4月～2月 7市町村 33件<br/>【場所】 各市町村体育施設等 【参加者】 858人</p> <p>2 被災地スポーツ支援事業<br/>【期日】 4月～2月 3市町村 13件<br/>【場所】 県内被災市町村等 【参加者数】 364人</p> <p>3 武道教室・稽古始演武会<br/>【内容】 柔道、剣道、なぎなた、弓道、空手道 他<br/>【期日】 4月～3月<br/>【場所】 県営武道館 【参加者数】 12,074人</p> <p>4 親子ランニング教室<br/>【期日】 5月4日(中止)、8月27日<br/>【場所】 県営運動公園陸上競技場 【参加者数】 221人</p> <p>5 巡回グラウンド・ゴルフ交流会<br/>【期日】 5、7、9月<br/>【場所】 陸前高田市、宮古市 2市 6件<br/>【参加者数】 217人</p> <p>6 スポーツボランティア育成<br/>【期日】 5月7日(研修会)、活動通年<br/>【場所】 県営体育施設 【参加者数】 126人</p> <p>7 第9回高齢者健康・体づくり指導者セミナー<br/>【期日】 7月1日<br/>【場所】 県営武道館 【参加者数】 84人</p> <p>8 第28回湖上フェスティバル<br/>【期日】 7月31日<br/>【場所】 県立御所湖広域公園艇庫 【参加者数】 288人</p> <p>9 第22回県民スポーツ・レクリエーション祭<br/>【期日】 7月～11月 10種目<br/>【場所】 県営体育施設 【参加者数】 3,590人</p> <p>10 国体開催記念事業<br/>いわてドリームサッカーフェスタ<br/>【期日】 8月13日<br/>【場所】 県営体育施設 【参加者数】 273人</p> <p>11 親子野球教室<br/>【期日】 9月25日<br/>【場所】 県営野球場 【参加者数】 91人</p> <p>12 体育の日体力測定(スポーツフェスティバル2016)<br/>【期日】 10月10日<br/>【場所】 県営運動公園陸上競技場 【参加者数】 453人</p> <p>13 スケート場オープニング事業<br/>【期日】 11月3日<br/>【場所】 県営スケート場 【参加者数】 577人</p> <p>14 スケートキッズ on サタデー<br/>【期日】 11月～3月の土曜日 計16回<br/>【場所】 県営スケート場 【参加者数】 4,738人</p> <p>15 第30回氷上フェスティバル<br/>【期日】 12月10日<br/>【場所】 県営スケート場 【参加者数】 1,078人</p> | <p>16 健康・体づくり運動の指導プログラムに関する研究<br/>【期日】 通年</p> <p>17 [自主事業] 運動公園さくらまつり<br/>【期日】 4月下旬3日間<br/>【場所】 県営運動公園内</p> <p>18 [自主事業] 春を訪ねてウォーキング!<br/>【期日】 5月14日<br/>【場所】 県営運動公園～東北農業研究センター<br/>【参加者数】 2人</p> <p>19 [自主事業] すまいるグラウンド・ゴルフ練習会<br/>【期日】 5月～9月 計4回<br/>【場所】 県営運動公園補助競技場 【参加者数】 230人</p> <p>20 [自主事業] すまいるソフトテニス教室<br/>【期日】 5月～7月 計8回<br/>【場所】 県営運動公園テニスコート 【参加者数】 112人</p> <p>21 [自主事業] スポ振ぶらんちクラブ<br/>【期日】 5月～10月 計16回<br/>【場所】 県営運動公園内</p> <p>22 [自主事業] すまいるグラウンド・ゴルフ交流会<br/>【期日】 6月29日<br/>【場所】 県営運動公園サッカー・ラグビー場第1グラウンド<br/>【参加者数】 152人</p> <p>23 [自主事業] 植物・樹木観察会<br/>【期日】 6月3日<br/>【場所】 県営運動公園内 【参加者数】 87人</p> <p>24 [自主事業] 夏休み1day キッズサッカースクール<br/>【期日】 中止</p> <p>25 [自主事業] 登はん競技場認定講習会<br/>【期日】 6月～1月 計6回<br/>【場所】 県営運動公園登はん競技場 【参加者数】 568人</p> <p>26 [自主事業] 鯉放流事業～大きく育てみんなの鯉～<br/>【期日】 6月28日、7月29日<br/>【場所】 県営運動公園内日本庭園 【参加者数】 90人</p> <p>27 [自主事業] 第5回理事長杯G・Gグラウンドチャンピオン大会<br/>【期日】 11月2日<br/>【場所】 県営運動公園サッカー・ラグビー場第1グラウンド<br/>【参加者数】 81人</p> <p>28 [自主事業] すまいるボルダリング教室<br/>【期日】 12月～1月 全8回<br/>【場所】 県営運動公園屋内登はん場 【参加者数】 139人</p> <p>29 [自主事業] 家族で雪っこ体験教室<br/>【期日】 中止</p> <p>30 [自主事業] すまいる卓球 Room<br/>【期日】 通年<br/>【場所】 県営運動公園ふれあいハウス 【参加者数】 3,618人</p> |
|---|---|

【県営体育館 平成 28 年度自主事業】

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 スポーツカフェ 2016<br/>盛年テニスミックスダブル大会<br/>【期日】中止</p> | <p>2 Let' s enjoy<br/>ノルディックウォーキング<br/>【期日】中止</p> |
|---|---|

【県営武道館 平成 28 年度自主事業】

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 スポ振ぶらんちクラブ<br/>【期日】5月～2月 計96回<br/>【参加者数】4,417人</p> <p>2 スポ振キッズうんどう塾<br/>【期日】4月～7月 計12回<br/>【参加者数】337人</p> <p>3 弓道教室<br/>【期日】7月～8月 10回<br/>【参加者数】256人</p> | <p>4 少年柔道教室<br/>【期日】12月23日～25日<br/>【参加者数】38人</p> <p>5 少年剣道教室<br/>【期日】12月23日～25日<br/>【参加者数】30人</p> |
|---|---|

【県営野球場 平成 28 年度自主事業】

- |  |   |
|--|---|
| <p>1 県営野球場バランスボール教室<br/>【期日】5月～2月 計22回<br/>【参加者数】111人</p> <p>2 親子野球教室<br/>【内容】2016 国体会場で楽天イーグルスに教わろう<br/>【期日】6月5日<br/>【参加者数】81人</p> <p>3 室内グラウンド・ゴルフ練習会<br/>【期日】11月～2月 計25回<br/>【参加者数】2,341人</p> | <p>4 県営野球場カップ室内グラウンド・ゴルフ記録会<br/>【期日】12月～2月 計3回<br/>【参加者数】311人</p> <p>5 短期体操教室<br/>【期日】1月21日～22日<br/>【参加者数】24人</p> |
|--|---|

【県立御所湖広域公園艇庫 平成 28 年度自主事業】

- |  |  |
|--|--|
| <p>1 御所湖探検カヌー教室<br/>【期日】5月29日、6月11日<br/>【参加者数】34人</p> <p>2 親子カヌー教室<br/>【期日】8月6日～7日<br/>【参加者数】37人</p> | <p>3 希望郷いわて国体開催記念事業<br/>御所湖カヌー教室<br/>【期日】9月3日<br/>【参加者数】15人</p> <p>4 シニアカヌー教室<br/>【期日】9月4日<br/>【参加者数】12人</p> |
|--|--|

【県営スケート場 平成28年度自主事業】

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 スケート教室<br/>【期日】12月～2月の日曜日 計10回<br/>【参加者数】164人</p> <p>2 親子スケート教室<br/>【期日】1月の土曜日 計2回<br/>【参加者数】46人</p> | <p>3 シニアスケート教室<br/>【期日】1月15日<br/>【参加者数】6人</p> <p>4 第30回氷上フェスティバル スケートレッスンタイム<br/>【期日】12月10日<br/>【参加者数】20人</p> |
|---|---|

【県立花巻広域公園 平成28年度自主事業】

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 ぎんがのもり春まつり<br/>【期日】5月4日<br/>【参加者数】510人</p> <p>2 ぎんがのもり夏まつり<br/>【期日】7月18日<br/>【参加者数】2,931人</p> <p>3 ぎんがのもり秋まつり<br/>【期日】10月10日<br/>【参加者数】2,700人</p> <p>4 ぎんがのもりノルディックウォーキン<br/>【期日】5月8日<br/>【参加者数】35人</p> <p>5 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ大会<br/>【期日】5月～11月 計4回<br/>【参加者数】439人</p> | <p>6 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ練習会<br/>【期日】5月～8月 計6回<br/>【参加者数】260人</p> <p>7 ぎんがのもり森の恵み工作<br/>【期日】6月～10月 計3回<br/>【参加者数】85人</p> <p>8 ぎんがのもりドッグフェスティバル<br/>【期日】10月23日<br/>【参加者数】188人</p> <p>9 ぎんがのもりキッズサッカースクール<br/>【期日】10月23日<br/>【参加者数】32人</p> |
|---|---|

【県勤労身体障がい者体育館 平成28年度自主事業】

- |   |  |
|---|--|
| <p>1 スポーツ吹矢交流会<br/>【期日】6月12日<br/>【参加者数】38人</p> <p>2 ニュースポーツ交流会<br/>【期日】6月26日<br/>【参加者数】19人</p> <p>3 車椅子バスケットボールフェスタ<br/>【期日】7月17日<br/>【参加者数】47人</p> <p>4 卓球バレー交流会<br/>【期日】11月6日<br/>【参加者数】20人</p> | <p>5 パラリーナフェスティバル<br/>【期日】11月19日<br/>【参加者数】14人</p> <p>6 車椅子バスケットボール体験会<br/>【期日】12月4日<br/>【参加者数】14人</p> |
|---|--|

### 第3 ネットワークの広がり

生涯スポーツを推進する団体等の連携を充実させるため、広域スポーツセンター機能の拡大と充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるネットワークの構築を図った。

#### 1 生涯スポーツに関する情報提供

岩手県広域スポーツセンターのホームページを更新し、スポーツ指導者とスポーツの指導を求める県民への情報の提供等を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等の情報も新たに更新し生涯スポーツを推進する団体間の連携強化を図った。

#### 2 平成28年度各種登録指導者数

- (1) 県スポーツリーダーバンク登録者…… 213 人
- (2) 地域スポーツ指導者……1,852 人（前年比 1 人増）
- (3) 競技力向上指導者…… 384 人（前年比 13 人増）
- (4) 商業スポーツ施設指導者…… 33 人（前年比 3 人減）
- (5) フィットネス系資格指導者…… 103 人（前年比 5 人減）
- (6) メディカル・コンディショニング資格指導者…… 104 人（前年比 8 人増）
- (7) 総合型地域スポーツクラブ資格者…… 143 人（前年比 1 人減）
- (8) レクリエーション関係資格指導者……1,111 人（前年比 87 人減）
- (9) 県スポーツ少年団指導者……5,591 人（前年比 98 人減）

## 第 12 節 競技スポーツの強化

### 第 1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成

#### 1 優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発

将来世界に羽ばたくアスリートの輩出を目指して、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」を実施し、下記のプログラムを行うことにより、優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発を行った。

プログラム名	実施回数
スペシャルスクール	7回
コンディショニングスクール	8回
競技体験トレーニングスクール	8回
パスウェイプログラム	6回
特別応援プログラム（冬季国体）	2回
トレーニングキャンプ（夏季・冬季）	2回
キッズトライアル（競技体験）	1回
体力測定（3月・8月）	2回

#### 2 選手の育成・強化

平成 28 年国民体育大会の本県開催に向けて、「県民」「企業」「団体」等と協働する岩手型の競技力向上対策として各種強化事業を実施した。

事業名	対象
ジュニア選手強化事業	中学生 39 競技・高校生 38 競技
トップ選手強化事業	40 競技
指導者スキルアップ事業	40 競技
コーチ派遣事業	40 競技
強化指定校・ 強化指定クラブ支援事業	強化指定校：33 競技 34 校 強化指定クラブ：14 競技 17 団体
重点競技強化事業	40 競技 136 種別
ふるさと選手支援事業	40 競技
強化選手支援事業	40 競技
優秀指導者招聘事業	40 競技

#### 3 指導体制の確立

指導者の養成及び資質の向上を図るため、指導者スキルアップ事業やコーチ派遣事業等を実施した。

#### 4 各種全国大会の結果

第 71 回国民体育大会の本県の成績は、男女総合成績（天皇杯）は第2位[1,924 点]となり、前回の 16 位[1,099 点]と比較して順位を 14 位、得点を 825 点上げている。

また、入賞数は 36 競技 172 種目であり、前回の 25 競技から 11 競技増、入賞種目数は前回 98 種目から 74 種目増となっている。

大会名	入賞数
第 71 回国民体育大会	172
平成 28 年度全国高等学校総合体育大会	43
平成 28 年度全国中学校体育大会	12

### 第 2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援

#### 1 学校体育団体との連携強化

ジュニア期の強化のため、その母体となっている学校体育団体との連携を一層強化することとし、中学校・高等学校の連携による継続指導等、選手強化の重点化を図った。

#### 2 一貫指導システムの構築

各競技団体において、系統的な選手育成を図るため、各中央競技団体の進めている一貫指導システムを積極的に取り入れ、小中高一貫指導プランを活用し、強化事業を推進した。

(41 競技団体中 38 競技団体が作成)

#### 3 主要体育大会（県内開催）

体育大会名	期 日	会 場
第 68 回岩手県高等学校総合体育大会	平成 28 年 5 月 20 日～6 月 26 日	盛岡市ほか
第 63 回岩手県中学校総合体育大会	平成 28 年 7 月 16 日～18 日	盛岡市ほか
平成 28 年度全国高等学校総合体育大会（夏季大会）	平成 28 年 7 月 28 日～8 月 20 日	岡山県ほか
第 66 回岩手県高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会	平成 28 年 10 月 30 日～12 月 18 日	盛岡市ほか
第 49 回岩手県中学校スケート大会	平成 28 年 10 月 30 日～12 月 18 日	盛岡市
第 66 回岩手県中学校スキー大会	平成 29 年 1 月 13 日～16 日	八幡平市
第 66 回岩手県高等学校スキー大会	平成 29 年 1 月 13 日～16 日	八幡平市ほか
第 37 回全国中学校アイスホッケー大会	平成 29 年 1 月 19 日～22 日	盛岡市ほか

#### 4 学校体育団体助成

団 体 名	助成金額
岩手県中学校体育連盟	17,157 千円
岩手県高等学校体育連盟	66,852 千円

### 第3 スポーツ医・科学サポート体制の充実

競技者の育成を組織的かつ戦略的に行うためには、スポーツ医・科学に基づいた体力分析、トレーニングの本格的実施が不可欠であるため、スポーツ医・科学サポートスタッフのスキルアップやプログラムの研究開発などを推進し、スポーツ医・科学体制の整備・拡充を図った。

また、第71回国民体育大会に向け、国体選手等の競技力向上や指導者の資質向上を図るため、専門的スタッフ等の人員配置など、スポーツ健康科学サポート推進事業の実施体制の充実を進めた。

実施事業	実施回数
スタッフ研修会	3回
競技力向上サポート事業	8回
データ活用事業	7回
指導者育成事業	3回

[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等

平成 28 年度に県営施設において開催された主な競技会・イベント等は以下のとおりである。 [単位：人]

施 設	競技会等の名称	期 日	参加者数 (入場者数)
県営運動公園	高円宮杯 U18 サッカーリーグ	4 月 9 日(土)～9 月 10 日(土)	1,420
	第 29 回トウホクワールドカップサッカー	5 月 21 日(土)～22 日(日)	185
	第 17 回東北地区大学サッカー選手権大会兼 第 40 回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント東北予選	5 月 28 日(土)～10 月 29 日(土)	1,085
	第 16 回全国障害者スポーツ大会(希望郷いわて大会) リハーサル大会兼第 18 回岩手県障がい者スポーツ大会 フライングディスク競技及びグラウンドソフトボール競技	6 月 2 日(木)～5 日(日)	1,300
	第 71 回国民体育大会山岳競技リハーサル大会兼 スポーツライミング第 30 回ジャパンカップリード競技 岩手大会	6 月 11 日(土)～12 日(日)	1,140
	第 45 回全国自治体職員サッカー選手権大会東北予選大会	6 月 11 日(土)～14 日(火)	200
	第 39 回東日本軟式野球大会 2 部	7 月 3 日(日)～18 日(日)	460
	盛岡・東北サッカーリーグ	7 月 10 日(日)～10 月 9 日(日)	410
	第 96 回天皇杯全日本サッカー選手権	8 月 28 日(日)	660
	第 71 回国民体育大会希望郷いわて国体サッカー競技	10 月 2 日(日)～4 日(火)	8,678
	第 71 回国民体育大会希望郷いわて国体山岳競技	10 月 7 日(金)～9 日(日)	2,800
	第 16 回全国障害者スポーツ大会(希望郷いわて大会) グラウンドソフトボール競技及びフライングディスク競技	10 月 22 日(土)～24 日(月)	1,300
県営野球場	プロ野球パリーグ公式戦楽天×オリックス	5 月 18 日(水)	15,617
	第 63 回春季東北地区高等学校野球 (希望郷いわて国体高等学校野球(硬式)競技リハーサル大会)	6 月 9 日(木)～13 日(月)	8,398
	第 71 回国民体育大会 希望郷いわて国体高等学校野球(硬式)競技会	10 月 2 日(日)～5 日(水)	14,392
県営武道館	東北スポーツマスターズ(空手道)研修会	4 月 2 日(土)	41
	東北地区弓道指導者講習会	5 月 14 日(土)～15 日(日)	44
	第 15 回東北弓道選手権大会	6 月 11 日(土)	80
	第 69 回東北弓道大会	6 月 12 日(日)	350
	第 26 回東北地区高等学校弓道錬成会	8 月 8 日(月)～10 日(水)	250
	希望郷いわて国体国民体育大会空手道競技	10 月 8 日(土)～10 日(月)	3,200
	弓道東北地区臨時中央審査	10 月 29 日(土)～30 日(日)	240
	東北中学校春季柔道大会	3 月 19 日(日)～20 日(月)	800
県立御所湖広域 公園艇庫	国民体育大会東北ブロック大会兼第 43 回東北総合体育大会 カヌー スプリント競技	7 月 15 日(金)～16 日(土)	130
	第 71 回国民体育大会カヌー競技	10 月 7 日(金)～10 日(月)	4,000
県営スケート場	ジャパンカップ盛岡大会	2 月 4 日(土)～5 日(日)	400

## 第4章 厚生福利

### 第1節 公立学校共済組合

公立学校共済組合の事業には、短期及び長期の給付事業と、組合員の福利厚生事業、組合員に対する貸付事業並びに宿泊施設の経営等があり、これらに必要な費用は、組合員の掛金と地方公共団体の負担金をもって充てている。

#### 【組合員及び被扶養者数（平成28年度末）】 [単位：人]

区 分	組合員数	被扶養者数
一般	12,493	—
うち男	6,427	—
女	6,066	—
長期	0	—
船員	34	—
任意継続	250	—
計	12,777	11,651

#### 第1 短期給付事業

##### ○収支状況（平成28年度）

##### 【収入】 [単位：千円]

区 分	金 額
短期負担金	3,930,455
介護負担金	400,470
短期掛金	3,894,297
介護掛金	400,408
短期任意継続掛金	95,834
介護任意継続掛金	11,110
利息及び配当金	0
賠償金	1,001
計	8,733,575

##### 【支出】 [単位：千円]

区 分	金 額
法定給付	3,617,798
附加給付	51,293
一部負担金払戻金	44,946
短期任意継続掛金還付	5,415
介護任意継続掛金還付	636
計	3,720,088

収支差額（本部送金）	5,013,487
------------	-----------

#### 第2 長期給付事業

年金給付等の財源として本部へ送金した。

##### 【収入の状況（平成28年度）】 [単位：千円]

区 分	金 額
負担金	11,662,425
追加費用負担金	3,425,497
掛金	8,301,012
利息及び配当金	0
計	23,388,934

### 第3 厚生福利事業

#### 1 人間ドック

利用を希望する組合員 1,476 人を対象に、以下の 9 医療機関において、事業費 72,392 千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

医療機関名	利用人数
公立学校共済組合東北中央病院	424
県立中央病院	99
岩手医科大学附属病院	74
北上済生会病院	35
盛岡赤十字病院	173
松園第二病院	30
岩手県予防医学協会	528
滝沢中央病院	30
盛岡市立病院	83
計	1,476

#### 2 脳ドック

脳疾患の早期発見、早期治療を目的として、45 歳以上の希望する組合員 411 人を対象に、以下の 4 医療機関において、事業費 14,615 千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

医療機関名	利用人数
公立学校共済組合東北中央病院	118
盛岡市立病院	99
盛岡赤十字病院	95
北上済生会病院	99
計	411

#### 3 ライフプラン総合講座

組合員の健康管理意識を高め、健康の保持・増進を図るため、健康管理講座を実施した。

【受講者数】 256 人 【事業費】 926 千円

#### 4 メンタルヘルスサポート事業

こころの健康の保持・増進とこころの病気の早期発見・早期対応、再発予防を図るため、県教育委員会と共催で、メンタルヘルスに関する以下のセミナーを実施した。 [単位：人]

区分	目的	対象者	期日	回数（開催地）	参加者数
教職員のためのメンタルヘルスセミナー	メンタルヘルスに関する基礎知識と理解を深め、相互支援できる職場環境の醸成を図る。	一般教職員	平成 28 年 8 月 8 日、9 日、12 日	3 回(花巻市、盛岡市、宮古市)	138
管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	メンタルヘルスに関する知識や対応方法について習得を図る。	管理監督者	平成 28 年 11 月 15 日	1 回(盛岡市)	125
管理監督者メンタルヘルス特別セミナー	災害起因の心身不調、人事異動に伴う体調不良等への対応等について、専門医から助言を受ける。	管理監督者	平成 29 年 1 月 5 日	1 回(盛岡市)	117

#### 5 施設利用補助（サンセール盛岡利用補助）

組合員等によるサンセール盛岡の利用に対し、計 64,936 千円を補助した。

区分	利用人数等	補助額(千円)	補助の概要
宿泊	2,046 人	4,092	宿泊利用 1 人につき、2,000 円を補助
会食	18,420 人	53,357	会食利用 1 人につき、利用額に応じ 3,000 円～1,000 円を補助
会議	507 件	5,833	過半数が組合員のとき、50%最高 25 千円を補助
法事・慶事	10 組	636	法要・慶事利用 1 組につき、最高 20 万円を補助
年金受給者	509 件	1,018	宿泊利用 1 人につき、2,000 円を補助
計		64,936	

#### 第4 貸付事業

組合員が臨時に資金を必要とする場合に貸付を行っており、平成28年度における新規貸付の状況は次のとおりである。

【平成28年度新規貸付件数】

[単位：件、千円]

区分	件数	貸付金額	制度の概要
一般貸付	45	52,500	組合員が臨時に資金を必要とする場合 □限度額 200万円
住宅貸付	3	9,700	組合員が自己用の住宅の新築等をする場合 □限度額 1,800万円
住宅災害貸付	0	0	住宅に非常災害を受け、新築等をする場合 □限度額 1,900万円
教育貸付	10	26,600	組合員やその子弟が大学等に入学する場合 □限度額 550万円
医療貸付	4	4,000	組合員やその親族が医療を受ける場合 □限度額 120万円
結婚貸付	2	3,600	組合員やその子が結婚する場合 □限度額 200万円
葬祭貸付	1	1,100	組合員が親族の葬祭を行う場合 □限度額 200万円
高額医療貸付	0	0	組合員が高額療養費を支払う場合 □限度額：高額療養費相当額
災害貸付	0	0	組合員や被扶養者が非常災害を受けた場合 □限度額 200万円
出産貸付	0	0	組合員が出産費を支払う場合 □限度額：出産費相当額
計	65	97,500	

#### 第5 宿泊施設

岩手支部は、組合員等の福利厚生施設として、盛岡宿泊所「サンセール盛岡」を設置している。当該施設は、組合員に限らず広く県民に利用されており、その利用状況は次のとおりである。

区分等		利用状況	備考
宿泊部門	収容定員	79人	
	宿泊可能人数	28,835人	収容定員79人×営業日数365日
	宿泊延べ人数	10,870人	
宿泊外部門	収容定員	938人	
	利用可能人数	342,370人	収容定員938人×営業日数365日
	利用延べ人数	96,531人	
	うち会議利用	42,756人	
	宴会利用	41,053人	
	婚礼利用	38人	
	グリル等	12,684人	
計		107,401人	宿泊延べ人数10,870人+宿泊外利用延べ人数96,531人

## 第2節 教職員互助会

本県における教育文化の振興発展に寄与し、併せて教職員及び教育関係職員の福利増進と生活の安定を図ることを目的として、以下の諸事業を実施した。

### 第1 短期給付事業

区 分	給付額(円)	件数等	制度の概要
療養給付金	72,137,468	被扶養者 26,512 件	被扶養者が療養を受けたとき給付
無給会員給付金 (過年度分)	0	28 条休職者 0 件	会員が休職し無給となったとき給付 □28 条休職者：3 万円/月 (平成 24 年度で廃止)
出産保育費	5,520,000	会員…… 108 人 配偶者… 76 人	会員又は被扶養配偶者が出産したとき給付 □会員・配偶者：3 万円
災害見舞金	9,600,000	39 件	会員が火災等の災害を受けたとき損害の程度により給付 □3 万円～60 万円
弔慰金	11,300,000	会員…… 18 人 配偶者…… 7 人 被扶養者… 9 人	会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付 □会員：50 万円、配偶者：20 万円、被扶養者：10 万円
計	98,557,468		

### 第2 長期給付事業

区 分	給付額(円)	人 数	制度の概要
生きがい対 策支援助成 金	131,049,900	650 人 うち定年退職………324 人 勸奨退職………100 人 死亡退職………17 人 普通退職………46 人 特別会員………45 人 その他(異動等)…118 人	会員資格 6 か月以上の会員が退会したとき給付 □ ①8,500 円×会員年数(入会～平成 24 年度) ②3,000 円×会員年数(平成 25 年度 ～ ) ①+② = 給付合計額 (1 人平均 201,615 円)

### 第3 厚生福利事業

区 分	給付額(円)	件数等	制度の概要
療養給付金	182,627,370	64,795 件	会員が療養を受けたとき給付
入院見舞金	11,333,500	会員……… 10,960 日 被扶養者… 11,704 日	会員又は被扶養者が入院したとき給付 □会員・被扶養者：1 日につき 500 円
介護休暇給付金	1,905,927	13 件	会員が介護休暇を取得したとき給付 □1 日につき給料日額の 100 分の 60 に相当する額から 共済組合の介護休業手当金を控除した額

区 分	給付額(円)	件数等	制度の概要
小学校入学祝金	4,400,000	440人	会員の被扶養者、配偶者の被扶養者に認定されている子が小学校に入学したとき給付 □10,000円
弔慰金(過年度分)	0	0人	配偶者(会員又は被扶養者を除く)が死亡したとき給付 □被扶養者以外の配偶者:200,000円(平成24年度で廃止)
施設利用補助	4,903,909	宿泊利用……3,343件 うち全教互指定旅館 3,342件 サンセール盛岡 1件 会食利用……410件 婚礼利用……2件 法要・慶事等利用 ……0件	宿泊利用補助:会員及び被扶養者が指定施設を宿泊で利用したとき補助 □全教互指定旅館:1泊につき1,000円 □サンセール盛岡:1泊につき2,000円(特別会員) 会食利用補助:特別会員が会食でサンセール盛岡を利用したとき補助 □1人1回につき6千円以上の利用:3,000円 5千円以上6千円未満の利用:2,000円 3千円以上5千円未満の利用:1,000円 婚礼利用補助:会員及びその子が、結婚披露宴でサンセール盛岡を利用したとき補助 150,000円を上限に1組の利用額の25% 法要・慶事等利用:特別会員が主催するものに補助 200,000円を上限に利用額の20%
退職慰労記念品費	35,980,000	旅行券……521人 香典料……16人	平成24年度までの会員が、退職又は異動により退会したとき、平成24年度末までの会員年数に応じて旅行券を交付 □会員年数 1年以上10年未満:20,000円 10年以上20年未満:40,000円 20年以上30年未満:60,000円 30年以上:80,000円 死亡により退会したとき遺族に香典料を支給 □香典料:50,000円
遺児育英資金	3,500,000	7人	会員が死亡したとき、被扶養者のうち、当該年度末までの間に満18歳以下である遺児があるとき給付 □遺児1人 500,000円
ライフプランセミナー	894,559		□ライフプランを基本に「健康管理」「年金」「生涯生活設計」について基礎研修と選択研修の講座を実施 □退職予定者を対象に退職準備セミナーを開催
公益文化事業費	4,958,000		□岩手教育芸術祭開催(他団体と共催) □東日本大震災被災校への図書カード寄贈 □文化公演会(他団体と共催)
広報活動事業費	4,559,032		□互助会報発行:年4回 □会報表紙写真募集 □福祉のしおり
保険外医療給付金	2,399,540	マッサージ等…167件 妊婦検診……16件 歯科治療……74件 不妊治療……12件	会員が保険適用外医療(マッサージ等、歯科治療、妊婦検診及び不妊治療)を受けたとき給付 □1年度について10,000円以内
身体矯正器具等購入(修理)補助	17,425,881	眼鏡……1,753件 補聴器・補装具…2件	眼鏡、補聴器、補装具のいずれかを購入(修理)したとき補助 □2年度に1回に限り10,000円以内
ホームヘルパー雇用補助	120,000	1件	会員、配偶者、会員又は配偶者の扶養家族、会員又は配偶者の父母が、在宅療養中に介助者及び家事援助者を1年度に5日以上雇用して、その費用を負担したとき補助 □1日2,000円以内(1年度に60日を限度) ただし、介護保険の在宅支援給付を受けている場合は、その自己負担額の範囲内とする。
心身リフレッシュ支援助成	43,556,400	15年……183人 25年……609人	会員の会員継続年数が15年、25年に達したとき助成 □会員年数15年:40,000円、25年:60,000円 □助成品目:旅行券又は図書カード
計	318,564,118		

#### 第4 特別弔慰積立事業

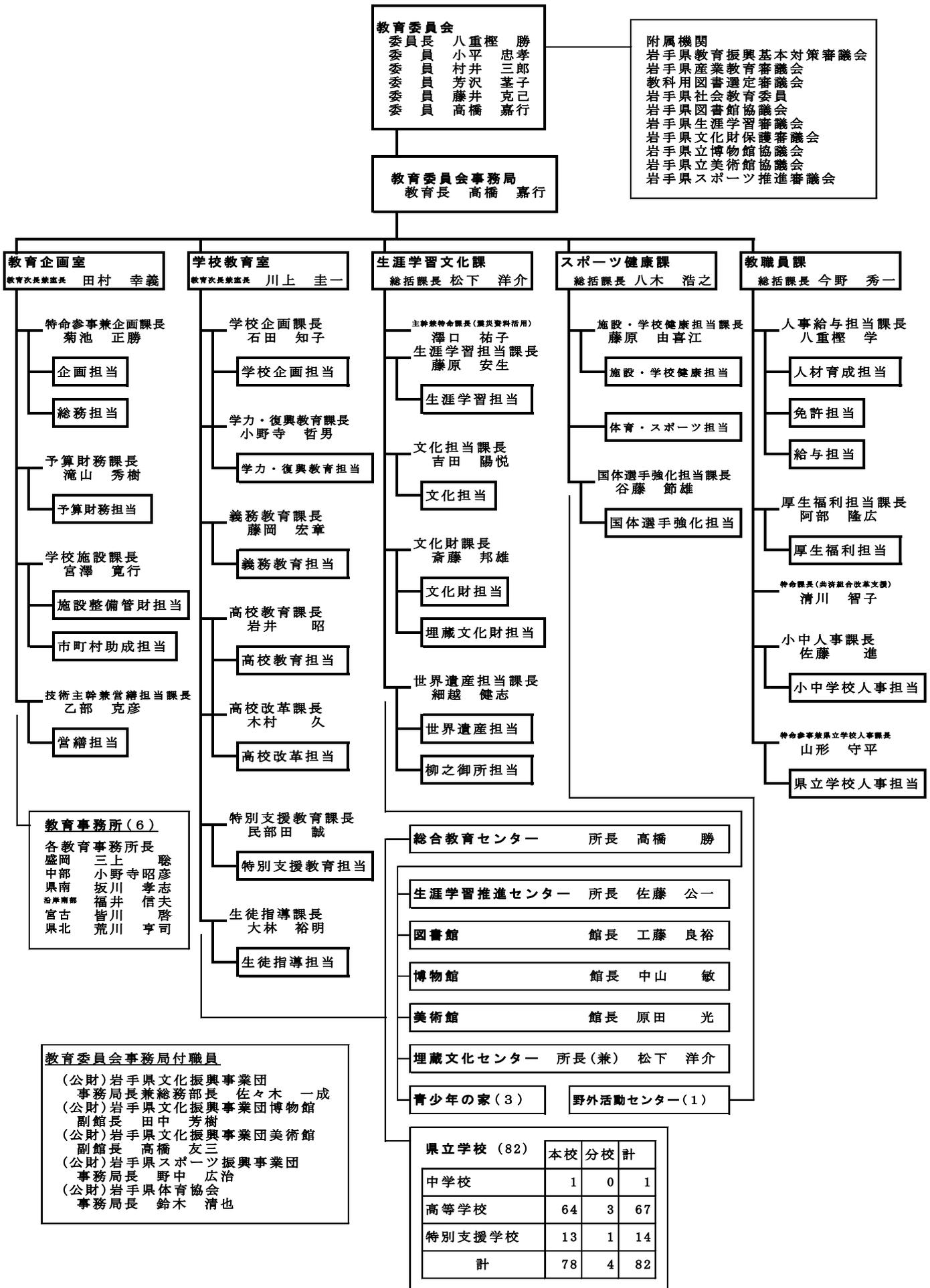
区 分	給付額(円)	件数(人数)	制度の概要
特別弔慰金 (過年度分)	0	会員………… 0 人 配偶者…… 0 人 被扶養者… 0 人	会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付 □会員：20万円、配偶者：10万円、被扶養者：5万円 (平成24年度で廃止)
積立給付金	36,169,400	積立金… 537人	退会により会員の資格を失ったとき、当該会員が平成25年3月までに積立てた額を給付 □積立金・毎月200円積立の累計額
計	36,169,400		

#### 第5 貸付事業

区 分	貸付額(円)	件 数	制度の概要
生活資金	232,360,000	148件	会員が臨時に資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
奨学資金	59,500,000	35件	会員又はその子弟が高校、大学等に入学又は修学するため資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
結婚資金	7,500,000	5件	会員又はその子が結婚する場合で婚姻の前後6か月以内に資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
自動車購入資金	52,240,000	33件	会員が使用する自動車を購入するとき □貸付限度額200万円
計	351,600,000	221件	

[参考資料]

1 県教育委員会機構図 (平成28年5月1日現在)



## 2 県教育委員会が所管する附属機関の委員

### 岩手県教育振興基本対策審議会委員

※ 平成 25 年 7 月 1 日以降委員選任なし

#### 岩手県社会教育委員（平成 28 年 7 月 1 日現在）

村 中 ゆり子（盛岡市立杜陵小学校長）  
清 水 利 幸（岩手県立盛岡青松支援学校長）  
熊 谷 拓 也（岩手県立盛岡第二高等学校長）  
松 田 恵美子（岩手県青年団体協議会長）  
瀬 川 愛 子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会長）  
金 谷 茂（一般社団法人岩手県 P T A 連合会顧問）  
大 橋 清 司（岩手県社会教育連絡協議会長）  
西 舘 敦（いちのへサンビレッジクラブ クラブマネージャー）  
田 口 博 子（岩手県弦楽研究会会員）  
恒 川 かおり（特定非営利活動法人未来図書館主任コーディネーター）  
西 里 真 澄（岩手看護短期大学専攻科助産学専攻講師）  
細 川 恵 子（特定非営利活動法人紫波さぶり理事長）  
室 井 麗 子（岩手大学教育学部准教授）  
高 橋 聡（岩手県立大学社会福祉学部教授）  
小 菅 正 晴（一関市教育委員会教育長）  
（任期：平成 28 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

#### 岩手県立図書館協議会委員（平成 28 年 7 月 1 日現在）

尾 澤 厚 子（岩手県学校図書館協議会長）  
下 机 暁 美（田野畑村社会教育委員）  
澤 口 杜 志（うすゆきそう文庫代表）  
中 尾 康 朗（盛岡大学文学部准教授）  
小山田 泰 裕（岩手日報社編集局学芸部長）  
斎 藤 純（作家）  
吉 丸 蓉 子（前盛岡市教育委員会委員）  
箱 石 恵美子（岩泉町立図書館 図書館部門長）  
（任期：平成 28 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

#### 岩手県生涯学習審議会委員（平成 28 年 7 月 1 日現在）

村 中 ゆり子（盛岡市立杜陵小学校長）  
清 水 利 幸（岩手県立盛岡青松支援学校長）  
熊 谷 拓 也（岩手県立盛岡第二高等学校長）  
松 田 恵美子（岩手県青年団体協議会長）  
瀬 川 愛 子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会長）  
金 谷 茂（一般社団法人岩手県 P T A 連合会顧問）  
大 橋 清 司（岩手県社会教育連絡協議会長）  
西 舘 敦（いちのへサンビレッジクラブ クラブマネージャー）  
田 口 博 子（岩手県弦楽研究会会員）  
恒 川 かおり（特定非営利活動法人未来図書館主任コーディネーター）  
西 里 真 澄（岩手看護短期大学専攻科助産学専攻講師）  
細 川 恵 子（特定非営利活動法人紫波さぶり理事長）  
室 井 麗 子（岩手大学教育学部准教授）  
高 橋 聡（岩手県立大学社会福祉学部教授）  
小 菅 正 晴（一関市教育委員会教育長）  
（任期：平成 28 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

#### 岩手県文化財保護審議会委員（平成 28 年 5 月 1 日現在）

大 島 晃 一（元一関市博物館副館長）  
小 原 茂（元花巻市博物館学芸員）  
窪 寺 茂（建築装飾技術史研究所長）  
佐 藤 由紀男（岩手大学教授）  
高 田 和 徳（一戸町御所野縄文博物館館長）  
高 橋 あけみ（仙台市博物館主幹）  
土 井 宣 夫（岩手大学教授）  
中 嶋 奈津子（佛教大学非常勤講師）  
平 塚 明（岩手県立大学教授）  
政 次 浩（東北歴史博物館副主任研究員）  
山 本 玲 子（元財団法人石川啄木記念館学芸員）  
（任期：平成 28 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日）

岩手県立博物館協議会委員（平成 28 年 10 月 1 日現在）

高橋 眞 司（盛岡市立松園小学校校長）  
高橋 清 之（盛岡市立下橋中学校校長）  
高橋 隆（岩手県立盛岡第四高等学校校長）  
松田 恵美子（岩手県青年団体協議会会長）  
大沢 リツ子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会理事）  
畠山 克明（（一社）岩手県 P T A 連合会副会長）  
齋藤 桃子（岩手町立石神の丘美術館主任学芸員）  
遠藤 健悦（八幡平市教育委員会教育長）  
前田 千香子（岩手県立博物館友の会会員）  
鈴木 多聞（（株）岩手日報社編集局整理部次長）  
名越 利幸（岩手大学教授）  
菅野 文夫（岩手大学教授）  
飯坂 真紀（画家・民族芸能研究者）  
沼里 由紀子（盛岡ふるさとガイドの会会員）  
（任期：平成 27 年 6 月 23 日～平成 29 年 6 月 22 日）

岩手県立美術館協議会委員（平成 29 年 3 月 1 日現在）

菊池 房江（岩手県工芸美術協会会長）  
志田 澄子（（株）岩手日報社編集局学芸部次長）  
藤代 伸子（岩手県立美術館友の会運営委員）  
菅 しのぶ（（株）菅文常務取締役）  
石塚 庸子（盛岡グランドホテル人事部人事開発課マネージャー）  
佐藤 優（（公社）日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会副会長）  
そのだ つくし（漫画家）  
佐々木 繁美（（公社）盛岡市文化振興事業団盛岡市民文化ホール館長）  
藤村 幸雄（街づくり集団ゆいネット盛南事務局長）  
五十嵐 のぶ代（（一社）岩手県 P T A 連合会副会長、母親委員会委員長）  
佐藤 和男（岩泉町立小本中学校長）  
館澤 敏子（岩手県地域婦人団体協議会理事）  
尾澤 厚子（盛岡市立向中野小学校長）  
平藤 淳（岩手県立不来方高等学校長）  
（任期：平成 28 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）

岩手県スポーツ推進審議会委員（平成 29 年 3 月 31 日現在）

古館 英彦（一戸町教育委員会教育長）  
齋藤 雅博（岩手県商工会議所連合会副会長）  
高橋 光彦（（公財）岩手県体育協会副会長兼理事長）  
清川 義彦（岩手県高等学校体育連盟理事長）  
照井 大道（岩手県中学校体育連盟理事長）  
菊池 幸子（岩手県スポーツ推進委員協議会副会長）  
高橋 敦子（岩手県小学校体育研究会広報部員）  
上濱 龍也（岩手大学教育学部教授）  
菅 義行（一般社団法人岩手県医師会常任幹事）  
村田 奈々（障がい者トップアスリート）  
小沢 みさき（北京オリンピックホッケー競技女子日本代表）  
鈴木 美智代（公募委員）  
土信田 有紀（公募委員）  
（任期：平成 28 年 6 月 23 日～平成 30 年 6 月 22 日）

### 3 県教育委員会会議（平成 28 年度）

#### 4 月定例会（平成 28 年 4 月 18 日）

- 事務報告 1 平成 28 年 2 月県議会定例会の概要について
- 報 告 1 盛岡市立高等学校の学科廃止の認可に係る専決処理の報告について
- 議案第 1 号 岩手県文化財保護審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第 2 号 学校職員の懲戒処分等の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第 3 号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

#### 5 月定例会（平成 28 年 5 月 16 日）

- 議案第 4 号 学校職員の分限処分に関し議決を求めることについて

#### 6 月定例会（平成 28 年 6 月 20 日）

- 議案第 5 号 岩手県生涯学習審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第 6 号 岩手県社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて
- 議案第 7 号 岩手県立図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第 8 号 岩手県スポーツ推進審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第 9 号 公立小学校長の人事の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

#### 7 月定例会（平成 28 年 7 月 19 日）

- 事務報告 1 平成 28 年 6 月県議会定例会の概要について
- 議案第 10 号 岩手県立博物館協議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて
- 議案第 11 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 8 月定例会（平成 28 年 8 月 22 日）

- 議案第 12 号 文化財の指定に関し議決を求めることについて
- 議案第 13 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第 14 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第 15 号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて

#### 9 月定例会（平成 28 年 9 月 12 日）

- 事務報告 1 平成 29 年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学選抜の概要について
- 事務報告 2 平成 29 年度岩手県立高等学校入学選抜の実施について
- 事務報告 3 平成 28 年度全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の結果について
- 議案第 16 号 岩手県立博物館協議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて
- 議案第 17 号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて
- 議案第 18 号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて
- 議案第 19 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 10 月定例会（平成 28 年 10 月 17 日）

- 事務報告 1 平成 29 年度岩手県立高等学校入学選抜実施概要について
- 事務報告 2 平成 29 年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について
- 事務報告 3 第 71 回国民体育大会の結果について
- 議案第 20 号 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第 21 号 平成 29 年度岩手県教育委員会定期人事異動方針の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第 22 号 学校職員の懲戒処分等の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

#### 11 月定例会（平成 28 年 11 月 15 日）

- 議案第 23 号 学校職員の懲戒処分等の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第 24 号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第 25 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第 26 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 12 月定例会（平成 28 年 12 月 19 日）

- 事務報告 1 平成 28 年 9 月県議会定例会の概要について
- 事務報告 2 平成 29 年度県立一関第一高等学校附属中学校入学選抜に係る出願状況について
- 議案第 27 号 岩手県スポーツ推進審議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて
- 議案第 28 号 条例案の意見に対する回答の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第 29 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 1 月定例会（平成 29 年 1 月 16 日）

- 事務報告 1 平成 28 年 12 月県議会定例会の概要について
- 事務報告 2 平成 29 年度一関第一高等学校附属中学校入学選抜検査の実施について
- 議案第 30 号 学校職員の懲戒処分等の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

**2月定例会**（平成 29 年 2 月 13 日）

- 議案第 31 号 岩手県立美術館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第 32 号 個人情報の部分開示決定の審査請求に係る裁決に関し議決を求めることについて

**3月臨時会**（平成 29 年 3 月 1 日）

- 議案第 33 号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて
- 議案第 34 号 公立小中学校長の人事に関し議決を求めることについて
- 議案第 35 号 県立学校の校長及び事務長の人事に関し議決を求めることについて

**3月定例会**（平成 29 年 3 月 21 日）

- 議案第 36 号 岩手県就学指導委員会規則の一部を改正する規則
- 議案第 37 号 教育職員等の勤務時間に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第 38 号 岩手県教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第 39 号 岩手県教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則
- 議案第 40 号 岩手県教育委員会代決専決規程の一部を改正する訓令
- 議案第 41 号 教育財産管理規則の一部を改正する規則
- 議案第 42 号 文化財の指定及び保持団体の認定に関し議決を求めることについて
- 議案第 43 号 平成 29 年度教科用図書選定審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第 44 号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて
- 議案第 45 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第 46 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 4 県教育委員会関係主要行事（平成28年度）

- 4月7～8日 第1回岩手県社会教育主事等会議 [盛岡地区合同庁舎]  
18日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
20日 第1回県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換 [サンセール盛岡]  
21日 第1回県立学校長会議 [サンセール盛岡]  
25～26日 県立学校等新任副校長研修講座 [県庁舎他]  
27日 県立学校副校長会議 [岩手県水産会館]
- 5月10～12日 県立学校等新任校長研修講座 [清温荘]  
16日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
第1回総合教育会議 [県庁舎]  
24日 第1回学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会 [サンセール盛岡]
- 6月 20日 教育委員会定例会 [教育委員室]
- 7月 7日 第10回岩手県スポーツ振興審議会 [県庁舎]  
7～8日 北部ブロック教育委員協議会 [福島県]  
11日 全国都道府県教育委員会連合会第1回総会 [茨城県]  
19日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
20日 第1回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議 [県民会館]  
22日 第1回岩手県文化財保護審議会 [県庁舎]
- 8月 3日 岩手県美術選奨・芸術選奨表彰式 [サンセール盛岡]  
22日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
26日 北部ブロック教育長協議会 [秋田県]
- 9月 12日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
14日 第1回児童生徒表彰式（はばたき賞） [県庁舎]  
21日 「いわて教育の日」のつどい
- 10月1～11日 第71回国民体育大会 [岩手県] ※会期前競技（9月4～11日）  
8日 第69回岩手芸術祭開幕フェスティバル [県民会館]  
13日 教育表彰（永年勤続） [県民会館]  
17日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
19日 第2回県立学校長会議 [盛岡地区合同庁舎]  
21日 都道府県・指定都市教育委員研究協議会 [東京都]  
29～30日 第2回県社会教育主事等会議 [陸中海岸青少年の家]  
30日 第58回北海道・東北ブロック民俗芸能大会 [県民会館]
- 11月 15日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
17日 第1回教育長表彰式 [教育委員室]
- 12月 19日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
27日 第52回岩手県学校健康教育研究大会 [アイーナ]
- 1月 16日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
20日 県と市町村との意見交換会 [サンセール盛岡]  
23～24日 全国都道府県教育委員会連合会第2回総会、北部ブロック道県教育委員協議会 [東京都]  
25日 第11回岩手県スポーツ推進審議会 [県庁舎]
- 2月 1日 教育委員会と公安委員会との意見交換会 [警察本部]  
1日 第2回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議 [盛岡地区合同庁舎]  
2～3日 岩手県生涯学習推進研究発表会 [生涯学習推進センター]  
6日 第2回学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会 [サンセール盛岡]  
7日 第2回児童生徒表彰式（はばたき賞） [盛岡地区合同庁舎]  
8日 第2回教育長表彰式 [教育委員室]  
8日 第3回岩手県社会教育主事会議 [県民会館]  
10日 第2回岩手県文化財保護審議会 [県庁舎]  
11日 岩手県民俗芸能フェスティバル [県民会館]  
13日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
14日 第2回県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換 [サンセール盛岡]  
15日 第3回県立学校長会議 [サンセール盛岡]
- 3月 1日 教育委員会臨時会 [教育委員室]  
21日 教育委員会定例会 [教育委員室]  
31日 職者感謝状贈呈式 [県民会館]

## 5 私立学校

### (1) 私立学校審議会

#### ア 委員（平成28年7月1日現在、五十音順）

今 西 界 雄	（学校法人双葉学園理事長）
小野寺 佳代子	（一関学院高等学校長）
久 保 榮 子	（学校法人コアトレース理事長）
佐 藤 勝	（元岩手県教育委員会教育長）
新 宮 由紀子	（株式会社長島製作所代表取締役社長）
須 山 通 治	（弁護士）
鷹 觜 文 昭	（学校法人岩手橋学園理事長）
福 士 晴 美	（みなみ幼稚園園長）
三 上 邦 彦	（岩手県立大学社会福祉学部教授）
室 井 麗 子	（岩手大学教育学部准教授）

#### イ 審議の状況

私立学校審議会が知事の諮問により審議し、原案を可として答申した案件は次のとおり。

平成28年9月13日答申

学校の収容定員に係る学則変更認可について

学校法人岩手橋学園 江南義塾盛岡高等学校（盛岡市）

平成29年3月13日答申

学校の廃止認可について

学校法人豊水久田野学園 花巻たかき幼稚園（花巻市）

専修学校の目的変更認可について

学校法人上野教育学園 上野法律ビジネス専門学校（盛岡市）

### (2) 私立学校等認可の状況

平成28年度中に知事が認可した件数は次のとおり。

ア 学校の収容定員に係る学則変更認可	…… 1 件
イ 専修学校の目的変更認可	…………… 1 件
ウ 学校の廃止認可	…………… 1 件

### (3) 助成の状況（平成28年度最終予算）

#### ア 県費補助

##### (ア) 私立学校運営費補助

幼稚園・小・中・高等学校補助……………	3,468,179千円
過疎地域私立高等学校補助……………	102,925千円
特別支援教育費補助……………	115,248千円
教育改革推進特別経費補助……………	179,500千円
特色ある幼児教育等振興費補助……………	30,817千円
特別支援学校補助……………	94,008千円
専修学校補助……………	55,882千円
(イ) 私立学校教職員退職金給付事業費補助……………	143,885千円
(ウ) 日本私立学校振興・共済事業団補助……………	60,614千円
(エ) 私立高等学校等授業料減免補助……………	9,331千円

(オ) 学び直しへの支援事業費補助	709千円
(カ) 私立学校耐震化支援事業費補助	1,045千円
(キ) 私立学校被災児童生徒等就学支援事業費補助	61,986千円
(ク) 被災私立専修学校等教育環境整備支援事業費補助	22,984千円
(ケ) 私立専修学校専門課程就学支援実証研究事業補助	1,168千円

#### イ 岩手県私学教育振興会貸付金

施設整備・経営資金貸付	145,000千円
-------------	-----------

#### (4) 私学教育表彰の実施

岩手県私学教育表彰実施要綱（昭和58年岩手県告示第1076号）に基づき、本県の私学教育に関し功労のあった次の者に対し、平成28年11月30日知事表彰を行った。

- 個人 柵 山 知 正（学校法人常盤学園 理事長）
- 晴 山 正 子（そけい幼稚園 園長）
- 田 高 美 恵 子（幼保連携型認定こども園久慈幼稚園 園長）
- 植 村 生 子（認定こども園都南幼稚園 園長）
- 荻 原 禮 子（盛岡白百合学園中学高等学校 校長）
- 加 藤 孝 志（岩手中・高等学校 教諭）
- 佐々木 徳 司（岩手女子高等学校 教諭）
- 早 坂 伸 子（三愛学舎 主幹教諭）
- 阿 部 宗 人（上野法律ビジネス専門学校 教務部統括部長）

#### 6 県教育委員会が所管する公益法人・公益信託等（平成29年3月31日現在）

番号	種別	名称	許可年月日	目的・事業	所在地
1	公益財団法人	岩手育英会	大正14年9月10日	育英奨学	盛岡市津志田14-37-2(盛岡市教委内)
2	公益財団法人	岩手県学校給食会	昭和33年5月1日	学校給食関係事業	盛岡市流通センター北1-12-1
3	公益財団法人	岩手県高校教育会館	昭和34年11月6日	高校関係職員の福利厚生	盛岡市志家町11-13
4	公益財団法人	岩手県体育協会	昭和41年4月28日	県民体育の普及振興	盛岡市青山4-13-30
5	公益財団法人	岩手育英奨学会	昭和42年7月14日	育英奨学	盛岡市内丸10-1(県教委教育企画室内)
6	公益財団法人	大船渡市育英奨学会	昭和49年8月19日	育英奨学	大船渡市盛町字宇津野沢15(大船渡市教委内)
7	公益財団法人	盛岡市体育協会	昭和55年5月19日	体育・スポーツの振興	盛岡市上田3-17-60
8	公益財団法人	滝沢市体育協会	昭和56年3月23日	体育・スポーツの振興	滝沢市鶴飼御庭田1-1
9	公益財団法人	伊藤育英会	昭和58年9月19日	育英奨学	花巻市大通り1-12-14
10	公益財団法人	岩手県スポーツ振興事業団	昭和60年3月26日	スポーツの振興	盛岡市みたけ1-10-1
11	公益財団法人	岩手県文化振興事業団	昭和60年4月8日	文化の振興	盛岡市内丸13-1(県民会館内)
12	公益財団法人	小林奨学育英会	昭和62年12月21日	育英奨学	奥州市水沢区佐倉河字道下26-1(株式会社マツヤ内)
13	公益財団法人	北上市体育協会	平成7年3月17日	スポーツの振興	北上市相去町高前壇27-36
14	公益財団法人	盛岡市文化振興事業団	平成9年10月15日	文化の振興	盛岡市盛岡駅西通2-9-1
15	公益社団法人	岩手県サッカー協会	平成17年4月1日	サッカーの振興	紫波郡紫波町紫波中央駅2-1-1

#### 【公益信託】

名称	許可年月日	目的・事業	委託者	受託者
公益信託田村清蔵記念奨学基金	昭和57年8月25日	育英奨学	田村 清蔵	三菱UFJ信託銀行株式会社

7 県教育関係諸団体（平成28年5月1日現在）

No.	団体名	事務局所在地	事務局電話番号	代表者
1	岩手県小学校長会	盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内	019-623-8955	柳村 栄
2	岩手県中学校長会	盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内	019-622-0572	菅原 正弘
3	岩手県高等学校長協会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-623-4491	平賀 信二
4	岩手県小中学校副校長会	盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内	019-651-2858	桑原 良幸
5	岩手県高等学校副校長協議会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-623-4491	遠藤 拓見
6	岩手県小学校教育研究会	盛岡市本町通2-18-1 仁王小学校内	019-623-4214	仁昌寺 真一
7	岩手県中学校教育研究会	盛岡市上田2-1-1 上田中学校内	019-623-4237	佐藤 進
8	岩手県高等学校教育研究会	盛岡市上ノ橋町7-57 盛岡第二高等学校内	019-622-5101	土川 敦
9	岩手県小規模・複式学校教育研究連盟	葛巻町葛巻20-91 葛巻中学校内	0195-66-2614	田中 淳
10	岩手県高等学校定時制通信制教育協会	盛岡市上田2-3-1 杜陵高等学校内	019-652-1813	佐々木 和哉
11	岩手県学校保健研究会	盛岡市加賀野3-9-1 岩手大学教育学部附属中学校内	019-623-4241	西郷 晃
12	岩手県学校給食研究会	盛岡市長田町16-1 河北小学校内	019-622-6256	千葉 亨
13	岩手県公立小中学校事務職員研究協議会	盛岡市玉山区下田字下田106 洪民中学校内	019-683-2150	高橋 広道
14	岩手県公立学校事務長会	盛岡市上ノ橋町7-57 盛岡第二高等学校内	019-622-5102	関口 民男
15	岩手県公立高等学校事務職員協会	滝沢市砂込1463 盛岡農業高等学校内	019-688-4211	竹田 守
16	岩手県特別支援学校連絡協議会	盛岡市北山1-10-1 盛岡視聴覚支援学校内	019-624-2986	民部田 誠
17	岩手県特別支援教育研究会	盛岡市本町通2-18-1 仁王小学校内	019-623-4214	多田 英史
18	岩手県国公立幼稚園協議会	盛岡市上太田字吉本9 太田幼稚園内	019-659-0597	小野寺 正彦
19	一般社団法人岩手県私立幼稚園連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-654-1434	坂本 洋
20	一般社団法人岩手県私学協会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	小田島 順造
21	岩手県市町村教育委員会協議会	盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会総務課内	019-651-4111	千葉 仁一
22	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会	盛岡市大沢川原3-5-18 盛岡医療福祉専門学校内	019-624-8600	龍澤 正美
23	一般社団法人岩手県PTA連合会	盛岡市みたち3-38-20 県青少年会館内	019-641-6444	五十嵐 のぶ代
24	岩手県高等学校PTA連合会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-625-6386	渡辺 正和
25	岩手県特別支援学校PTA連合会	滝沢市穴口218-4 盛岡みたち支援学校内	019-641-0789	稲垣 基
26	岩手県国公立幼稚園・子ども園PTA連絡協議会	花巻市城内10-5 花巻市立花巻幼稚園内	0198-23-5301	上田 直輝
27	岩手県私立幼稚園PTA連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-654-1434	大泉 愛
28	岩手県私立小中高等学校保護者会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	川村 圭司
29	岩手県子ども会育成会連絡協議会	矢巾町又兵衛新田7-214-7	019-697-4957	三浦 保治
30	岩手県生涯学習振興協会	花巻市北湯口2-82-13 生涯学習推進センター内	0198-27-4555	中村 利之
31	岩手県図書館協議会	盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内	019-606-1730	中尾 康郎
32	岩手県青年団体協議会	盛岡市みたち3-38-20 県青少年会館内	019-641-6412	松田 恵美子
33	特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会	盛岡市みたち3-38-20 県青少年会館内	019-648-6620	瀬川 愛子
34	岩手県ユネスコ協会連盟	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内	019-629-6176	三田地 宣子
35	岩手県社会教育連絡協議会	盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会生涯学習課内	019-651-4111	大橋 清司
36	岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内	019-629-6176	千葉 仁一
37	日本ボーイスカウト岩手連盟	盛岡市みたち3-38-20 県青少年会館内	019-641-1995	末永 正志
38	ガールスカウト岩手県連盟	盛岡市みたち3-38-20 県青少年会館内	019-641-1153	平井 ふみ子
39	一般社団法人岩手県文化財愛護協会	盛岡市上田字松屋敷34 県立博物館内	019-661-9688	一戸 秀光
40	岩手県読書推進運動協議会	盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内	019-606-1730	工藤 良裕
41	岩手県中学校文化連盟	盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内	019-604-0126	高橋 清之
42	岩手県高等学校文化連盟	盛岡市津志田26-17-1 盛岡第四高等学校内	019-635-1068	高橋 隆
43	岩手県中学校体育連盟	盛岡市愛宕町1-1 下小路中学校内	019-651-1942	松井端 巧
44	岩手県高等学校体育連盟	盛岡市高松4-17-16 盛岡第三高等学校内	019-661-8115	山形 守平
45	公益財団法人岩手県体育協会	盛岡市青山4-13-30	019-648-0400	達増 拓也
46	岩手県生涯スポーツ推進協議会	盛岡市みたち1-10-1 (公財)岩手県スポーツ振興事業団内	019-641-1127	熊谷 俊巳
47	岩手県学校保健会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局スポーツ健康課内	019-629-6192	石川 育成
48	一般財団法人岩手県学校安全互助会	盛岡市本町通2-1-36	019-654-3027	高橋 嘉行
49	公益財団法人岩手県学校給食会	盛岡市流通センター北1-12-1	019-638-9429	佐美 淳
50	公立学校共済組合岩手支部	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教職員課内	019-629-6126	高橋 嘉行
51	一般財団法人岩手県教職員互助会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-622-7762	菊池 透
52	公益財団法人岩手県英奨学会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教育企画室内	019-623-2050	遠藤 洋一
53	公益財団法人岩手県文化振興事業団	盛岡市内丸13-1 県民会館内	019-654-2235	菅野 洋樹
54	一般社団法人岩手県芸術文化協会	盛岡市内丸13-1 県民会館内	019-626-1202	柴田 和子
55	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団	盛岡市みたち1-10-1	019-641-1127	熊谷 俊巳
56	公益社団法人岩手県私学振興会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-652-0960	龍澤 正美
57	岩手県産業教育振興会	盛岡市羽場18-11-1 盛岡工業高等学校内	019-639-7250	鎌田 英樹

**岩手県教育年報 平成 28 年度版**

発行 岩手県教育委員会

編集 岩手県教育委員会事務局教育企画室

所在地 岩手県盛岡市内丸 10 番 1 号 岩手県庁 10 階

電話番号 019-629-6106

ファクシミリ番号 019-629-6119 電子メール

アドレス DB0001@pref.iwate.jp